



CyberLink

EXTREME

360° VIDEO MAKER



CyberLink

パワーディレクター v15

PowerDirector 15

ユーザーガイド

【Director Suite / Ultimate Suite / Ultimate / Ultra / Standard共通】

注意

本マニュアルはDirector Suite、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、14ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文のEnd User License Agreement (‘EULA’) の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意識されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement (EULA) : 使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）とCyber LinkCorp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウおよびその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利は、すべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用权は本ソフトウェアの使用权に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用、ならびに第三者への譲渡はできません。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権限および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用权を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害および逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェアまたは関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故および誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェアおよび関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act.に準ずるものとします。

著作権

All rights reserved. CyberLink Corporationの文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、PowerDirectorは情報、サービス、またはPowerDirectorに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。PowerDirectorは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2005 Dolby Laboratories. All rights reserved.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 5.1 Producer is a trademark of DTS, Inc. c DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist. New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)
Web サイト	http://www.cyberlink.com
TEL	886-2-8667-1298
FAX	886-2-8667-1385

Copyright © 2016 CyberLink Corporation. All rights reserved.

Contents

ユーザーガイドの読み方.....	12
------------------	----

Chapter 1 基本操作..... 13

PowerDirectorワールドへようこそ！	14
PowerDirectorのエディション.....	14
動作環境.....	14
インストール.....	15
起動と登録、終了.....	17
起動.....	17
登録.....	18
終了.....	18
アップデート.....	19
PowerDirectorで一番初めにすること.....	20
PowerDirectorの起動画面.....	20
動画の縦横比.....	20
フル機能エディター.....	21
360°エディター.....	21
イージーエディター.....	21
スライドショークリエーター.....	21
[フル機能エディター] でビデオ編集	22
[映像の取り込み] まずは素材を用意しよう.....	22
[ビデオや画像の配置] ビデオを並べたりカットしよう.....	22
[タイトル] ビデオにタイトルや字幕を付けよう.....	22
[エフェクト] ビデオに効果を付けよう.....	23
[音楽] BGMやナレーションを付けよう.....	23
[出力] ディスクに書き込んだりYouTubeなどに投稿しよう.....	23
[完成!] ビデオ作品のできあがりです.....	23
[フル機能エディター] で編集をはじめよう	24
[フル機能エディター] の概要.....	24
画面を使いやすいようにカスタマイズ.....	25
プレビューウィンドウで出来栄を確認しよう.....	26

Chapter 2 イージーエディター..... 27

イージーエディター.....	28
----------------	----

①ソース	29
②スタイル	30
③調整	31
④プレビュー	33
⑤出力	34

Chapter 3 スライドショークリエイター 35

スライドショークリエイター	36
①ソース	37
②スタイル&ミュージック	38
③プレビュー	41
④出力	42

Chapter 4 新規作成と取り込み 43

新規プロジェクトの作成と保存	44
プロジェクトパックの作成	46
動画や画像、ミュージックファイルの取り込み	47
DVカメラから映像を取り込む	48
DVテープの一部の映像を取り込む	48
DVテープのすべての映像を取り込む	49
AVCHDカメラから映像を取り込む	50
DVDディスクやAVCHDからの映像の取り込み	52
Webカメラからの映像の取り込み	53
その他の映像の取り込み	54
360度ビデオを編集しよう	55
360度ビデオの編集	55
360度ビデオの取り込み	56
360度ビデオの編集と出力	57
360度ビデオの2D変換	58

Chapter 5 プラグインでビデオ編集 59

クイックプロジェクト	60
クイックプロジェクトの表示	60

クイックプロジェクトを使用する	61
クイックプロジェクトをダウンロードする	63
アクションカメラセンター	64
[アクションカメラセンター] を開く	64
映像の自動補正	64
映像の手動補正	66
手ぶれ補正	67
ホワイトバランスの補正	68
カラープリセット	69
リピート再生	70
ビデオの再生速度を調整する	72
フリーズフレーム	74
アクションカメラセンターで再編集	75
スクリーンレコーダー	76
マルチカムデザイナー	78
映像の取り込み	78
映像の同期	79
マルチカムで録画	80
マルチカムデザイナーで録画したビデオを再編集する	82
カメラの切り替え	83
テーマデザイナー	84
テーマの選択	84
ビデオクリップの配置	85
編集	86
消音とBGM	88
タイトルと背景画、トランジション	89
テーマデザイナーの適用と再編集	90

Chapter 6 編集

ビデオの基本編集	92
タイムライン	92
メディアの表示	93
作成するビデオに必要なクリップをまとめる	93
メディアクリップの配置	94
プロジェクトの再利用	96
タイムラインの調整	97
移動	98
削除	98

分割	99
トラックサイズの調整	99
トラックの追加	100
画像クリップの配置	101
コンテンツ解析ツール	102
ストーリーボード	104
トリミング	106
マルチトリミング	108
クリップの長さの調整	110
画像の切り抜き	111
メディアの変形	112
映像の補正／強調	113
キーフレーム	114
キーフレームの基礎	114
キーフレームの設定	116
パワーツール	118
ビデオスピードデザイナー	120
ビデオの再生速度を調整する	120
ビデオの一部の再生速度を調整する	121
音声やビデオを調整する	122
モーショントラック	123
オブジェクトの設定	123
タイトルを追加する	123
写真やビデオを追加する	124
モザイクを追加する	125
スポットライトを追加する	126
モーショントラックキングを適用する	126
ブレンドエフェクト	128
ブレンドエフェクトデザイナー	128
ブレンドモード	129
音声のミュート	130
マジックフィックス	131
マジックカット	132
クリップの追加	133
カラーボードや背景の追加	134

Chapter 7 エフェクト 135

エフェクトの追加.....	136
エフェクトの修正.....	137
マジックモーション.....	138
マジックスタイル.....	140
PiPエフェクト.....	142
ペイントデザイナー.....	144
PiPデザイナー.....	148
PiP (ピクチャーインピクチャー).....	148
PiPデザイナー.....	149
クロマキー合成.....	152
PiPモーション.....	153
パス.....	153
モーションブラー.....	154
回転.....	154
マスクデザイナー.....	155
マスク合成.....	155
文字で切り抜くマスクの作成.....	157
パーティクルエフェクト.....	159
パーティクルテンプレート.....	159
パーティクルの作成.....	160

Chapter 8 タイトル..... 163

タイトル.....	164
タイトルの設定.....	164
プリセット文字.....	166
反射効果.....	167
シャドウ.....	167
境界線.....	168
タイトルのレイアウト.....	169
タイトルのアニメーション.....	170
タイトルのエフェクト効果.....	170
タイトルのモーション効果.....	171
プレビューウィンドウに配置された機能.....	173
タイトルの追加.....	173
パーティクル.....	174

Chapter 9 トランジション..... 175

トランジション.....	176
トランジションの設定.....	176
トランジションのカスタマイズ.....	177
トランジションをすべてのビデオクリップ間に適用.....	180

Chapter 10 オーディオ..... 181

音楽CDから曲を取り込む.....	182
ミュージックファイルを取り込む.....	184
クロスフェード.....	185
重なった音声の音量を調整する.....	186
ナレーション.....	188
ミュージックビート.....	190

Chapter 11 便利な機能..... 191

字幕.....	192
チャプター.....	195

Chapter 12 出力とディスクの作成..... 197

編集したビデオの保存.....	198
出力.....	198
ビデオファイルとして保存.....	199
3Dビデオファイルとして保存.....	202
DV、HDVテープやiPhone、スマートフォンに録画.....	203
YouTubeにアップロード.....	204
Facebookにアップロード.....	206
ディスクの作成.....	208
[ディスク作成] 画面.....	208
書き込むビデオの準備.....	208
メニューの作成.....	209
テキストの編集.....	210
メニューのシミュレーション.....	211
メニューの設定.....	211

メニューの編集.....	212
ディスクに書き込む	214
書き込みの設定.....	214
最終出力の設定.....	216

Chapter 13 その他の設定とサポート217

基本設定	218
ショートカットキー	219
ショートカットキーのカスタマイズ.....	222
サポート	223
オンラインヘルプ.....	223
Webサポート.....	224
電話サポート.....	224
DirectorZone	225
サイバーリンククラウド	226

Chapter 14 AudioDirector227

AudioDirector	228
PowerDirectorとの連携 音声の調整とエフェクトの適用.....	228
ノイズをまとめて低減.....	230

Chapter 15 ColorDirector233

ColorDirector	234
PowerDirectorとの連携.....	234
オリジナルカラープリセットの作成.....	236
マスクを使ってビデオクリップの一部だけ色を残す.....	237

付録.....239

トランジション一覧	240
エフェクト一覧	243

ユーザーガイドの読み方

本ユーザーガイドはページの左側に説明文があり、その内容を示すPowerDirectorの画面を右側に掲載しています。

説明文の先頭にある番号と画面にある番号は連動して、説明文を読みながらPowerDirectorのどの部分の操作かがわかります。

本ユーザーガイドを読みながら実際にPowerDirector

を操作すると、その機能の使い方がよりわかりやすくなります。

PowerDirectorをはじめとお使いになる方は最初のページからお読みいただくと、PowerDirectorの一通りの使い方がわかります。PowerDirectorをすでにお使いの方は、必要な機能の項目だけをお読みいただくこともできます。

クリップの長さの調整

タイムラインに配置したビデオクリップの長さを調整するには、ビデオクリップの端をドラッグします。トリミングしたビデオクリップの後に配置されたクリップは前に詰めるか、そのまま空白にするかを選択できます。

- 1つのクリップに挟まれたビデオクリップを選択します。
- 2つのクリップと隣接した箇所をポイントに合わせて「←」アイコンになります。クリップの先頭からトリミングする場合は右へ、後尾からであれば左へドラッグします。
- 表示されるメニューからトリミング方法を選択します。
[トリミングのみ]：クリップの長さを調整した後の空白がそのままになります。
[トリミングしてクリップを移動する]：クリップの長さを調整した空白に、後に続くクリップすべてが移動します。ただし、別のトラックに配置したクリップは移動しません。
[トリミングしてすべてのクリップを移動する]：クリップの長さを調整した空白に、後に続くクリップすべてが移動します。別のトラックに配置しているクリップも連動します。

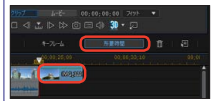
注意

画像クリップの再生時間を長くする場合や再生時間を短くしてビデオクリップを長くする場合は、クリップの先頭から延長するな左へ、後尾からであれば右へドラッグすると「[書き]」トリミングしてクリップを移動する」[トリミングしてすべてのクリップを移動する]の3つのサブメニューが表示されます。「[書き]」は目前または画像のクリップと異なる部分を上書き（書き換え）します。ほかの2つでは長くした時間だけビデオ全体が伸びます。



メモ

画像クリップの再生時間を変更するには、タイムラインの画像クリップを選択して「[所要時間]」をクリックします。表示される「[所要時間の設定]」ダイアログボックスで再生時間を入力して「[OK]」をクリックします。



110

画像の切り抜き

画像から縦横比 [16:9] や [4:3] の画面を切り取るなど、画像をトリミングできます。画像をトリミングすると、見せたい対象が拡大表示され、強調できます。

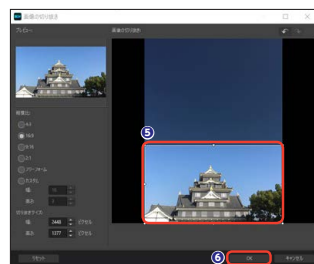
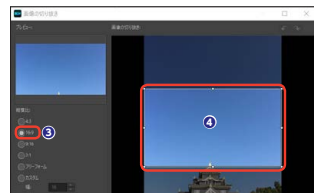
- 1 タイムラインの画像クリップを選択します。
- 2 選択した画像の切り抜きをクリックします。
- 3 「画像の切り抜き」ウィンドウが表示されます。ここでは「縦横比」の [16:9] にチェックを入れます。
- 4 8つの白いポイントにポイントを含ませて任意の場所までドラッグしたり、表示位置を調整します。
- 5 画像がトリミングされます。
- 6 [OK] をクリックします。

注意

PowerDirector起動時に選んだアスペクト比により、切り抜くアスペクト比によっては、静止画の左右や上下に黒い帯が表示されます。

メモ

厳密に画面サイズを指定するには「[カスタム]」にチェックを入れて、数値入力でサイズを決定します。



111

注意

本マニュアルに掲載しているPowerDirector15の画面は開発中のものであり、実際の製品と異なる場合があります。また、製品は予告なく変更される場合があり、掲載している画面と実際の製品が異なっている場合は、実際の製品が優先されます。

注意

本マニュアルはDirector Suite、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、14ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

The image features a solid red background. In the center, the text "Chapter 1" is written in a white, sans-serif font, with "基本操作" (Basic Operations) written below it in a larger, bold white font. A white rectangular border is drawn around the text, with four semi-transparent orange squares at the corners. The page is framed by a white border with registration marks (crosshairs) at the top, bottom, left, and right centers.

Chapter 1

基本操作

PowerDirectorワールドへようこそ！

ここではPowerDirectorの種類(エディション)や動作環境について解説します。PowerDirectorをインストールしてお使いになる前に一度目を通しておいください。

PowerDirectorのエディション

PowerDirectorは、同じバージョンの[PowerDirector 15]であっても、[Ultimate Suite]、[Ultimate]、[Ultra]、[Standard]の種類(エディション)があります。各エディションによってPowerDirectorの機能が異なる場合があります。

購入されたPowerDirectorがどのエディションかを調べるには、① [?] (ヘルプ) をクリックして、② 表示されるメニューから [CyberLink PowerDirectorバージョン情報] をクリックします。

注意

本マニュアルは、各エディションの共通マニュアルです。各エディションの機能の違いについては、下記のサイバリンクWebサイトをご覧ください。



表示される [CyberLink PowerDirectorバージョン情報] ダイアログボックスにエディションが記載されています。

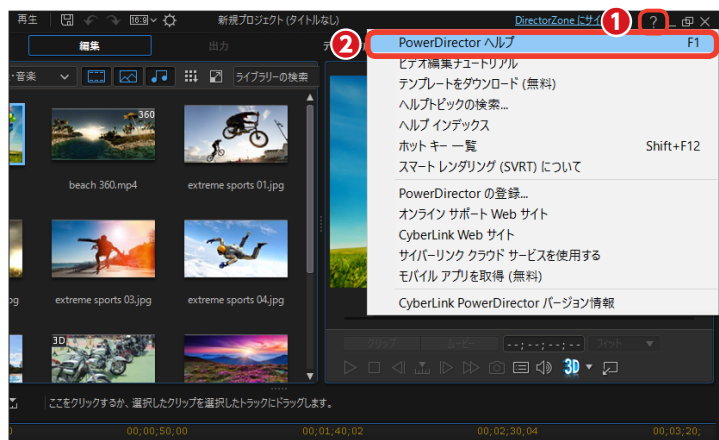
http://jp.cyberlink.com/products/powerdirector-ultra/compare_ja_JP.html

動作環境

PowerDirectorを使用するにあたってのパソコンやモニタ、OSなどの必要最小限の条件は、オンラインヘルプをお読みください。オンラインヘルプを表示するには、① [?] (ヘルプ) をクリックして、② 表示されるメニューから [PowerDirectorヘルプ] をクリックします。

また、最新情報はサイバリンクのWebサイトに掲載されています。合わせてご利用ください。

<http://jp.cyberlink.com/>



インストール

購入したPowerDirectorをパソコンにインストールします。パソコンにDVDドライブが付属しない場合やサイバリンクストアから購入された方は、下記の [メモ] をお読みいただいてインストールしてください。

PowerDirectorのDVDディスクをDVDドライブにセットします。

メモ

パソコンにDVDドライブが付属しない場合には、外付けDVDドライブを用意するか、添付されている別紙の「製品プログラムのダウンロードサービスについて」をご参照になり、製品プログラムをダウンロードの上、インストールしてください。

1 ラウンチャーが起動します。
[CyberLink PowerDirector 15] の [インストール] をクリックします。

注意

自動で起動しない場合は、ディスクの [Autorun] フォルダにある [Autorun.exe] ファイルをダブルクリックして起動してください。

2 [インストール] 画面が表示されます。[言語] が [日本語] になっていることを確認します。

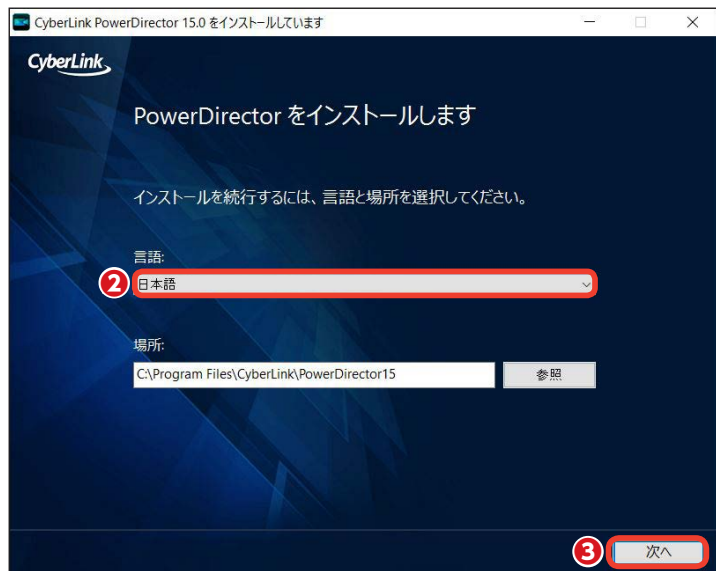
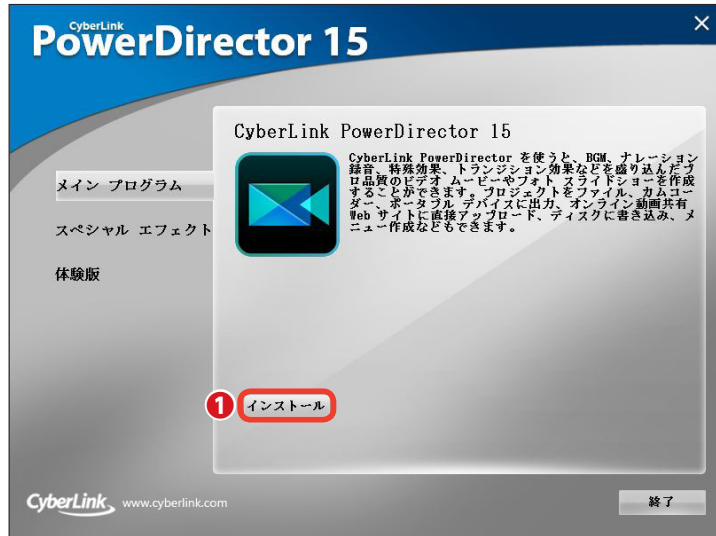
3 [次へ] をクリックします。

メモ

サイバリンクストアからダウンロード版を購入された方は、購入時に届いている Eメール [件名 : CyberLink オンラインストア - ご注文確認書 (購入確認メール) # (注文番号)] をお読みいただいてインストールしてください。

1

基本操作



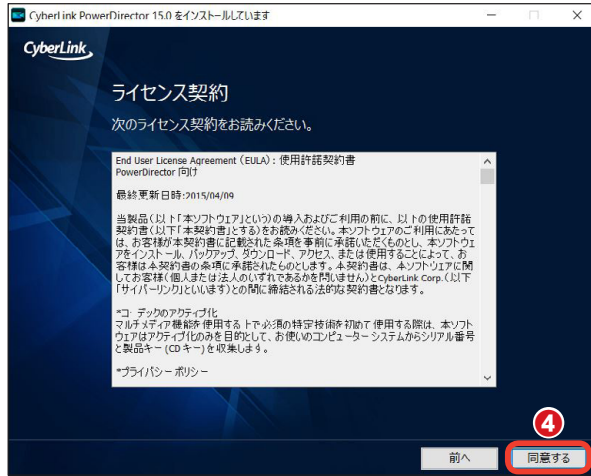
4 [ライセンス契約] 画面が表示されます。

ライセンス契約をお読みになり、[同意する] をクリックします。

インストールが開始されます。しばらく待ちます。

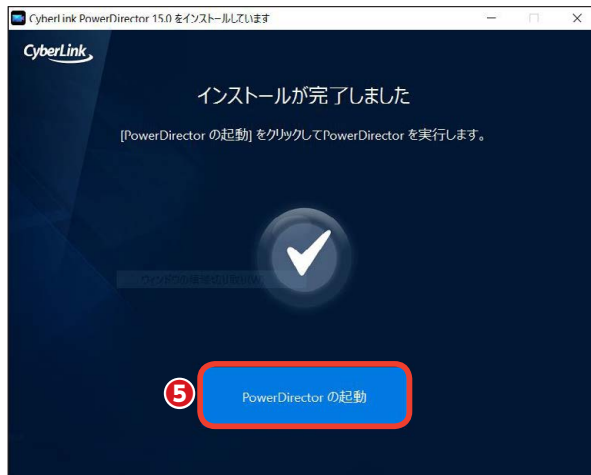
メモ

インストールの途中で、付属機能のインストール画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールします。



[インストールの完了] 画面が表示されます。

5 [PowerDirectorの起動] をクリックします。



6 PowerDirector 15が起動します。これで、インストールの完了です。

同様に「スペシャル エフェクト」から「コンテンツパック」や「その他のコンテンツ」から「コンテンツパック エッセンシャル」などをインストールします。



起動と登録、終了

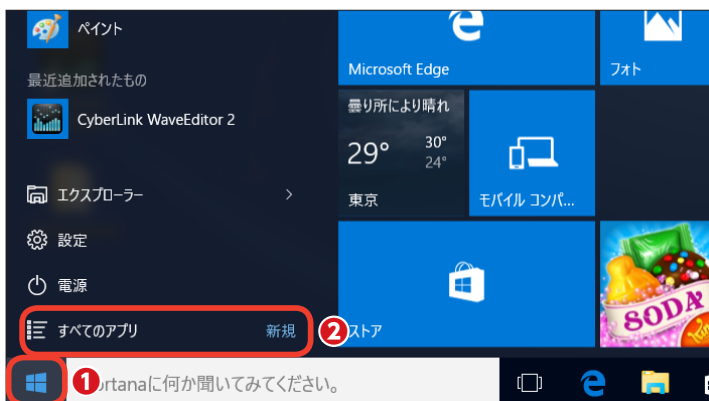
PowerDirectorの起動方法と終了方法を説明します。また、はじめてPowerDirectorをお使いになるときにアクティブ化する方法について説明します。ここではWindows 10の操作をご紹介します。

1

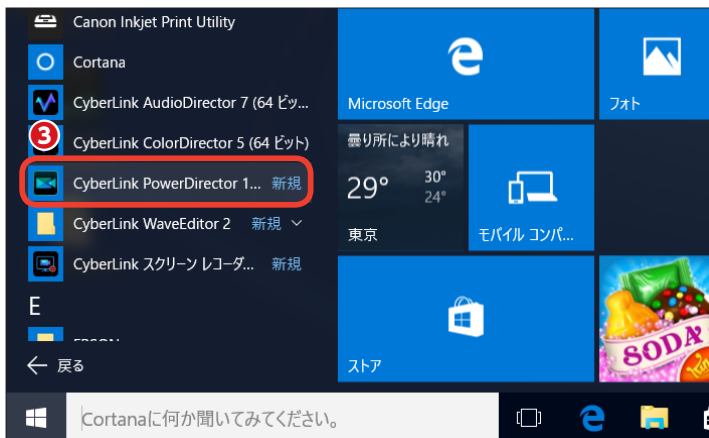
基本操作

起動

- 1 PowerDirectorを起動するには、[スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのアプリ] をクリックします。

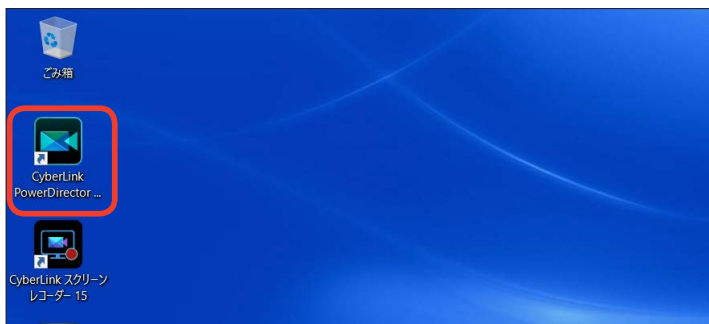


- 3 アプリの一覧が表示されます。[CyberLink PowerDirector 15] をクリックすると、PowerDirectorが起動します。



メモ

PowerDirectorのインストール後に、デスクトップに作成された[CyberLink PowerDirector 15]アイコンをクリックしても起動しません。



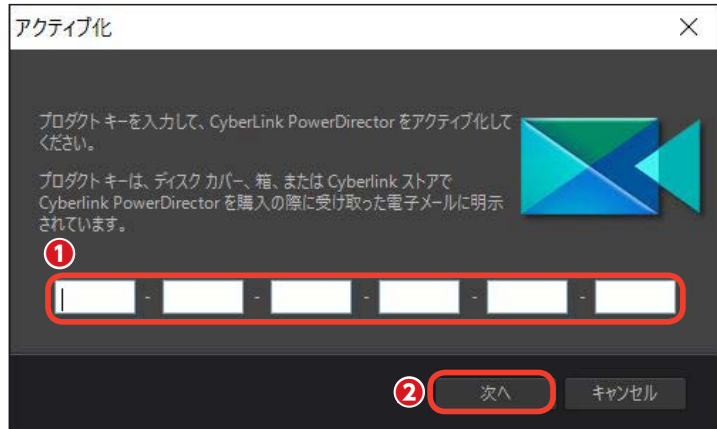
登録

1 PowerDirectorを起動して [フル機能エディター] や [イージーエディター]、[360°エディター]、[スライドショークリエイター]などをクリックすると、[アクティブ化] ダイアログボックスが表示されます。ここにプロダクトキーを入力します。

2 [次へ] をクリックします。

メモ

プロダクトキーは製品版ではディスクカバーかパッケージに、サイバリンクストアで購入した場合は届いたメールに明記されています。



終了

1 PowerDirectorの [フル機能エディター] や [360°エディター]、[クイックプロジェクト]、[テーマデザイナー]を終了するには、[ファイル]メニューをクリックして、表示されるメニューから [終了] をクリックします。

2 または、画面の右上にある [×] をクリックします。

3 [イージーエディター] と [スライドショークリエイター]を終了するには、画面の右上にある [×] をクリックします。



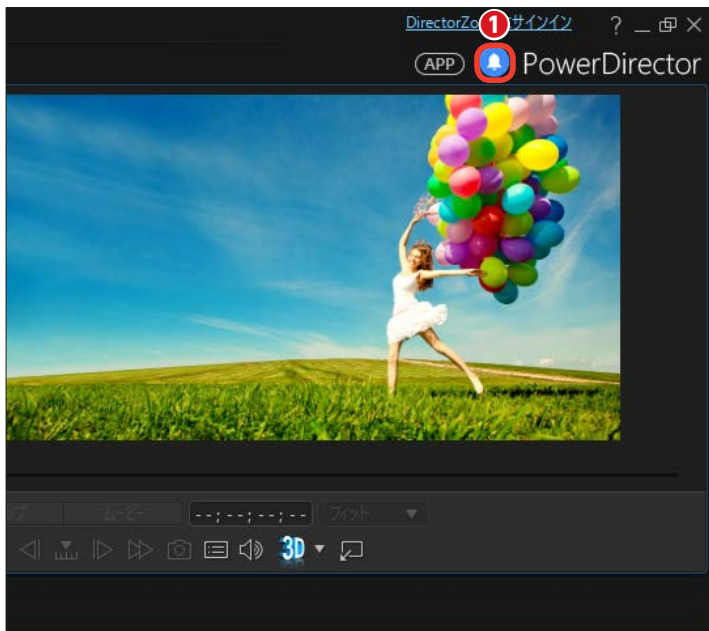
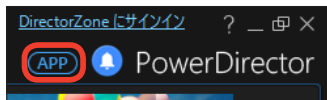
アップデート

PowerDirectorでは、アップデートがあれば自動で確認メッセージが表示されるので、指示に従ってアップデートすれば、いつでも最新のアプリを使用できます。

① 手動でアップデートを確認するには、[アップデート/アップグレードを確認] をクリックします。

メモ

[APP] をクリックすると、タブレットなどでビデオ編集が行える [PowerDirector Mobile] の入手方法が表示されます。



② [通知] ウィンドウが、表示されます。

③ [新規アップデート] 欄にアップデート項目が表示されている場合は、クリックします。

④ Webブラウザが起動して、アップデートのページが表示されます。

メモ

[アップグレード情報] 欄では、ご購入いただいたPowerDirectorの上位エディションにアップグレードすることができます。



PowerDirectorで一番初めにすること

PowerDirectorは、ビデオ編集がはじめての方でもすぐにビデオ編集に取りかかれるように、簡単ビデオ編集モードや写真画像だけで構成するスライドショー作成モードが用意されています。起動画面からどんな作品を作るかによって編集モードを選択します。

PowerDirectorを起動すると、[ようこそ] 画面が表示されます。

1 はじめにビデオの縦横比を設定します。お手持ちの映像素材や作成するビデオを考慮して [16:9] か [4:3]、[9:16] をクリックします。

2 作成する編集モードを選択します。本格的ビデオ編集を行うには[フル機能エディター] を、360度ビデオの編集には [360°エディター] を、はじめてビデオ編集を行うには[イージーエディター] を、デジカメなどで撮影した写真からスライドショーを作成するには [スライドショークリエーター] をクリックします。

メモ

PowerDirectorをいつも [フル機能エディター] で使用する方は、[常にフル機能エディターを開く] にチェックを入れます。すると、PowerDirectorを起動したときに [ようこそ] 画面が表示されず、すぐに [フル機能エディター] 画面が表示されます。

メモ

[ようこそ] 画面を再び表示したいときは、[編集] メニューから [基本設定] をクリックして、表示される [基本設定] ウィンドウの [確認] にある [起動時に常にフル機能エディターを開く] のチェックをはずします。

PowerDirectorの起動画面



※ [360°エディター] については55ページを、[クイックプロジェクト] は60ページを、[テーマデザイナー] は84ページをお読みください。

動画の縦横比



● 16:9

16:9の画面は、デジタルビデオカメラで撮影した映像の縦横比です。現在のテレビ放送および、ハイビジョンテレビ (受像機) の画面比です。



● 4:3

かつてのテレビ放送の画面比で、アナログビデオカメラの標準的な撮影画面サイズです。アナログビデオカメラで撮影した映像は [4:3] で編集します。



● 9:16

9:16の画面は、スマートフォンやタブレットを縦に構えて撮影した映像の縦横比です。この縦横比で編集・保存できます。

※ [9:16] の縦横比で編集したビデオもYouTubeやFacebookにアップロードできます。

フル機能エディター

P.22へ



【フル機能エディター】は、本格的ビデオ編集機能を備えたビデオ編集モードです。ビデオ素材の取り込みから、取り込んだビデオの配置、並び替え、トリミング、タイトル作成、ミュージックの配置、ビデオファイルとして保存やディスクへの書き込みなど、プロ並みのビデオ作品が作成できる機能が満載されています。

360°エディター

P.55へ



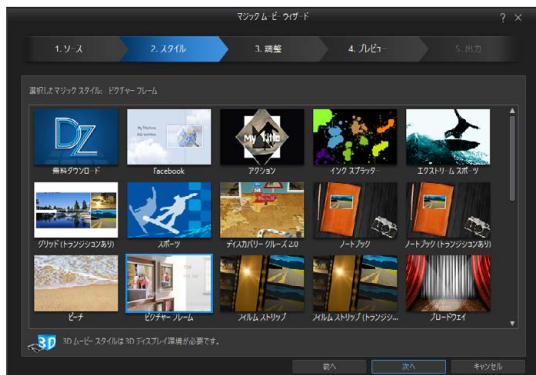
【360°エディター】は、全方向を撮影した360度ビデオの映像を編集するモードです。360度ビデオファイルを読み込み、編集して360度ビデオとして保存でき、360度見渡せるビデオをYoutubeやFacebookにアップロードできます。

1

基本操作

イージーエディター

P.28へ



【イージーエディター】は、ビデオ編集がはじめての方でも画面の指示に従って進めるとビデオ作品が作成できる初心者向けビデオ編集モードです。ビデオ編集の時間がない方にもおすすめです。

スライドショークリエイター

P.36へ



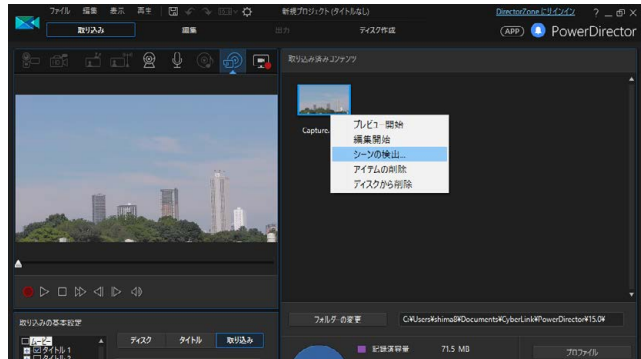
【スライドショークリエイター】は、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した写真を並べてスライドショーを作成するモードです。写真がズームしたり横にずれたり、次々に重なるように表示されたりと、写真を「見せる」効果が用意されています。BGMを付けると、スライドショー作品として完成します。

[フル機能エディター] でビデオ編集

[フル機能エディター] で行うビデオ編集の流れを紹介します。ビデオ映像やデジタルカメラの写真をPowerDirectorに取り込み、タイムラインに配置して編集を行います。さらにビデオを飾る効果などを付け、タイトルやBGMを加えてビデオファイルやディスクに書き出します。

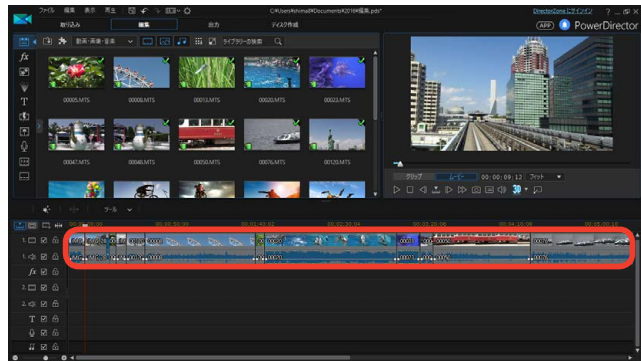
[映像の取り込み] まずは素材を用意しよう

作成するビデオで使用する素材の準備はできましたか？ Power Directorではビデオカメラの映像やビデオファイル、デジタルカメラの写真、スマートフォンで撮影した動画や写真などの素材をビデオ編集に利用できます。



[ビデオや画像の配置] ビデオを並べたりカットしよう

取り込んだビデオや写真を並べます。ビデオカメラの映像をすべて並べると長時間になってみんなが飽きてしまうビデオになってしまいます。ここがみなさんの腕の見せ所。本当に見せたい必要なシーンだけにカットすると、よい作品になります。



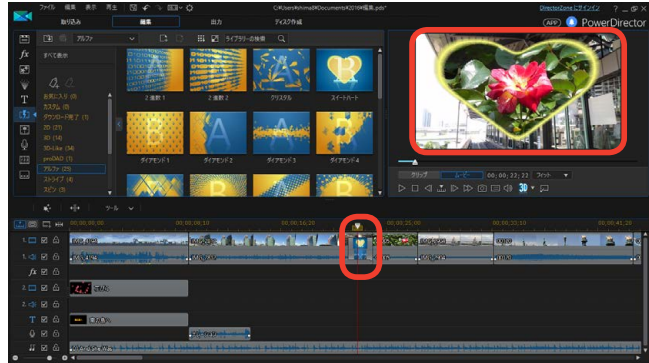
[タイトル] ビデオにタイトルや字幕を付けよう

ビデオ作品で文字は映像をよりわかりやすくするなど、効果は抜群です。ビデオにタイトルを入れたり、字幕を入れたりできます。タイトルにはアニメーション効果を付けることもできます。



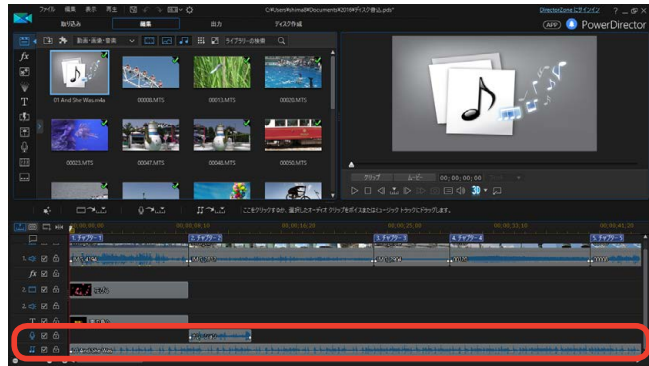
[エフェクト] ビデオに効果を付けよう

ビデオとビデオの間にビデオの切り替わるときの効果、たとえばページがめくられるように次の映像が再生されるなどの「トランジション」やビデオに効果を加える「エフェクト」などを使って、ビデオの編集を進めましょう。



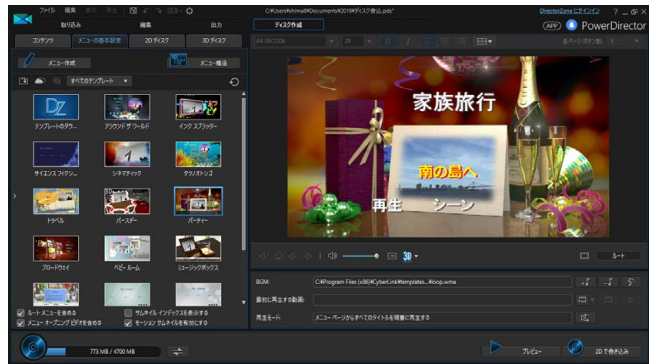
[音楽] BGMやナレーションを付けよう

ビデオに音楽を付けましょう。お手持ちの音楽CDのお気に入りの曲を取り込んでBGMとして使用したり、PowerDirectorに付属の曲を利用することもできます。またナレーションを吹き込むこともできます。



[出力] ディスクに書き込んだりYouTubeなどに投稿しよう

作成したビデオを完成しましょう。ビデオファイルとして保存したり、DVDディスクに書き込んだり。DVDディスクにはビデオを観るためのメニューも作成できます。また、YouTubeなどの動画投稿サイトにアップロードすることもできます。



[完成!] ビデオ作品のできあがりです

[フル機能エディター] で編集をはじめよう

フル機能エディターで本格ビデオ編集を行きましょう。PowerDirectorにはビデオ編集を行うためのたくさんの機能が搭載されています。それらの機能は、ビデオ編集が行いやすいように配置してあります。ここでは全体の構成について説明します。

[フル機能エディター] の概要

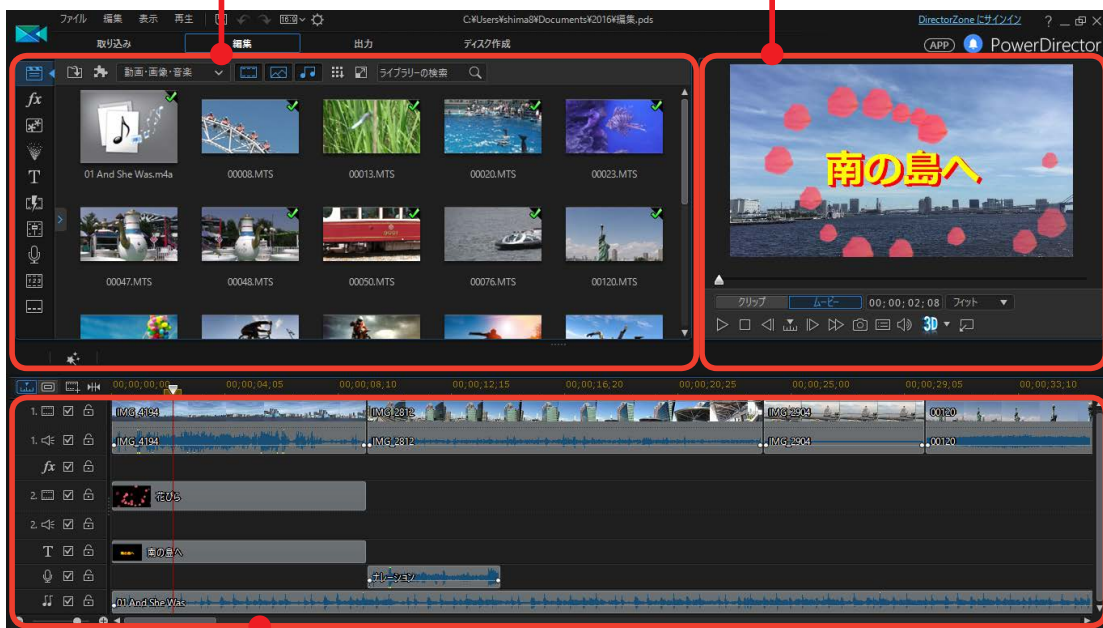
フル機能エディターは、大きく分けて [ルーム] と [プレビューウィンドウ]、[タイムラインビュー (ストリートボードビュー)] の構成になっています。それぞれがなにをする場所かを把握しておきましょう。

● ルーム

ビデオ編集で使用する素材が保管されています。[メディアルーム] には取り込んだビデオ素材やミュージック素材、[タイトルルーム] にはタイトル作成時に使うタイトルを飾る設定などが用意されています。

● プレビューウィンドウ

編集したビデオを再生して内容を確認します。また、ビデオにかけたエフェクトなどの効果のかけ具合やタイトルのサイズ、位置、BGMの音量などの編集を行ったときに確認します。

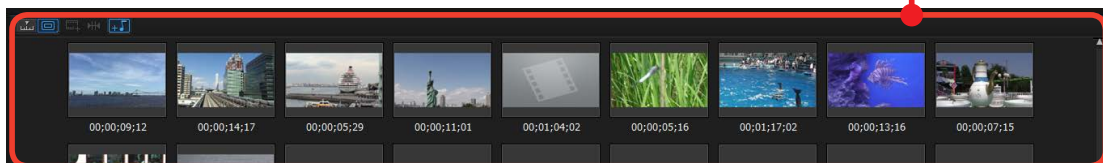


● タイムラインビュー

ビデオトラックやタイトルトラック、ミュージックトラックなどが並ぶ、素材を配置する場所です。取り込んだビデオや写真などのビデオクリップや画像クリップ、ミュージッククリップを並べてビデオ作品を作成します。

● ストリーボードビュー

ビデオクリップを順番に表示するボードです。映像が再生される順番に並ぶので、作成するビデオ作品の構成がわかりやすくなります。タイムラインビューとストリートボードビューは切り替えて使用します。



画面を使いやすいようにカスタマイズ

[ルーム] と [プレビューウィンドウ]、[タイムラインビュー (ストーリーボードビュー)] はサイズを変更できます。

① サイズを変更するには、[ルーム] と [プレビューウィンドウ]、[タイムライン (ストーリーボード)] の境にある点線にマウスカーソルを移動すると、矢印のアイコンに変わります。

② サイズを変更したい方向にドラッグします。

③ この例では、[ルーム] が広がります。[ルーム] で多くの素材を一度に表示したいときなどに便利です。

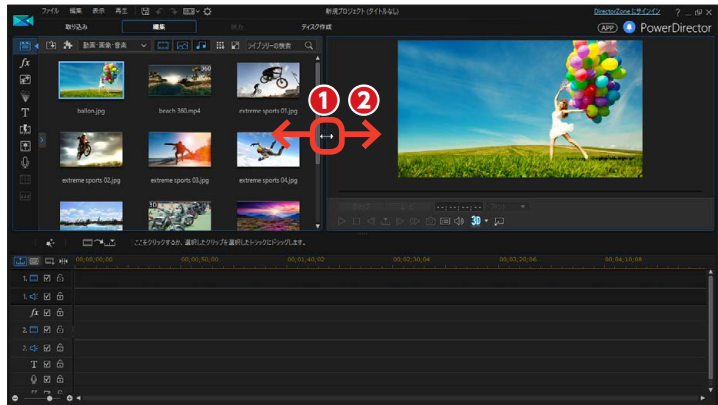
④ また、[タイムライン (ストーリーボード)] を上に広げると、タイムラインでの操作がしやすくなります。

⑤ [プレビューウィンドウの固定解除] をクリックします。

⑥ [プレビューウィンドウ] が独立して、画面は [ルーム] と [タイムライン (ストーリーボード)] の2つの構成になります。モニタが2つあれば [プレビューウィンドウ] を別のモニタに表示して、編集作業はメインのモニタ、プレビューは別のモニタと分けて、編集作業をしやすくなります (プレビューウィンドウの右上の [プレビューウィンドウの固定] をクリックで元に戻ります)。

メモ

お使いのモニタのサイズによって、表示される領域は異なります。



1

基本操作

プレビューウィンドウで出来栄を確認しよう

[プレビューウィンドウ] は編集したビデオの確認や、効果を付けた時のチェックとしてなど、ビデオ編集時によく使います。[プレビューウィンドウ] の操作は、[プレイヤーコントロール] で行います。

1 再生スライダー

プレビュー映像を手動で再生します。スライダーをドラッグして操作します。

2 クリップとムービー

[クリップ] をクリックすると、タイムラインで選択したクリップだけのプレビューになります。[ムービー] をクリックすると、編集しているビデオ全体のプレビューになります。

3 再生時間

現在の再生時間が【時：分：秒：コマ】で表示されます。

4 プレビュー画面のサイズ

[▼] をクリックして、表示されるメニューからプレビュー画面のサイズを変更します。

5 再生

ビデオを再生します。もう一度クリックすると、一時停止になります。

6 停止

プレビューの再生を停止します。

7 前のフレーム

1コマ前の映像に戻します。詳細にビデオを確認するときに使用します。

8 検索方法

7と9のボタンの役割を変更します。標準では[フレーム]になっているので、7と9のボタンは[前のフレーム]と[次のフレーム]になっています。表示されるメニューから単位を替えると、その機能が7と9のボタンに割り当てられます。たとえば [チャプター] に設定すると、7と9のボタンは [前のチャプター] と [次のチャプター] になります。

9 次のフレーム

1コマ次の映像に進みます。詳細にビデオを確認するときに使用します。

10 早送り

プレビューを早送りします。標準では2倍速ですが、クリックするごとに4倍速、8倍速、16倍速になります。

11 静止画として保存

プレビュー画面に表示されている映像を画像ファイルと



して保存します。クリックすると表示される [取り込んだファイル名] ダイアログボックスで、ファイル名を入力して [OK] をクリックします。

標準では [Jpeg] ファイルとして保存されますが、[編集] メニューの [基本設定] をクリックして、表示される [基本設定] ウィンドウの [ファイル] にある [スナップショットファイル名] でファイル形式を変更できます。

12 プレビュー画質／ディスプレイオプションの設定

プレビュー時の映像の画質を変更できます。低く設定すると映像は粗くなりますが、エフェクトなどをいくつも設定した映像ではそれらの処理が速くなり、すぐにプレビューすることができます。

13 音量調整

プレビュー時の音量を調整します。

14 3Dモードを有効にする

3D映像を作成するときに [▼] をクリックして設定します。3D映像の作成の詳細は、オンラインマニュアルをご覧ください。

15 プレビューウィンドウの固定解除

プレビューウィンドウを独立したウィンドウにします。



Chapter 2
イージーエディター

イージーエディター

【イージーエディター】は、ビデオ編集がはじめての人でも動画と画像を用意して、画面の指示に従って進めていくとビデオ作品ができあがる簡単ビデオ編集モードです。【イージーエディター】を使ってビデオ編集の流れをつかみましょう。

PowerDirectorを起動します。

① 作成するビデオのサイズを [16:9] か [4:3]、[9:16] から選んでクリックします。

② 【イージーエディター】 をクリックします。



① ソース

【マジックムービーウィザード】の【ソース】では、イージーエディターで使用する動画や画像ファイルを読み込みます。ビデオカメラの映像、デジタルカメラやスマートフォンなどで撮影した写真や動画を、あらかじめパソコンのフォルダーに保存しておきましょう。

【マジックムービーウィザード】が起動します。

① [動画および画像の読み込み] をクリックします。

② 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

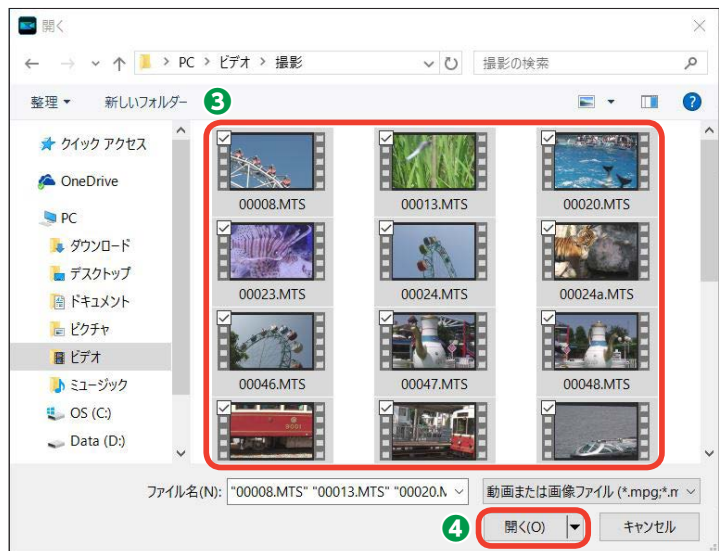
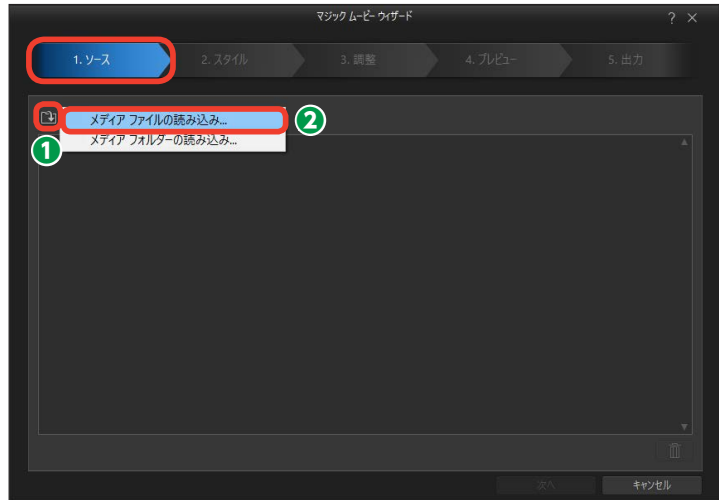
メモ

すでに作成するビデオの素材をフォルダーにまとめている場合は、②で [メディアフォルダーの読み込み] を選択します。

【開く】ウィンドウが表示されます。

③ 動画や画像ファイルが入っているフォルダーを表示して、[Ctrl] キーを押しながら、必要なファイルをクリックします。

④ 【開く】 をクリックします。



2

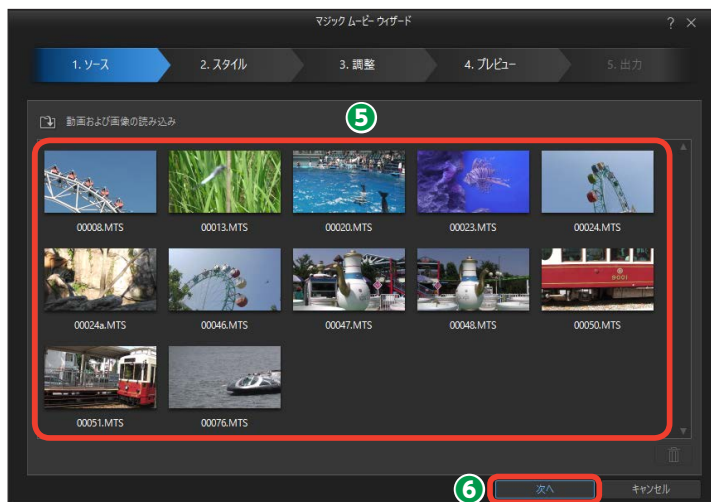
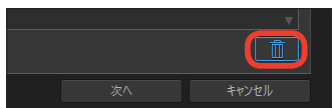
イージーエディター

⑤ 動画や画像ファイルが取り込まれます。

⑥ [次へ] をクリックします。

メモ

不要な動画や画像を取り込んだ場合は、動画や画像をクリックして、[選択したメディアの削除] をクリックします。



メモ

ビデオカメラやディスクから映像を取り込むには47～54ページをお読みください。取り込んだ動画は、[ドキュメント] フォルダ内の [CyberLink] → [PowerDirector] → [15.0] フォルダに保存されています。

②スタイル

[スタイル] では、あらかじめ用意されたマジックスタイルを選択します。Facebookを見ているような構成やTravelなど、作成したいビデオの雰囲気にあったマジックスタイルを選択すると、自動でビデオ編集が行われます。

① 使用するマジックスタイルをクリックします。

② [次へ] をクリックします。

メモ

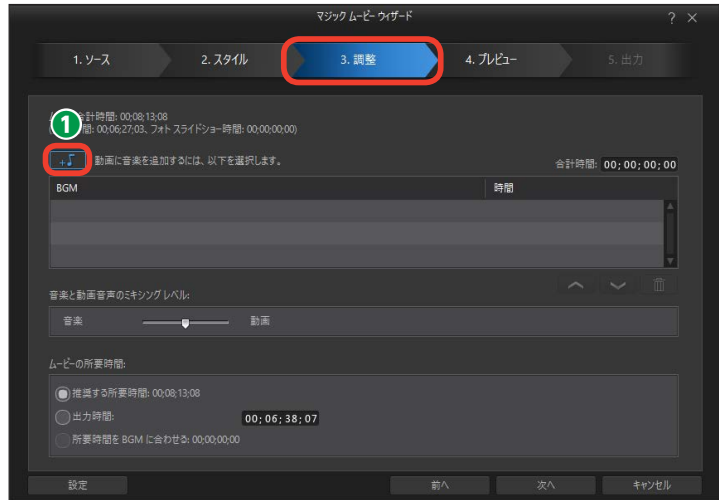
[オリジナル] を選択すると、オープニングタイトルとエンドタイトルを付けた、シンプルにビデオをつないだビデオが作成できます。



3 調整

[調整] では、作成するビデオにBGMを付けたり、動画の音声とBGMの音量を調整したり、ビデオの再生時間を調整したりします。ビデオの再生時間を短く設定すると、不要と思われる映像のカット編集が自動で行われます。

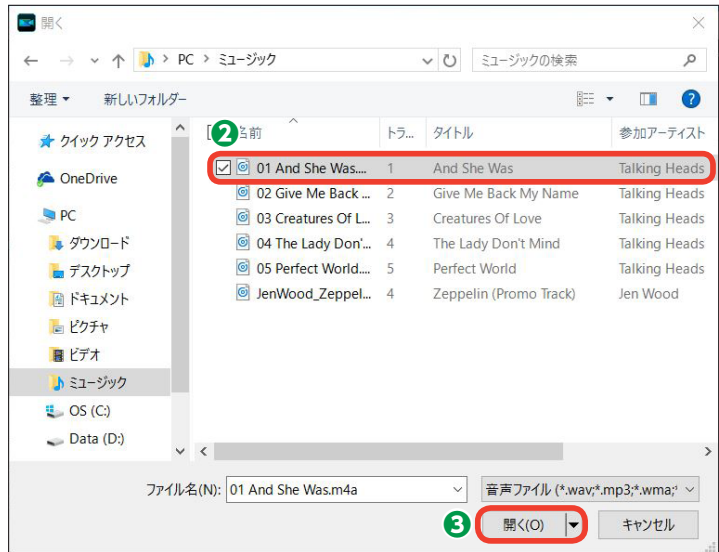
- 1 ビデオにBGMを付けるには、[音楽の追加] をクリックします。



[開く] ウィンドウが表示されます。

- 2 パソコンに取り込んでいるミュージックファイルを選択します。

- 3 [開く] をクリックします。

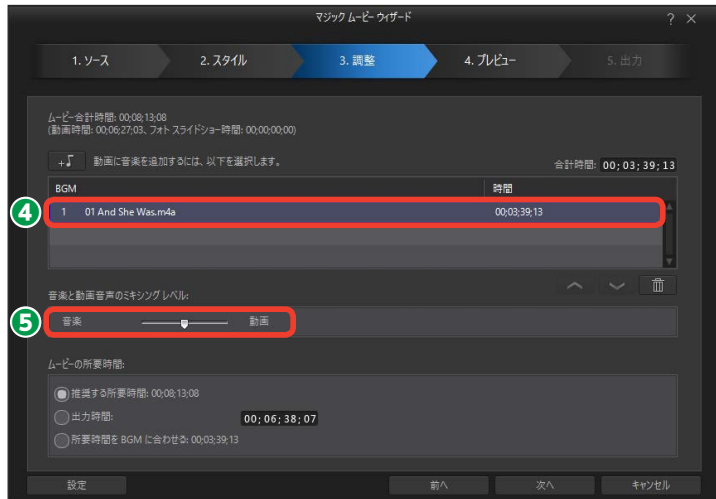


2

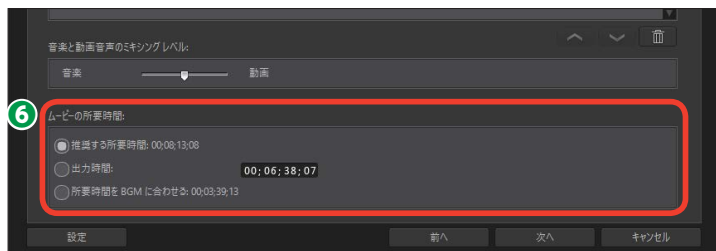
ユーザーエディター

④ ミュージックファイルが取り込まれます。

⑤ [音楽と動画音声のミキシングレベル] では、ビデオの音声とミュージックファイルの音の大きさを調整できます。[音楽] 側にドラッグするとBGMの音量が大きくなり、[動画] 側にドラッグするとビデオの音量が大きくなります。



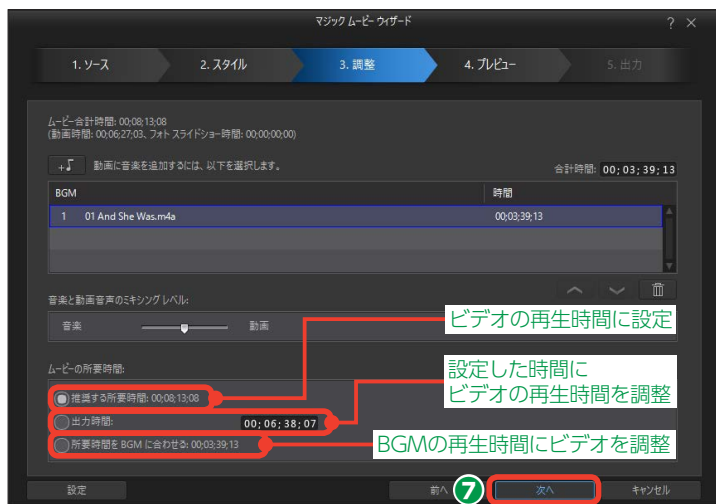
⑥ [ムービーの所要時間] では、ビデオの再生時間を設定できます。たとえば [出力時間] を10分に設定した場合、10分以上の動画を取り込んでいると、自動でカット編集が行われ、ビデオの長さが10分に調整されます。



⑦ [次へ] をクリックします。

メモ

[設定] をクリックすると、マジックムービーで行っているビデオの調整を細かく設定できます。



④プレビュー

【プレビュー】では、マジックムービーで自動編集されたビデオを再生して確認します。また、選択したスタイルによってタイトルなどのテキストを入力できます。ここまでのビデオ作成で修正したい箇所があれば【前へ】をクリックして、各ステップに戻って調整します。

ここでは【ピクチャーフレーム】スタイルを選択した場合の設定で説明します。【ピクチャーフレーム】スタイルでは、ビデオの開始と終わりにタイトルを表示できます。

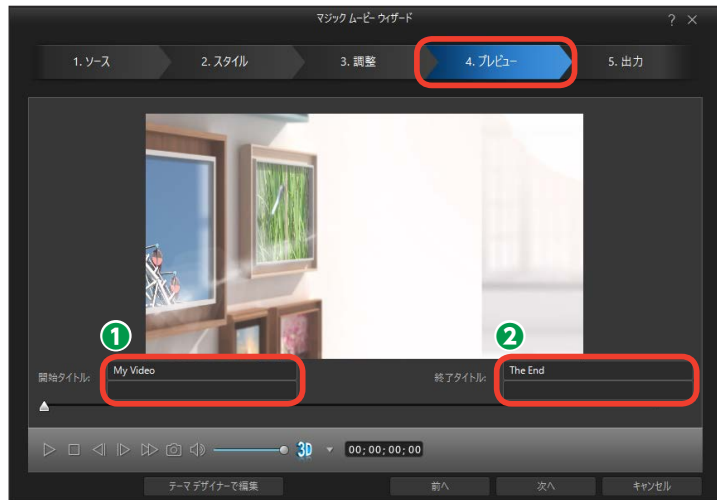
① オープニングタイトルを設定するには、【開始タイトル】の「My Video」をドラッグしてタイトルを入力します。下段のテキストボックスにはサブタイトルを入力できます。

② エンドタイトルを設定するには、【終了タイトル】の「The End」をドラッグしてタイトルを入力します。下段のテキストボックスにはサブタイトルを入力できます。

③ ビデオを確認するには、【再生】をクリックします。

④ ビデオが再生されます。

⑤ 内容を確認して、【次へ】をクリックします。



⑤出力

【出力】で、ビデオが完成します。保存する形式を選択してビデオ作品を作り上げましょう。保存形式にはビデオファイルやYouTubeなどのWebサイトにアップロード、DVDやBlu-rayディスクに書き込みなどがあります。

【出力】ステップが表示されます。ビデオを保存する形式を選択します。

注意

各項目をクリックすると、Power Directorの【フル機能エディター】画面に切り替わります。また、各項目を選択すると、ほかの項目に変更することはできません。どの方法でビデオを完成させるかを、きちんと決めてから選択しましょう。

①【動画出力】は、ビデオをビデオファイルやインターネットにアップロードする場合にクリックします。【フル機能エディター】の【出力】画面に切り替わります。このあとの操作については198ページをお読みください。

②【ディスク作成】では、DVDやBlu-rayディスクに書き込めます。クリックすると、【フル機能エディター】の【ディスク作成】画面に切り替わります。このあとの操作については208ページをお読みください。

③【詳細編集】では、自動編集されたビデオをさらに編集することができます。クリックすると、【フル機能エディター】の【編集】画面に切り替わります。このあとの操作については92ページをお読みください。



注意

【イージーエディター】では、作業の途中で編集したビデオを保存することができません。【出力】で、各項目をクリックすると表示される【フル機能エディター】の画面で、【ファイル】メニューから【プロジェクトの保存】をクリックして保存します。



Chapter 3
スライドショークリエーター

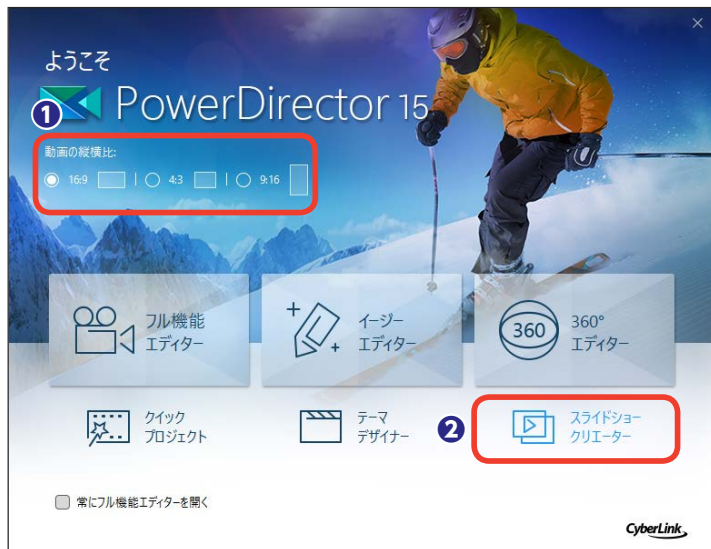
スライドショークリエイター

【スライドショークリエイター】は、お手持ちの写真を使って動きのあるスライドショーを作成できます。写真が拡大されたり、何枚もの写真が次々に重ねられたりする演出効果がセットされたテンプレートが用意されています。

PowerDirectorを起動します。

① 作成するスライドショーのサイズを [16:9] か [4:3]、[9:16] から選んでクリックします。

② 【スライドショークリエイター】をクリックします。



① ソース

[スライドショークリエイター] の [ソース] では、スライドショーで使用する画像ファイルを読み込みます。デジタルカメラやスマートフォンなどで撮影した写真を、あらかじめパソコンのフォルダーに保存しておきましょう。

[スライドショークリエイター] が起動します。

① [画像の読み込み] をクリックします。

② 表示されるメニューから [画像ファイルの読み込み] をクリックします。

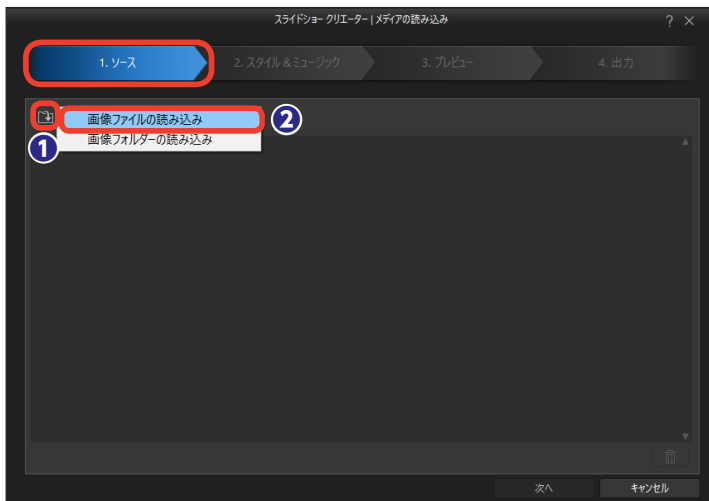
メモ

すでに作成するスライドショーの画像をフォルダーにまとめている場合は、②で [画像フォルダーの読み込み] を選択します。

[開く] ウィンドウが表示されます。

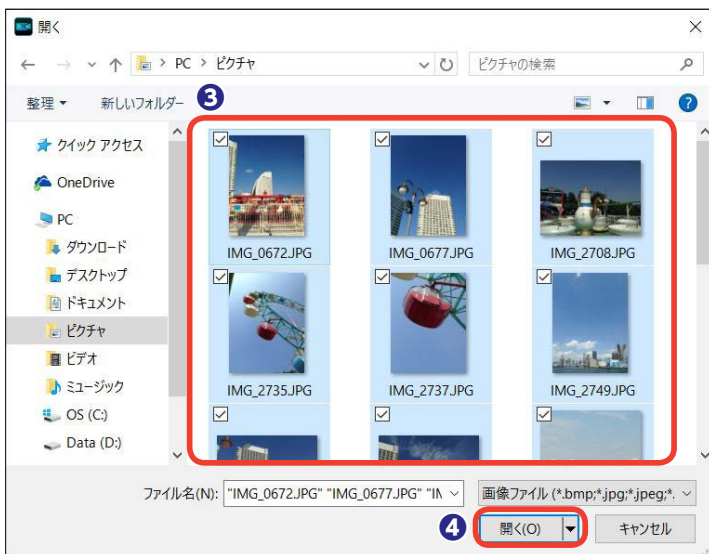
③ 画像ファイルが入っているフォルダーを表示して、[Ctrl] キーを押しながら、必要な画像ファイルをクリックします。

④ [開く] をクリックします。



3

スライドショークリエイター

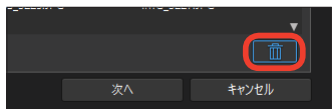


5 画像ファイルが取り込まれます。

6 [次へ] をクリックします。

メモ

不要な画像ファイルを取り込んだ場合は、画像をクリックして、[選択したメディアの削除] をクリックします。



メモ

写真は左上の写真から順に再生されます。写真をドラッグすると、写真の再生順を入れ替えられます。



2 スタイル&ミュージック

スタイル&ミュージックにはバラエティに富んだ写真の見せ方が揃っています。また、スライドショーにBGMを流す設定を行います。

1 使用するスタイルをクリックします。

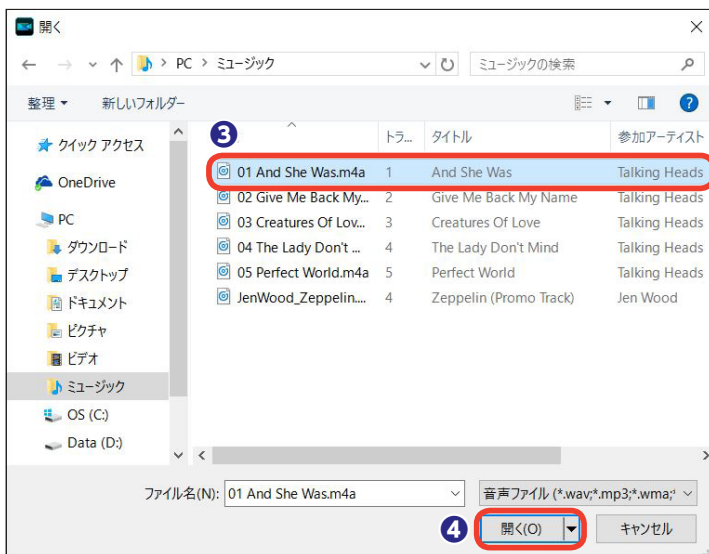
2 スライドショーにBGMを付けるには、[BGMの選択] をクリックします。



[開く] ウィンドウが表示されます。

③ パソコンに保存しているミュージックファイルを選択します。

④ [開く] をクリックします。



3

スライドショークリエイター

⑤ ミュージックファイルが取り込まれます。

⑥ [音楽の基本設定] をクリックします。

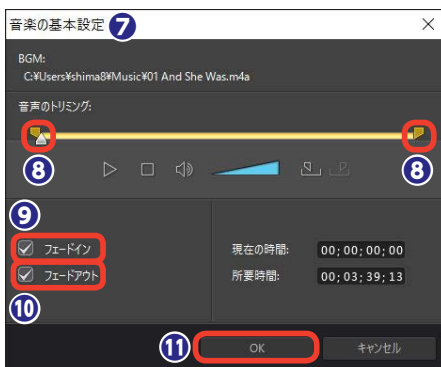
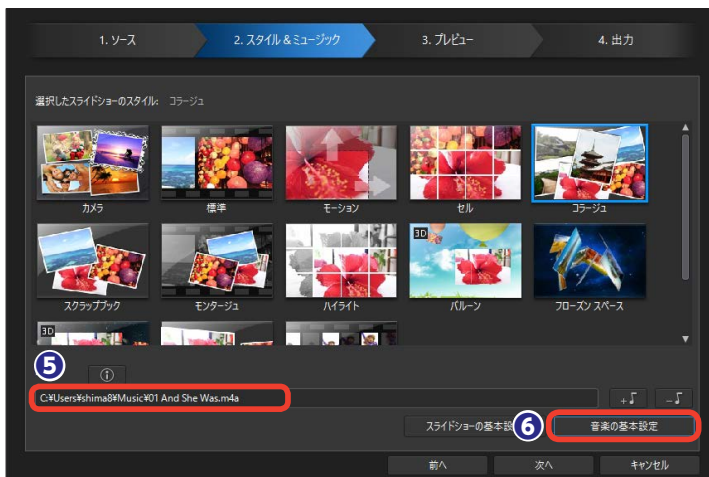
⑦ [音楽の基本設定] ウィンドウが表示されます。

⑧ ここでBGMの設定を行います。
[音声のトリミング] の [開始位置スライダー] や [終了位置スライダー] をドラッグすると、BGMのトリミングができます。

⑨ [フェードイン] にチェックを入れると、音量が徐々に大きくなる設定になります。

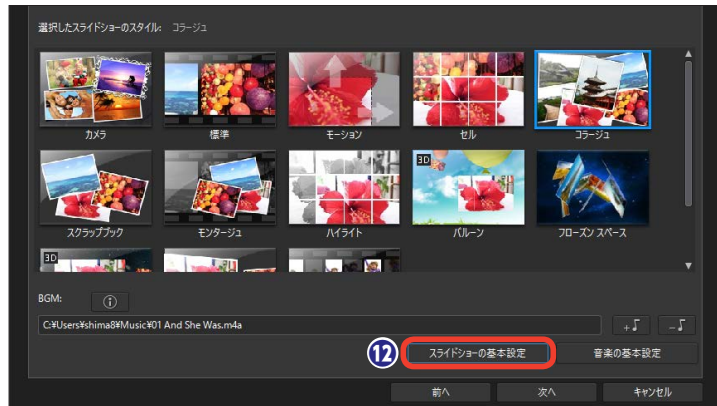
⑩ [フェードアウト] にチェックを入れると、音量が徐々に小さくなる設定になります。

⑪ [OK] をクリックします。



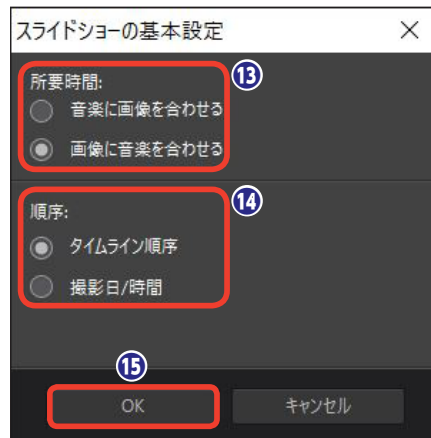
[スタイル&ミュージック] の画面に戻ります。

12 [スライドショーの基本設定] をクリックします。



[スライドショーの基本設定] ウィンドウが表示されます。

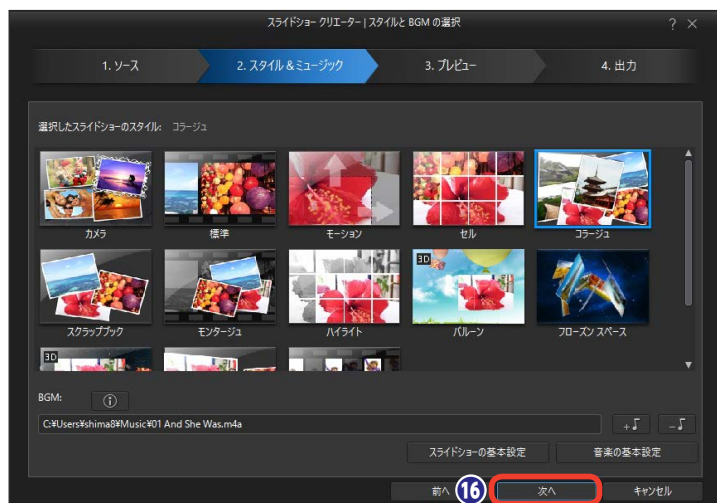
13 [所要時間] で、スライドショーの再生時間を設定します。[音楽に画像を合わせる] にチェックを入れると、BGMの再生時間がスライドショーの再生時間になります。[画像に音楽を合わせる] にチェックを入れると、スライドショーの再生時間に合わせてBGMが調整されます。



14 [順序] では画像の表示順を設定します。[タイムライン順序] にチェックを入れると、[1 ソース] (P.37) で取り込んだ写真の並び順に再生されます。[撮影日/時間] にチェックを入れると、撮影日時の古いものから順に再生されます。

15 [OK] をクリックします。

16 設定が終われば、[次へ] をクリックします。



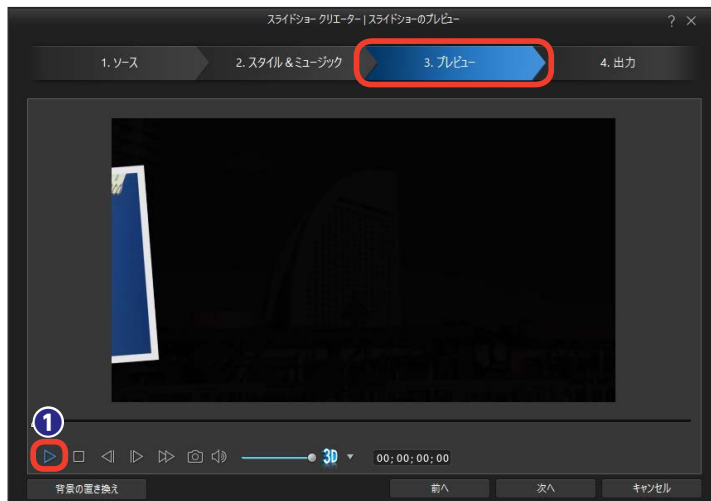
③プレビュー

[プレビュー] では、自動編集されたスライドショーを再生して確認します。また、スライドショーの背景を変更することもできます。ここまでのスライドショー作成で修正したい箇所があれば[前へ] をクリックして、各ステップに戻って調整します。

- 1 スライドショーを確認するには、[再生] をクリックします。

メモ

選択したスタイルによって画面左下に表示されるボタンが異なります。[カスタマイズ] ボタンが表示されたスタイルでは、[カスタマイズ] をクリックすると表示される [スライドショーデザイナー] で、写真の再生順などを変更できます。



3

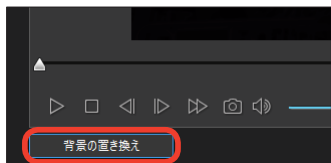
スライドショークリエイター

スライドショーが再生されます。

- 2 再生を一時停止するには [一時停止] をクリックします。
- 3 内容を確認して [次へ] をクリックします。

メモ

[背景の置き換え] をクリックすると、スライドショーの背景に使用されている画像を変更することができます。



④出力

【出力】で、スライドショーが完成します。保存する形式を選択してスライドショーを作り上げましょう。保存形式にはビデオファイルやYouTubeなどのWebサイトにアップロード、DVDやBlu-rayディスクに書き込みなどがあります。

【出力】ステップが表示されます。スライドショーを保存する形式を選択します。

注意

各項目をクリックすると、Power Directorの【フル機能エディター】画面に切り替わります。また、各項目を選択すると、ほかの項目に変更することはできません。どの方法でスライドショーを完成させるかきちんと決めてから選択しましょう。

①【動画出力】は、スライドショーをビデオファイルやインターネットにアップロードする場合にクリックします。【フル機能エディター】の【出力】画面に切り替わります。このあとの操作については198ページをお読みください。

②【ディスク作成】では、DVDやBlu-rayディスクに書き込めます。クリックすると、【フル機能エディター】の【ディスク作成】画面に切り替わります。このあとの操作については208ページをお読みください。

③【詳細編集】では、自動編集されたスライドショーをさらに編集することができます。クリックすると、【フル機能エディター】の【編集】画面に切り替わります。このあとの操作については92ページをお読みください。



注意

【スライドショークリエイター】では、作業の途中で保存することができません。【出力】で、各項目をクリックすると表示される【フル機能エディター】の画面で、【ファイル】メニューから【プロジェクトの保存】をクリックして保存します。

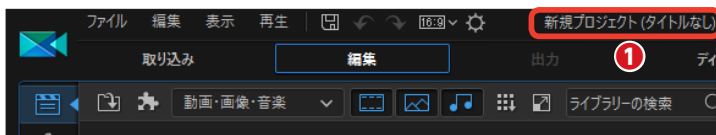


Chapter 4
新規作成と取り込み

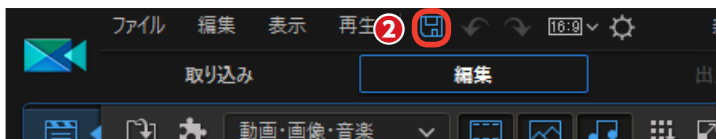
新規プロジェクトの作成と保存

PowerDirectorでは、一連のビデオ編集を「プロジェクト」と呼びます。[フル機能エディター]を選択するとビデオ編集画面が表示されますが、自動で[新規プロジェクト]が作成されていて、すぐにビデオ編集に取りかかれます。

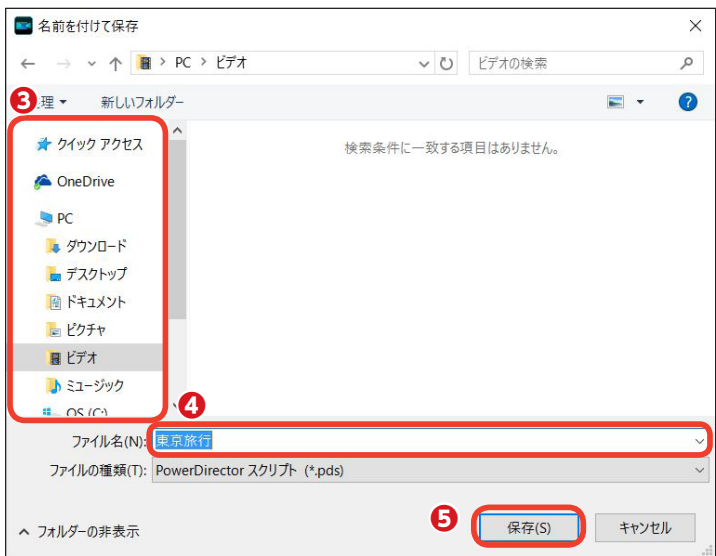
① [フル機能エディター] 画面のメニューバーに[新規プロジェクト (タイトルなし)] と表示されます。



② プロジェクトを保存するには、[プロジェクトの保存] をクリックします。



③ [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。プロジェクトファイルを保存する場所を選択します。



④ [ファイル名] にプロジェクトの名前を入力します。保存するファイルは[pds]という拡張子が付きます。

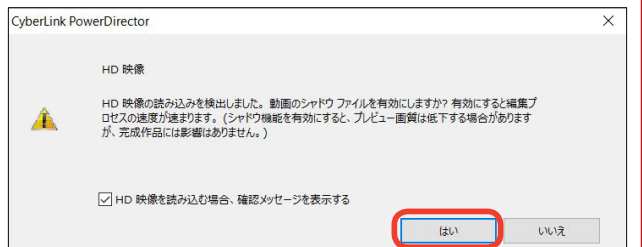
⑤ [保存] をクリックします。

メモ

取り込んだビデオファイルなどをカット編集しても元のビデオファイルがカットされたりすることはありません。

メモ

はじめてHD映像ファイルを読み込んだときに、[HD映像]ダイアログボックスが表示されます。[はい] をクリックするとプレビューウィンドウで映像を確認するとき本来のHD画像の高画質ではなく再生されますが、プレビューを行うための映像処理が速くなります。



6 [フル機能エディター] 画面のメニューバーにプロジェクトファイル名が表示されます。

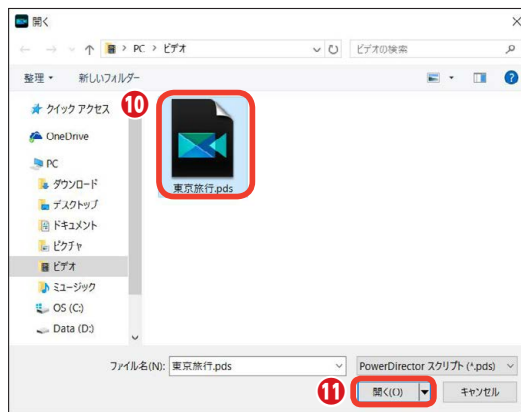
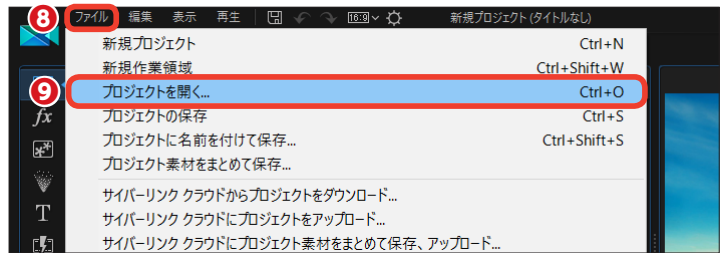
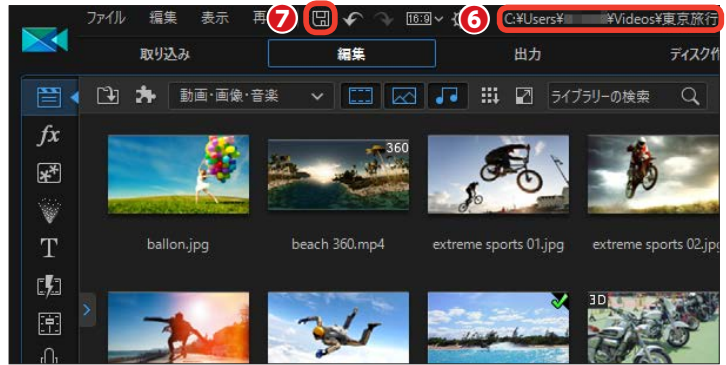
7 ビデオ編集でビデオクリップを配置したり、なにかの編集をしたときは、メニューバーの [プロジェクトの保存] をクリックして、そこまでの編集作業を保存しましょう。

8 保存したプロジェクトファイルを開くには、[フル機能エディター] 画面で [ファイル] をクリックします。

9 表示されるメニューから [プロジェクトを開く] をクリックします。

10 表示される [開く] ダイアログボックスで、プロジェクトファイルを選択します。

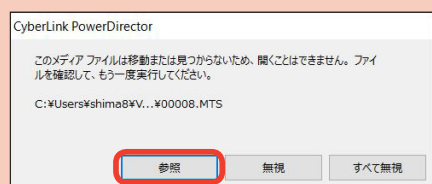
11 [開く] をクリックします。



注意

ビデオ編集で使用しているビデオファイルやミュージックファイルをパソコンの別の場所に移動したときなどは、プロジェクトファイルを開くときに確認のダイアログボックスが表示されます。これはプロジェクトファイルが記録していた場所に使用ファイルが見つからないためです。

[参照] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスで移動したファイルを選択すると、PowerDirectorに読み込まれます。[無視] や [すべて無視] をクリックすると、それらのファイルはプロジェクトに取り込まれないままプロジェクトファイルが開きます。

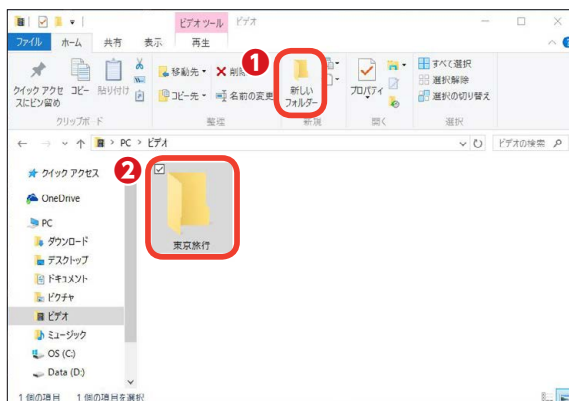


プロジェクトパックの作成

プロジェクトファイルは、取り込んだビデオファイルやミュージックファイルをタイムラインに配置した位置やトリミングなどの編集を記録しています。ビデオ編集に使用しているビデオファイルなども一緒にフォルダーに保管するには、プロジェクトパックを作成します。

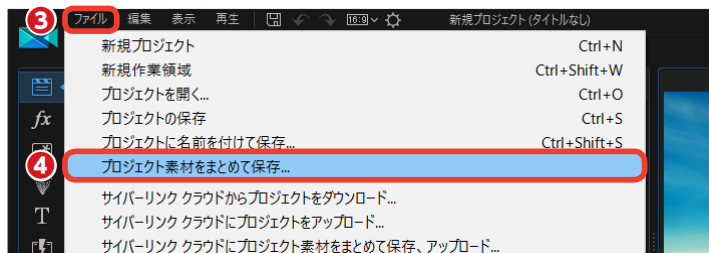
プロジェクトファイルでは、編集で使用しているビデオファイルなどはパソコンの [ビデオ] フォルダーにある [a.mov] のように、ビデオファイルの保管場所を記録しているだけです。作成したビデオの素材も一緒に保管するにはプロジェクトパックを作成します。プロジェクトパックを作成すると、そのフォルダーを別のパソコンに移動しても、同じ環境でビデオ編集が行えます。

1 まず、プロジェクトパックを保存するフォルダーを用意します。プロジェクトパックを保存する場所を、Windowsエクスプローラで表示して、[新しいフォルダー] をクリックします。



2 新規作成されたフォルダーに名前を付けます。ここでは [東京旅行] にしています。

3 PowerDirectorの [フル機能エディター] 画面で [ファイル] をクリックします。



4 表示されるメニューから [プロジェクト素材をまとめて保存] をクリックします。

5 [フォルダーの選択] ダイアログボックスが表示されます。新規に作成したフォルダーを選択します。



6 [フォルダーの選択] をクリックします。プロジェクトファイルとビデオ編集で使用しているビデオファイルやミュージックファイルなどがフォルダーに保存されます。

動画や画像、ミュージックファイルの取り込み

パソコンに保存してある動画や画像、ミュージックファイルをPowerDirectorに取り込みます。取り込んだファイルはメディアルームに [クリップ] として取り込まれます。取り込んだ [クリップ] をタイムラインに配置してビデオを編集します。

① ファイルを取り込むには [編集] をクリックします。

② [メディアルーム] をクリックします。

③ [メディアの読み込み] をクリックします。

④ 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

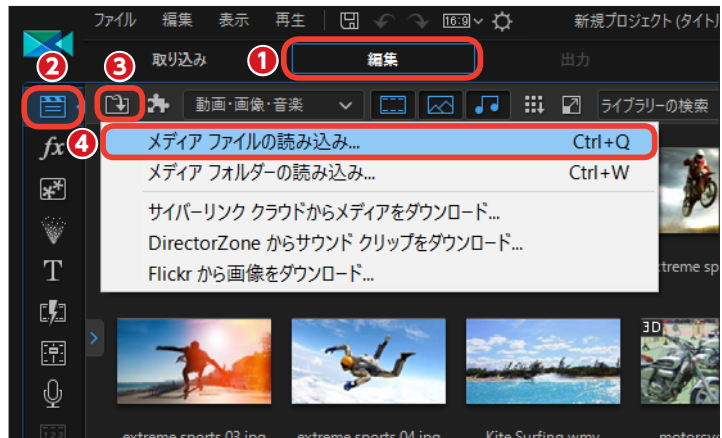
⑤ [ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。ファイルが保存されている場所を選択して、取り込むファイルをクリックします。

⑥ [開く] をクリックします。

⑦ 取り込まれたファイルは [メディアルーム] のライブラリに [クリップ] として表示されます。

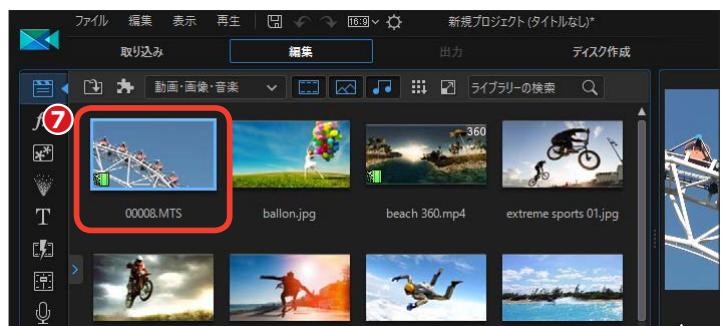
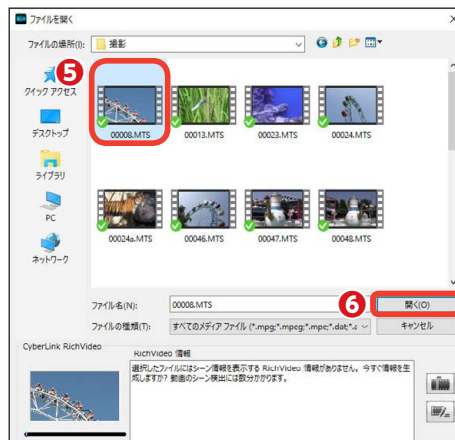
メモ

PowerDirectorで取り込める動画や画像、ミュージックファイルのファイル形式の詳細は、オンラインヘルプをお読みください。



4

新規作成と取り込み



DVカメラから映像を取り込む

ビデオカメラで撮影した映像をPowerDirectorに取り込みましょう。DVカメラから映像を取り込むには、パソコンにDVカメラをIEEE1394 (FireWire) ケーブルで接続します。ビデオテープの映像すべてや映像の一部だけを取り込むことができます。

DVテープの一部の映像を取り込む

1 DVカメラから映像を取り込むには、[取り込み] をクリックします。

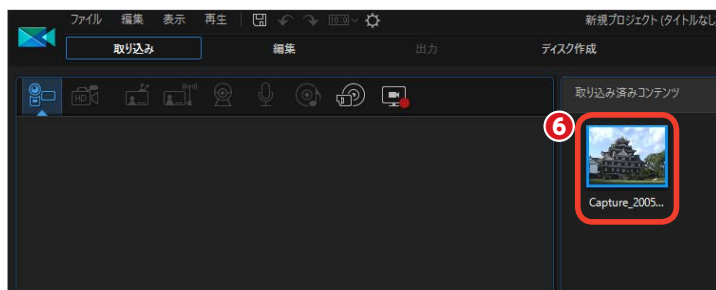
2 [取り込み] 画面が表示されます。[DVカメラから取り込み] をクリックします。

3 DVテープの一部の映像を取り込むには、キャプチャプレイヤーコントロールを使ってプレビューウィンドウに表示された映像で早送りしたり巻き戻したりして、取り込む映像の先頭を表示します。

4 [録画] をクリックします。

5 映像のキャプチャーが開始されます。必要なシーンの録画ができたから [停止] をクリックします。[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を入力して [OK] をクリックします。

6 映像がビデオクリップとして [取り込み済みコンテンツ] に表示されます。また、[メディアルーム] のライブラリにも自動でビデオクリップとして表示されます。



注意

DVカメラの映像をパソコンに取り込むには、パソコンにビデオキャプチャー機能が搭載されているか、別売りのビデオキャプチャーボードを用意する必要があります。

DVテープのすべての映像を取り込む

1 DVテープのすべての映像を取り込むには、[取り込みの基本設定]にある[自動一括取り込みを実行]をクリックします。



2 [クイックスキャン] ウィンドウが表示されます。DVテープを巻き戻すには、[巻き戻し]をクリックします。

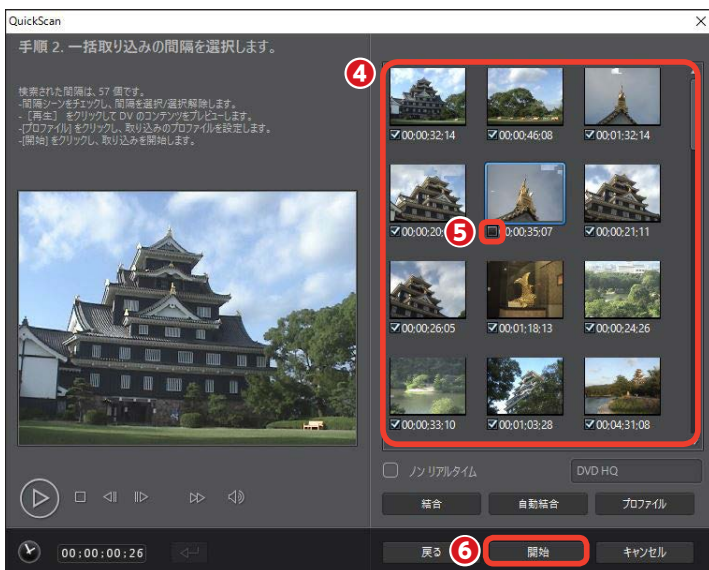


3 [開始] をクリックします。

メモ

PowerDirectorで取り込める動画や画像、ミュージックファイルのファイル形式の詳細は、オンラインヘルプをお読みください。

4 映像が切り替わるシーンごとに分割されたサムネイルが表示されます。



5 取り込みに不要なシーンはチェックマークをはずします。

6 [開始] をクリックすると、テープが自動で巻き戻り、チェックを入れているシーンの取り込みがはじまります。最後のシーンの取り込みが終わると[完了]画面が表示されるので、[完了] をクリックします。[取り込み済みコンテンツ] にシーンごとに分割されてビデオが取り込まれます。

AVCHDカメラから映像を取り込む

AVCHDカメラから映像を取り込むには、USBケーブルでパソコンと接続します。AVCHDカメラを外付けドライブと同じように操作して、映像を動画ファイルとして取り込みます。AVCHDカメラとパソコンの接続方法はビデオカメラの説明書をご覧ください。

① AVCHDカメラから映像を取り込むには、[編集] の [メディアルーム] をクリックします。

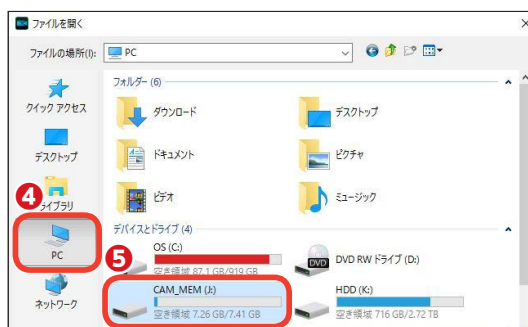
② [メディアの読み込み] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。



④ [ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。[ファイルの場所] で [PC] をクリックします。

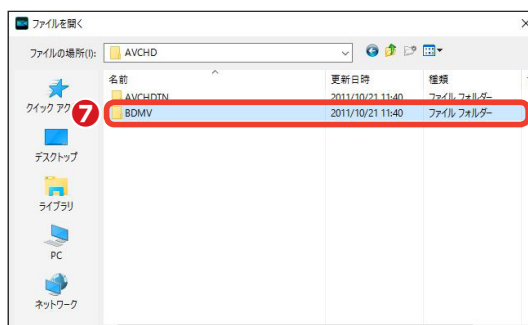
⑤ AVCHDカメラはパソコンにドライブとして認識されます。[デバイスとドライブ] に表示されるAVCHDカメラのアイコンをダブルクリックします。



⑥ AVCHDカメラのフォルダーが開きます。[AVCHD] をダブルクリックします。



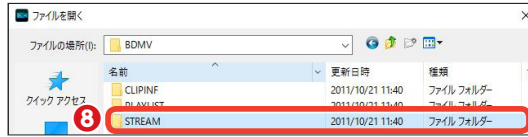
⑦ [AVCHD] フォルダーが開きます。[BDMV] をダブルクリックします。



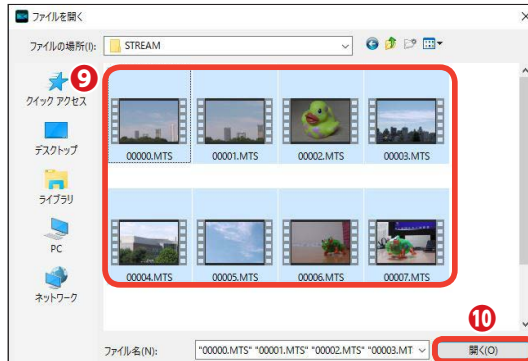
メモ

[取り込み] ボタンをクリックして、表示される [取り込み] 画面から、AVCHDカメラのシーン (タイトル) ごとに取り込む方法もあります。詳しくは、52ページの [メモ] をお読みください。

- 8 [BDMV] フォルダが開きます。
[STREAM] をダブルクリックします。



- 9 AVCHDカメラで撮影した映像が
動画ファイルとして表示されます。
[Ctrl] + [A] キーを押すと、すべ
ての映像を選択できます。必要なフ
ァイルを選択するには、[Ctrl] キー
を押しながら各ファイルをクリック
します。



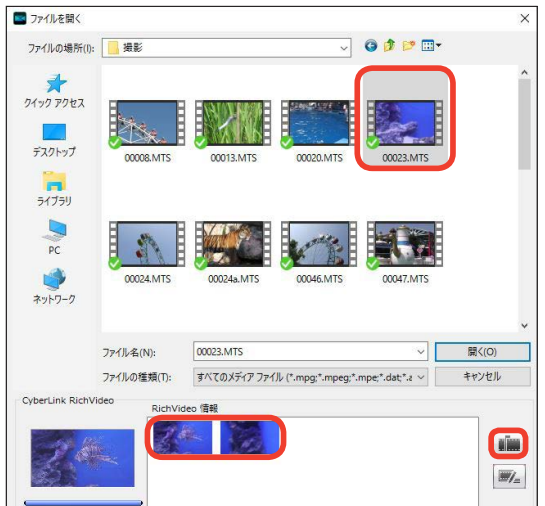
- 10 [開く] をクリックします。

- 11 [メディアルーム] のライブラリ
にビデオクリップとして取り込まれ
ます。



メモ

ファイルの選択時に [シーンの検出] をクリックすると、映像を分析してシーンごとに分割されます。分割されたシーンから必要なものだけをクリックして [開く] をクリックすると、ファイルのなかのそのシーンの部分だけがビデオクリップとして取り込まれます。不要なシーンを取り込み時点でカットできるので、ビデオを編集するときに便利です。



DVDディスクやAVCHDからの映像の取り込み

DVDディスクの映像を取り込むには、パソコンのDVDドライブにDVDディスクをセットします。なお、著作権保護機能が搭載された市販のDVDディスクなどからは映像を取り込むことはできません。また、取り込めてもそれらの映像を使用した作品は家庭で楽しむ範囲に限られます。

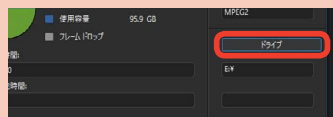
① DVDディスクから映像を取り込むには [取り込み] をクリックします。

② [取り込み] 画面が表示されます。[外部または光学デバイスから取り込み] をクリックします。

③ DVDディスクの内容が表示されます。ディスクの映像すべてを取り込むには [ムービー] にチェックを入れます。複数のタイトルから必要なタイトルのみを取り込むには、各 [タイトル] にチェックを入れます。

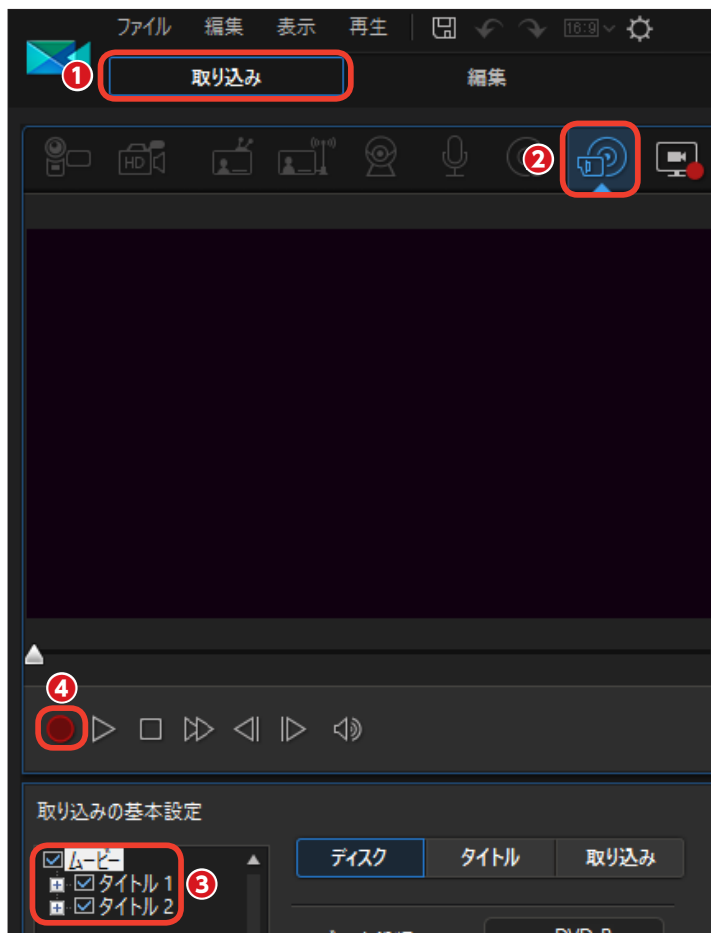
注意

取り込み元の内容が表示されない場合は、画面右下の [ドライブ] ボタンをクリックして、取り込むドライブを指定してください。



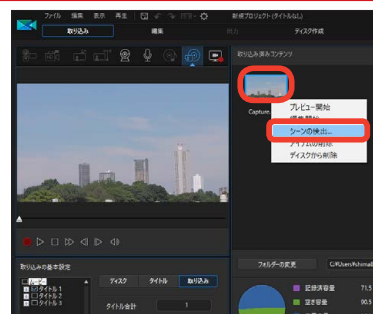
④ [録画] をクリックします。取り込みが終了すると、[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力して [OK] をクリックします。

⑤ 映像がビデオクリップとして [取り込み済みコンテンツ] に表示されます。また、[メディアルーム] のライブラリにも自動でビデオクリップとして表示されます。



メモ

AVCHDカメラからシーンごとに取り込むこともできます。AVCHDカメラをパソコンに接続し、このページの取り込みと同様の操作をします。取り込んだクリップを右クリックして、表示されるメニューから「シーンの検出」をクリックします。



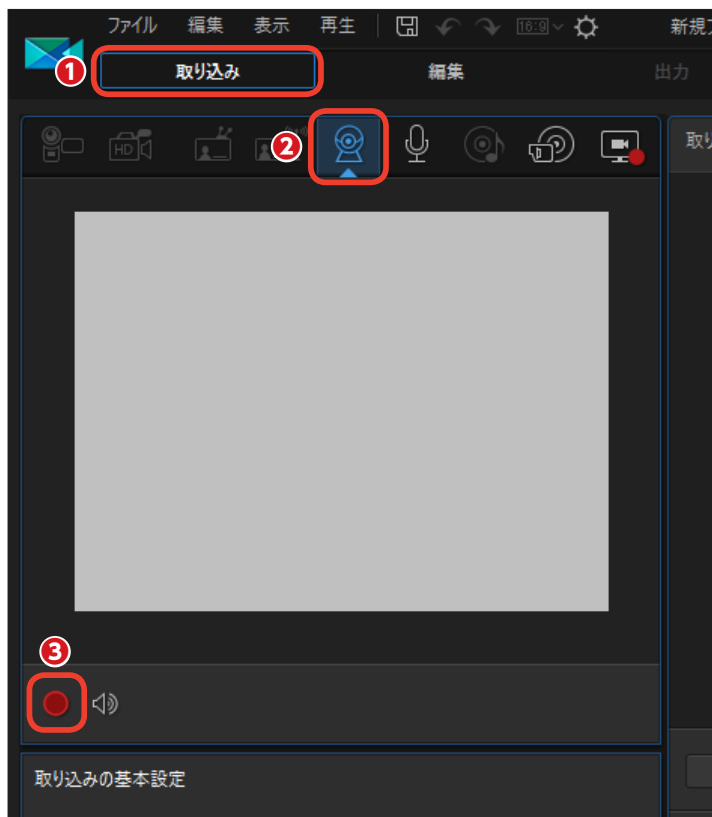
Webカメラからの映像の取り込み

PowerDirectorではWebカメラを使って映像や音声を取り込むことができます。Webカメラをパソコンに接続します。また、ノートパソコンなどに搭載されているカメラ機能を使って映像や音声を取り込むこともできます。

① Webカメラから映像を取り込むには [取り込み] をクリックします。

② [取り込み] 画面が表示されます。[Webカメラから取り込み] をクリックします。

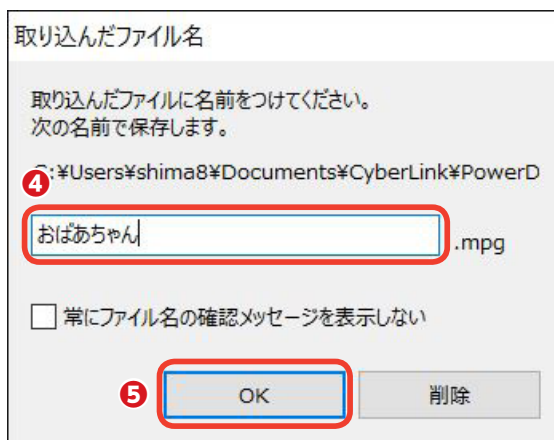
③ [録画] をクリックします。録画が終われば、もう一度赤いボタンをクリックします。



④ 録画が終了して、[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力します。

⑤ [OK] をクリックします。

[取り込み済みコンテンツ] にビデオが取り込まれます。



その他の映像の取り込み

PowerDirectorでは、その他にテレビの映像を取り込んだり、音声や音楽CDの曲を取り込んだりすることができます。テレビの映像を取り込むにはパソコンにテレビチューナー機能が搭載されているか、別売りのテレビチューナーボードが必要になります。

1 テレビの映像を取り込むには [取り込み] をクリックします。

2 アナログテレビチューナーの場合は左側の [テレビ信号から取り込み] を、デジタルテレビチューナーの場合は右側の [デジタルテレビ信号から取り込み] をクリックします。

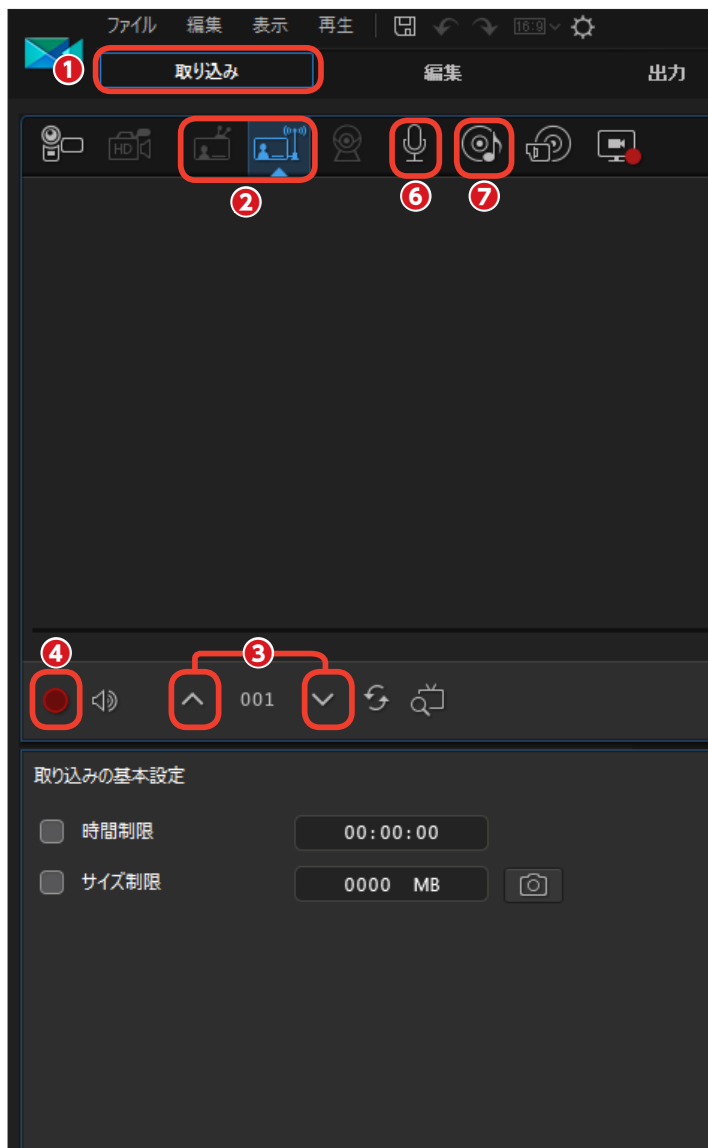
3 [↖] や [↘] をクリックしてチャンネルを合わせます。

4 [録画] をクリックします。取り込みが終了すると、[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力して [OK] をクリックします。

5 映像がビデオクリップとして [取り込み済みコンテンツ] に表示されます。また、[メディアルーム] のライブラリにも自動でビデオクリップとして表示されます。

6 音声を録音するには、[マイクから取り込み] をクリックします。取り込み方法は、188ページをお読みください。

7 音楽CDから曲を取り込むには、[CDから取り込み] をクリックします。曲の取り込み方法は、182ページをお読みください。



注意

著作権保護がかけられているテレビ番組の映像を取り込むことはできません。

360度ビデオを編集しよう

PowerDirector 15では、360度ビデオカメラで撮影した360度ビデオファイルを読み込み、編集して360度ビデオとして保存でき、360度見渡せるビデオをYoutubeやFacebookにアップロードできます。また、通常の2Dビデオ編集でビデオ素材として利用することもできます。

360度ビデオの編集

360度ビデオカメラで撮影した映像は、Equirectangularに対応したビデオファイルとして保存しておきます。ファイルの作成方法については、各360度ビデオカメラのマニュアルを参考にしてください。

PowerDirectorを起動します。

① [360°エディター] をクリックします。



② [360°ビデオプロジェクト] ウィンドウが表示されます。[閉じる] をクリックします。

注意

画面に書かれているように、360度エディタでは、扱うビデオファイルが特殊なため、[フル機能エディター] で編集に使用する機能の一部が使えないことがあります。どの機能が使用できないかについては、オンラインマニュアルをご覧ください。



4

新規作成と取り込み

360度ビデオの取り込み

① 360度ビデオファイルを取り込むには【編集】をクリックします。

② 【メディアルーム】をクリックします。

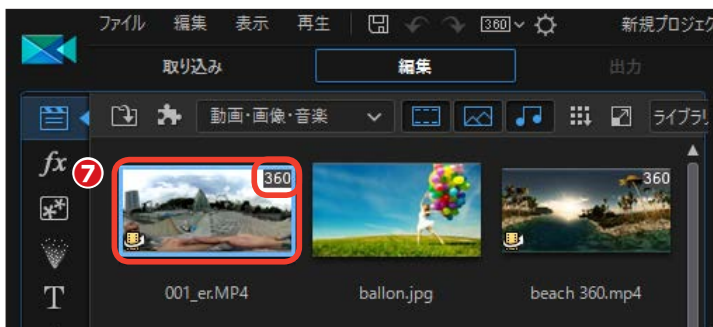
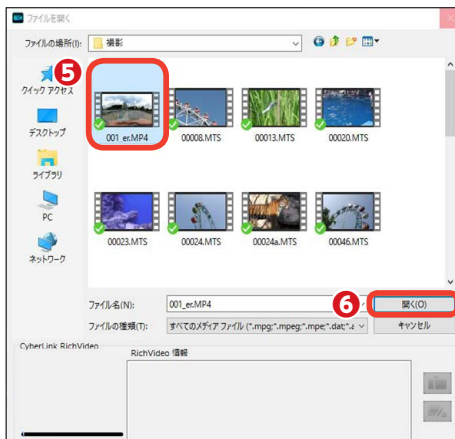
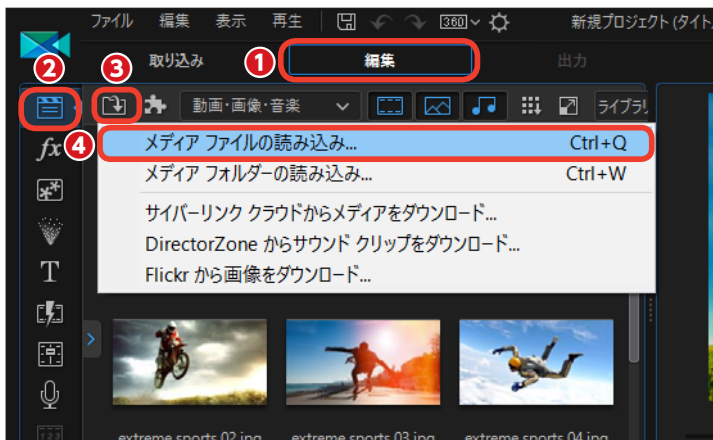
③ 【メディアの読み込み】をクリックします。

④ 表示されるメニューから【メディアファイルの読み込み】をクリックします。

⑤ 【ファイルを開く】ダイアログボックスが表示されます。ファイルが保存されている場所を選択して、取り込むファイルをクリックします。

⑥ 【開く】をクリックします。

⑦ 取り込まれた360度ビデオファイルは【メディアルーム】のライブラリに【クリップ】として表示されます。360度ビデオクリップには、クリップの右上に「360」と表示されます。



360度ビデオの編集と出力

① 360度ビデオクリップをタイムラインにドラッグします。

② [360°ビューアモードを有効にする] をクリックします。

③ [プレビューウィンドウ] が360度ビデオに対応します。画面をマウスでドラッグすると360度の映像が確認できます。

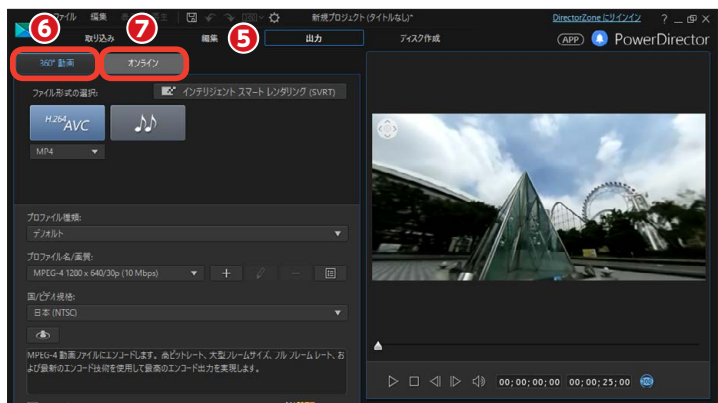
360度ビデオの編集を行います。編集については6章をお読みください。

④ ビデオの編集が終わったら、[出力] をクリックします。

⑤ [出力] 画面が表示されます。ここでは作成した360度ビデオを保存したり、YouTubeやFacebookにアップロードできます。

⑥ 360度ビデオファイルとして保存するには、[360° 動画] をクリックします。ビデオは [H.264 AVC] の [MP4] 形式で保存できます。保存方法は199ページをお読みください。

⑦ YouTubeやFacebookにアップロードするには [オンライン] をクリックします。アップロード方法は204～207ページをお読みください。



メモ

YouTubeやFacebookにアップロードした360度ビデオや、作成した360度ビデオファイルをPowerDVD 16 Ultra (パッチが必要) で再生すると、360度ビデオとしてドラッグして楽しめます。

360度ビデオの2D変換

360度ビデオクリップをフル機能エディターで編集することができます。この場合は360度見渡せる映像ではなく、プレビューウィンドウに表示される映像のみのビデオになります。

① フル機能エディターで、56ページと同様にして360度ビデオクリップを読み込んで、タイムラインにドラッグします。[360°の動画がタイムラインに追加されています]と表示されたら、[360°映像を使って従来の動画を作成]をクリックします。

② [ビューデザイナー] ウィンドウが表示されます。

③ プレビューウィンドウをマウスでドラッグして、360度ビデオから表示する映像を決定します。

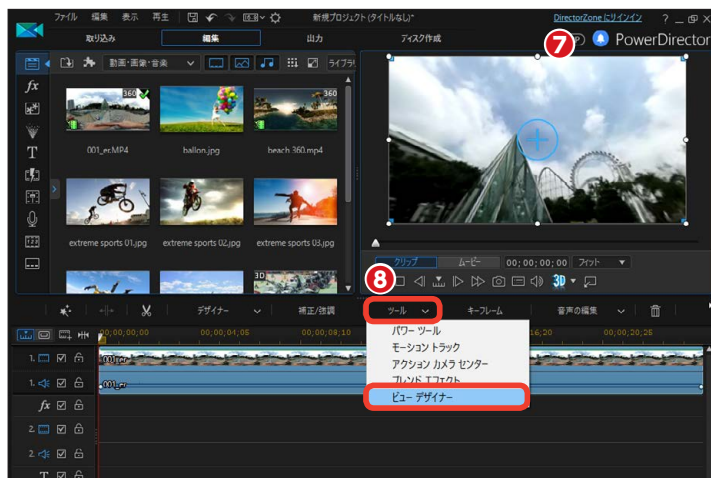
④ 表示する映像は [表示の方向] の各スライダーをドラッグして決定することもできます。

⑤ [映像の拡大/縮小] ではスライダーをドラッグして表示する映像範囲を選択できます。

⑥ [OK] をクリックします。

⑦ フル機能エディターの画面に戻ります。映像は一方から見たビデオになります。

⑧ 360度ビデオの表示映像を再修正するには、クリップをクリックして、[ツール] から [ビューデザイナー] をクリックします。





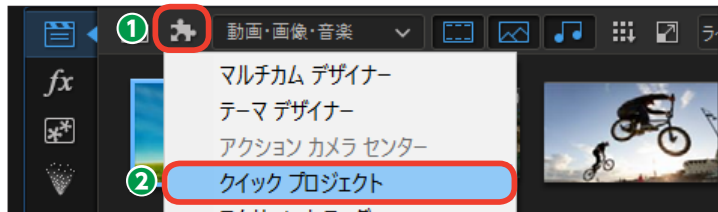
Chapter 5
プラグインでビデオ編集

クイックプロジェクト

【クイックプロジェクト】は、あらかじめビデオクリップやエフェクト、パーティクルが配置され編集されたテンプレートです。このテンプレートにお手持ちのビデオやミュージックファイルを挿入すると、簡単に見栄えのいいビデオができあがります。

クイックプロジェクトの表示

① 【クイックプロジェクト】を使用するには、【プラグイン】をクリックします。



② 表示されるメニューから【クイックプロジェクト】をクリックします。

③ 【クイックプロジェクト】をはじめて使用するとき、【クイックプロジェクト】ウィンドウが表示されて、クイックプロジェクトの作成方法が表示されます。

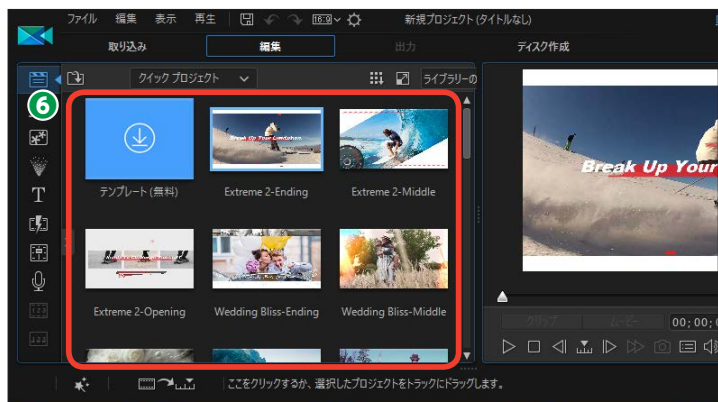


④ 次回からこのウィンドウを表示させないようにするには、【次回からこのメッセージを表示しない】にチェックを入れます。

⑤ 【閉じる】をクリックします。

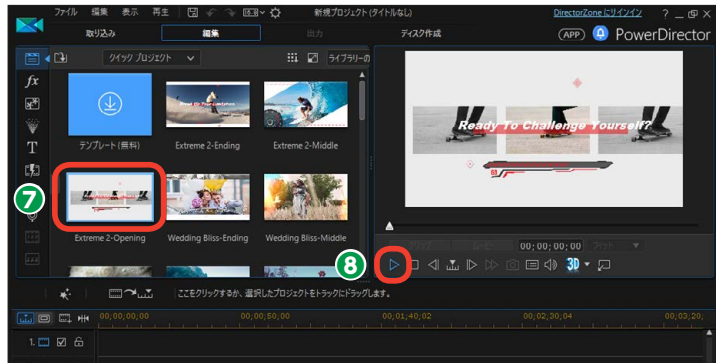
⑥ メディアライブラリーにテンプレートが表示されます。テンプレートには「スポーツ」や「Adventure」、「Anniversary」などのスポーツや旅行、結婚式などをテーマにしたものがあります。

各テンプレートは、ビデオの始めに使用する「オープニング (Opening)」とビデオの途中で使用する「中間 (Middle)」、終わりに使用する「エンディング (Ending)」があります。



7 まずは、どんなテンプレートがあるかを確認してみましょう。テンプレートをクリックします。

8 [再生] をクリックして、テンプレートのビデオを見ます。



5

プラグインでビデオ編集

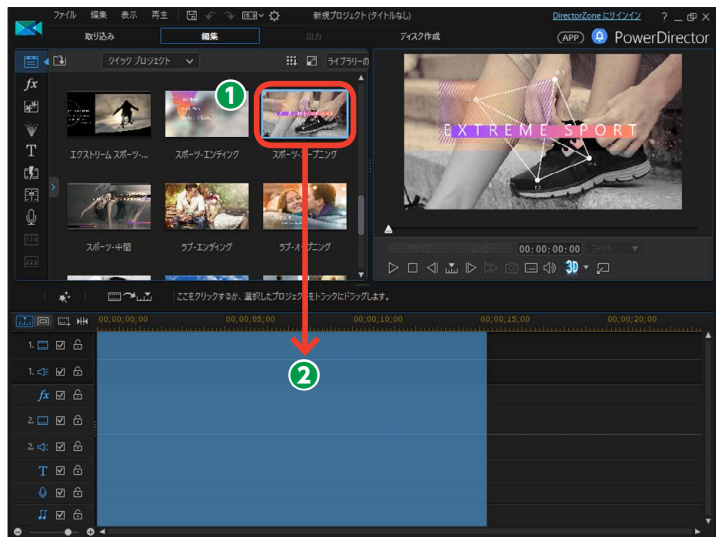
クイックプロジェクトを使用する

1 使用するテンプレートが決定したら、テンプレートをタイムラインにドラッグします。

2 テンプレートを構成しているビデオクリップやエフェクトなどが、タイムラインに配置されます。

メモ

テンプレートのミュージックはプレビューの際に参考として再生されますが、テンプレートをタイムラインに配置してもミュージックはクリップとして配置されません。お好みのBGMを配置してお使いください。



3 お手持ちのビデオクリップやミュージッククリップを表示するために [クイックプロジェクト] の [V] をクリックします。

4 [動画・画像・音楽] をクリックします。

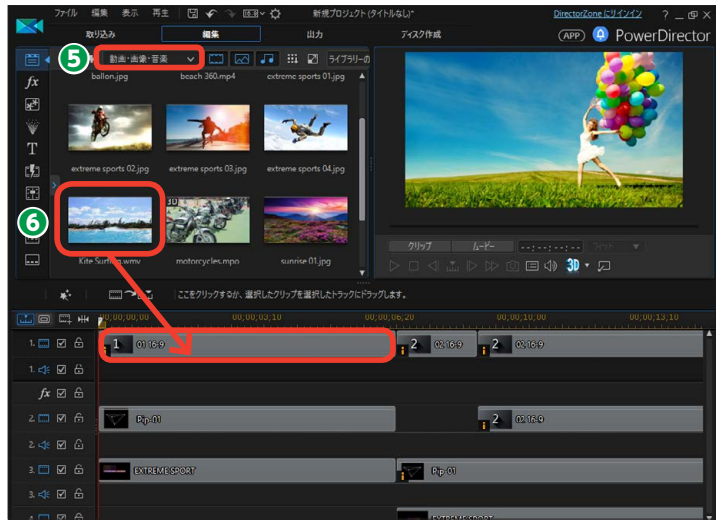


5 メディアライブラリーに [動画・画像・音楽] が表示されます。

6 タイムラインに配置されたクリップには、[1] や [2] などの番号が表示されるクリップがあります。これらの番号クリップにお手持ちのビデオクリップをドラッグします。

注意

適用したビデオクリップを他のビデオクリップに変更するには、メニューバーにある [元に戻す] をクリックしてから、他のビデオクリップを番号クリップにドラッグします。

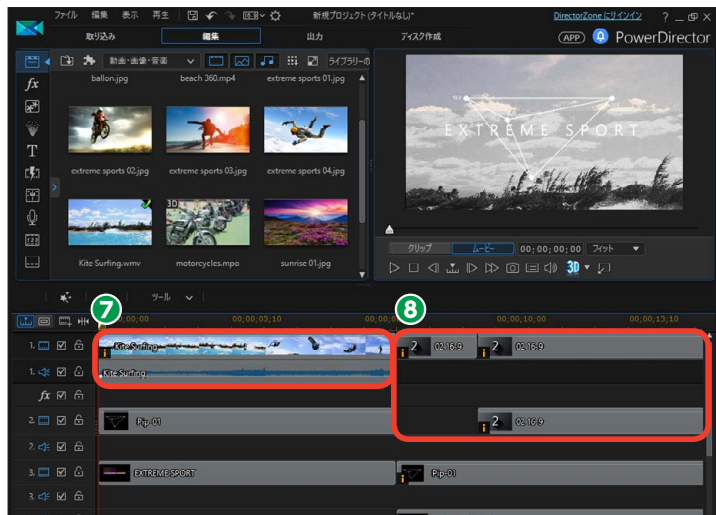


7 番号クリップがビデオクリップに置き換えられます。

8 同様にして他の番号クリップにビデオクリップをドラッグします。

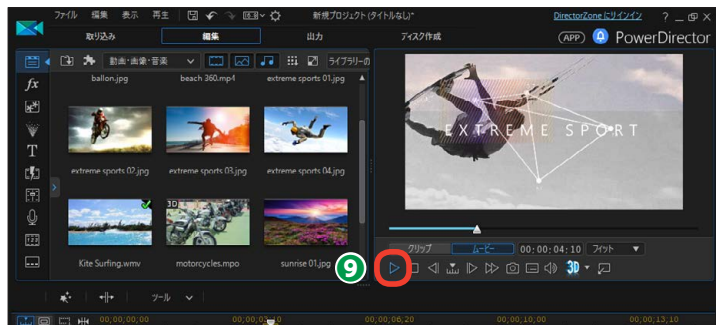
メモ

同じ番号クリップには、同じビデオクリップを配置します。



9 [再生] をクリックして、編集したビデオの内容を確認します。

10 同様にしてテンプレートの「中間 (Middle)」や「エンディング (Ending)」をタイムラインに配置してビデオを編集します。



クイックプロジェクトをダウンロードする

[DirectorZone] (P.225参照) には、クイックプロジェクトのテンプレートが多数用意されています。これらのテンプレートをダウンロードして使用することができます。

① テンプレートをダウンロードするには、[テンプレート (無料)] をクリックします。

② Webブラウザが起動して、DirectorZoneのページが表示されます。

③ [クイックプロジェクト] をクリックして、テンプレートのジャンルを選択します。

④ テンプレートを選び、[ダウンロード] をクリックします。

⑤ [このテンプレートの使い方について] ダイアログボックスで、[ダウンロード] をクリックします。

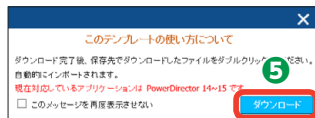
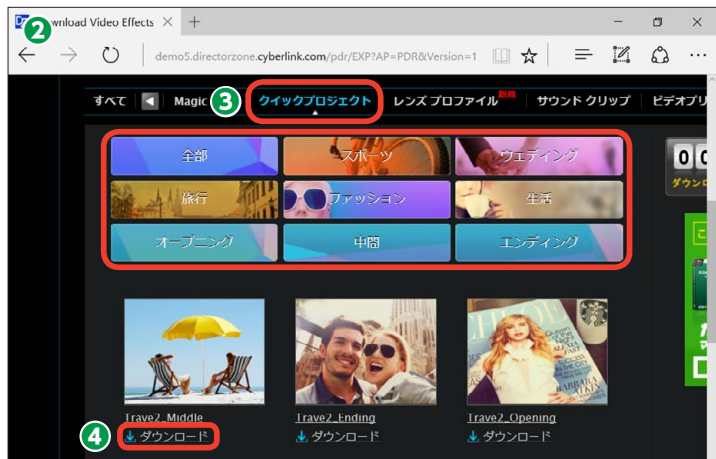
⑥ メニューが表示されたら、[フォルダーを開く] をクリックします。

⑦ ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

⑧ テンプレートが、[クイックプロジェクト] に表示されます。

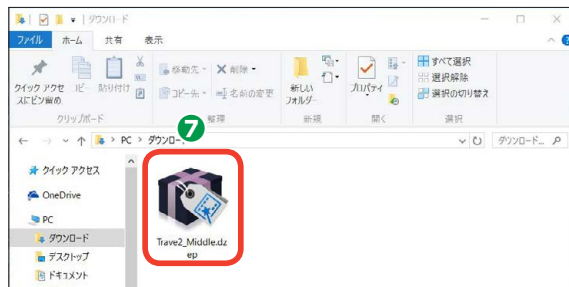
メモ

[DirectorZone] からダウンロードするには、まず [DirectorZone] に登録しておく必要があります。[DirectorZone] に登録するには、225ページをお読みください。



メモ

[保存] をクリックすると、デフォルトでは [ダウンロード] フォルダに保存されます。



5

プロブレインでビデオ編集

7 [モデル] の [▼] をクリックします。

8 表示されるメニューから、撮影したアクションカメラの機種名を選択します。

9 アクションカメラの機種に最適な補正が自動で行われます。

10 使用したアクションカメラ名が見つからなかったときは、[レンズプロファイルのダウンロード] をクリックします。

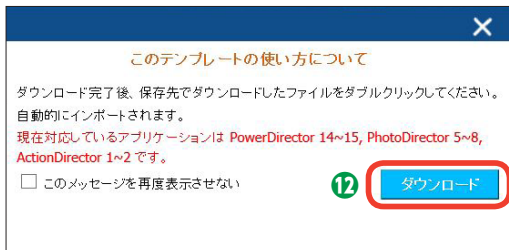
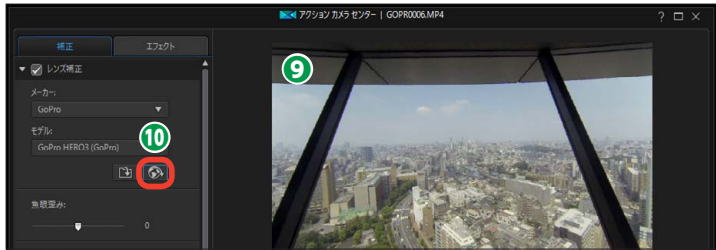
11 Webブラウザが起動して、[DirectorZone] のページが表示されます。お使いのアクションカメラの [ダウンロード] をクリックします。

12 [このテンプレートの使い方について] ダイアログボックスが表示されます。[ダウンロード] をクリックします。

13 「ダウンロードが終了しました」と表示されたら、Webブラウザを終了します。

メモ

[DirectorZone] からダウンロードするには、まず [DirectorZone] に登録しておく必要があります。[DirectorZone] に登録するには、225ページをお読みください。



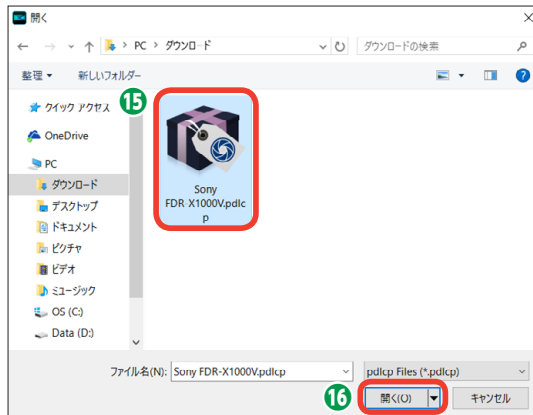
メモ

ダウンロードしたファイルは、デフォルトでは [ダウンロード] フォルダに保存されます。

14 [レンズプロファイルの読み込み] をクリックします。



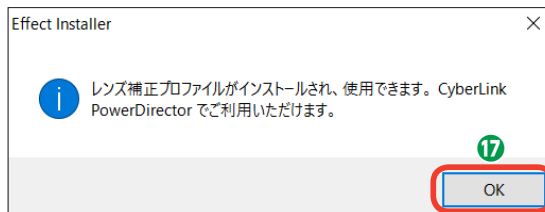
15 [開く] ダイアログボックスが表示されます。ダウンロードしたファイルを選択します。



16 [開く] をクリックします。

17 インストールの確認ダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

読み込んだレンズプロファイルは、[メーカー] と [モデル] 欄に表示されます。



映像の手動補正

1 レンズ補正は、手動で調整できます。歪みを調整するには、[魚眼歪み] のスライダーをドラッグします。右にドラッグすると、丸い歪みがなだらかになります。

2 [周辺光量] のスライダーをドラッグすると、周りの光量を補正できます。



- ③ [周辺光量中心点] のスライダーをドラッグすると、周りの光量の適用部分を調整できます。左にドラッグすると、中央に向かって大きくなり、右にドラッグすると、端に向かって小さくなります。



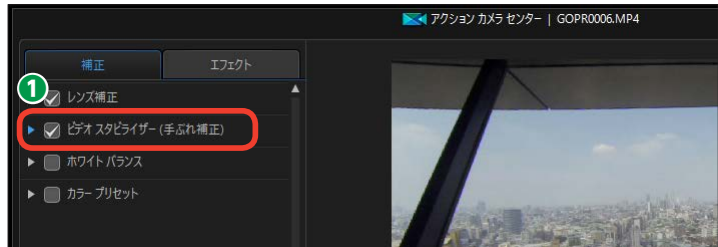
5

プラインでビデオ編集

手ぶれ補正

アクションカメラを三脚を使わずに撮影した場合は、[手ぶれ補正] をかけるとブレが補正されます。

- ① 手ぶれを補正するには [ビデオスタビライザー] にチェックを入れて [▶] をクリックします。



- ② 設定画面が表示されます。

- ③ [強度] のスライダーをドラッグします。数値を大きくすると、手ぶれ補正が強くなります。

- ④ [回転手ぶれ補正] にチェックを入れると、カメラが左右に回転する映像を補正します。

- ⑤ [拡張スタビライザー (手ぶれ補正) を使う] にチェックを入れると、強力な手ぶれ補正が行われます。

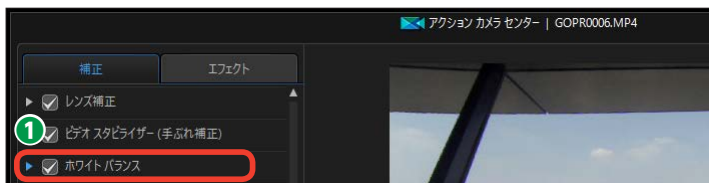


注意

[拡張スタビライザー (手ぶれ補正) を使う] を有効にしてメイン画面でプレビューするには高いマシンパワーを必要とします。なめらかにプレビューできない場合は、[プレビュー画質/ディスプレイオプションの設定 (→P.26)] で [ノンリアルタイムプレビュー] にします。

ホワイトバランスの補正

① ホワイトバランスを補正するには、[ホワイトバランス] にチェックを入れて [▶] をクリックします。



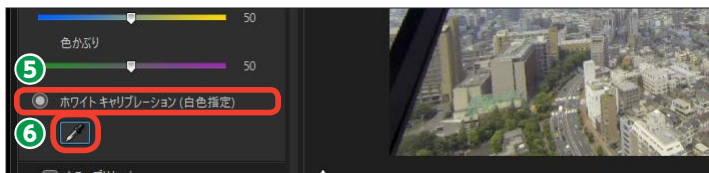
② 設定画面が表示されます。

③ 色味を調整するには、[色温度] にチェックを入れてスライダをドラッグします。数値を大きくすると暖色に、小さくすると寒色になります。



④ 色かぶりを調整するには、[色かぶり] のスライダをドラッグします。

⑤ 白味を調整するには、[ホワイトキャリブレーション] にチェックを入れます。



⑥ [修正] をクリックします。

⑦ [ホワイトキャリブレーション] ダイアログボックスが表示されます。



⑧ スライダをドラッグして、映像の本来白色の部分を表示します。

⑨ 本来白色の部分をクリックします。白味が修正された映像が右画面に表示されます。

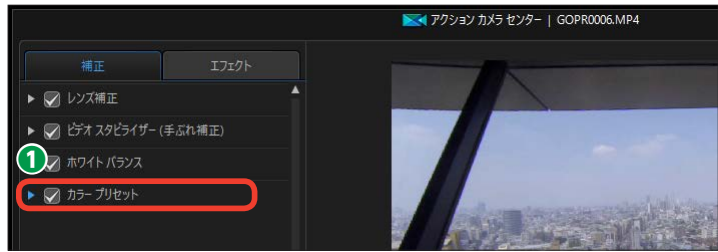
⑩ [OK] をクリックします。

⑪ [アクションカメラセンター] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

カラープリセット

[カラープリセット] では、CyberLink ColorDirectorのカラープリセットをビデオクリップに適用できます。

① カラープリセットを適用するには、[カラープリセット] にチェックを入れて [▶] をクリックします。



② 設定画面が表示されます。

③ 表示されるカラープリセットをクリックすると、映像に適用されます。

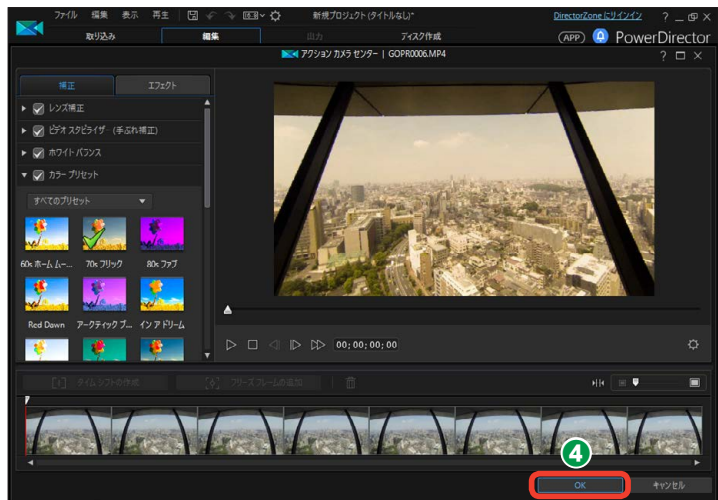
メモ

カラープリセットの適用を取り消すには、[カラープリセット] のチェックマークをクリックして外します。



④ [OK] をクリックします。

調整したビデオクリップがタイムラインに配置されます。



メモ

[ColorDirectorで編集] をクリックすると、CyberLink ColorDirectorをお持ちの方は、CyberLink ColorDirectorが起動して、さらに高度な色補正ができます。



5

プラグインでビデオ編集

リピート再生

[リピート再生] は、クリップの指定した範囲を繰り返し再生します。繰り返す映像をカットしていくつも並べて編集する手間が省け、効率よく作業できます。

① [エフェクト] をクリックします。

② [タイムシフトエフェクト] の [▶] をクリックします。

③ 設定画面が表示されます。繰り返し再生するクリップの先頭にスライダーをドラッグします。

④ [タイムシフトの作成] をクリックします。

⑤ タイムシフトを設定する範囲がオレンジの枠で表示されます。

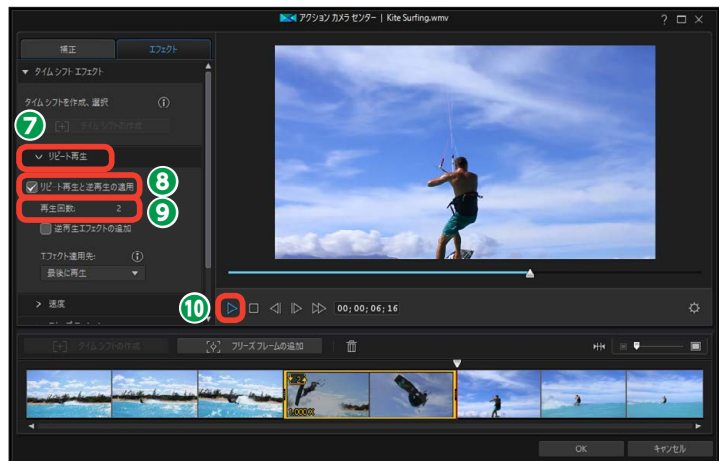
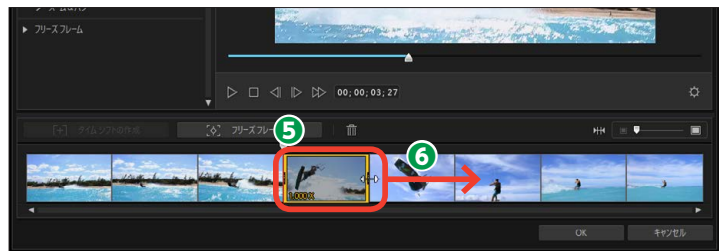
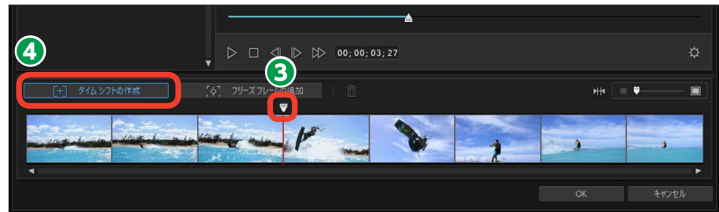
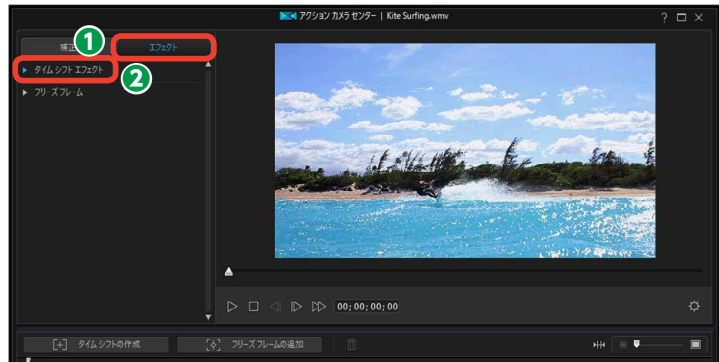
⑥ オレンジの枠の端にマウスポインターを移動して、枠をドラッグするとタイムシフトの範囲を調整できます。

⑦ [リピート再生] の [>] をクリックします。

⑧ [リピート再生と逆再生の適用] にチェックを入れます。

⑨ 繰り返す回数を [リピート回数] の数値に入力します。

⑩ [再生] をクリックして、効果を確認します。



メモ

タイムシフトを削除するには、オレンジの枠をクリックして、[選択したフリーズフレームまたはタイムシフトの削除] をクリックします。

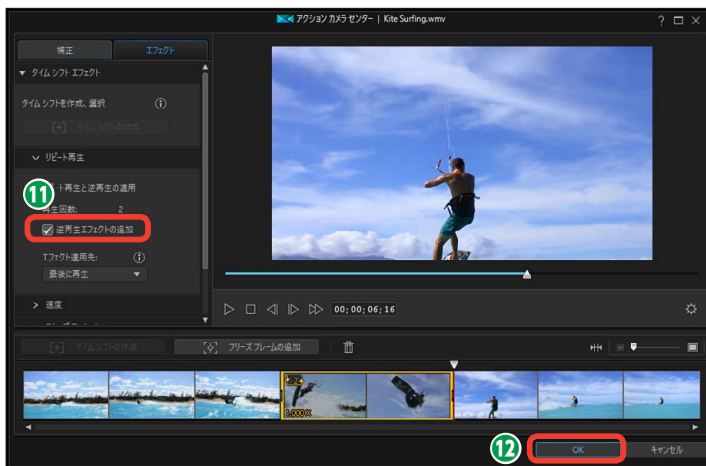


11 [逆再生エフェクトの追加] にチェックを入れると、設定した範囲のクリップが再生→逆再生→再生の順に再生されます。

12 [OK] をクリックして、効果を適用します。

メモ

タイムシフトはビデオクリップに複数設定でき、各タイムシフトに異なる設定を適用できます。



5

プラグインでビデオ編集

ビデオの再生速度を調整する

ビデオの再生速度を調整できます。部分的に速度を速めたり、スローモーションに設定できます。

① [エフェクト] タブあるに [タイムシフトエフェクト] の [速度] の [>] をクリックします。

② 再生速度を調整する位置にスライダーをドラッグします。

③ [タイムシフトの作成] をクリックします。

④ タイムシフトを設定する範囲がオレンジの枠で表示されます。

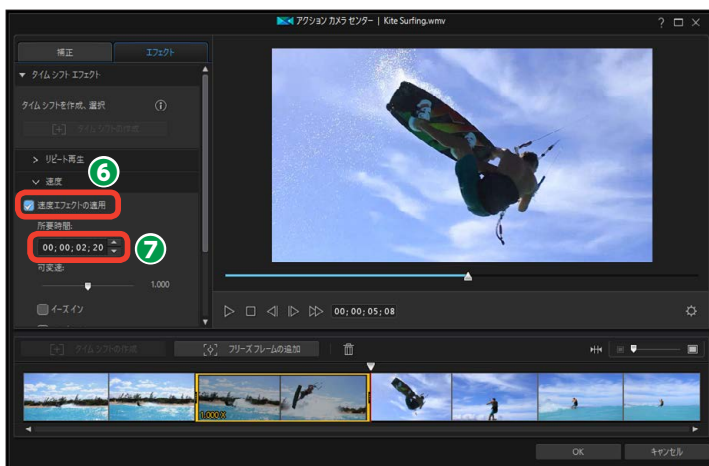
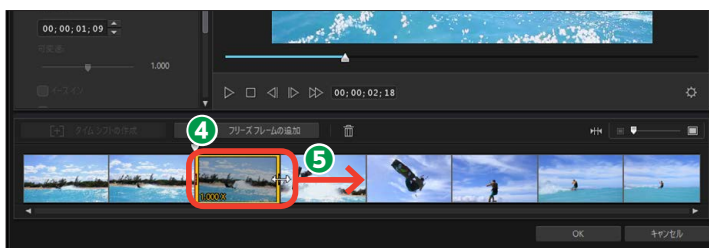
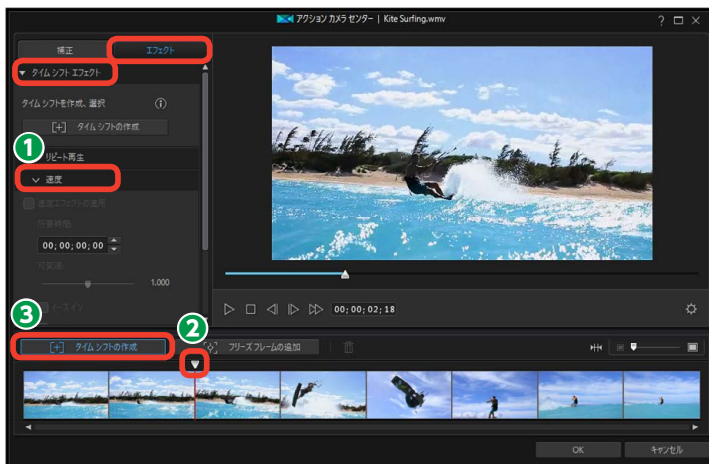
⑤ オレンジの枠の端にマウスポインターを移動して、枠をドラッグするとタイムシフトの範囲を調整できます。

⑥ [速度エフェクトの適用] にチェックを入れます。

⑦ [所要時間] に作成したタイムシフトの再生時間が表示されます。数値入力で再生速度を調整するには、[所要時間] の [時:分:秒:コマ] の数値をクリックして、時間を入力します。決まった再生時間に調整する場合に便利です。

メモ

所要時間を短く設定すると高速再生に、長く設定するとスロー再生になります。



8 再生速度は「[可変速]」のスライダーをドラッグしても調整できます。

9 速度エフェクトで再生時間を設定すると、設定した速度に瞬時に切り替わります。徐々に設定速度に移行するには「イーズイン」に、徐々に標準速度に移行するには「イーズアウト」にチェックを入れます。

10 「再生」をクリックしてビデオの再生速度を確認します。

11 「OK」をクリックすると、再生速度が適用されます。

メモ

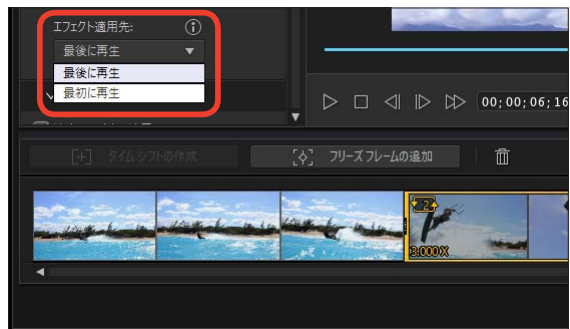
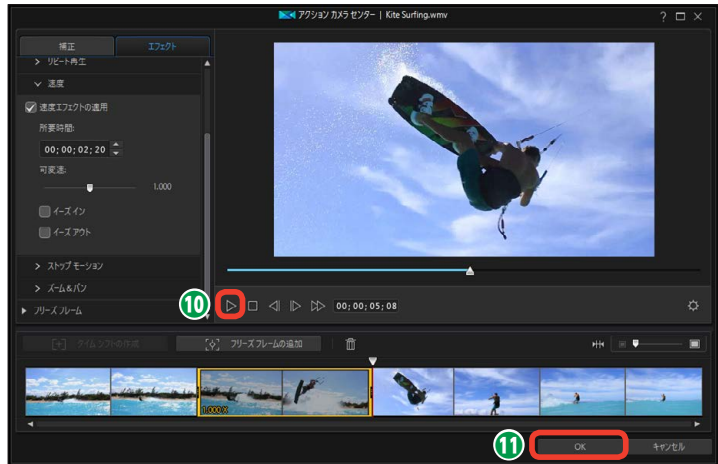
「[ストップモーション]」では、「[ストップモーションの適用]」にチェックを入れ停止する秒数を設定すると、その時間だけビデオが停止します。「[ズーム&パン]」では、キーフレームを使って、映像の拡大・縮小、表示位置の調整ができます。

メモ

ひとつのクリップに再生速度とリピート再生を設定した場合、どの再生時に設定した再生速度を適用するかを指定できます。

たとえば、ある範囲を3倍速で再生する設定にして、その範囲を2回リピート再生する設定にした場合、最初の再生を3倍速にするには「[エフェクト適用先]」の「▼」をクリックして「最初に再生」を選択します。2回目は標準速度で再生されます。

1回目の再生を標準速度で、2回目の再生を3倍速にするには、「最後に再生」を選択します。



フリーズフレーム

【フリーズフレーム】は、指定した映像を設定した時間だけ一時停止にします。

① 【エフェクト】 をクリックします。

② 【フリーズフレーム】 の【▶】 をクリックします。

③ 設定画面が表示されます。一時停止にする映像にスライダーをドラッグします。

④ 【フリーズフレームの追加】 をクリックします。

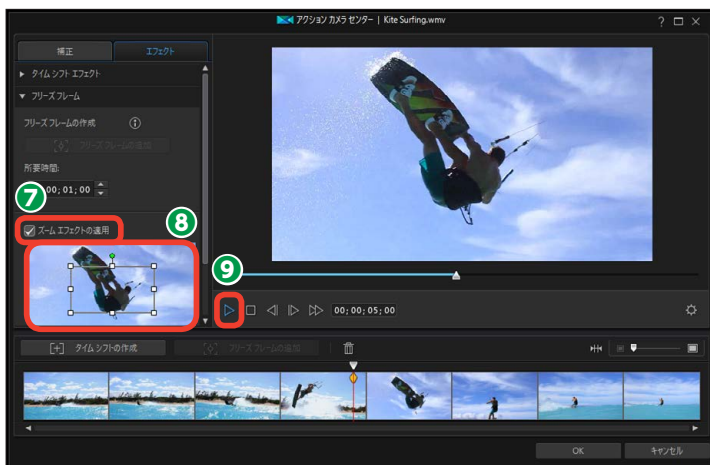
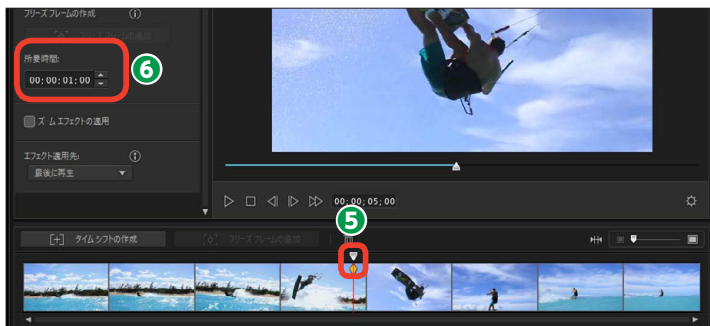
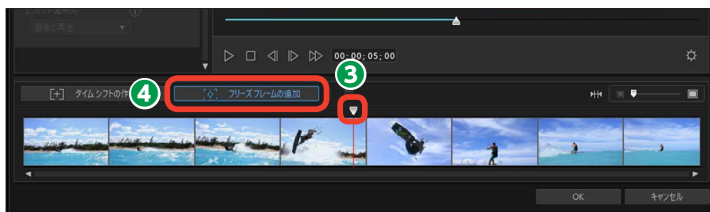
⑤ 映像が一時停止する位置にオレンジのマークが表示されます。

⑥ 【所要時間】の数値に、一時停止する時間を入力します。数値は【時：分：秒：コマ】です。

⑦ 一時停止した映像の一部を拡大表示するときには【ズームエフェクトの適用】にチェックを入れます。

⑧ サムネイル映像が表示されます。表示された枠の四角いポインターで、表示範囲や表示位置の調整を行います。

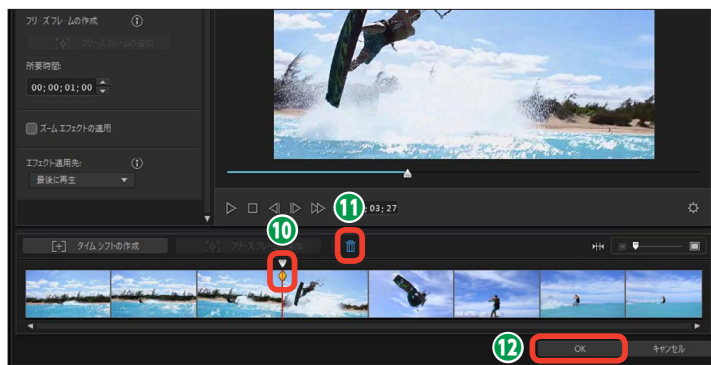
⑨ 【再生】 をクリックして、効果を確認します。



10 フリーズフレームの設定を解除するには、一時停止のマークをクリックします。

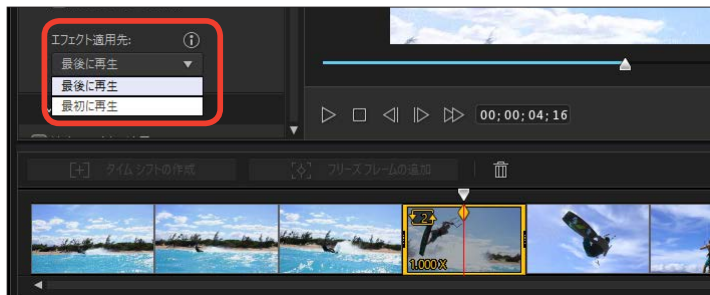
11 [選択したフリーズフレームまたはタイムシフトの削除] をクリックします。

12 設定ができれば [OK] をクリックします。



メモ

リピート再生や逆再生を設定している範囲にフリーズフレームを適用した場合、どの再生時にフリーズフレームを適用するかを設定できます。[エフェクト適用先] で [最初に再生] を選択すると、繰り返し再生する最初の回に適用されます。[最後に再生] を選択すると、繰り返し再生の最後の回で適用されます。

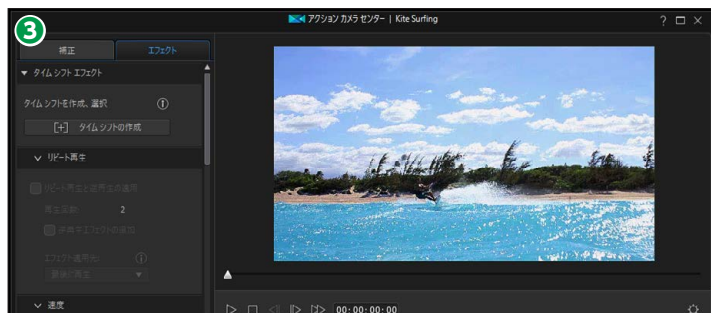
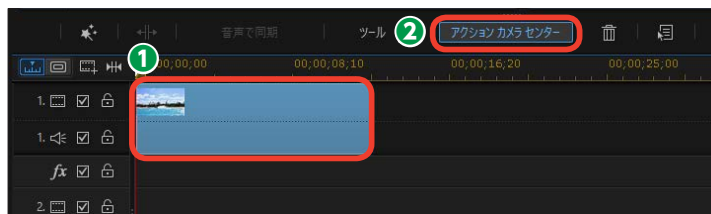


アクションカメラセンターで再編集

1 [アクションカメラセンター] で設定した内容を再編集するには、ビデオクリップを選択します。

2 [アクションカメラセンター] をクリックします。

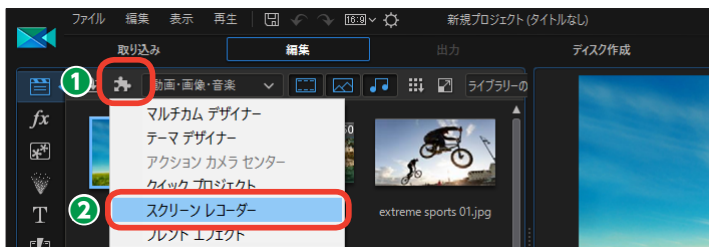
3 [アクションカメラセンター] ウィンドウが表示されます。ここで再編集を行います。



スクリーンレコーダー

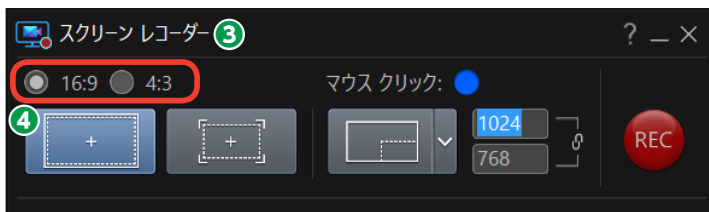
【スクリーンレコーダー】はパソコンの画面を録画する機能です。パソコンやアプリの操作を録画し、ナレーションを付けたりして動画マニュアルなどの作成ができます。

① 【スクリーンレコーダー】を使用するには、【プラグイン】をクリックします。



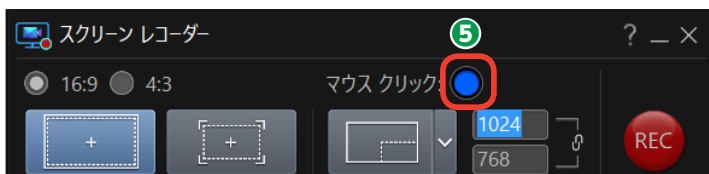
② 表示されるメニューから【スクリーンレコーダー】をクリックします。

③ 【スクリーンレコーダー】ウィンドウが表示されます。



④ 作成するビデオの縦横比に合わせて【16:9】か【4:3】にチェックを入れます。

⑤ 【マウスクリック】は、録画した画面でマウスをクリックしたときに、クリックした場所を色で表示する機能です。【マウスクリック アニメーションカラーの設定】をクリックします。



⑥ 【色の選択】ダイアログボックスが表示されます。ここから選択する色をクリックします。色を表示しない場合は左上のマークを選びます。



⑦ ビデオの取り込み範囲を選択します。パソコンの画面全体を録画するには、【全画面】をクリックします。



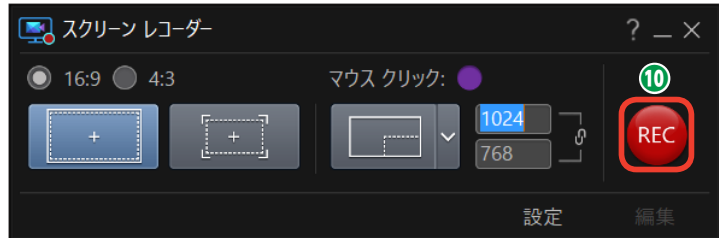
⑧ 起動したアプリ画面だけを録画するには、【アプリ画面に合わせる】をクリックします。

9 画面のサイズを自分で調整する
して録画するには、[カスタム] をク
リックします。

録画する範囲をマウスでドラッグし
ます。



10 録画の準備が整ったら、[記録
(REC)] をクリックします。

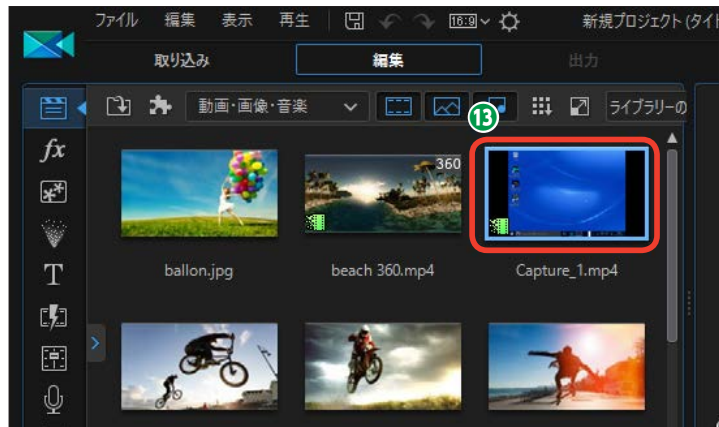


11 デスクトップ画面にカウントダウ
ンの数字が表示されます。スクリー
ンレコーダーでは、[記録] をクリック
してから3秒後に録画が開始され
ます。



12 [録画を終了するには [F10] キ
ーを押します。一時中止するには、
[F9] キーを押します。録画を再開
するにはもう一度 [F9] キーを押
します。

13 録画したデスクトップやアプリ画
面はビデオファイルとして保存され
て、メディアルームに表示されます。

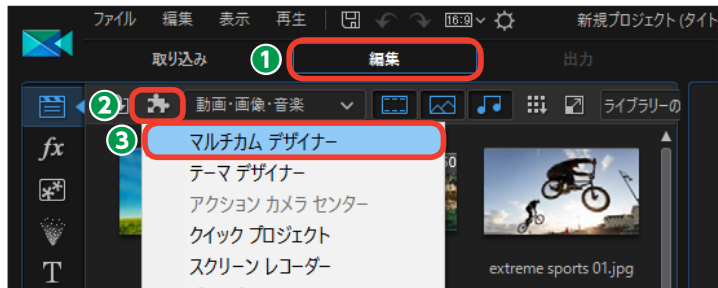


マルチカムデザイナー

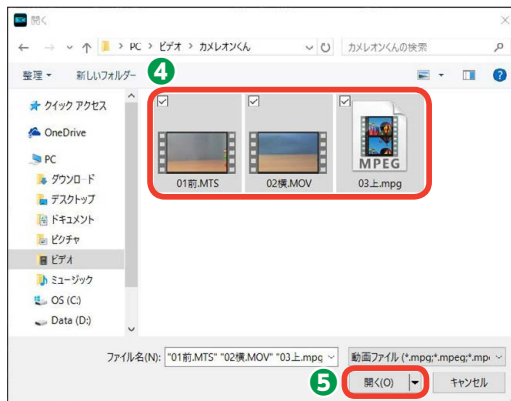
【マルチカムデザイナー】は同時に撮影した複数のシーンを同期させます。たとえば人が走っている姿を正面や横、後ろから撮影して、正面からの映像を横からや後ろからに切り替えて編集できます。ひとつのシーンをいろいろな角度から観られるビデオが編集できます。

映像の取り込み

- 1 【マルチカムデザイナー】を使用するには【編集】をクリックします。
- 2 【プラグイン】をクリックします。
- 3 表示されるメニューから【マルチカムデザイナー】をクリックします。



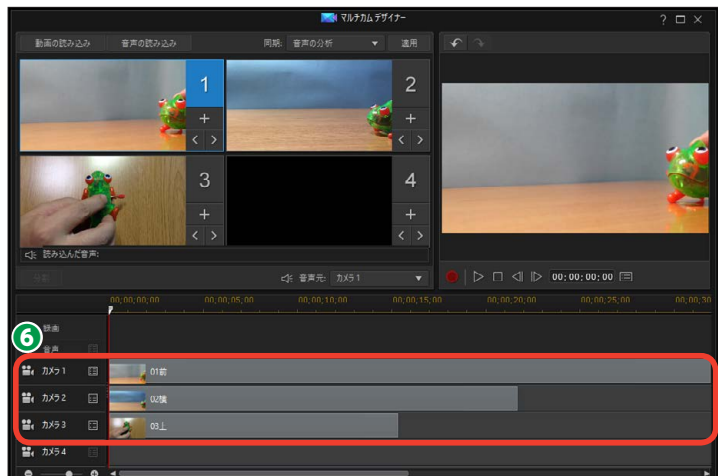
- 4 【開く】ダイアログボックスが表示されます。マルチカムデザイナーで使用するファイルを選択します。
- 5 【開く】をクリックします。



メモ

ここではカメレオンのおもちゃがコミカルに歩く姿を前からと横から、上からの3方向から撮影したビデオファイルで説明します。

- 6 【マルチカムデザイナー】ウィンドウが表示されます。取り込まれたファイルは、【カメラ1】【カメラ2】【カメラ3】【カメラ4】の各トラックに配置されます。



メモ

【マルチカムデザイナー】では、4つの映像を切り替えて編集できます。

映像の同期

① ビデオクリップが同じシーンで重なるように同期をとります。[同期] の [▼] をクリックします。

② 表示されるメニューから、どの方法で同期をとるかを選択します。

[手動]：各カメラトラックのビデオクリップをドラッグして手動で開始位置を調整します。

[タイムコード]：DVカメラやHDVカメラから取り込んだタイムコード情報が付随したビデオクリップを同期する場合に選択します。

[ファイル作成時間]：ファイルに記録されている作成日時で同期します。

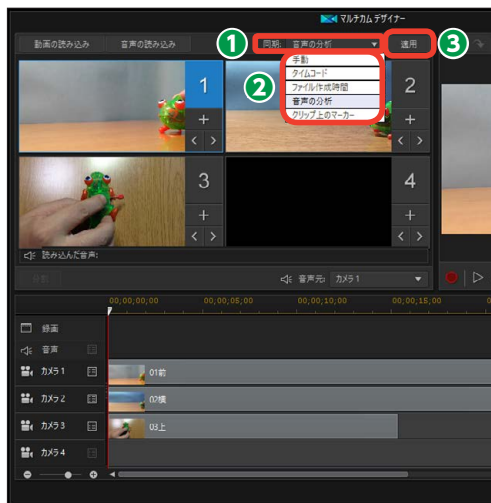
[音声の分析]：各ビデオクリップの音声を分析して同期します。

[クリップ上のマーカー]：各カメラのビデオクリップを選択して再生し、ビデオクリップを右クリックして表示されるメニューから [マーカーの設定] を選択してマーカーを付け、そのマーカー位置で同期します。

③ [適用] をクリックします。ここでは、[音声の分析] を選択しています。

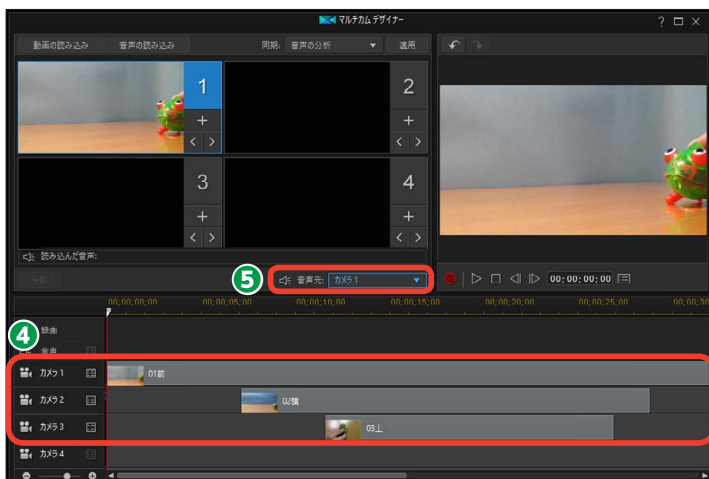
④ ビデオクリップが同期して配置されます。

⑤ [音声元] では、どのビデオクリップの音声を使用するかを選択します。[▼] をクリックして、表示されるメニューから音声として使用するトラックをクリックします。



5

プロダクションでビデオ編集

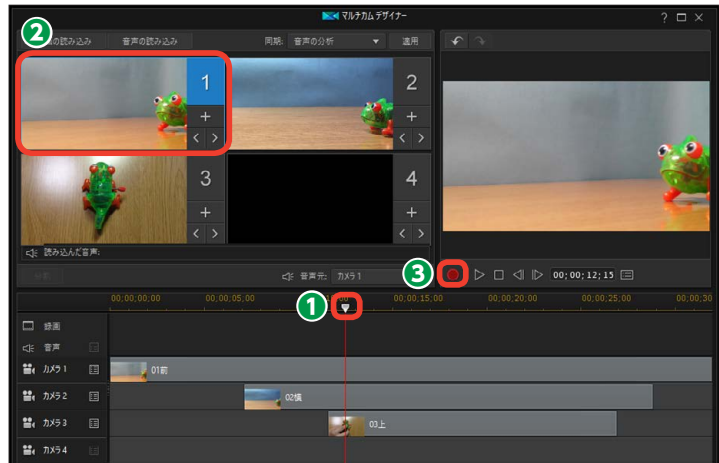


メモ

[音声元] は、ビデオトラックの音声を使用せずに、ミュージックファイルを使用することができます。画面の左上にある [音声の読み込み] をクリックして、表示されるメニューからミュージックファイルのある場所を選択してミュージックファイルを選びます。読み込んだミュージックファイルは一番下のミュージックトラックに表示されます。[音声元] から [読み込んだ音声] を選択すると、作成するビデオの音声に設定されます。

マルチカムで録画

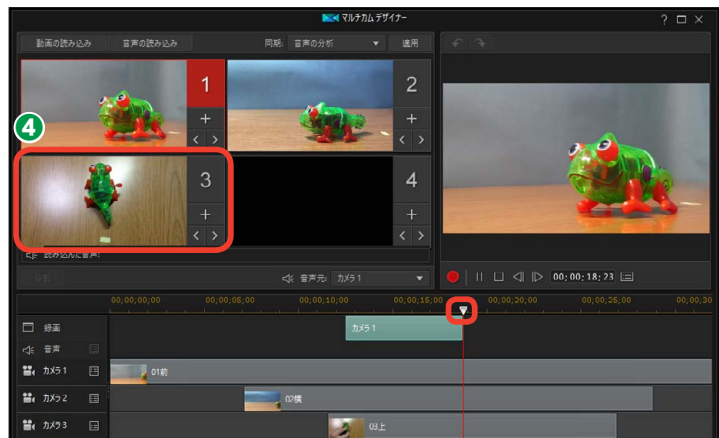
- 1 録画を開始する位置にタイムラインスライダーをドラッグします。
- 2 ビデオの開始時に使用する映像のカメラトラックの映像をクリックします。
- 3 [録画] をクリックします。



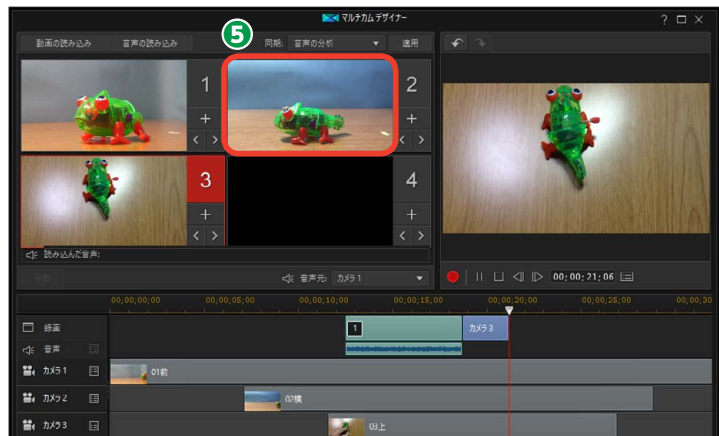
- 4 映像を切り替えたい位置でビデオウィンドウをクリックします。

メモ

キーボードの [1] [2] [3] [4] キーを押すと、各カメラの映像に切り替わります。



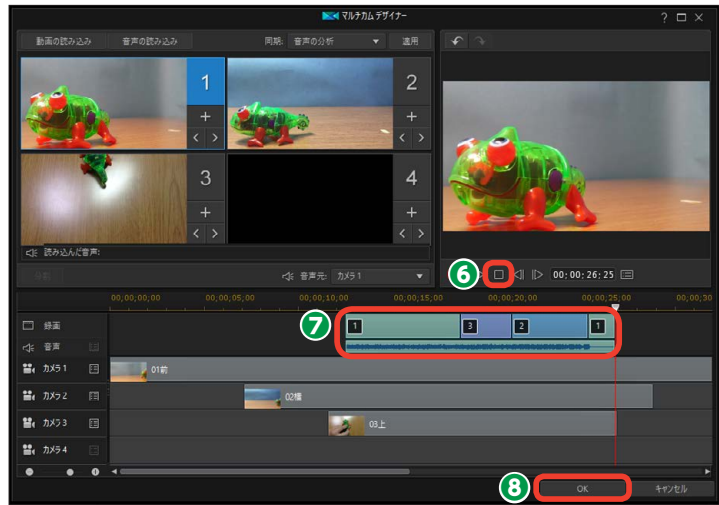
- 5 次に映像を切り替えたい位置でビデオウィンドウをクリックします。



6 録画を終える位置で [停止] をクリックします。

7 カメラが切り替わったビデオが作成されます。

8 [OK] をクリックします。



5

プレビューでビデオ編集

9 [フル機能エディター] 画面に戻ります。[マルチカムデザイナー] で録画した映像が、ビデオクリップとしてビデオトラックに配置されます。

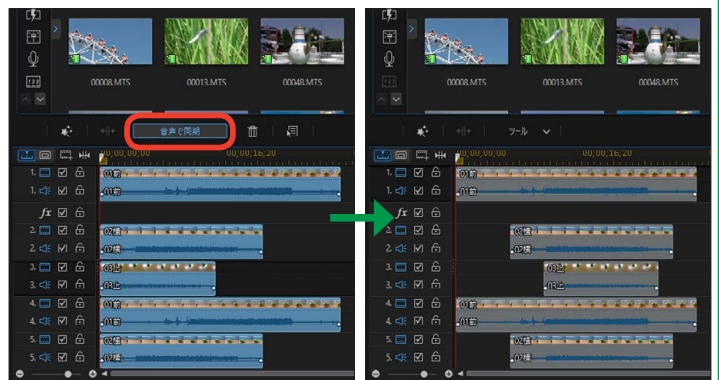


メモ

タイムラインに配置されたビデオクリップは編集することができます。

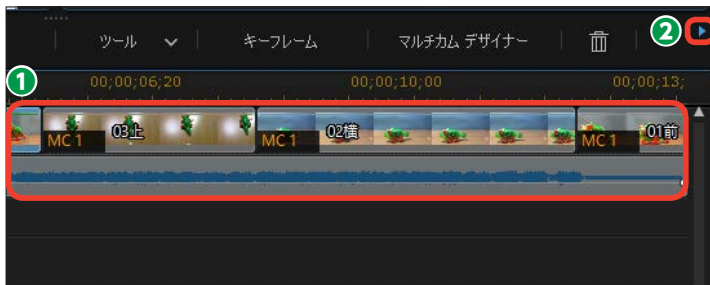
メモ

同じ内容の音声のビデオクリップは、タイムラインに配置して、音声で同期させることができます。タイムラインにビデオクリップを配置します。すべてのビデオクリップを選択し、[音声で同期] をクリックします。各ビデオクリップの音声分析され、同じ音声の位置に同期されて配置されます。



マルチカムデザイナーで録画したビデオを再編集する

① [マルチカムデザイナー] で録画したビデオクリップは、再編集することができます。録画したビデオクリップをクリックします。

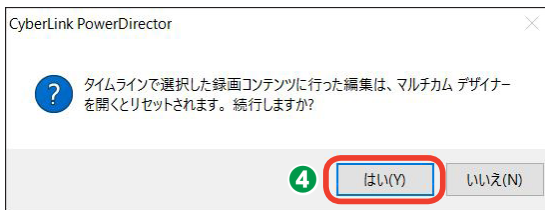


② [マルチカムデザイナー] が表示されない場合は、[右へスクロール] をクリックします。

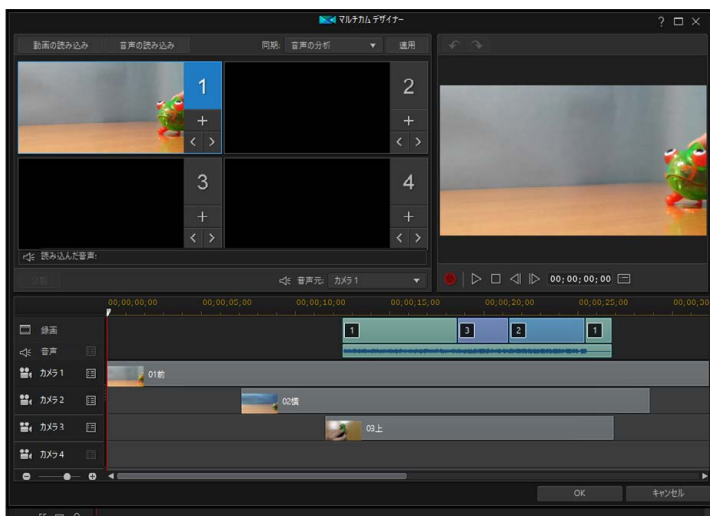
③ [マルチカムデザイナー] をクリックします。



④ 表示されるダイアログボックスで、[はい] をクリックします。



⑤ [マルチカムデザイナー] ウィンドウが表示されます。ここで再編集が行えます。



カメラの切り替え

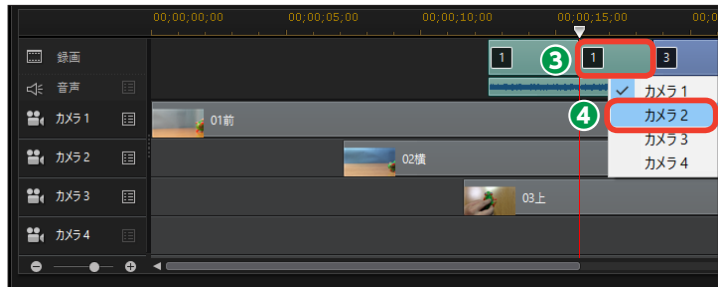
① ビデオの途中で他のカメラに切り替えるには、切り替えたい位置にタイムラインスライダーをドラッグします。

② [分割] をクリックします。ここでは [カメラ1] の映像を分割します。

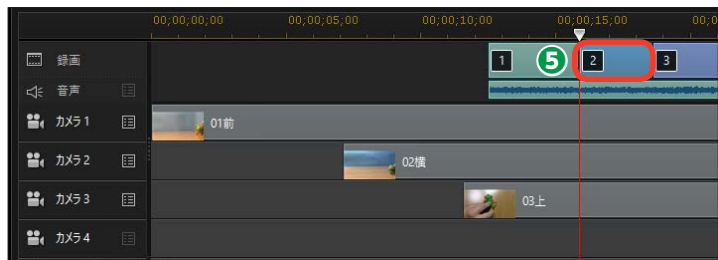


③ ビデオが分割されます。分割したビデオクリップを右クリックします。

④ 表示されるメニューから、切り替えるカメラをクリックします。ここでは [カメラ2] を選択します。

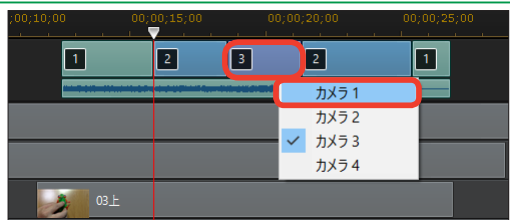


⑤ 映像が [カメラ2] に変更されます。



メモ

カメラの映像を他のカメラの映像に切り替えるには、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから切り替えたいカメラを選択します。ビデオクリップが他のカメラの映像に置き換わります。



5

プロダクションビデオ編集

テーマデザイナー

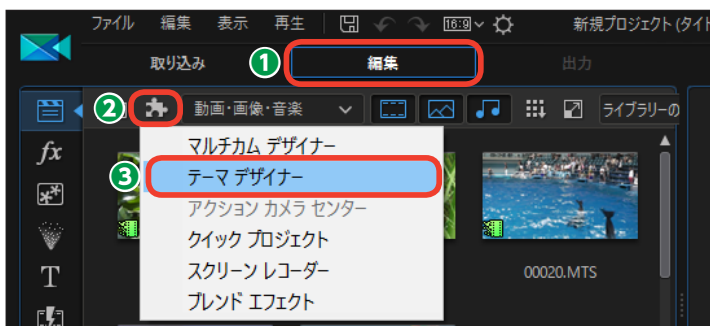
テーマデザイナーでは、PowerDirectorに用意されたテンプレートを使って、素早く見栄えのいいビデオを編集でき、映像や画像を効果的に切り替えるビデオが作成できます。テンプレートにはFacebookの画面イメージや旅行、思い出などをイメージしたものが用意されています。

テーマの選択

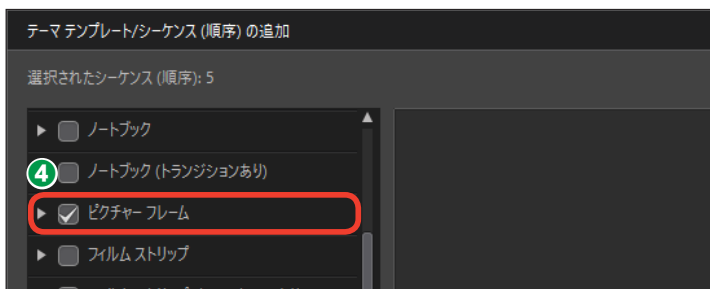
① [テーマデザイナー] を使用するには、[編集] をクリックします。

② [プラグイン] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [テーマデザイナー] をクリックします。



④ [テーマテンプレート/シーケンス (順序) の追加] ウィンドウが表示されます。たくさんのテーマが用意されているので、いずれかのテーマにチェックを入れて、左端の [▶] をクリックします。ここでは [ピクチャーフレーム] を使用して説明します。



⑤ テーマが選択されます。オープニング用のテンプレートや中間のテンプレート、終わりのテンプレートなどが表示されます。これらのテンプレートひとつひとつを [シーケンス] と呼びます。



⑥ テーマの内容を確認するには各シーケンスをクリックして [再生] をクリックします。

⑦ 不要なシーケンスは、右上のチェックをクリックして未使用にします。

⑧ [OK] をクリックします。

ビデオクリップの配置

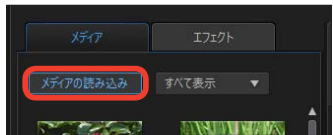
① [テーマデザイナー] ウィンドウが表示されます。シーケンスエリアにテーマテンプレートのシーケンスが表示されます。

② オープニングのシーケンスをクリックします。

③ [メディア] をクリックします。

メモ

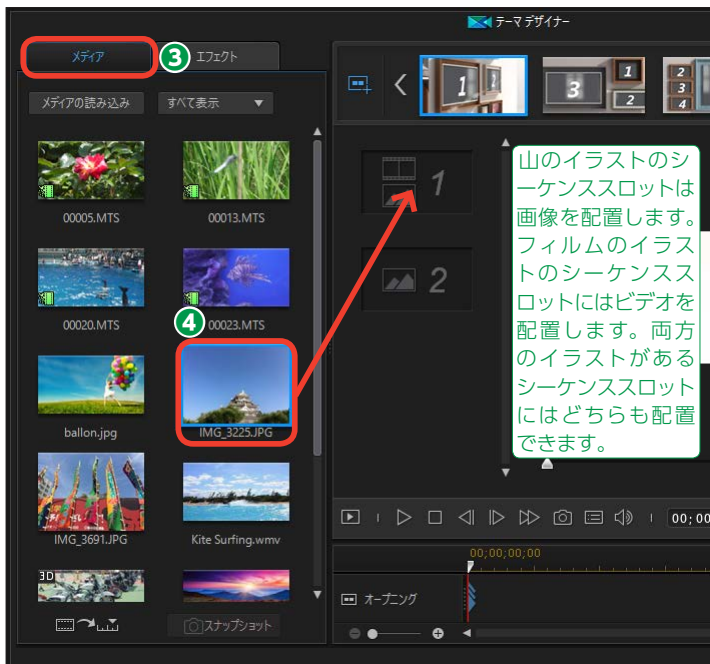
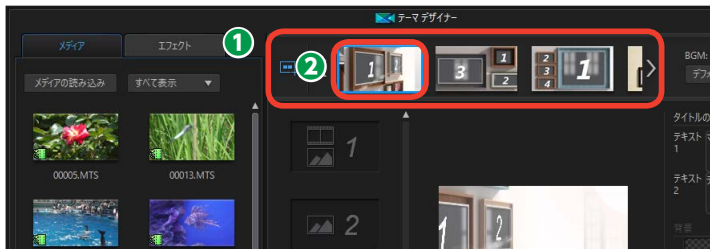
[メディアルーム] に取り込んでいないビデオや写真を使用するには、[メディアの読み込み] をクリックして、表示される [ファイルを開く] ダイアログボックスからビデオや画像ファイルを選択します。



④ [メディアルーム] にあるライブラリのクリップが表示されます。ビデオや画像クリップをシーケンススロットにドラッグします。

⑤ シーケンスにクリップが適用されます。

同様に他のビデオや画像クリップをシーケンススロットにドラッグします。



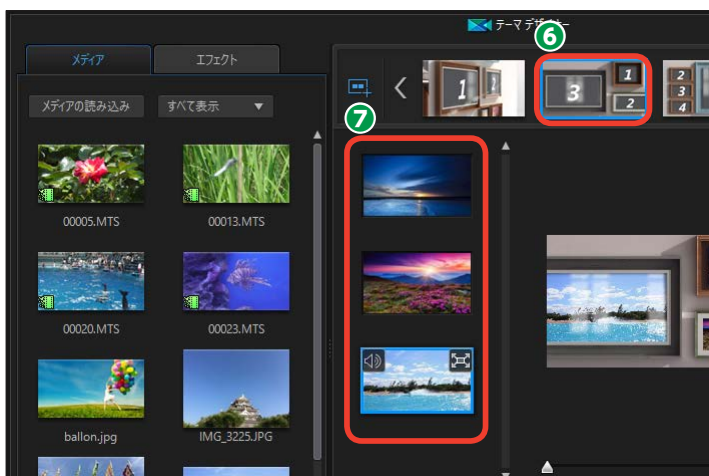
5

プラインでビデオ編集

⑥ 2番目のシーケンスをクリックします。

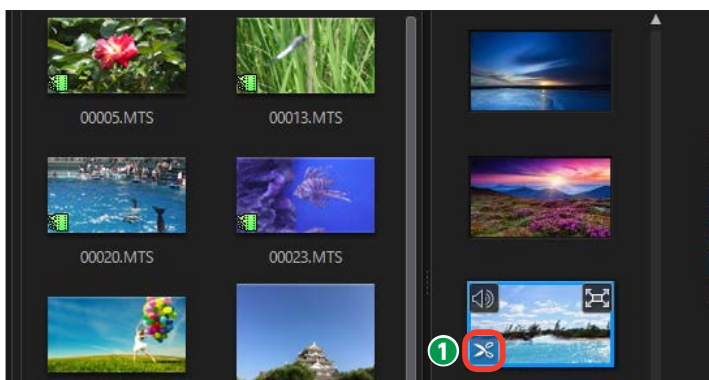
⑦ 同様にしてビデオや画像クリップをシーケンススロットにドラッグします。

3番目のシーケンス以降も同様にしてビデオや画像クリップをドラッグして、すべてのシーケンスにクリップを配置します。



編集

① ビデオクリップの再生時間を調整するには、[ビデオクリップのトリミング] をクリックします。



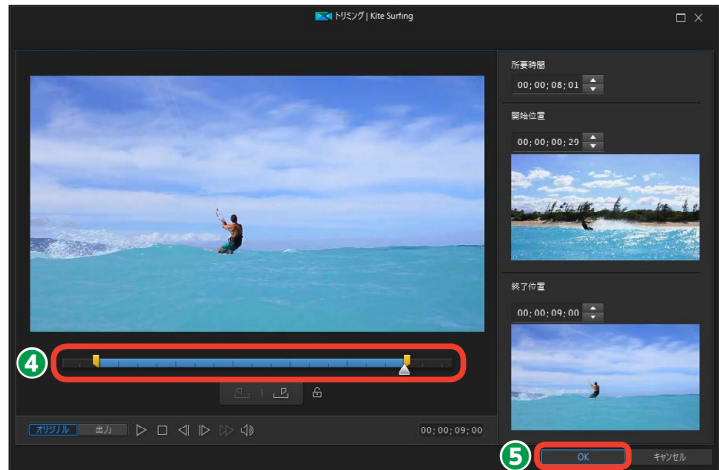
② [トリミング] ウィンドウが表示されます。ビデオの先頭をトリミングするには開始位置スライダーを右へドラッグします。

③ ビデオの終わりをトリミングするには終了位置スライダーを左へドラッグします。



4 ビデオがトリミングされます。

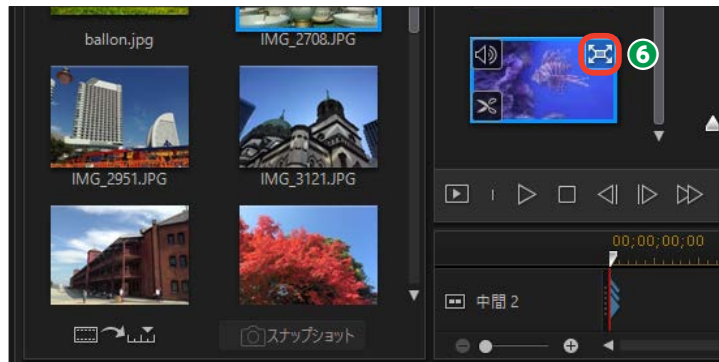
5 [OK] をクリックします。



5

プラインでビデオ編集

6 シーケンスに [このメディアクリップに拡大を適用] アイコンが表示されている場合、アイコンをクリックすると、クリップの映像を拡大表示して再生できます。



7 ビデオクリップにエフェクトをかけるには、[エフェクト] をクリックします。

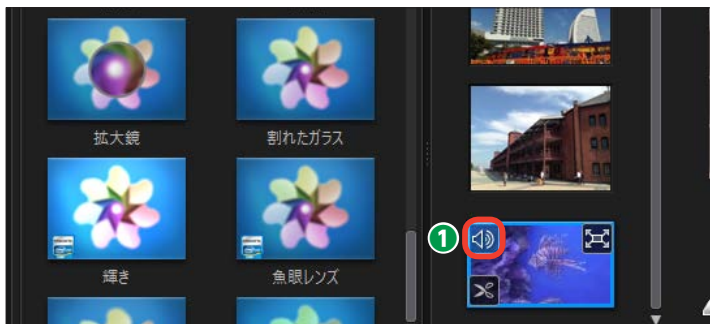
8 適用するエフェクトを選択します。

9 ビデオクリップにドラッグします。



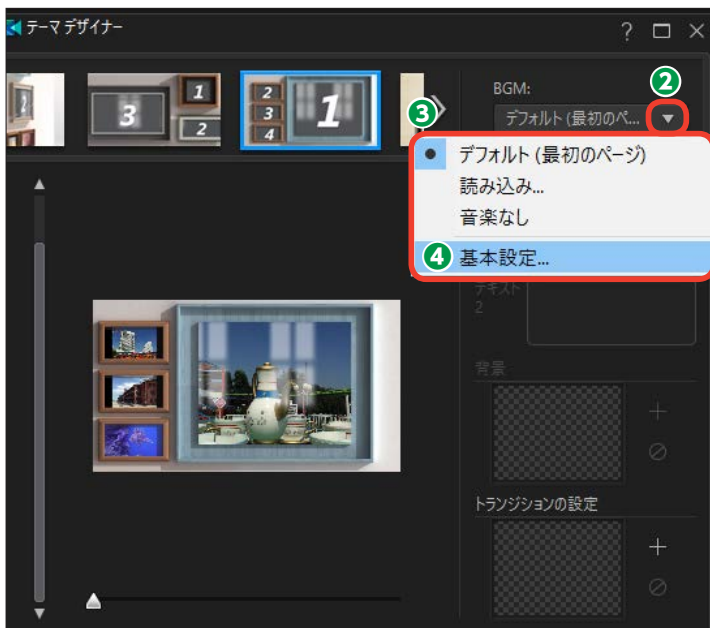
消音とBGM

① テーマテンプレートにはBGMが用意されているものもあります。BGMを聴きやすくするためにビデオクリップの音声を無音にすることができます。ビデオクリップの[ミュート] をクリックします。



② テーマテンプレートに設定されているBGMを調整するには、[BGM] の[▼] をクリックします。

③ メニューが表示されます。
[デフォルト]：テンプレートに設定されているBGMが流れます。
[読み込み]：ハードディスクに保存されているミュージックファイルを選択してBGMに使用します。
[音楽なし]：テンプレートに設定されたBGMをキャンセルします。
[基本設定]：テンプレートのBGMの詳細を設定します。



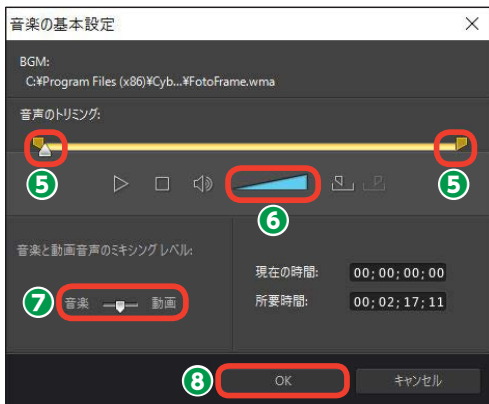
④ [基本設定] をクリックすると、[音楽の基本設定] ウィンドウが表示されます。

⑤ 両端にある開始位置スライダーや終了位置スライダーをドラッグして、BGMのトリミングができます。

⑥ 音量レベルを調整できます。

⑦ ビデオクリップの音量 (動画) と BGMの音量 (音楽) を調整できます。

⑧ [OK] をクリックして、調整を適用します。



タイトルと背景画、トランジション

① テンプレートのオープニングやエンドシーケンスには、タイトルを表示できます。タイトルを挿入できるシーケンスをクリックします。

② [タイトルの設定] の [テキスト] ボックスがアクティブになります。[マイタイトル] をドラッグします。

③ タイトルを入力します。

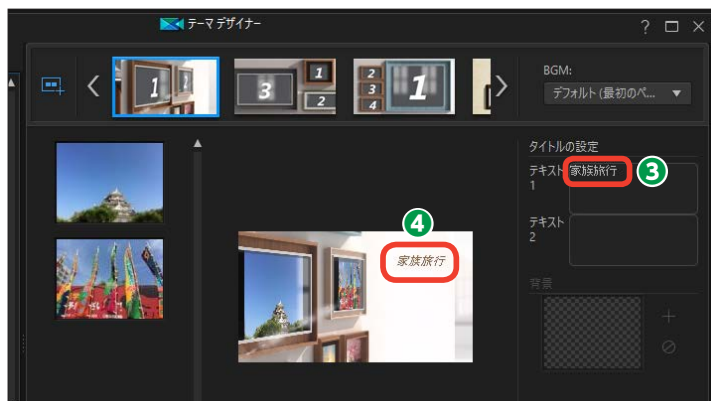
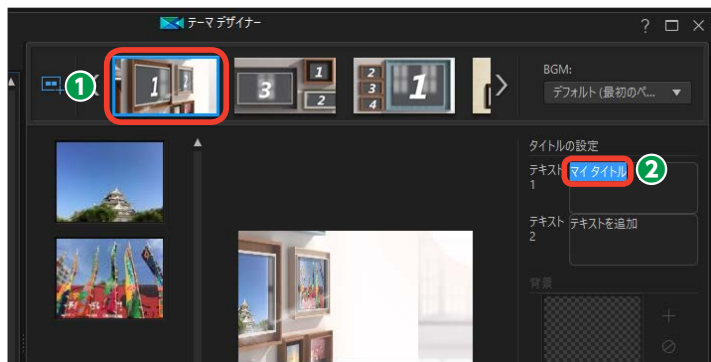
④ タイトルが適用されます。

メモ

テキスト2などに「テキストを追加」の不要な文字が入っている場合は、テキストをドラッグし、[Delete] キーを押して削除します。

⑤ シーケンスの背景画を変更するには、シーケンスをクリックして [背景] の [+] をクリックします。表示されるダイアログボックスで、使用する画像ファイルを選択します。

⑥ テンプレートに設定されたビデオとビデオの切り替わり効果のトランジションを変更するには、シーケンスをクリックして [トランジションの設定] の [+] をクリックします。表示される [トランジションの選択] ウィンドウで、トランジションを選択します。

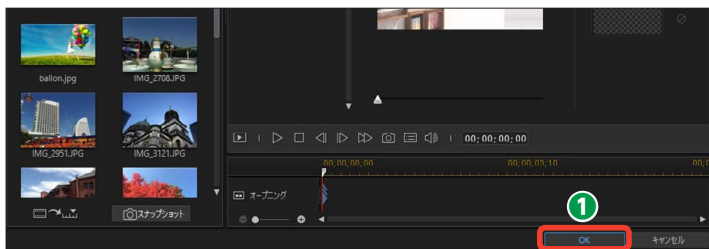


5

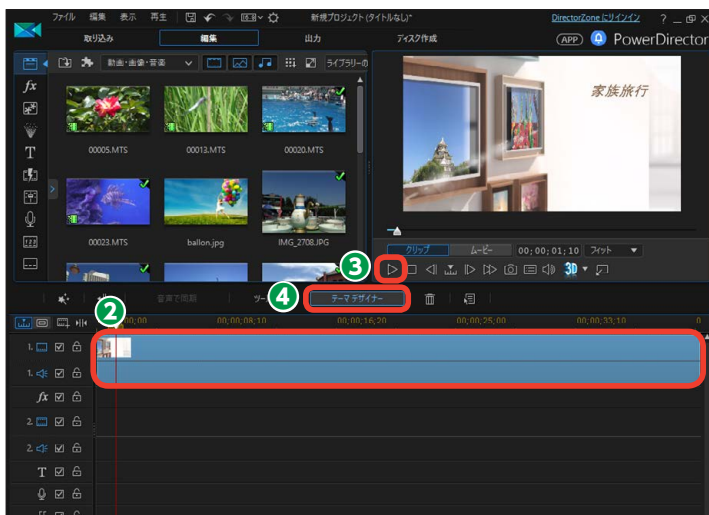
プ
ラ
グ
イ
ン
で
ビ
デ
オ
編
集

テーマデザイナーの適用と再編集

① 設定が終われば、[OK] をクリックします。



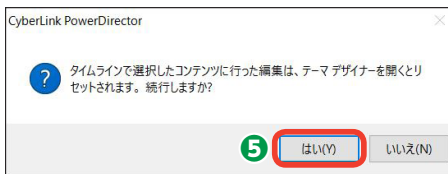
② [フル機能エディター] 画面が表示され、テーマデザイナーで作成したビデオはひとつのビデオクリップとしてタイムラインに配置されます。



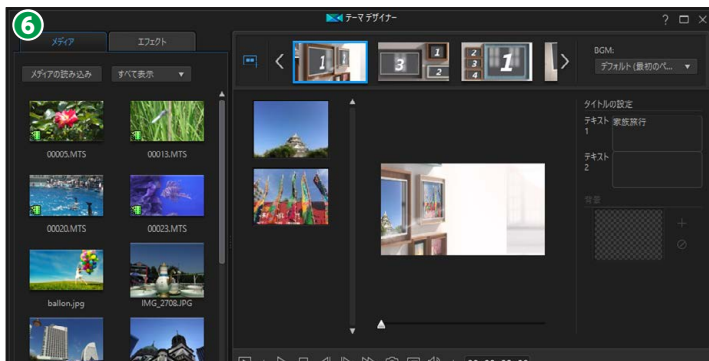
③ [再生] をクリックして、できあがりを確認します。

④ 作成したビデオクリップはそのままでは再編集できません。テーマデザイナーで作成したビデオを再編集するには、ビデオクリップを選択して [テーマデザイナー] をクリックします。

⑤ ビデオを編集していた場合リセットされるとのメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



⑥ [テーマデザイナー] ウィンドウが表示されます。ここでテーマデザイナーで作成したビデオの再編集ができます。





Chapter 6
編集

ビデオの基本編集

ビデオカメラから取り込んだ映像やパソコンから取り込んだ動画や画像、ミュージックファイルは、メディアクリップとして [メディアルーム] の [ライブラリ] に表示されます。これらのメディアクリップをタイムラインに配置してビデオを編集します。

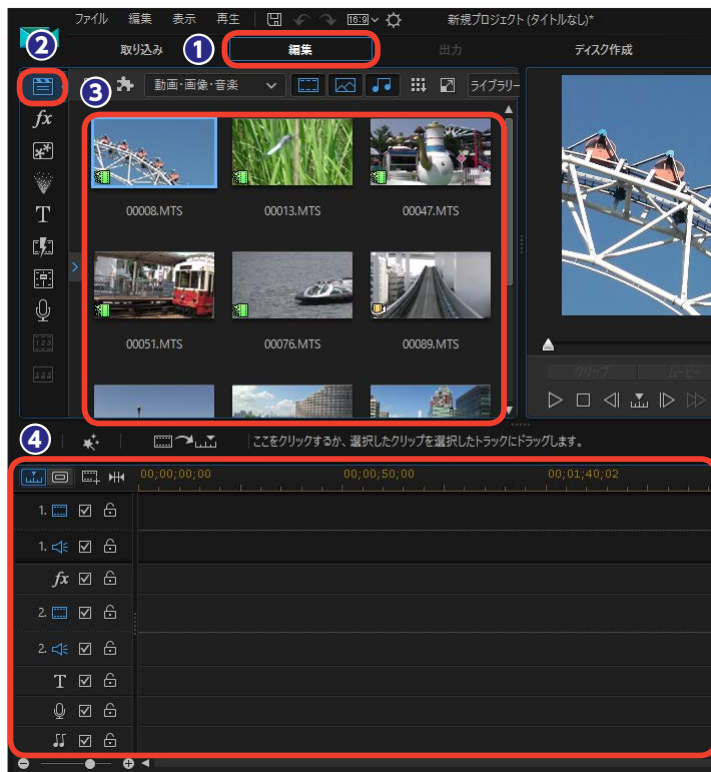
タイムライン

① ビデオを編集するには、[編集] をクリックします。

② [メディアルーム] をクリックします。

③ 取り込んだメディアクリップが [ライブラリ] に表示されます。

④ [フル機能エディター] では標準でタイムラインが表示されます。タイムラインは時間軸で表示され、ビデオや画像クリップを並べてビデオを編集します。各クリップがアイコンで表示されるので、クリップの再生時間やビデオの構成がわかりやすくなります。なお、ストーリーボードでビデオ編集を行うこともできます。詳しくは104ページをお読みください。



⑤ タイムラインにはビデオや画像クリップを配置するトラックがあります。

[ビデオトラック]：ビデオクリップを配置します。標準で [ビデオトラック1] と [ビデオトラック2] の2本が表示されています。

[エフェクトトラック]：ビデオに特殊効果を加えるエフェクトクリップを配置します。

[タイトルトラック]：タイトルなどのタイトルクリップを配置します。

[ボイストラック]：ナレーションなどの音声クリップを配置します。

[ミュージックトラック]：BGMなどで使用するミュージッククリップを配置します。



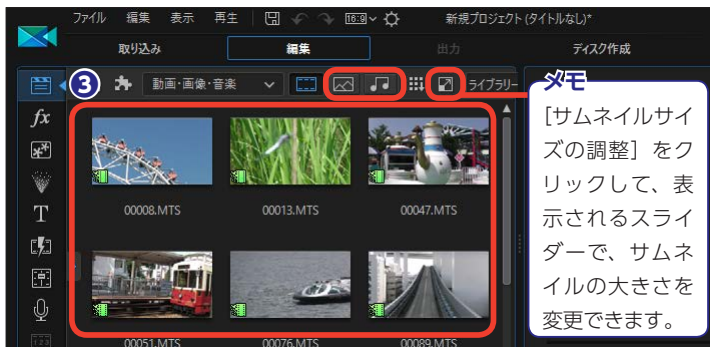
メディアの表示

① [メディアルーム] のライブラリは、標準で [動画・画像・音楽] に設定されていて、動画と画像、音楽クリップが表示されます。

② [画像] や [音楽] をクリックします。

③ ライブラリには画像や音楽クリップが非表示になり、ビデオクリップのみが表示されます。動画だけをタイムラインに並べたいときなどに選択すると、たくさんのメディアクリップから選択しやすくなります。

※もう一度 [画像] や [音声] をクリックすると、画像クリップや音声クリップが表示されます。



6

編集

作成するビデオに必要なクリップをまとめる

作成するビデオで使用するメディアクリップだけをタグにまとめることができます。

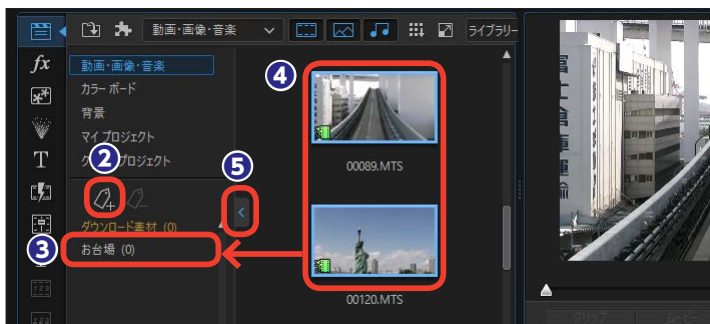
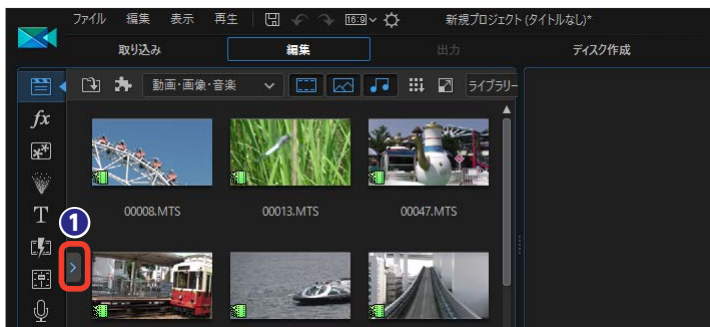
① [エクスプローラービューの表示 / 非表示] をクリックします。

② [新規タグの追加] をクリックします。

③ 作成された [新規タグ] をクリックしてタグの名前を入力します。

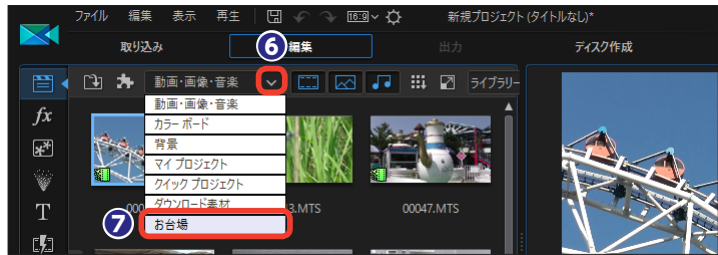
④ メディアクリップをタグにドラッグします。

⑤ [エクスプローラービューの表示 / 非表示] をクリックします。

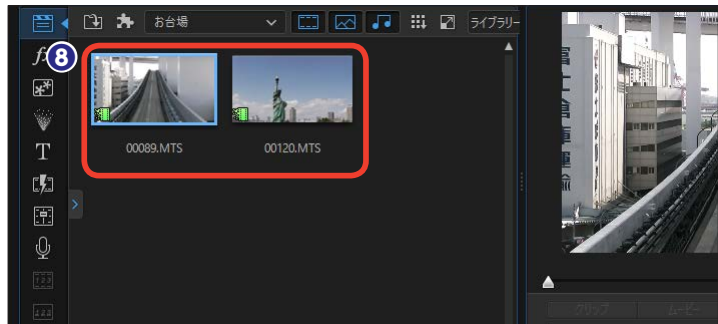


6 表示するジャンルの [V] をクリックします。

7 表示されるメニューから、作成したタグ名をクリックします。



8 タグに登録したクリップだけが表示されます。



メモ

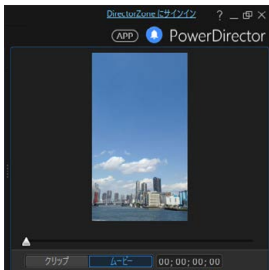
タグを削除してもタグに登録したクリップは削除されずに、[メディアルーム] に表示されます。

メディアクリップの配置

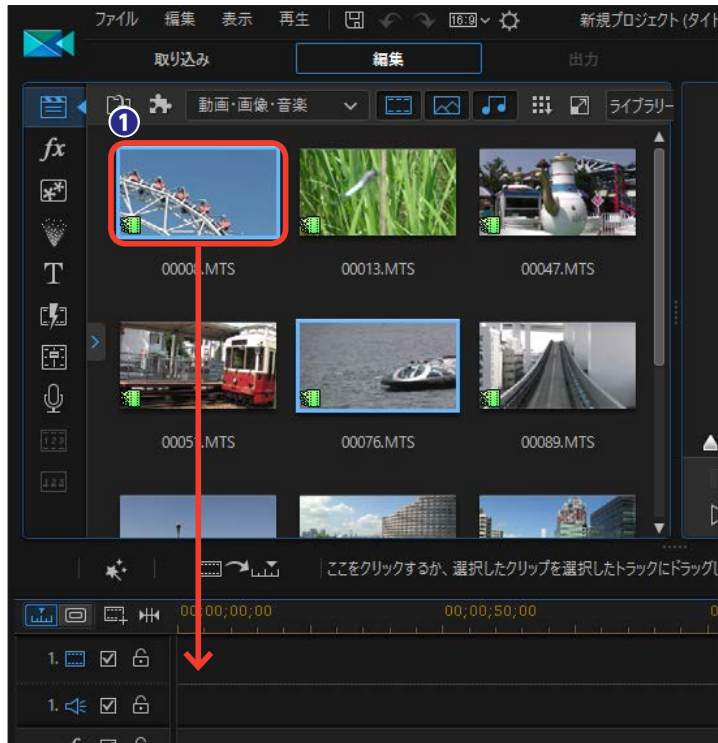
1 メディアクリップをタイムラインにドラッグします。ここではビデオクリップをビデオトラックにドラッグします。

メモ

スマートフォンやタブレットで撮影した縦長のビデオクリップも同様にしてビデオトラックにドラッグします。縦長の映像のまま編集できます。



※起動画面で縦横比 [9:16] にチェックを入れて [フル機能エディター] を起動してスマートフォンやタブレットの縦長ビデオを読み込んでおきます。



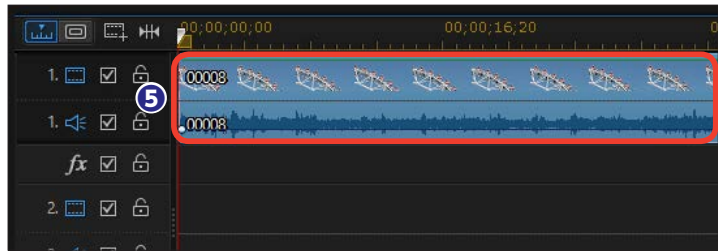
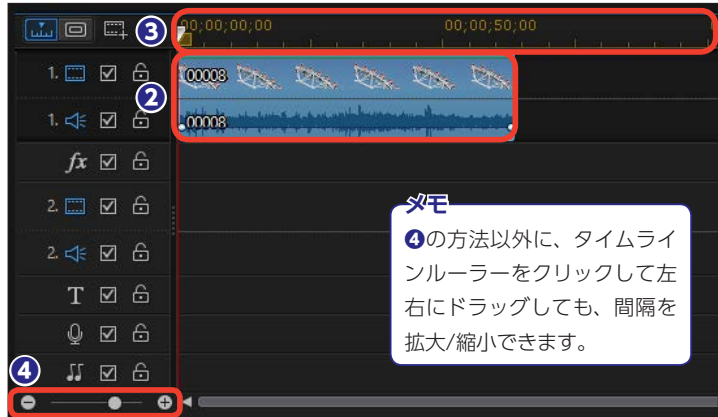
② タイムラインのビデオトラックにビデオクリップが配置されます。

③ トラックの一番上にはタイムラインルーラーがあります。メモリ上の数値は [時：分：秒：コマ] を表示します。

④ タイムラインルーラーの時間間隔を広くするには ⊕ (拡大) を、狭くするには ⊖ (縮小) をクリックします。

⑤ ここでは [拡大] をクリックしたので時間間隔が広がり、ビデオクリップの表示サイズが大きくなります。

同様にして [メディアルーム] のビデオクリップをビデオトラックにドラッグします。



6

編集

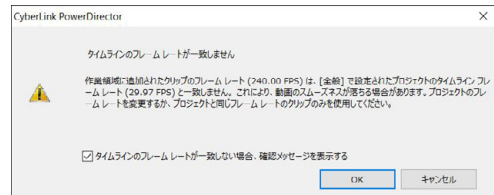
メモ

ビデオクリップをタイムラインへドラッグするとメッセージが表示される場合があります。これは、撮影した動画のフレームレートと編集しているタイムラインのフレームレートが異なるためです。タイムラインのフレームレートの基本設定は [30FPS (29.97FPS)] です。動画のフレームレートはカメラ撮影時の設定によります。

タイムラインの設定フレームレート数より少なければ、フレームが補間され、多ければ間引かれます。動画とタイムラインのフレームレートはできるだけ統一します。

タイムラインのフレームレートを変更するには、メニューバーの [基本設定] をクリックして、表示される [基本設定] ウィンドウで行います。

[全般] の [タイムラインフレームレート] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから選択します。主に使用するビデオクリップのフレームレートに設定しましょう。



メモ

配置したビデオクリップのワンシーンを画像ファイルとして保存できます。プレビューウィンドウの再生スライダーをドラッグして画像ファイルにしたいシーンを探します。[静止画として保存] ボタンをクリックして、表示される [取り込んだファイル名] ダイアログボックスでファイル名を入力して [OK] をクリックします。プレビューウィンドウの使い方は26ページをお読みください。

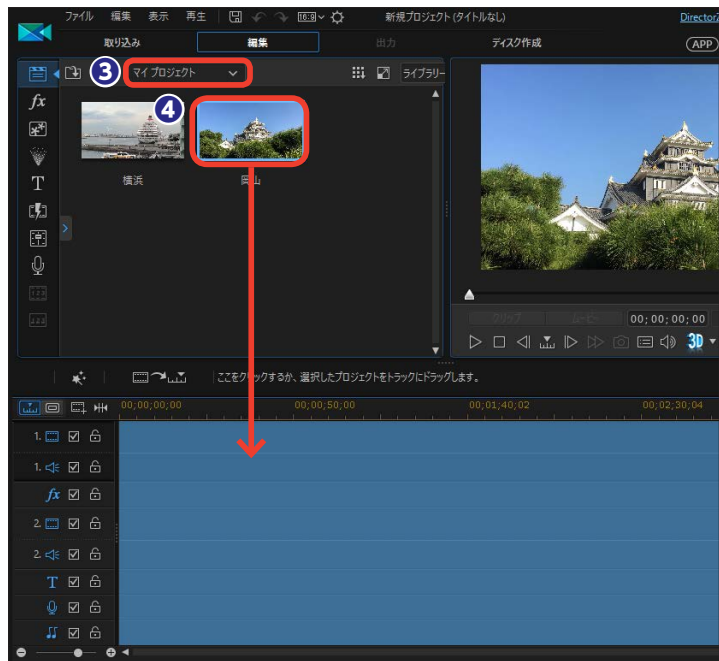
プロジェクトの再利用

タイムラインには、編集したビデオのプロジェクトを配置することもできます。

- 1 表示するジャンルの [M] をクリックします。
- 2 表示されるメニューから [マイプロジェクト] をクリックします。



- 3 ライブラリにプロジェクトファイルの一覧が表示されます。
- 4 プロジェクトをタイムラインにドラッグします。プロジェクトの内容がタイムラインに配置されます。

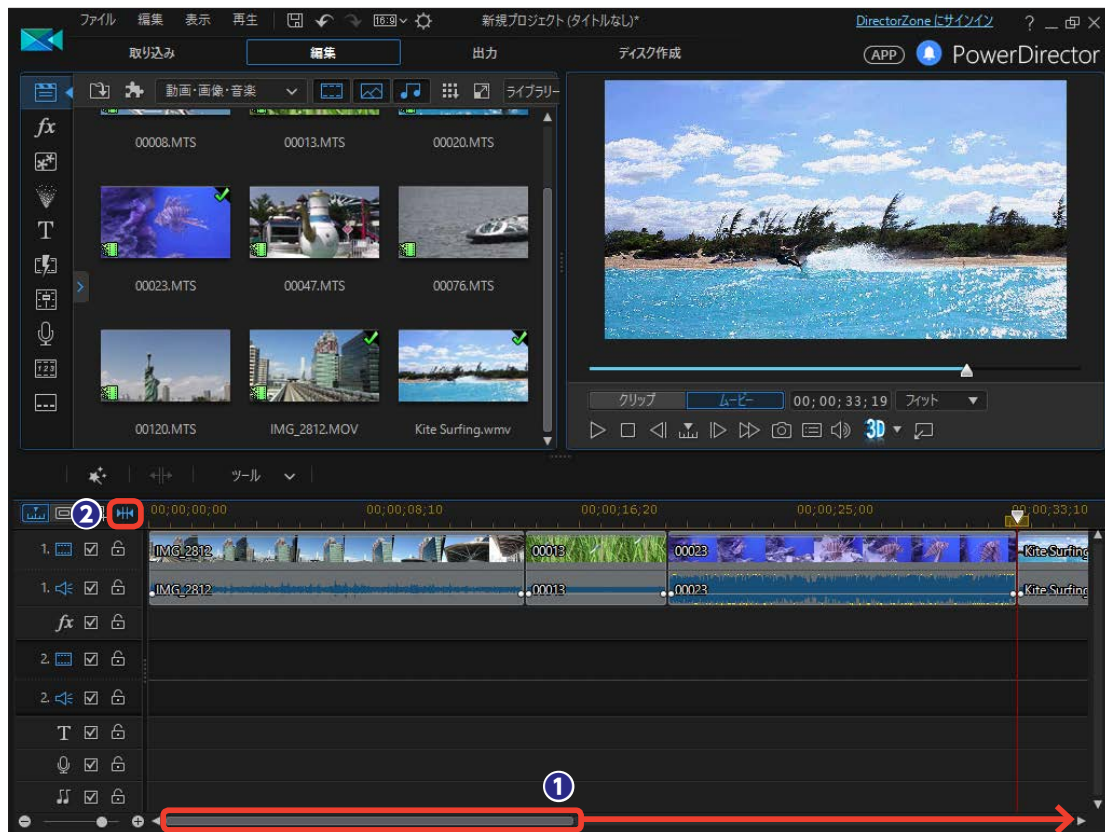


メモ

プロジェクトに配置したビデオや画像、ミュージッククリップを他のクリップに置き換えたりすると、同じ構成のビデオが作成できるなど、いろいろな使い方ができます。

タイムラインの調整

- 1 ビデオクリップが画面のタイムラインからはみ出している場合は、スライダーを右にドラッグすると、隠れているビデオクリップが表示されます。
- 2 すべてのメディアクリップを表示するには、[ムービー全体の表示] をクリックします。



6

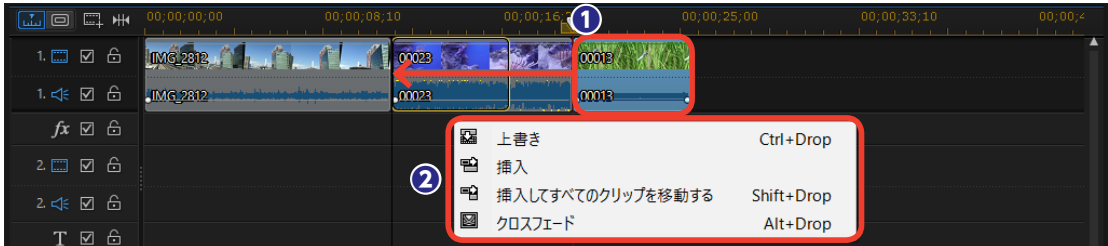
編集

- 3 画面の幅一杯にビデオクリップ全体が表示されます。

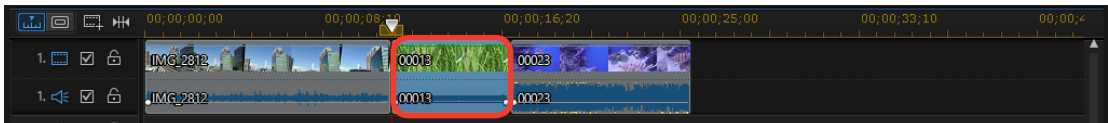


移動

- 1 ビデオクリップを移動するには、ビデオクリップを移動する位置までドラッグします。
- 2 既存クリップの上にドロップする場合、表示されるメニューから適用する項目を選択します。
[上書き]：元あるビデオクリップの上に上書きします。
[挿入]：挿入した位置以降のビデオクリップが後ろにずれます。
[挿入してすべてのクリップを移動する]：挿入した位置以降のすべてのトラックのクリップが後ろに移動します。
[クロスフェード]：前にあるビデオクリップとの間に自動で映像の切り替わり効果のトランジションが挿入されます。

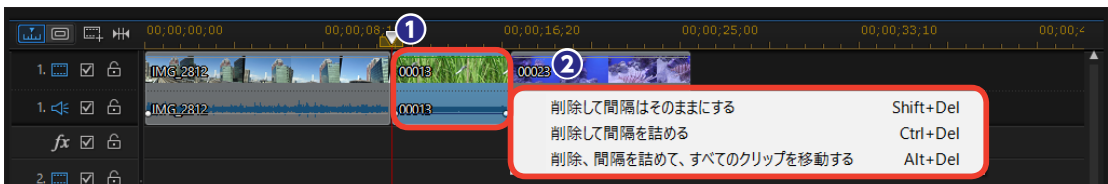


- 3 ビデオクリップが移動します。

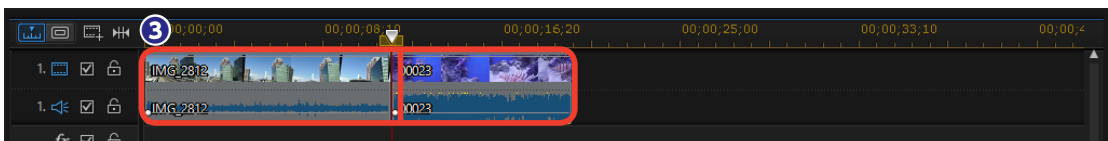


削除

- 1 ビデオクリップを削除するには、ビデオクリップを選択してキーボードの [Delete] キーを押すか、クリップを右クリックして [削除] を選択します。
- 2 表示されるメニューから適用する項目を選択します。
[削除して間隔はそのままにする]：ビデオクリップのみが削除され、その部分が空白になります。
[削除して間隔を詰める]：ビデオクリップが削除され、そのあとに配置されていたクリップが前に移動します。
[削除、間隔を詰めて、すべてのクリップを移動する]：削除するビデオクリップ以降にあるすべてのクリップが前に移動します。



- 3 [削除して間隔を詰める] を選択した場合は、ビデオクリップが削除されてビデオクリップの間が詰められます。

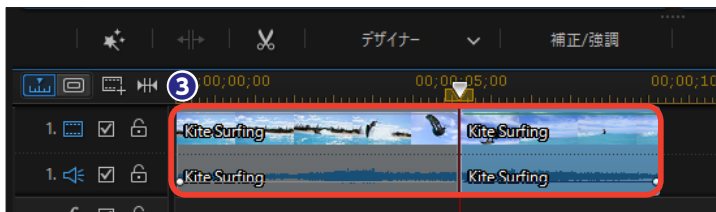
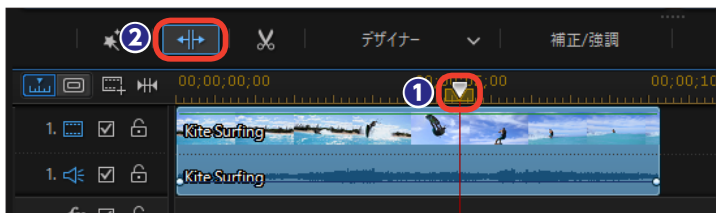


分割

① ビデオクリップを分割するには、タイムラインスライダーを分割する位置までドラッグします。

② 「選択したクリップを分割」をクリックします。

③ ビデオクリップが分割されます。分割したビデオクリップは、移動や削除ができます。



6

編集

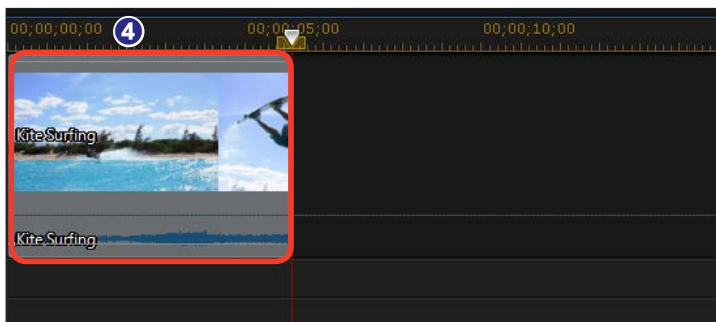
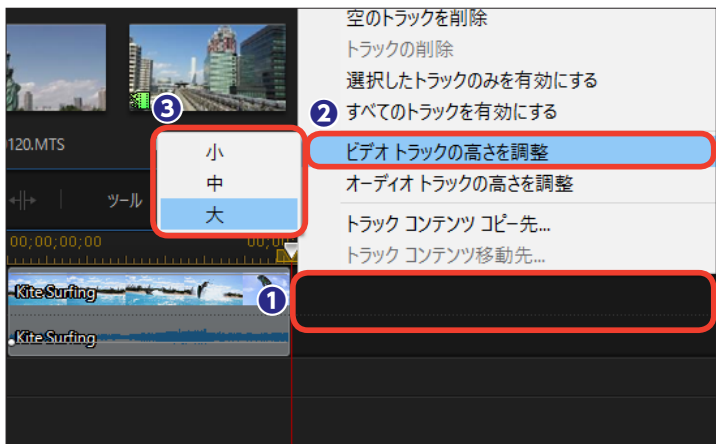
トラックサイズの調整

① トラックのたて幅を調整するには、調整するトラックのクリップが配置されていない場所を右クリックします。

② 表示されるメニューから「ビデオトラックの高さを調整」をクリックします。

③ 標準サイズは「中」です。サブメニューから調整するサイズをクリックします。

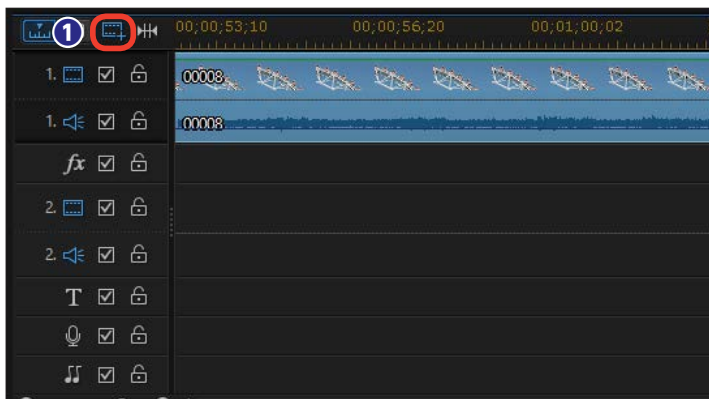
④ ビデオトラックの高さが変更されます。「大」にしてビデオクリップの内容がよくわかるようにしたり、「小」にしてたくさんのトラックを表示したりして調整します。



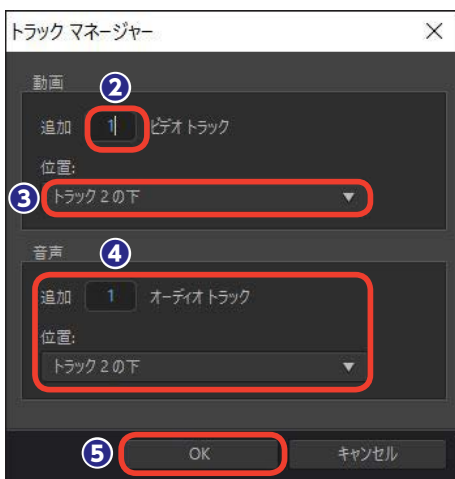
トラックの追加

タイムラインには標準でビデオトラックが2本、ミュージックトラックが1本表示されています。ビデオトラックとミュージックトラックは必要に応じて増やすことができます。

① [タイムラインにビデオ/オーディオトラックを追加] をクリックします。



② [トラックマネージャー] ウィンドウが表示されます。[動画] の [追加] に、追加する数値を入力します。



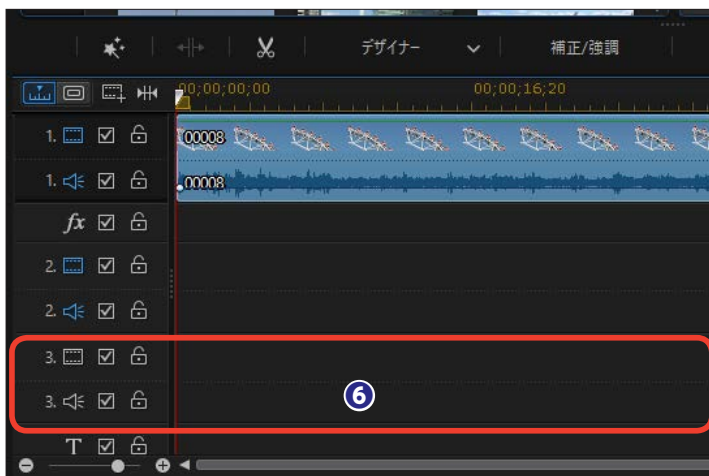
メモ
トラックは、最大100本まで追加できます。

③ [位置] の [▼] をクリックして、挿入する場所を選択します。

④ 同じように [音声] の [追加] に追加する数値を入力し、[位置] の [▼] をクリックして挿入する場所を選択します。

⑤ [OK] をクリックします。

⑥ ビデオトラックが追加されます。

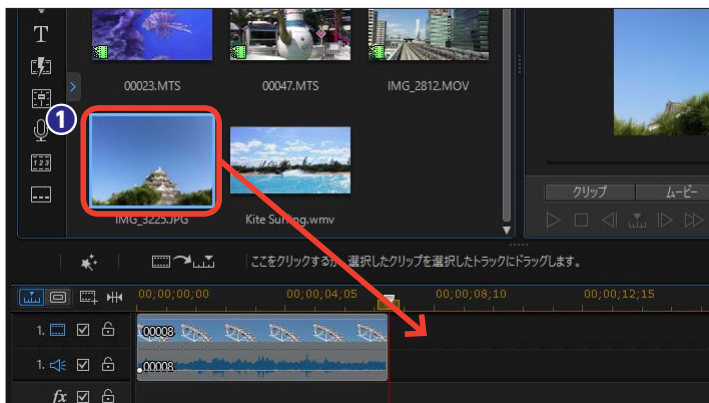


メモ

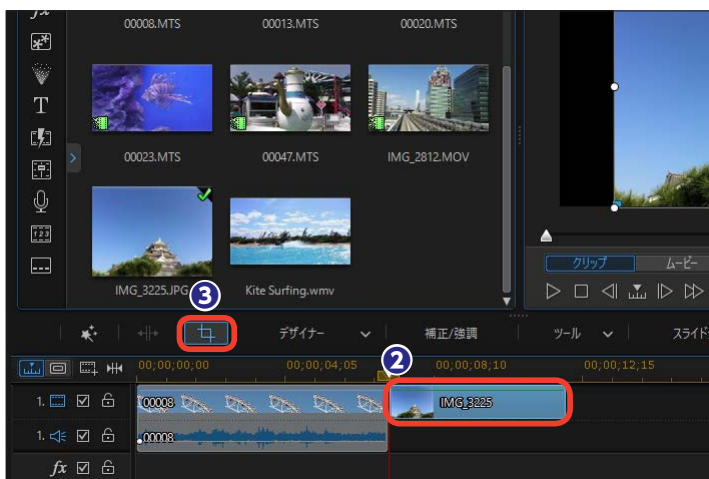
[動画] の [追加] を [0] に設定して [音声] の [追加] を [1] にすると、オーディオトラックのみが追加されます。追加したオーディオトラックはミュージックトラックと同様の機能なので、ミュージッククリップを配置することができます。

画像クリップの配置

① 画像クリップをタイムラインに配置するには、[メディアルーム] のライブラリから画像クリップをタイムラインにドラッグします。



② 画像クリップがタイムラインに配置されます。作成するビデオが16:9の場合、[4:3] や [3:2] の画像には両端に黒縁が表示されます。これを避けるには、画像のトリミングを行います。タイムラインの画像クリップをクリックします。

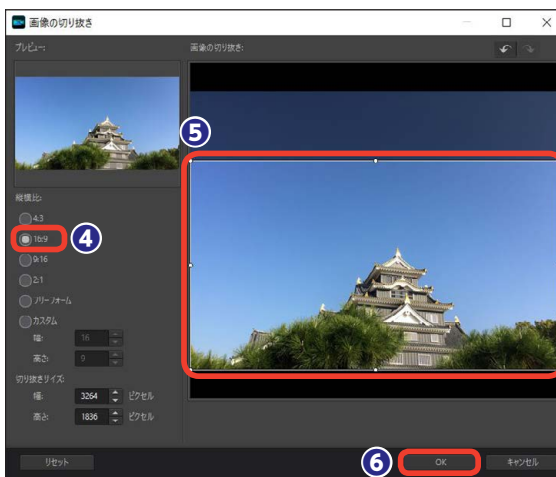


③ [選択した画像を切り抜き] をクリックします。

④ [画像の切り抜き] ウィンドウが表示されます。ビデオの縦横比を [16:9] に設定している場合は、[縦横比] で [16:9] にチェックを入れます。

⑤ プレビューウィンドウの白い枠をドラッグして、表示する範囲を設定します。

⑥ [OK] をクリックします。作成するビデオの縦横比にあった写真サイズになります。



6

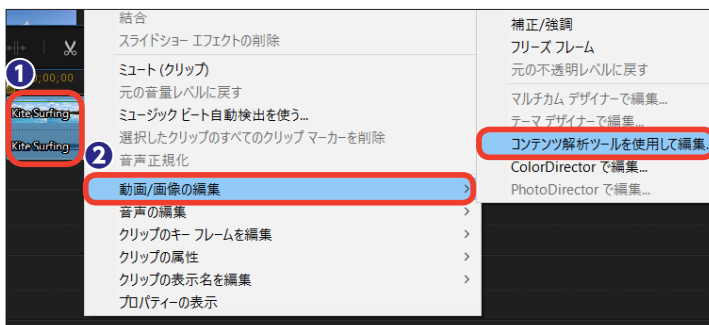
編集

コンテンツ解析ツール

【コンテンツ解析ツール】は、PowerDirectorがビデオクリップを自動解析して、映像のよい箇所と悪い箇所を分析し、悪い箇所を削除したり補正したりする機能です。これによりビデオクリップ全体が見栄えのいい映像になります。

① 解析するビデオクリップを右クリックします。

② [動画/画像の編集] → [コンテンツ解析ツールを使用して編集] をクリックします。

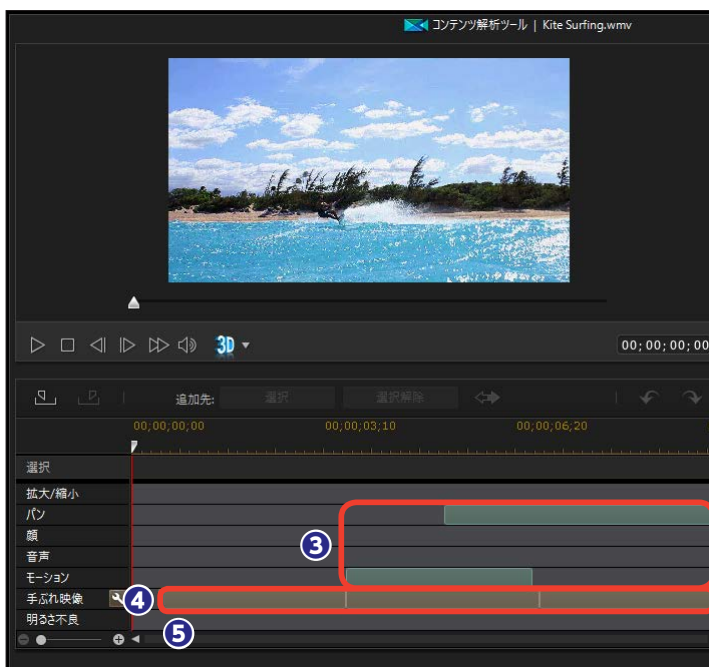


【コンテンツ解析ツール】 ウィンドウが表示されます。

③ ビデオクリップの映像の良い部分が緑のマーカーで表示されます。

④ 映像の悪い部分は茶色のマーカーで表示されます。このビデオクリップでは手ぶれが発生していることがわかります。

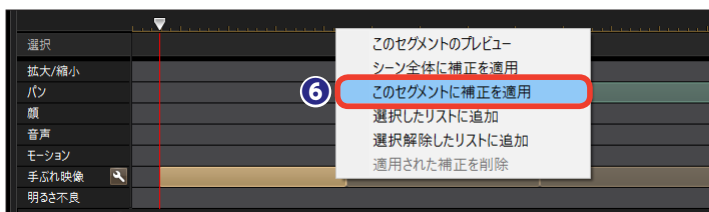
⑤ 悪い部分を補正するには、茶色のマーカー部分を右クリックします。



⑥ 表示されるメニューから [このセグメントに補正を適用] をクリックします。

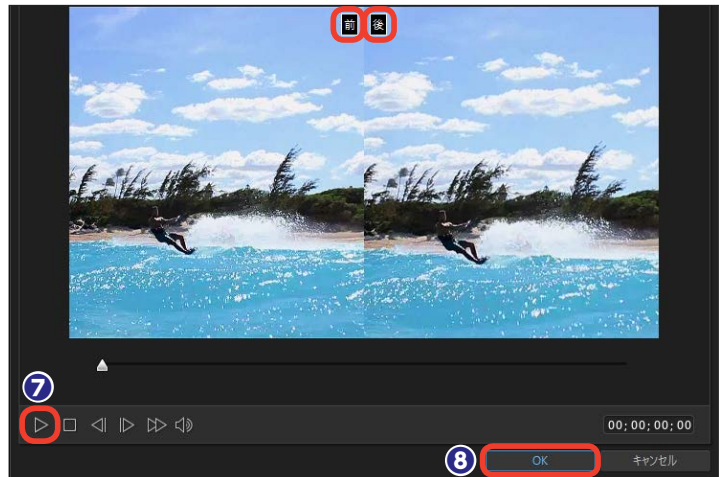
メモ

[シーン全体に補正を適用] を選択すると、すべてのシーンが補正されます。



7 手ぶれ補正を行う [自動補正 | 手ぶれ映像] ウィンドウが表示されて、自動で補正が行われます。
[再生] をクリックして補正前と後の映像を見比べます。

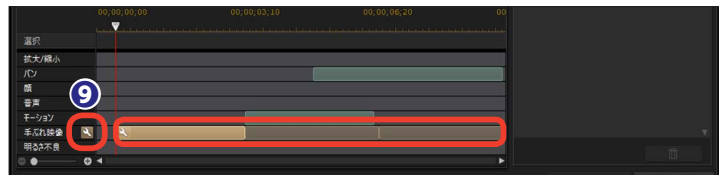
8 よければ [OK] をクリックします。



6

編集

9 [コンテンツ解析ツール] ウィンドウに戻ります。[すべてのセグメントを自動補正] をクリックすると、同じ原因のセグメントが自動補正されます。

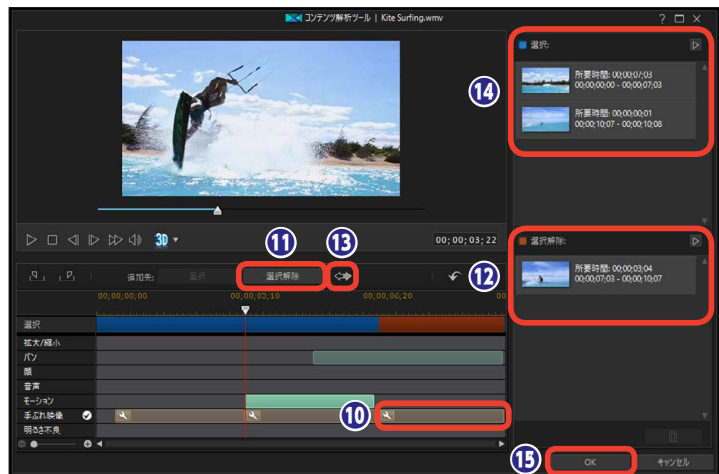


10 手ぶれ部分などを補正ではなく、ビデオから削除することもできます。削除する映像部分を [Ctrl] キーを押しながら選択します。

11 [選択解除] をクリックします。

12 ビデオから削除する部分が [選択解除] の一覧に表示されます。

13 [すべて選択 (選択解除したコンテンツ以外)] をクリックします。



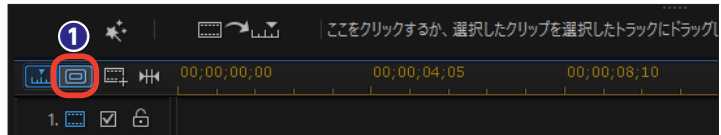
14 ビデオで使用する部分が [選択] の一覧に表示されます。

15 これで、手ぶれ部分だけがトリミングされるビデオになります。
[OK] をクリックします。

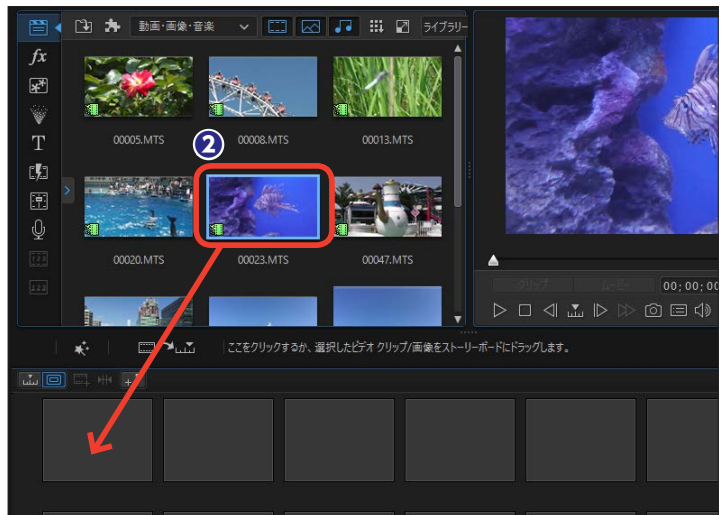
ストーリーボード

ストーリーボードは、ビデオクリップのサムネイルを並べてビデオを編集します。どの順番にビデオクリップを並べたかが視覚的にわかり、ビデオの構成を考えるとときに役立ちます。ストーリーボードで大まかな構成を練り、タイムラインで本格的にビデオ編集を行うといいでしょう。

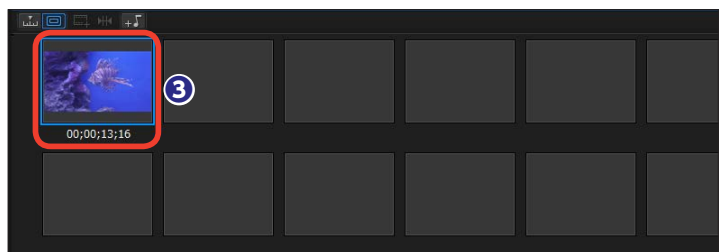
- 1 ストーリーボードを表示するには、[ストーリーボードビュー] をクリックします。



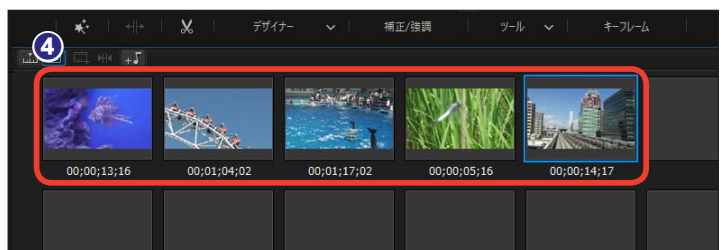
- 2 ストーリーボードが表示されます。[メディアルーム] のライブラリからビデオクリップをドラッグします。



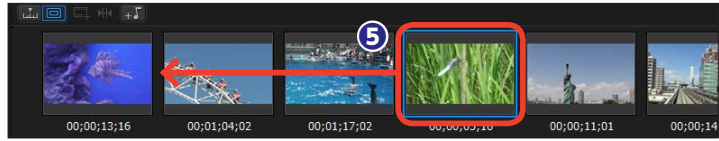
- 3 ストーリーボードにビデオクリップが表示されます。同様にビデオクリップをストーリーボードにドラッグします。



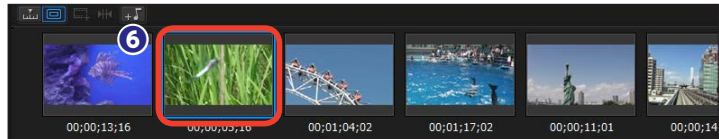
- 4 ビデオクリップがストーリーボードに配置されます。



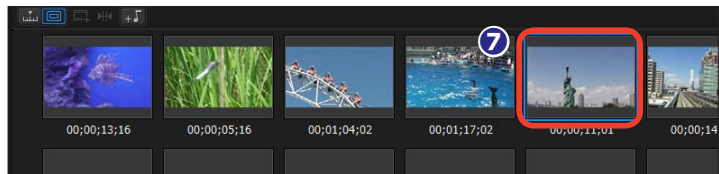
5 ビデオクリップの再生順を変更するには、ビデオクリップを変更する位置までドラッグします。



6 ビデオクリップが移動します。



7 ビデオクリップを削除するには、ビデオクリップを選択してキーボードの [Delete] キーを押すか、クリップを右クリックして [削除] を選択します。



6

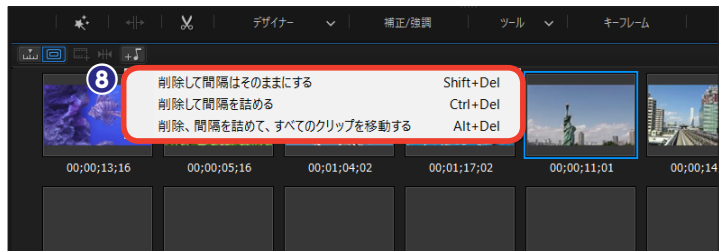
編集

8 表示されるメニューから適用する項目を選択します。

[削除して間隔はそのままにする]：ビデオクリップのみが削除され、その部分が空白になります。

[削除して間隔を詰める]：ビデオクリップが削除され、そのあとに配置されているビデオクリップが前に移動します。

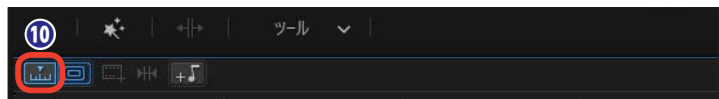
[削除、間隔を詰めて、すべてのクリップを移動する]：削除するビデオクリップ以降にあるすべてのクリップが前に移動します。



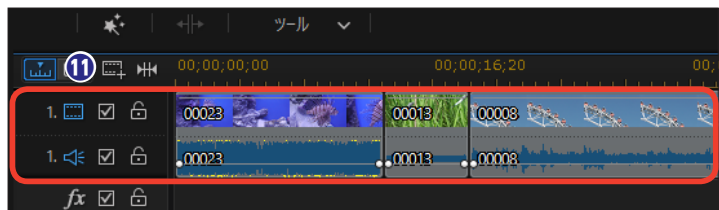
9 ビデオクリップが削除されます。



10 タイムラインを表示するには、[タイムラインビュー] をクリックします。



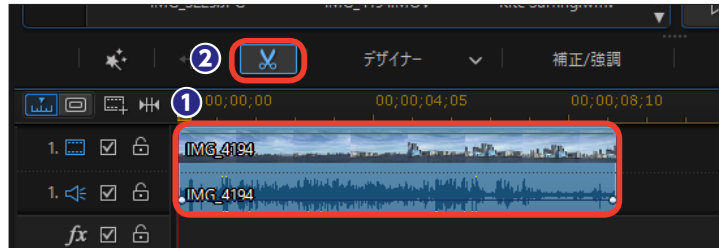
11 タイムラインが表示され、編集したビデオクリップがビデオトラックに配置されます。



トリミング

トリミングは、ビデオクリップから手振れなどの見づらいシーンや不要なシーンを省き、安定した映像にする作業です。ただし、手振れを起こしていても、見せたいシーンや決定的な瞬間、貴重なシーンであればトリミングせずに残しましょう。

① トリミングしたいビデオクリップを選択します。



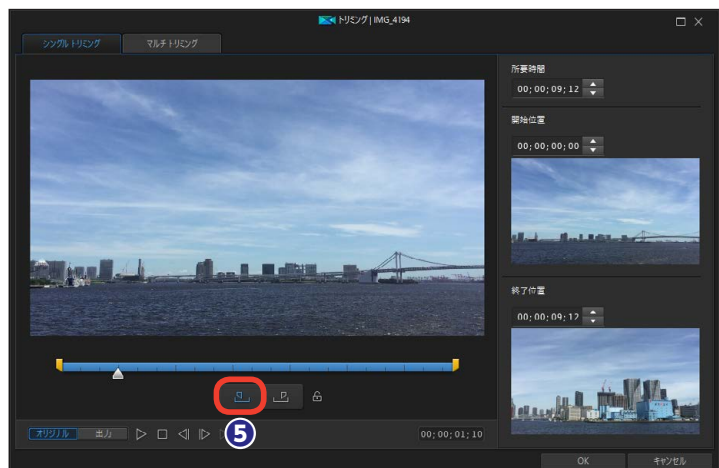
② [選択したクリップから不要部分をトリミング] をクリックします。

③ [トリミング] ウィンドウが表示されます。[シングルトリミング] タブがアクティブになっていることを確認します。



④ 再生スライダーをドラッグして、ビデオクリップの内容を確認します。必要なシーンの冒頭に再生スライダーを移動します。

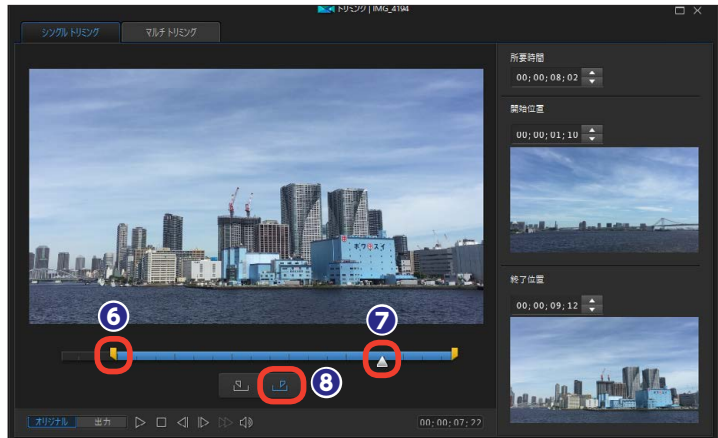
⑤ [開始位置] をクリックします。



6 冒頭のシーンがトリミングされます。

7 必要なシーンの終わりに再生スライダーを移動します。

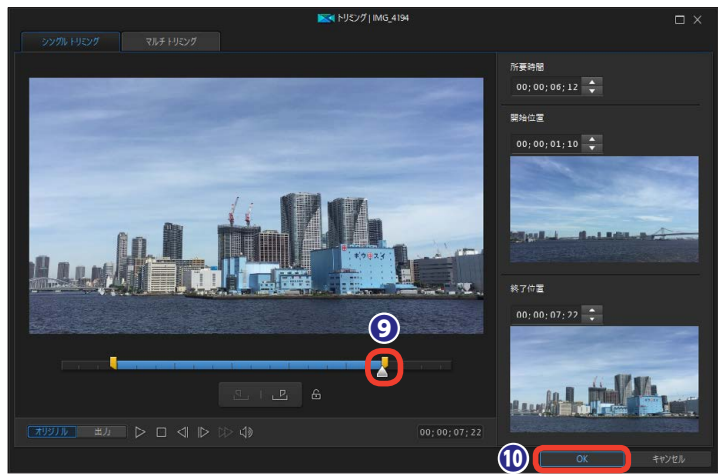
8 [終了位置] をクリックします。



6

9 終わりのシーンがトリミングされます。

10 [OK] をクリックすると、ビデオトラックに配置しているビデオクリップがトリミングされます。



編集

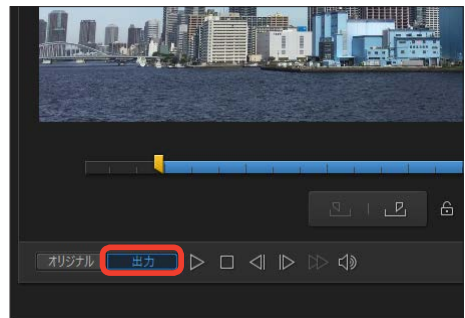
メモ

[開始位置]や[終了位置]を示すカウンター横の[▲] [▼] をクリックすると、[開始位置] や [終了位置] をフレーム単位で調整できます。



メモ

トリミングしたビデオクリップを再生して確認するには、[出力] をクリックします。[開始位置] から [終了位置] までのシーンが再生されます。

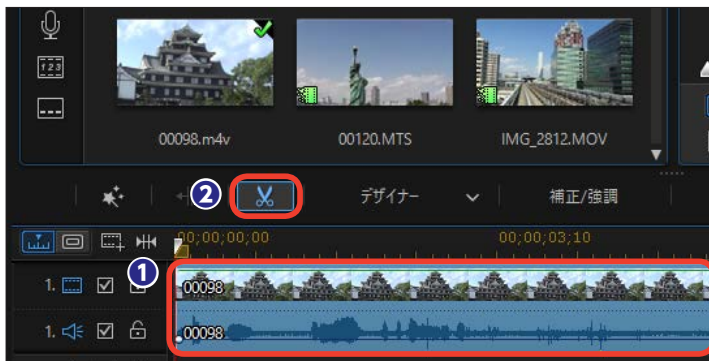


マルチトリミング

マルチトリミングは、ビデオクリップのシーンの変化を自動で分析して、シーンごとに分割（セグメント化）します。シーンごとに分割する手間が省け、各シーンのトリミングがすぐにできます。また、手動でビデオクリップから複数のシーンを抽出することもできます。

① トリミングしたいビデオクリップを選択します。

② [選択したクリップから不要部分をトリミング] をクリックします。

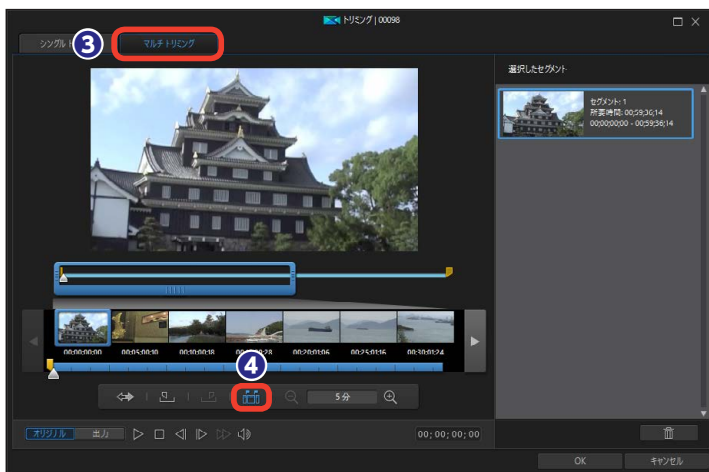


③ [トリミング] ウィンドウが表示されます。[マルチトリミング] タブをクリックします。

④ [シーンの検出] をクリックします。

メモ

[開始位置] と [終了位置] を設定した後に [トリミング反転の結果] をクリックすると、選択範囲以外のシーンが抽出されます。

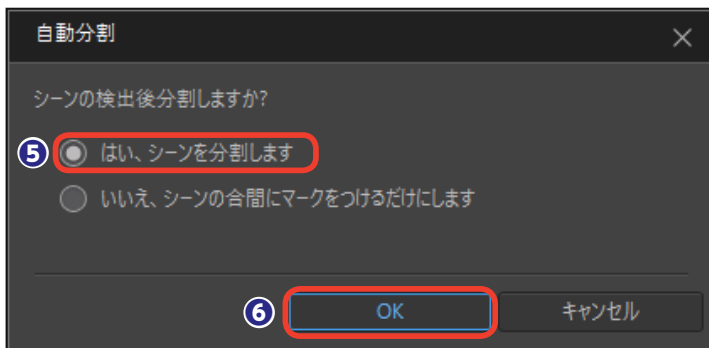


⑤ [自動分割] ダイアログボックスが表示されます。[はい、シーンを分割します] にチェックを入れます。

注意

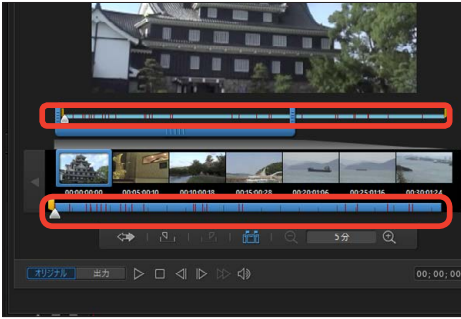
オリジナルのビデオファイルが分割されるわけではありません。

⑥ [OK] をクリックします。



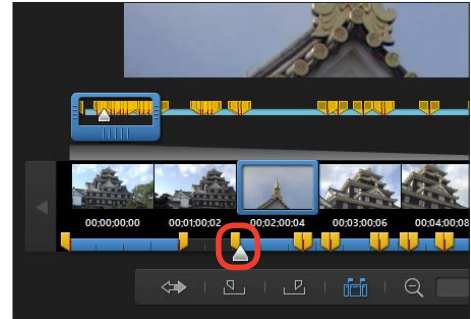
メモ

⑥で、[いいえ、シーンの合間にマークをつけるだけにします] を選んで [OK] をクリックすると、各シーンの境に赤い線が表示されます。再生スライダを操作した際に赤い線でスナップします。



メモ

セグメントをクリックして、[開始位置スライダー] や [終了位置スライダー] をドラッグしてセグメントの再生開始位置や終了位置を調整して、各セグメントのトリミングもできます。



6

編集

⑦ [選択したセグメント] に、ビデオクリップ内のシーンを分割したセグメントが表示されます。

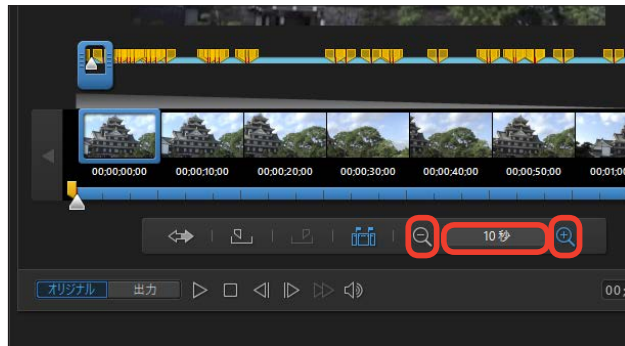
⑧ 不要なセグメントを削除するには、セグメントを選択して [削除] をクリックします。

⑨ [OK] をクリックすると選択したセグメントがひとつのビデオクリップとしてタイムラインに配置されます。



メモ

[拡大] [縮小] をクリックすると、ビデオクリップが5分、1分、10秒、5秒、1秒、5フレーム、1フレームの単位で表示されます。各セグメントの再生時間を細かく調整するときに便利です。



クリップの長さの調整

タイムラインに配置したビデオクリップの長さを調整するには、ビデオクリップの端をドラッグします。トリミングしたビデオクリップの後に配置されたクリップは前に詰めるか、そのまま空白にするかを選択できます。

① 2つのクリップに挟まれたビデオクリップを選択します。

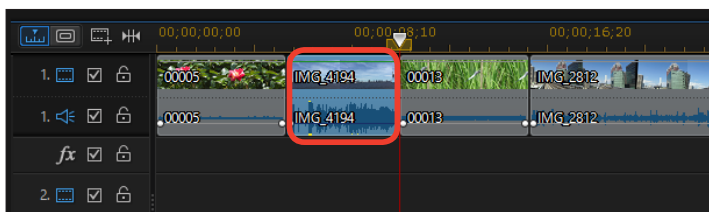
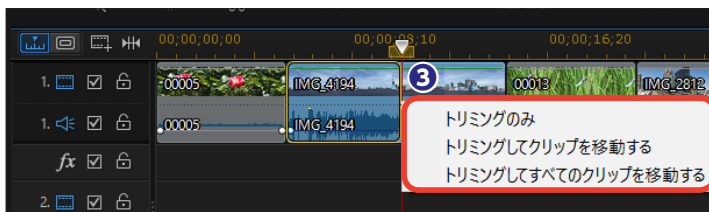
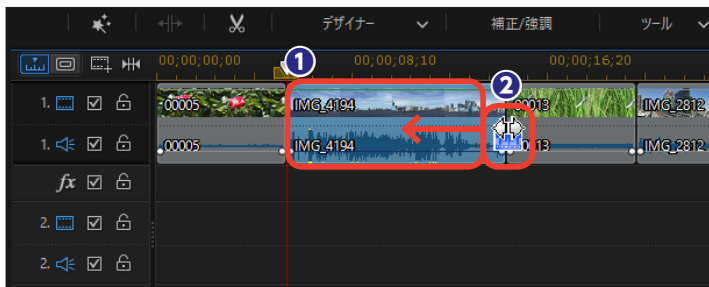
② 他のクリップと隣接した箇所にポインタを合わせると [←→] アイコンになります。クリップの先頭からトリミングする場合は右へ、後尾からであれば左へドラッグします。

③ 表示されるメニューからトリミング方法を選択します。

【トリミングのみ】：クリップの長さを調整した後の空白がそのままになります。

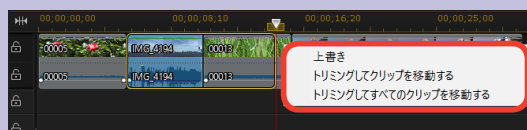
【トリミングしてクリップを移動する】：クリップの長さを調整した空白に、後に続くクリップすべてが移動します。ただし、別のトラックに配置したクリップは移動しません。

【トリミングしてすべてのクリップを移動する】：クリップの長さを調整した空白に、後に続くクリップすべてが移動します。別のトラックに配置しているクリップも連動します。



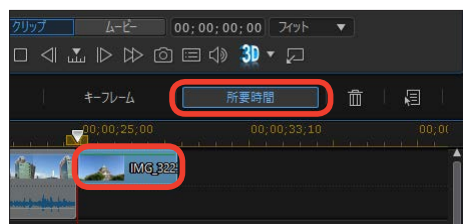
注意

画像クリップの再生時間を長くする場合や再生時間を短くしていたビデオクリップを長くする場合は、クリップの先頭から延長するなら左へ、後尾からであれば右へドラッグすると [上書き] [トリミングしてクリップを移動する] [トリミングしてすべてのクリップを移動する] の3つのサブメニューが表示されます。[上書き] は直前または直後のクリップと重なる部分を上書き（置き換え）します。ほかの2つでは長くした時間だけビデオ全体が伸びます。



メモ

画像クリップの再生時間を変更するには、タイムラインの画像クリップを選択して [所要時間] をクリックします。表示される [所要時間の設定] ダイアログボックスで再生時間を入力して [OK] をクリックします。



画像の切り抜き

画像から縦横比 [16 : 9] や [4 : 3] の画面を切り取るなど、画像をトリミングできます。画像をトリミングすると、見せたい対象が拡大表示され、強調できます。

① タイムラインの画像クリップを選択します。

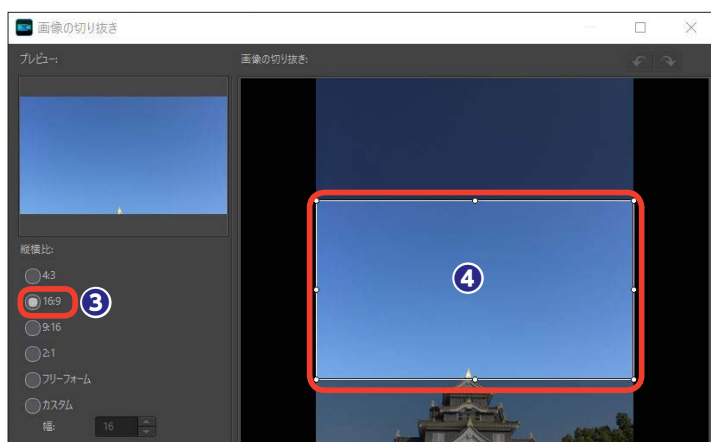
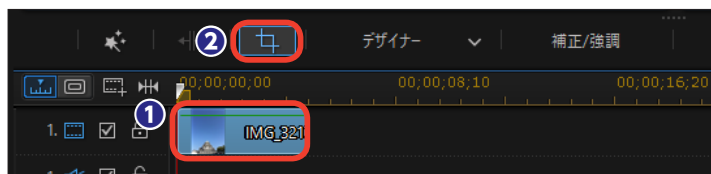
② 「選択した画像の切り抜き」をクリックします。

③ 「画像の切り抜き」ウィンドウが表示されます。ここでは「縦横比」の [16 : 9] にチェックを入れます。

④ 8つの白いポイントにポインタを合わせて任意の場所までドラッグしたり、表示位置を調整します。

⑤ 画像がトリミングされます。

⑥ [OK] をクリックします。

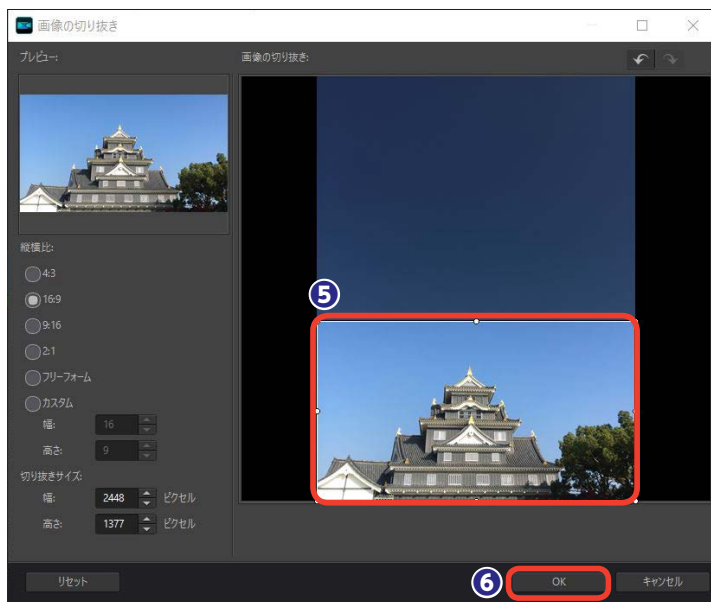


注意

PowerDirector起動時に選んだアスペクト比により、切り抜くアスペクト比によっては、静止画の左右や上下に黒い帯が表示されます。

メモ

厳密に画面サイズを指定するには「カスタム」にチェックを入れて、数値入力でサイズを決定します。



メディアの変形

ビデオや画像クリップを歪めたり、縮小したり、と映像を変形できます。また、表示する位置を変えられます。フレームを逆台形のようにしたり、縮小したりすることで、画面に奥行き感を出すこともできます。

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② プレビューウィンドウの中央に十字のマークが表示されます。



③ 四隅の青い四角形にポインタを合わせ、ポインタの横に十字矢印が表示された状態でドラッグします。



④ 画面が変形します。

メモ

画面の枠にある白い8つのポイントをドラッグすると、画面全体を縮小できます。

メモ

画像の変形はクリップ全体の再生時間に反映します。クリップの再生時間の一部だけに変形をかけるには、[キーフレーム]を利用します。キーフレームの設定方法は114ページをお読みください。



映像の補正／強調

【補正／強調】では、ビデオや画像クリップの明るさや色の調整、動画の手ぶれ補正、ノイズの除去などの映像の補正を行います。

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② 【補正／強調】 をクリックします。

③ 【補正／強調】 ウィンドウが表示されます。ビデオの場合は、【補正】の項目に【明るさ調整】【レンズ補正】【スタビライザー（手ぶれ補正）】【映像ノイズ除去】【音声ノイズ除去】が表示されます。

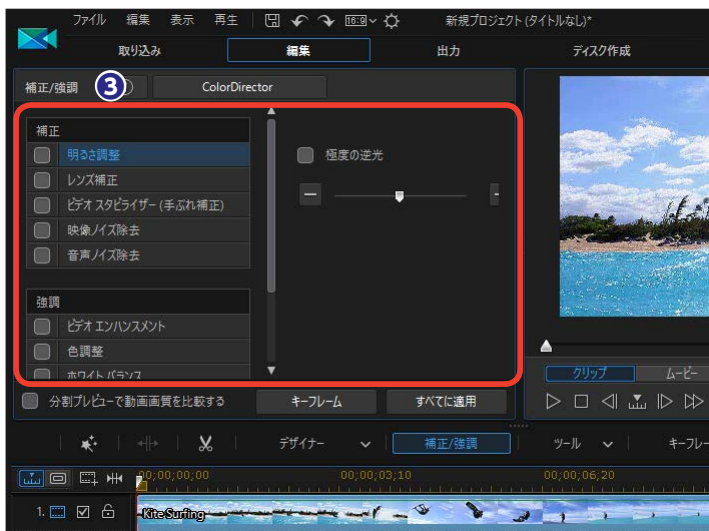
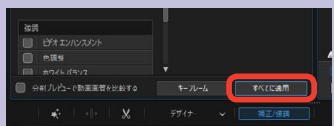
【強調】の項目には、【ビデオエンハンスメント】【色調整】【ホワイトバランス】【カラーエンハンスメント】が、【ColorDirector】の項目に【カラープリセット】が表示されます。

各項目にチェックを入れると、効果が適用されます。調整はスライダーの操作やサムネイルの選択などで行います。

注意

補正や強調を行った後、【補正／強調】ウィンドウの右下にある【すべてに適用】をクリックすると、補正中のクリップと同じトラックに並ぶ他のクリップにも補正が適用されます。ただし、ビデオクリップへの補正は同じビデオトラックのビデオクリップにしか適用されません。

同様に画像クリップへの補正は同じビデオトラックの画像クリップにしか適用されません。



メモ

PowerDirector 15では、新機能として【強調】に【カラーエンハンスメント】を加えました。【カラーエンハンスメント】ではビデオを解析して、映像の色を最適化します。人物の肌の色合いも補正します。

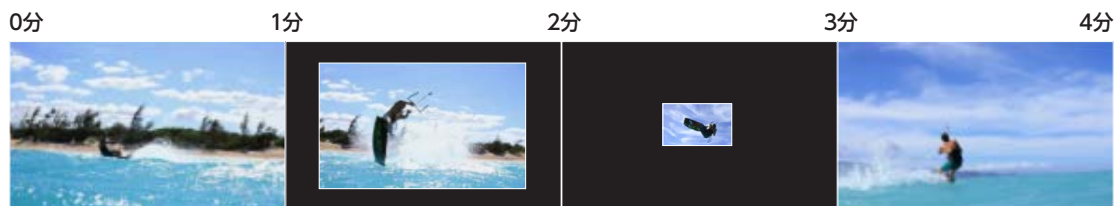


キーフレーム

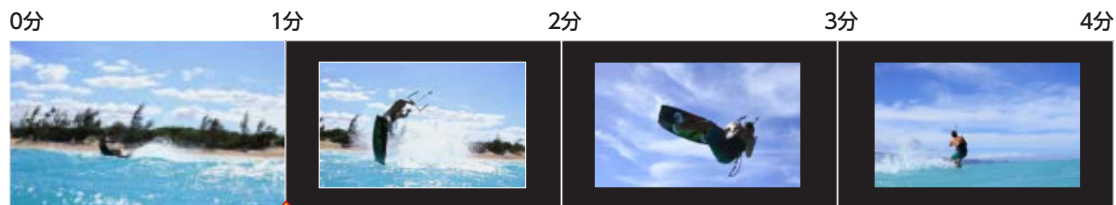
キーフレームを利用することで、ビデオや画像、音声、BGMなどへの修正や加工、エフェクトの効果の増減をフレーム単位で設定できます。PowerDirectorにはさまざまな機能にキーフレームを設定できます。

キーフレームの基礎

キーフレームは、ビデオの途中で違う効果に変更したいときや変化を加えるときなどに設定します。別の効果を加えるためにビデオを分割することなく、簡単にひとつのビデオクリップにいくつもの設定ができます。

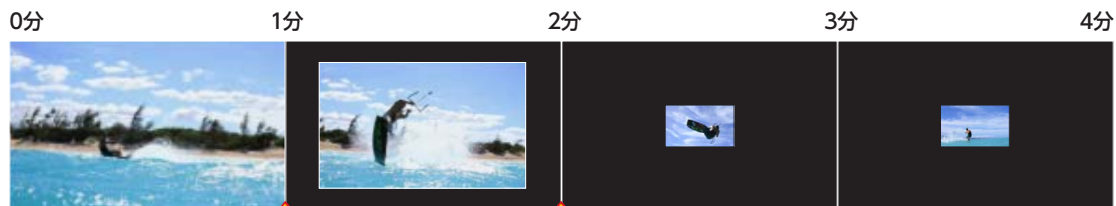


① ここではビデオの表示サイズをキーフレームを使って縮小したり、元の表示サイズに戻す例で説明します。ビデオの表示サイズを少し小さくするにキーフレームを設定した表示サイズを75%に設定します。するとキーフレームを設定した位置からあとのビデオサイズが小さくなります。



キーフレーム1 ◆ ここにキーフレームを設定

② [2分] のところに2つ目のキーフレームを設定してビデオサイズを25%に設定します。



キーフレーム1 ◆ キーフレーム2 ◆ ここにキーフレームを設定

③ 3つ目のキーフレームを設定して、ビデオの表示サイズを元に戻します。



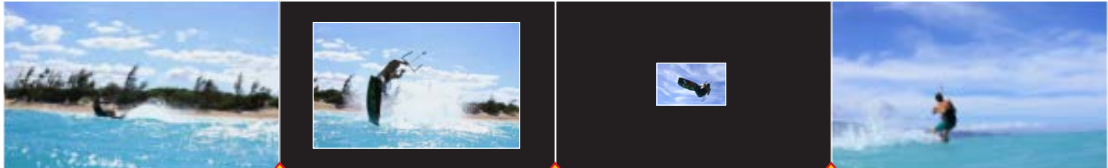
キーフレーム1 ◆ キーフレーム2 ◆ キーフレーム3 ◆

④ キーフレームの位置でビデオの表示サイズが変わります。このようにPowerDirectorではビデオの拡大/縮小、ビデオの補正/強調、音量、エフェクト、タイトルの表示など、いろいろな機能でキーフレームを設定できます。

■元のビデオ

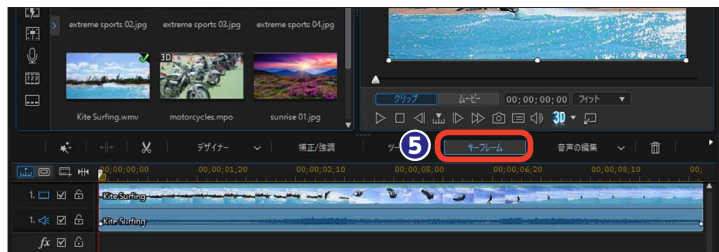


■キーフレームを設定して表示サイズを調整したビデオ

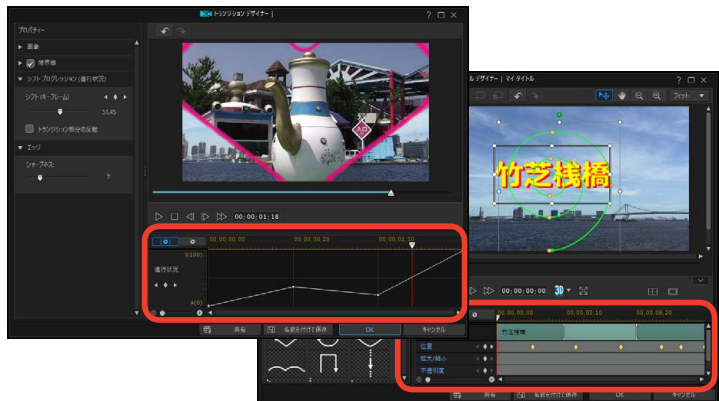


⑤ キーフレームを設定するにはクリップをクリックして、[キーフレーム] をクリックします。

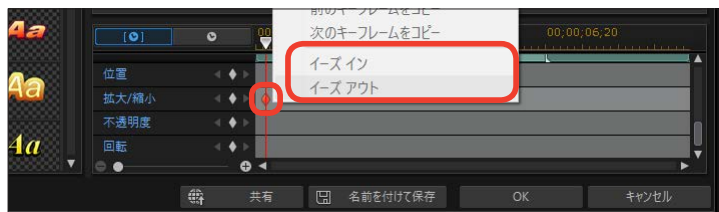
[キーフレームの設定] 画面が表示されます。ここでは、クリップの [補正/強調] や [クリップの属性]、[音量] をキーフレームで設定できます。



⑥ キーフレームは、[キーフレームの設定] 画面だけでなく、[トランジション] や [エフェクト]、[PIP]、[マスク]、[パーティクル]、[タイトル] の各設定画面で使用できます。どの機能でも設定方法は同じで、◆ [現在のキーフレームを追加/削除] アイコンをクリックしてキーフレームを設定し、そこに各効果や変化を調整します。



⑦ [タイトルデザイナー] や [PiPデザイナー] ではキーフレームを右クリックして表示されるメニューから、効果を減速する [イーズイン] と加速する [イーズアウト] の設定ができます。



キーフレームの設定

ここではビデオクリップが徐々に小さくなって消えていく効果を例にキーフレームの基本操作を説明します。

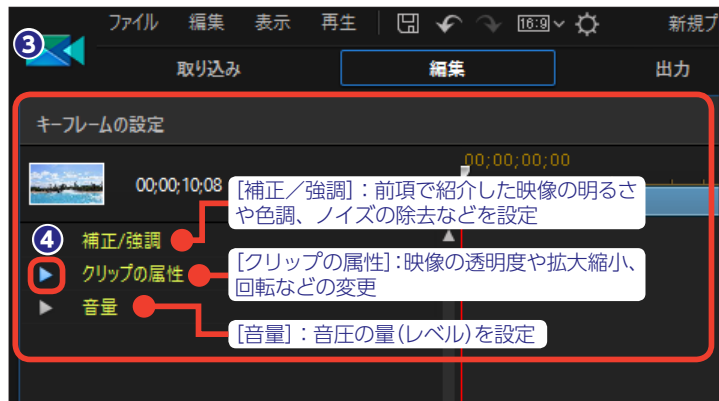
① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② [キーフレーム] をクリックします。



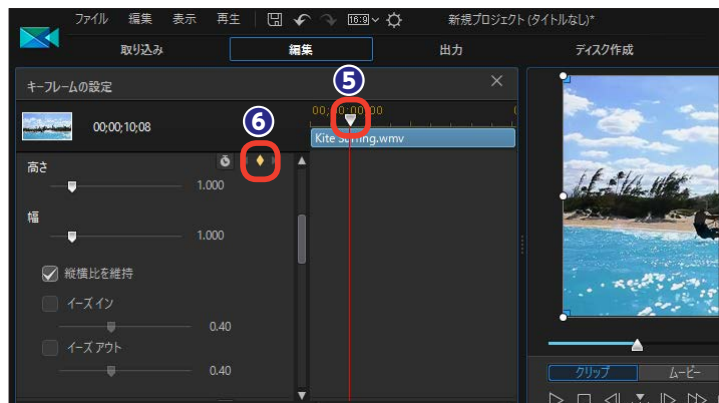
③ [キーフレームの設定] ウィンドウが表示されます。[キーフレームの設定] で変更できるのは、[補正/強調] [クリップの属性] [音量] です。

④ [クリップの属性] の [▶] をクリックします。



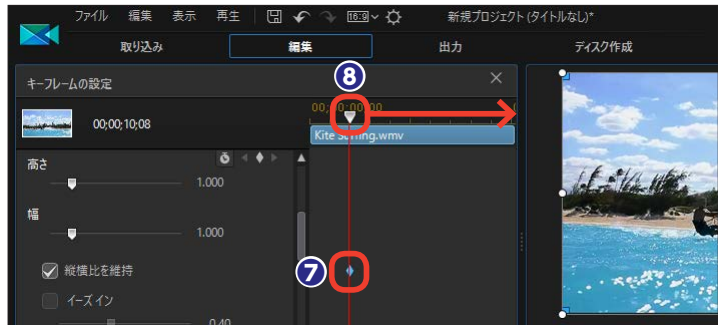
⑤ タイムラインスライダーを映像が小さくなり始める位置までドラッグします。

⑥ [高さ] と [幅] の [現在のキーフレームの追加/削除] をクリックします。



7 キーフレームが設定されます。
キーフレームは水色で表示されます。

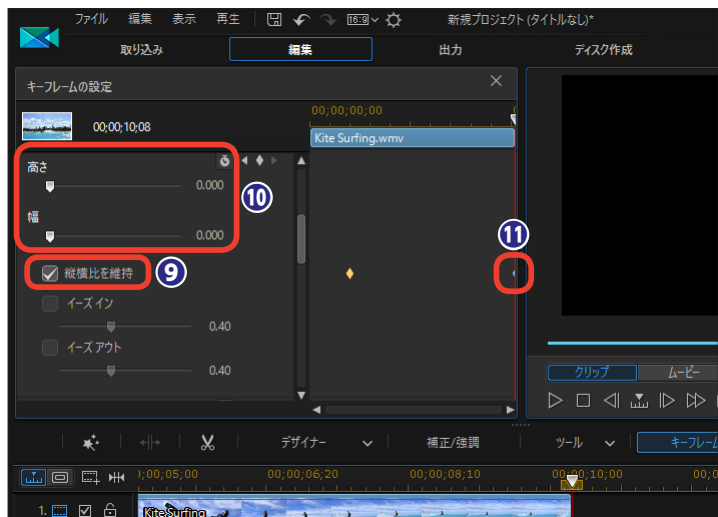
8 タイムラインスライダーを映像の
終わりにドラッグします。



9 [縦横比を維持] にチェックを入
れます。

10 [高さ] ([幅] でも可) のスライ
ダーを左にドラッグして数値を [0]
にします。

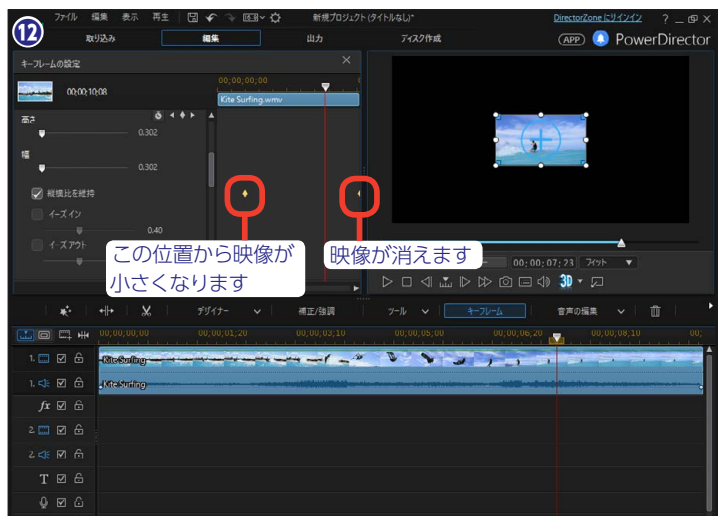
11 キーフレームが設定されます。



注意

クリップの後にほかのクリップがない
ため、プレビューウィンドウには
黒い画面が表示されます。

12 キーフレームを設定した位置から
徐々に小さくなって消えてゆく映像
になります。



6

編集

パワーツール

パワーツールには、ビデオ編集に役立つ機能が用意されています。ビデオクリップでは、2D映像の3D化、逆再生、切り抜き、再生速度の変更、回転を行います。画像クリップでは2D映像の3D化、回転を設定できます。

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [パワーツール] をクリックします。

④ [パワーツールの設定] ウィンドウが表示されます。6つの設定が表示され、それぞれの項目にチェックを入れると利用できます。

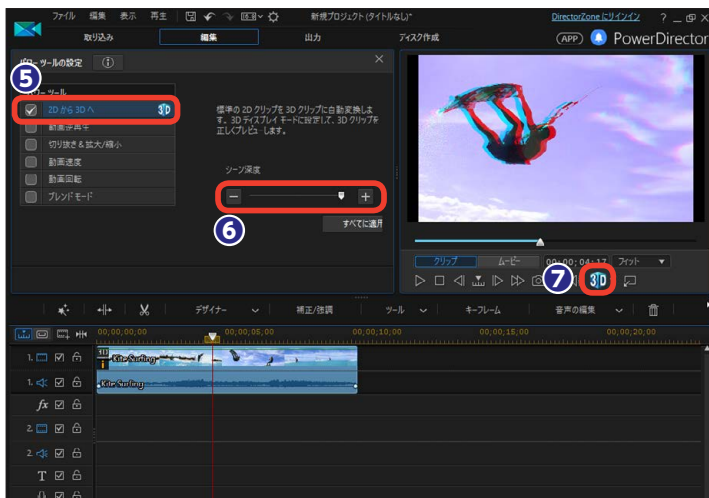
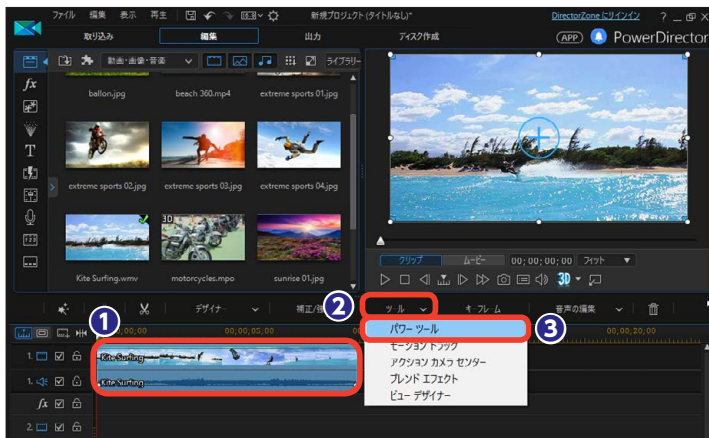
⑤ [2Dから3Dへ] にチェックを入れると、2D映像を3D映像に変更できます。

⑥ [シーン深度] スライダーで画面の奥行きを変更します。[+] 方向へドラッグするほど奥行きが強調されます。

⑦ [3Dモードを有効にする] をクリックすると、プレビューウィンドウで3D映像を確認できます。

注意

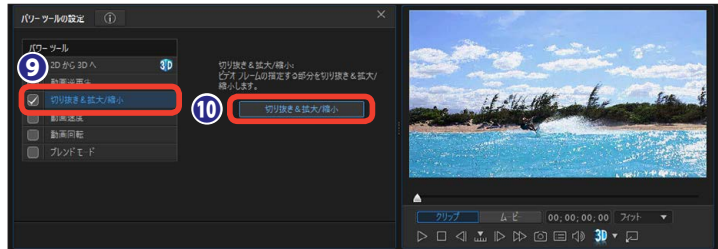
[すべてに適用] をクリックすると、2Dから3Dへ変更したクリップと同じビデオトラックに並ぶ他のクリップも3D映像になります。ただし、ビデオクリップへの変更は同じビデオトラックのビデオクリップにしか適用されません。同様に画像クリップへの変更は、同じビデオトラックの画像クリップにしか適用されません。



8 [動画逆再生] にチェックを入れると、ビデオクリップの終点から再生し、映像を巻き戻した効果になります。

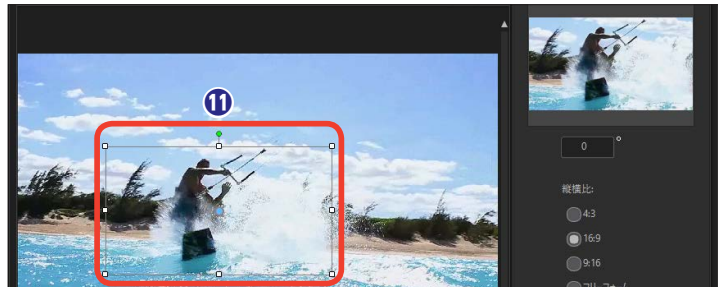


9 [動画の切り抜き&拡大/縮小] では動画のトリミングができます。[動画の切り抜き&拡大/縮小] にチェックを入れます。



10 [動画の切り抜き&拡大/縮小] をクリックします。

11 [切り抜き&拡大/縮小] ウィンドウが表示されます。画面の一部をクローズアップできるほか、キーフレームを設定して、クローズアップしている位置を動かすこともできます。



12 [動画速度] にチェックを入れると、映像の一部分だけを早送りにしたリスローモーションにしたりできます。



13 [動画速度] を設定するには、[速度調整] をクリックします。詳しくは120ページをお読みください。

14 [動画回転] にチェックを入れると、画面を回転できます。



15 数値入力で右回転、左回転させるほか、[右に90度回転] [左に90度回転] をクリックして、画面を天地逆にもできます。

ビデオスピードデザイナー

ビデオスピードデザイナーは、ビデオの再生速度を調整できます。ビデオを早回しやスローモーションにして楽しめます。また、ビデオクリップの複数の場所に設定することもでき、ビデオの一部だけを早回しやスローモーションに調整できます。

ビデオの再生速度を調整する

① [ビデオスピードデザイナー] を使用するにはビデオクリップを選択して、[ツール] から [パワーツール] をクリックします (P.118参照)。

② [動画速度] にチェック入れます。

③ [速度調整] をクリックします。



④ [ビデオスピードデザイナー] ウィンドウが表示されます。ビデオ全体の再生速度を調整するには、[クリップ全体] をクリックします。

⑤ [元の動画長さ] にクリップの再生時間が表示されます。

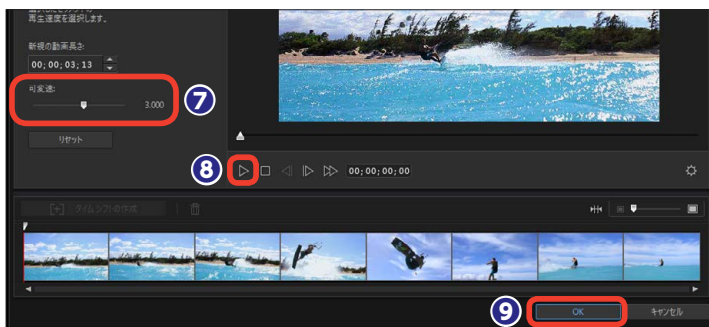
⑥ 数値入力で再生速度を調整するには、[新規の動画長さ] の [時:分:秒:コマ] の数値をクリックして、時間を入力します。決まった再生時間に調整する場合に便利です。



⑦ 倍速や減速は、[可変速] のスライダーをドラッグしたり数値を入力して調整します。

⑧ [再生] をクリックしてビデオの再生速度を確認します。

⑨ [OK] をクリックすると、再生速度が適用されます。



※再生速度を調整したクリップの音声や映像を調整する方法は、122ページをお読みください。

ビデオの一部の再生速度を調整する

① ビデオの一部だけ再生速度を調整するには、[選択した範囲] をクリックします。

② 速度を調整する位置にタイムラインスライダーをドラッグします。

③ [タイムシフトの作成] をクリックします。

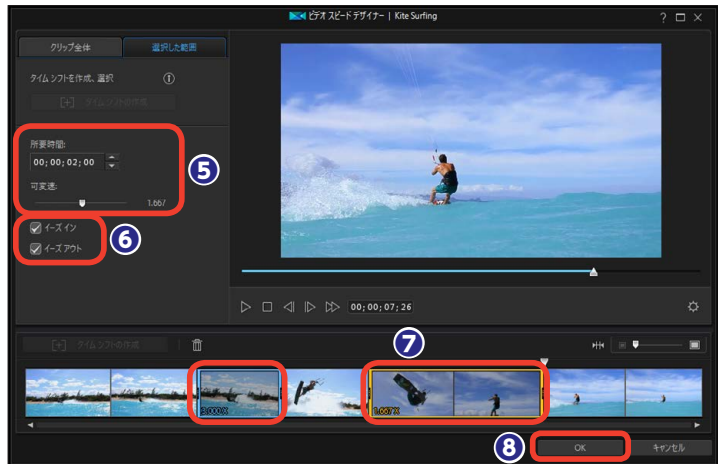
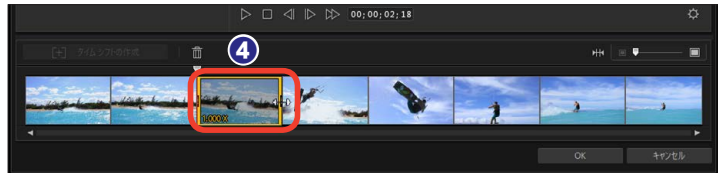
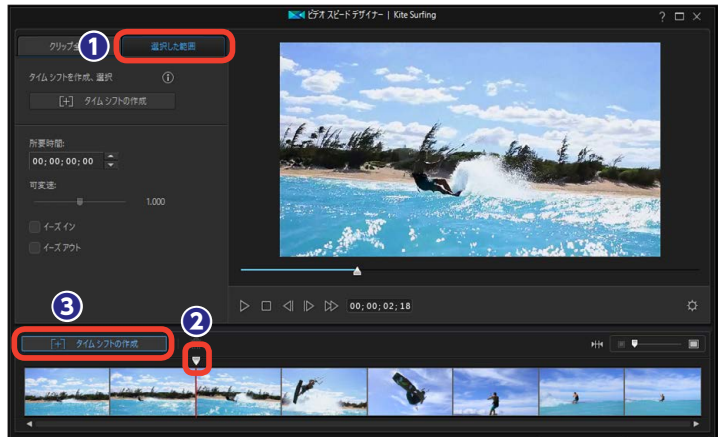
④ 黄色い枠が表示されます。両端にマウスポインターを合わせると両矢印のアイコンになります。枠をドラッグすると、再生速度を調整する範囲を変更できます。

⑤ 左ページを参考に [所要時間] や [可変速] で再生時間を調整します。

⑥ ビデオスピードデザイナーで再生時間を設定すると、設定した速度に瞬時に切り替わります。徐々に設定速度に移行するには [イーズイン] に、徐々に標準速度に移行するには [イーズアウト] にチェックを入れます。

⑦ 同様にして調整する範囲を指定します。

⑧ [OK] をクリックすると、設定した再生速度が適用されます。



※再生速度を調整したクリップの音声や映像を調整する方法は、122ページをお読みください。

音声やビデオを調整する

1 再生速度を調整したクリップの音声やビデオを設定するには、[設定] をクリックします。



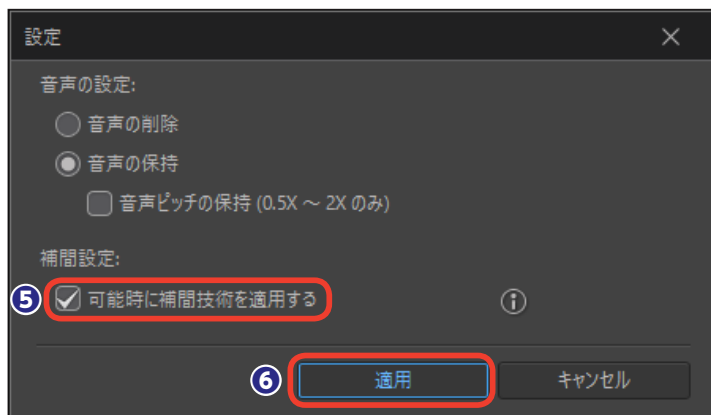
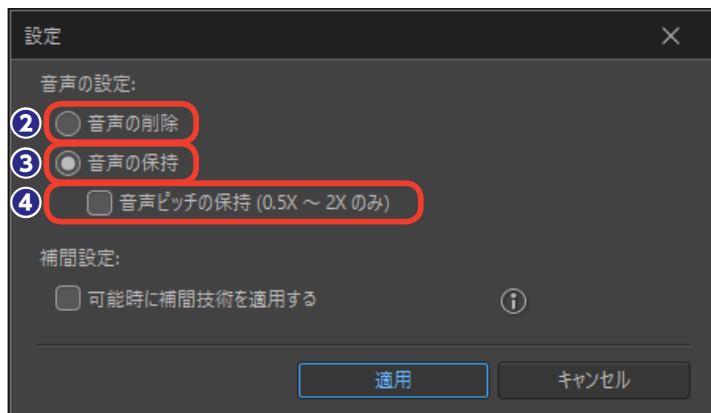
2 [設定] ウィンドウが表示されます。ビデオクリップ全体の音声を消すには、[音声の削除] にチェックを入れます。

3 ビデオクリップの音声をそのまま使用するには [音声の保持] にチェックを入れます。

4 [音声ピッチの保持] にチェックを入れると、0.5 ~ 2倍速の間では、音声のピッチは調整されません。

5 再生速度をスローモーションに設定したときに、[補間設定] の [可能時に補間技術を適用する] にチェックを入れると、PowerDirectorのフレームの補間技術により、さらになめらかなスローモーションになります。

6 設定が完了したら、[適用] をクリックします。

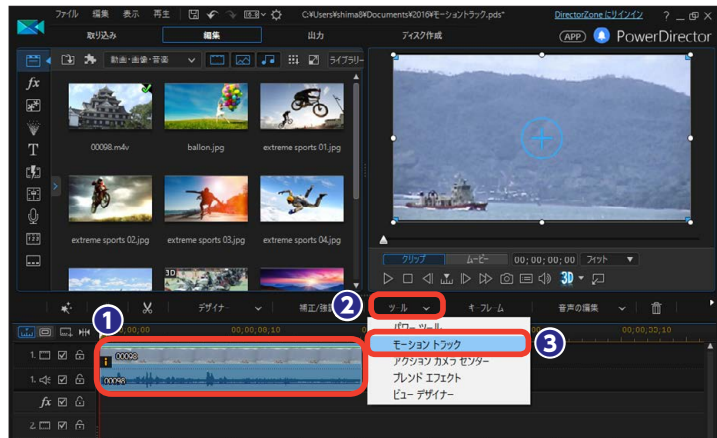


モーショントラック

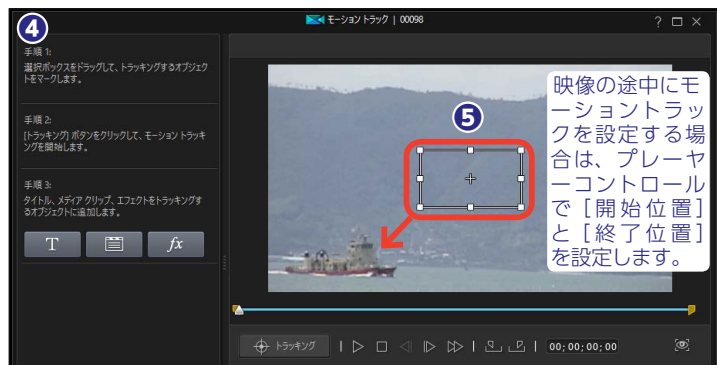
モーショントラックは、オブジェクトの動きに合わせてタイトルやビデオなどを追加できます。たとえばマラソン大会などのランナーに氏名のタイトルを表示すると、ランナーが映像で移動してもその動きに合わせてタイトルも一緒に移動します。

オブジェクトの設定

- 1 タイムラインに配置したクリップを選択します。
- 2 [ツール] をクリックします。
- 3 表示されるメニューから [モーショントラック] をクリックします。

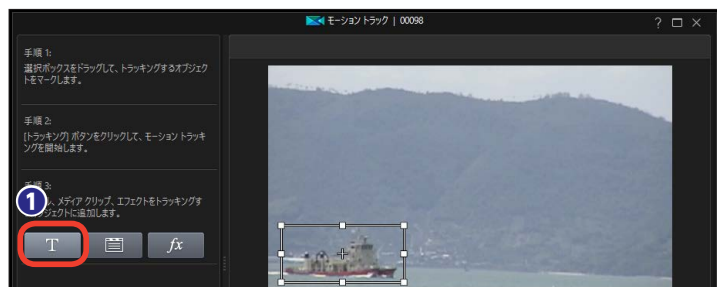


- 4 [モーショントラック] ウィンドウが表示されます。
- 5 ここでは移動する船をトラッキングします。選択ボックスを移動するオブジェクト（船）にドラッグし、四角いポイントをドラッグしてオブジェクトのサイズに合わせます。



タイトルを追加する

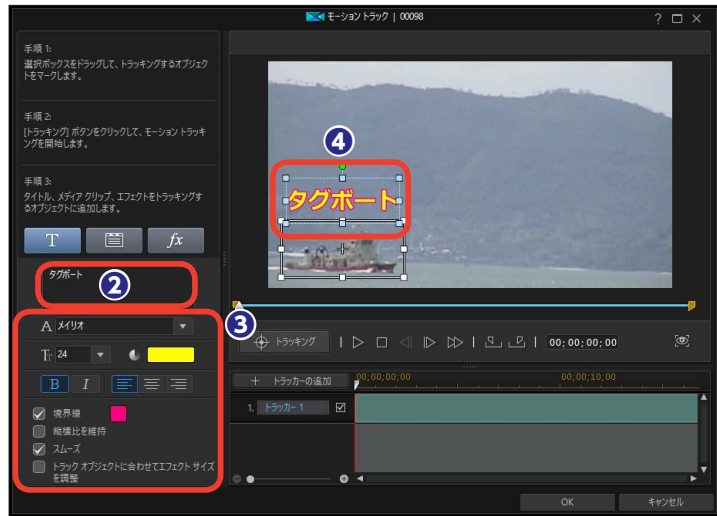
- 1 オブジェクトに文字を追加するには、[タイトルテキストの追加] をクリックします。



② テキストの設定画面が表示されます。テキストボックスに文字を入力します。

③ テキストのフォントやサイズ、文字飾りなどを設定します。

④ プレビューウインドウにテキストオブジェクトが表示されます。テキストオブジェクトはドラッグして移動したり、サイズを変更できます。この後は126ページの「モーショントラッキングを適用する」をお読みください。



写真やビデオを追加する

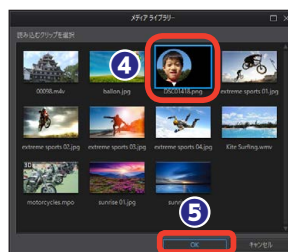
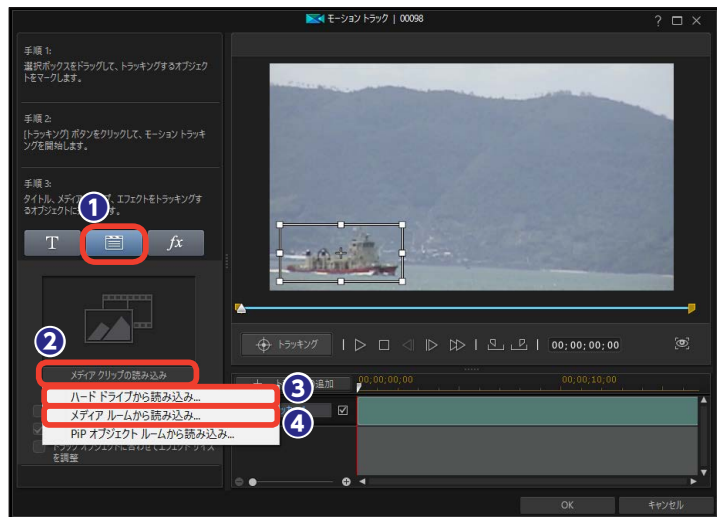
① ビデオや写真を追加するには「イメージ、PIPオブジェクト、ビデオクリップの追加」をクリックします。

② ビデオや写真の設定画面が表示されます。「画像/動画の読み込み」をクリックします。

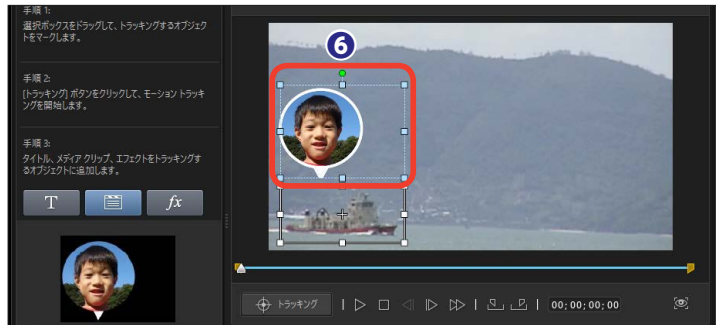
③ 表示されるメニューから画像を保存している場所を選択します。「ハードドライブから読み込み」をクリックすると、「開く」ダイアログボックスが表示されるので、使用する画像や動画ファイルを選択して「開く」をクリックします。

④ 「メディアルームから読み込み」をクリックすると、「メディアライブラリ」ウィンドウが表示されます。目的のファイルをクリックします。

⑤ 「OK」をクリックします。



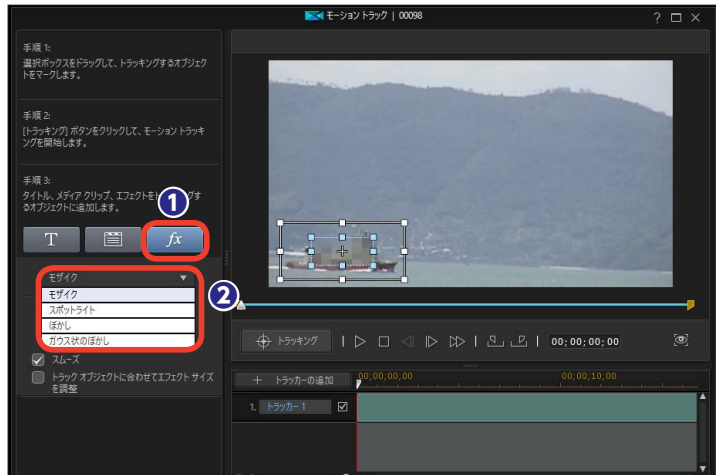
⑥ プレビューウィンドウに写真やビデオのオブジェクトが表示されます。オブジェクトはドラッグして移動したり、サイズを変更できます。この後は126ページの「モーショントラッキングを適用する」をお読みください。



モザイクを追加する

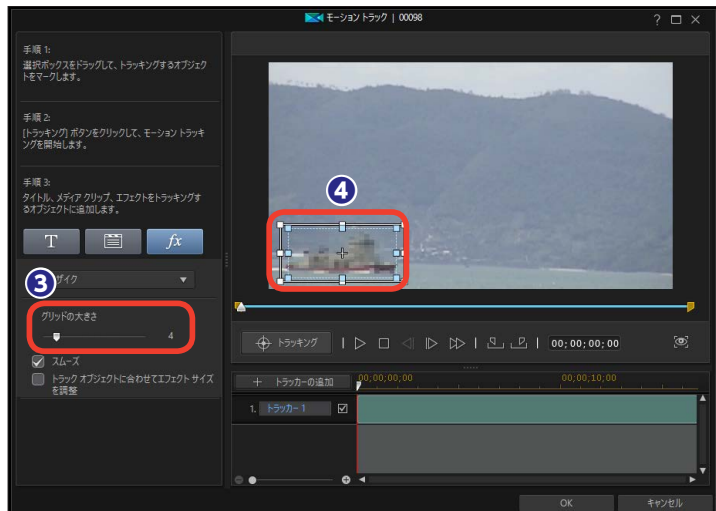
① オブジェクトにエフェクトを追跡するには、[モザイク、スポットライト、ぼかしエフェクトの追加] をクリックします。

② エフェクトには、映像にモザイクをかけたり、スポットライトを当てたり、ぼかす機能があります。[▼] をクリックして、表示されるメニューから効果を選択します。ここでは [モザイク] をクリックします。[スポットライト] の設定は次ページをお読みください。



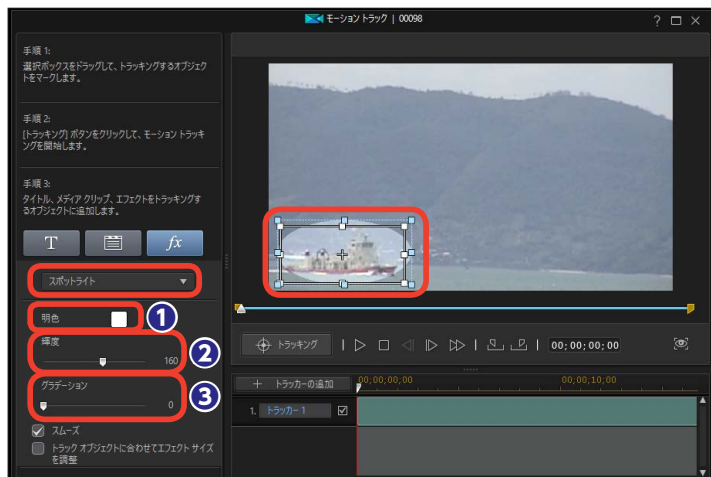
③ モザイクの掛け具合は、[グリッドの大きさ] をドラッグして設定します。数値を大きくすると、細かいモザイクになります。

④ モザイクがかかる範囲は、プレビューウィンドウに水色の枠で表示されます。水色の枠をドラッグしてモザイクをかける場所に移動したり、四隅のポイントをドラッグしてモザイクをかける範囲を調整します。この後は126ページの「モーショントラッキングを適用する」をお読みください。



スポットライトを追加する

- 1 [スポットライト] の設定は、スポットライトの色となる [明色] を、カラーボックスをクリックして表示される [色の設定] ウィンドウから選択して、[OK] をクリックします。
- 2 [輝度] をドラッグして、スポットライトの明るさを調整します。
- 3 [グラデーション] をドラッグすると、スポットライトが徐々に薄れてゆく効果になります。

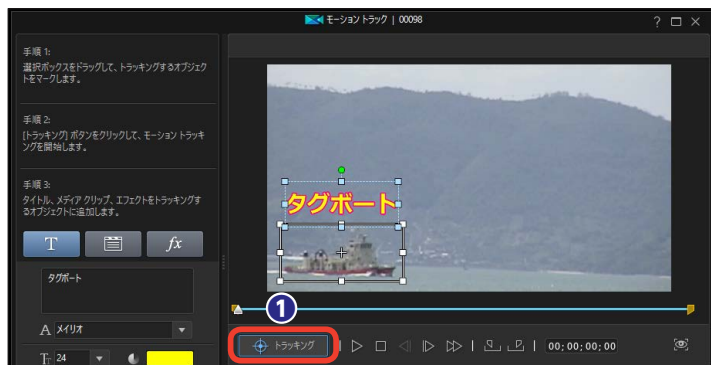


メモ

[モザイク]、[スポットライト] 以外に [ぼかし]、[ガウス状のぼかし] があります。

モーショントラッキングを適用する

- 1 設定ができたなら、[トラッキング] をクリックします。

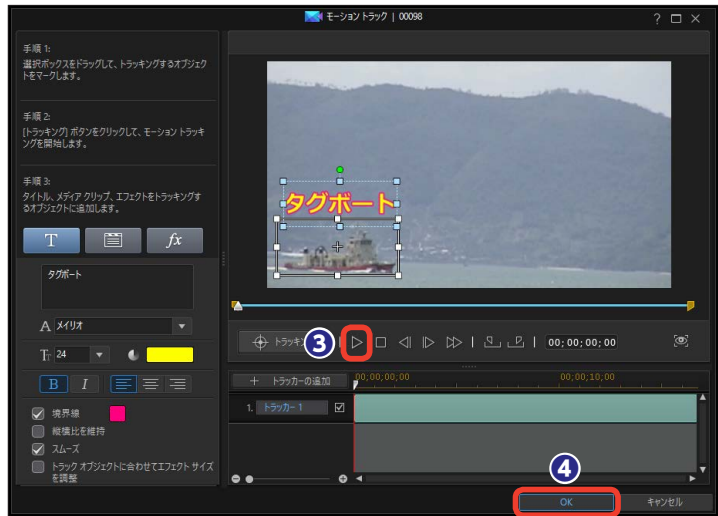


- 2 トラッキングが開始されます。ビデオの途中で中止するには [停止] をクリックします。



3 モーショントラックが適用されます。効果を確認するには [再生] をクリックします。

4 よければ [OK] をクリックします。



6

編集

5 作成したモーショントラックはビデオトラックにクリップとして配置されます。



■モーショントラックの作例



ブレンドエフェクト

ブレンドエフェクトは、ビデオにレンズフレアやライトスポットなどの光やライトなどのエフェクト効果をビデオに合成できます。また、[ブレンドモード] によって色の掛け合わせ方を設定できます。

ブレンドエフェクトデザイナー

- 1 タイムラインに配置したクリップを選択します。
- 2 [ツール] をクリックします。
- 3 表示されるメニューから [ブレンドエフェクト] をクリックします。



- 4 [ブレンドエフェクトデザイナー] ウィンドウが表示されます。[プリセット] の [▶] をクリックします。

- 5 表示される一覧からプリセットをクリックします。

- 6 [再生] をクリックして、効果のかり具合を確認します。



メモ

[テンプレート] をクリックするとブラウザーが起動して、CyberLinkの [DirectorZone] のページが表示されます。ここからエフェクトをダウンロードできます。

メモ

[DirectorZone] からダウンロードするには、まず [DirectorZone] に登録する必要があります。[DirectorZone] に登録するには、225ページをお読みください。

- ブレンドエフェクトの作例 画面の左上に差し込んで来た逆光が画面の右上に移動します。

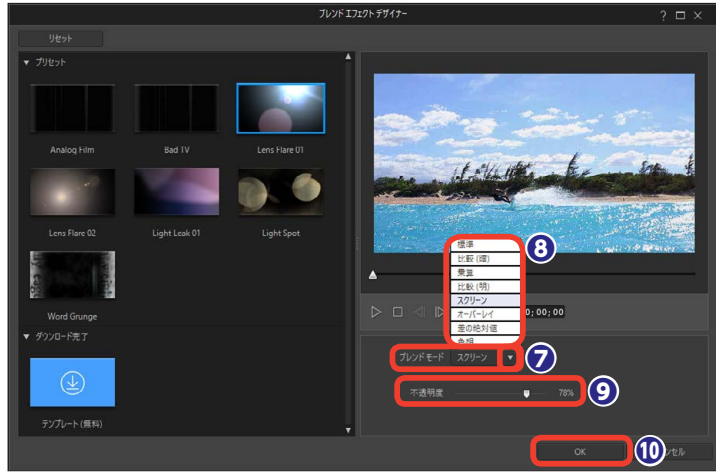


7 ビデオとプリセットの色の掛け合わせ方を設定できます。[ブレンドモード] の [▼] をクリックします。

8 表示されるメニューから、色のブレンドをクリックします。

9 [不透明度] のスライダーで、エフェクトの透明度を設定します。

10 色の調整ができれば、[OK] をクリックします。



6

編集

[標準]：ビデオとプリセットの色をそのまま重ねた色合いになります。

[差の絶対値]：ビデオの白い部分は反転し、黒い部分はそのまま合成されます。

[比較 (暗)]：ビデオとプリセットの暗い方の色で合成されます。

[オーバーレイ]：暗い色では [乗算] に、明るい色では [スクリーン] になります。

[乗算]：ビデオとプリセットの色を混ぜた色合いになります。

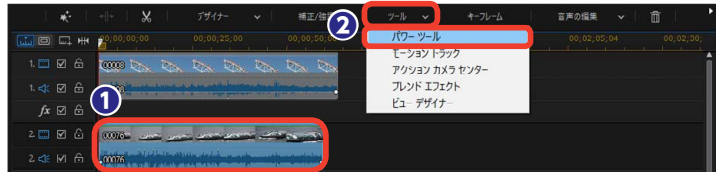
[比較 (明)]：ビデオとプリセットの明るい方の色で合成されます。

[スクリーン]：ビデオとプリセットの明るい色が透過した色合いになります。

[色相]：プリセットの色相とビデオの明度と彩度が合成されます。

ブレンドモード

1 ビデオクリップとビデオクリップを合成 (ブレンド) することもできます。タイムラインに配置したクリップを選択します。



2 [ツール] をクリックして、[パワーツール] をクリックします。

3 [パワーツールの設定] 画面が表示されます。[ブレンドモード] にチェックを入れます。



4 [ブレンドモード] の [▼] をクリックして、合成方法を選択します。

5 ビデオクリップが合成されます。

■ 観覧車のビデオと遊覧船のビデオを [オーバーレイ] で合成した例



音声のミュート

音声のミュートは、クリップの音声を無音にします。ビデオのメインの音をミュージックトラックのBGMやボイストラックのナレーションにしたい場合に、ビデオクリップの音声やビデオトラック全体の音声など、不要な音声をミュートにします。

① トラックに配置したビデオクリップを右クリックします。

② 表示されるメニューから [ミュート (クリップ)] をクリックします。

メモ

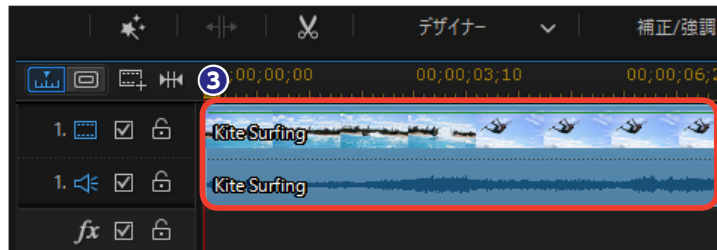
ミュートを解除するには、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから [ミュート (クリップ)] をクリックします。



③ 音声が無音になります。

メモ

ビデオクリップから音声だけを分離することができます。ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから [動画と音声をリンク/リンク解除] をクリックします。音声クリップとしてビデオクリップから分離します。この音声クリップは削除したり、ドラッグして移動したりできます。

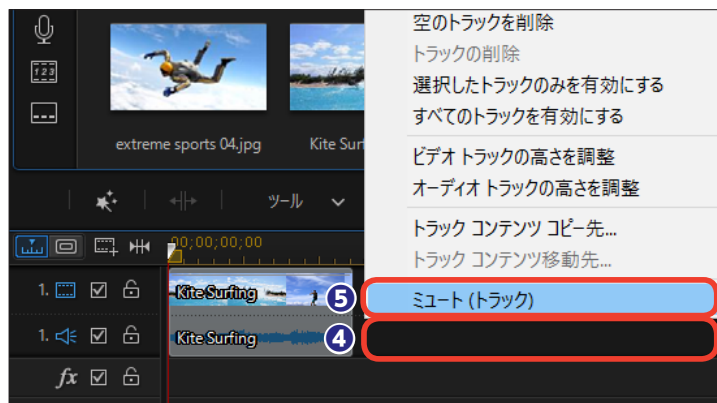


④ トラック全体をミュートにするには、ビデオトラックにある音声トラックの空欄を右クリックします。

⑤ 表示されるメニューから [ミュート (トラック)] をクリックします。

メモ

トラック全体のミュートを解除するには、ビデオトラックにある音声トラックを右クリックして、表示されるメニューから [ミュート (トラック)] をクリックします。



マジックフィックス

【マジックフィックス】は、手ぶれ防止機能の搭載されていないビデオカメラなどで撮影した映像の手ぶれを補正します。【スタビライザー（手ぶれ補正）】は映像を分析して、手ぶれが目立たなくなるように自動でトリミングする機能です。

① ビデオクリップを選択しておきます。【プロジェクトにマジックツールを使用する】をクリックします。

② 表示されるメニューから【マジックフィックス】をクリックします。

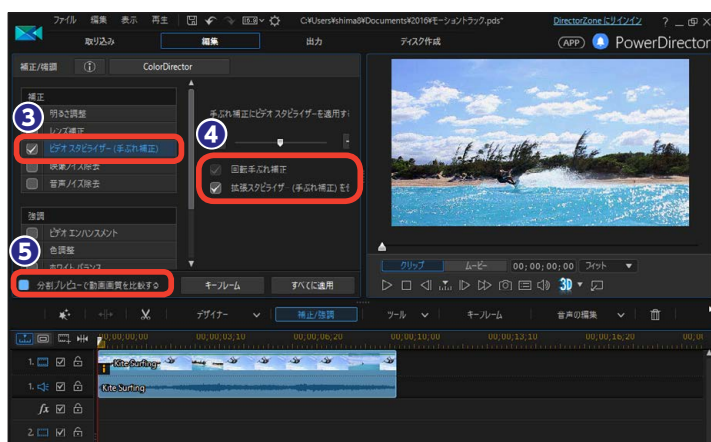
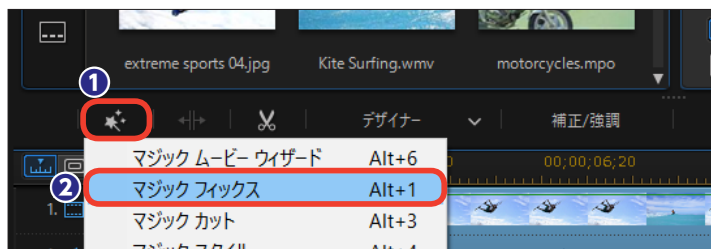
③ 【補正／強調】ウィンドウが表示されます。【スタビライザー（手ぶれ補正）】にチェックを入れます。

④ 【回転手ぶれ補正】にチェックを入れて、【拡張スタビライザー（手ぶれ補正）を使う】にチェックを入れます。

⑤ 【分割プレビューで動画画質を比較する】にチェックを入れます。

⑥ プレビューウィンドウにオリジナル画像（左）と補正後（右）の映像が表示されます。

⑦ 【手ぶれ補正にビデオスタビライザーを適用する】の 슬라이ダーをドラッグして、補正効果を調整します。



注意

【拡張スタビライザー（手ぶれ補正）を使う】にチェックを入れると、より安定した手ぶれ補正効果を得ることができます。この効果は高い処理能力が求められるため、【リアルタイムプレビュー】が行えません。プレビューウィンドウを右クリックして、表示されるメニューから【プレビューモード】→【ノンリアルタイムプレビュー】をクリックして、【ノンリアルタイムプレビュー】に切り替えて効果を確認してください。

マジックカット

マジックカットは、ビデオクリップから条件に合うシーンだけを保持して、それ以外の不要なシーンを削除します。また、指定した時間やBGMの再生時間に合わせてビデオクリップを仕上げることもできます。

① ビデオクリップを選択しておきます。[プロジェクトにマジックツールを使用する] をクリックします。



② 表示されるメニューから [マジックカット] をクリックします。

③ [マジックカット] ウィンドウが表示されます。[所要時間] をクリックします。



④ [新規の所要時間] にビデオクリップの再生時間を入力します。

⑤ [プレビュー] をクリックすると [新規の所要時間] で再生されます。

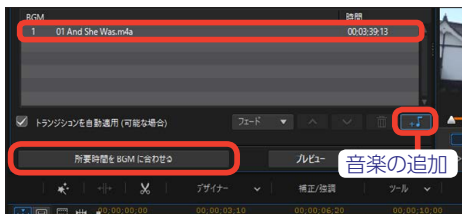
⑥ よければ [適用] をクリックします。

メモ

[トランジションを自動適用 (可能な場合)] にチェックを入れると、カット間にトランジションが適用されます。ただし、マジックカットで設定した [新規の所要時間] が短い場合は適用されません。

メモ

[音楽の追加] をクリックして、表示されるウィンドウからBGMファイルを選択し、[所要時間をBGMに合わせる] をクリックすると、BGMの再生時間が [新規の所要時間] になります。



メモ

[条件] をクリックすると、所要時間を決定する5つの条件が表示されます。各々の条件に当てはまるシーンを多めに残す場合は [+] 方向へ、少なくする場合は [-] 方向へスライダーをドラッグします。



クリップの追加

複数のクリップが並ぶタイムラインにクリップを追加してみましょう。クリップを追加するときに表示されるメニューから、[上書き] や [挿入]、[置き換え] などの追加方法を選択できます。

① クリップをメディアライブラリからタイムラインヘドラッグします。

② クリップの上にドラッグすると、メニューが表示されます。

[上書き]：ドラッグしたクリップの所要時間だけ、ドラッグした先のクリップが上書きされます。タイムライン全体の所要時間より短いクリップであれば、タイムライン全体の時間は変わりません。

[挿入]：挿入したクリップの時間だけ、タイムライン全体の所要時間が増えます。

[挿入してすべてのクリップを移動する]：挿入したクリップより後にあるすべてのトラックのクリップが移動します。

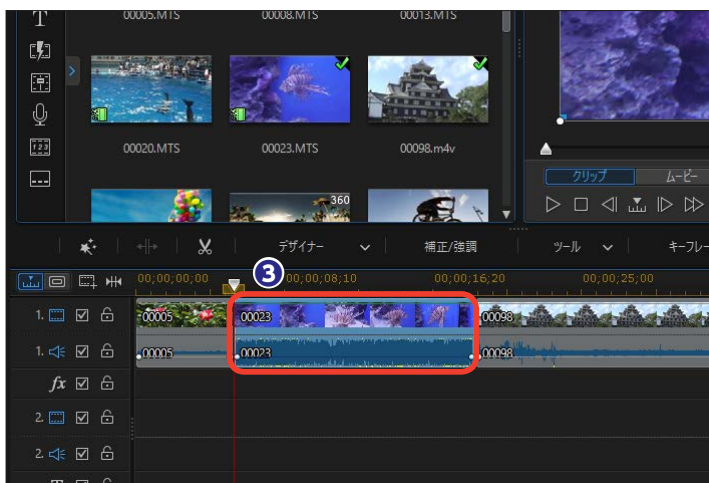
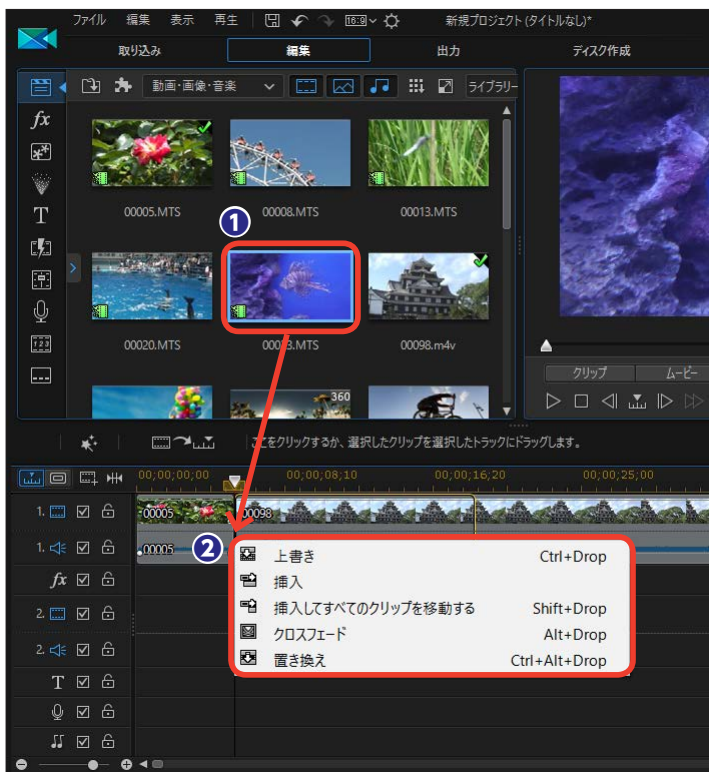
[クロスフェード]：クリップが重なる部分にトランジションが適用されます。

[置き換え]：タイムラインにあるクリップがドラッグしたクリップに入れ替わります。タイムラインにあるクリップの所用時間が短い場合は、その所要時間に合わせられます。長い場合や長くできない場合は隙間が空きます。

③ クリップが追加されます。

メモ

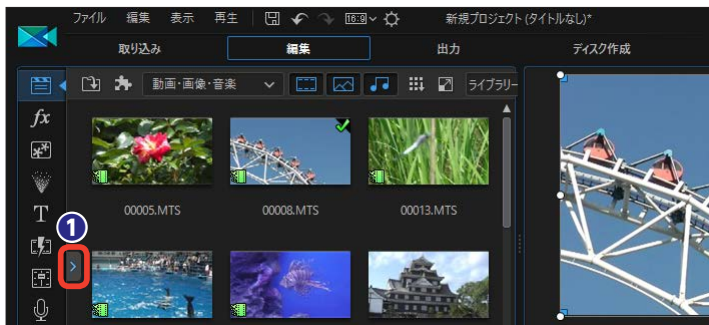
クリップとクリップの境ではなく、クリップの上ヘドラッグした場合は、[クロスフェード] を除いたサブメニューが表示されます。また、挿入するクリップが挿入先のクリップより長い場合も同様になります。



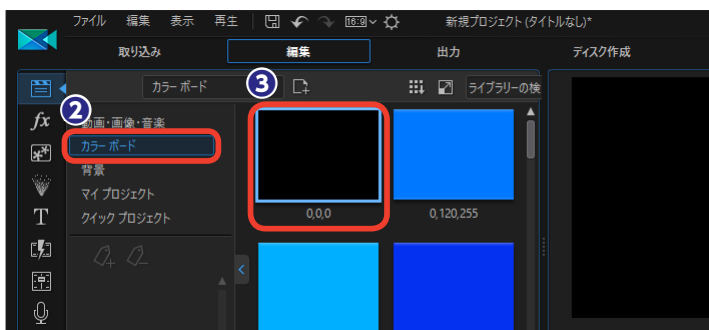
カラーボードや背景の追加

映像演出での暗転や明転に使う黒色や白色の画面、タイトルやテロップの背景に使用するカラーボードや多彩な背景が用意されています。カラーボードは、タイトルバックとして使用することもできます。

- 1 [エクスプローラービューの表示 / 非表示] をクリックします。



- 2 [エクスプローラービュー] が表示されます。[カラーボード] をクリックします。



- 3 [カラーボード] には31枚のRGBカラーの画像が収納されています。サムネイル下の数字はRGBの数値を表します。カラーボードをタイムラインにドラッグします。

- 4 背景画像を使用するには、[背景] をクリックします。



- 5 [背景] には10枚の背景画像が用意されています。背景画像をタイムラインにドラッグします。

メモ

カラーボードをタイトルバックとして使用することもできます。タイトルの入力方法は164ページをお読みください。

メモ

カラーボードや背景画像の再生時間を調整するには [所要時間] をクリックして、表示される [所要時間の設定] ダイアログボックスで再生時間を設定します。または、クリップを右クリックして、表示されるメニューから [クリップの属性] → [所要時間] を選択します。なお、クリップの右端をドラッグして再生時間を調整することもできます。

The image features a solid red background. In the center, the text "Chapter 7" is written in a white, sans-serif font, with "エフェクト" (Effects) written below it in a similar white font. A white rectangular border is drawn around the text, with four small, semi-transparent orange squares at each corner. The entire design is framed by a white border with registration marks (crosshairs) at the top, bottom, left, and right edges.

Chapter 7
エフェクト

エフェクトの追加

エフェクトは、ビデオに水面のゆらぎやマルチ画面などのさまざまな視覚効果を加えます。[エフェクトルーム] に120個以上のエフェクトが用意されていて、ビデオや画像クリップに特殊効果を加えられます。

1 エフェクトを追加するには、タイムラインにビデオクリップを配置します。

2 エフェクトを追加する位置にタイムラインスライダーを移動します。

3 [エフェクトルーム] をクリックします。

4 エフェクトを選択します。

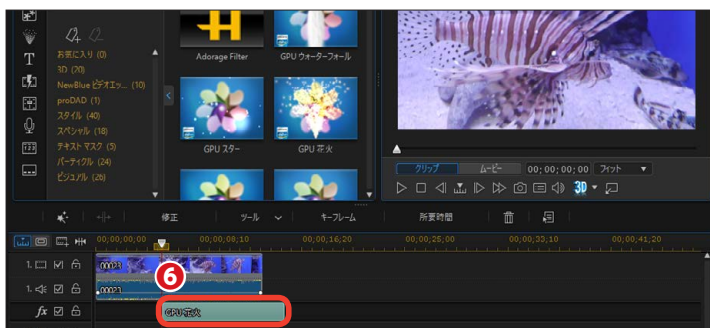
5 [エフェクトトラックに追加] をクリックします。



6 ビデオにエフェクトが追加されます。追加したエフェクトはエフェクトトラックにエフェクトクリップとして配置されます。

メモ

エフェクトは、ビデオクリップや画像クリップに直接ドラッグして、複数のエフェクトを設定することもできます。



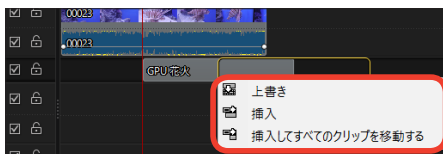
メモ

エフェクトを配置している場所にエフェクトを追加する場合はメニューが表示されます。

[上書き]：すでにあるエフェクトと重なる箇所が新しいエフェクトで上書きされます。

[挿入]：すでにあるエフェクトと重なる箇所が分割され、新しいエフェクトが挿入されます。後ろにあるエフェクトが右へ移動します。

[挿入してすべてを移動]：すでにあるエフェクトと重なる箇所が分割され、新しいエフェクトが挿入されます。後ろにあるクリップやエフェクトが、すべてのトラックで右へ移動します。



エフェクトの修正

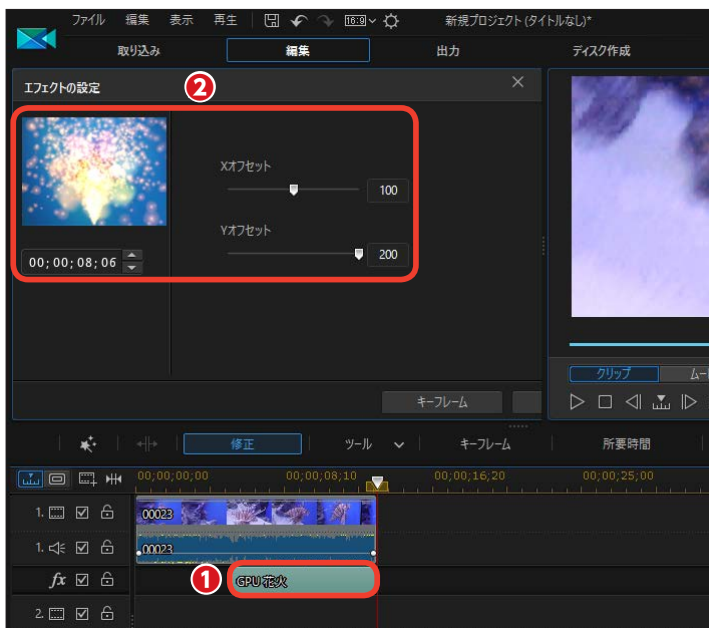
エフェクトトラックに配置したエフェクトは、効果の強弱などの設定を変更できます。また、効果の変動をキーフレームで設定できます。

① エフェクトトラックに配置したエフェクトをダブルクリックします。

② [エフェクトの設定] ウィンドウが表示されます。スライダーや数値入力などにより、エフェクトをカスタマイズします。

メモ

エフェクトにより、設定できる項目が変わります。



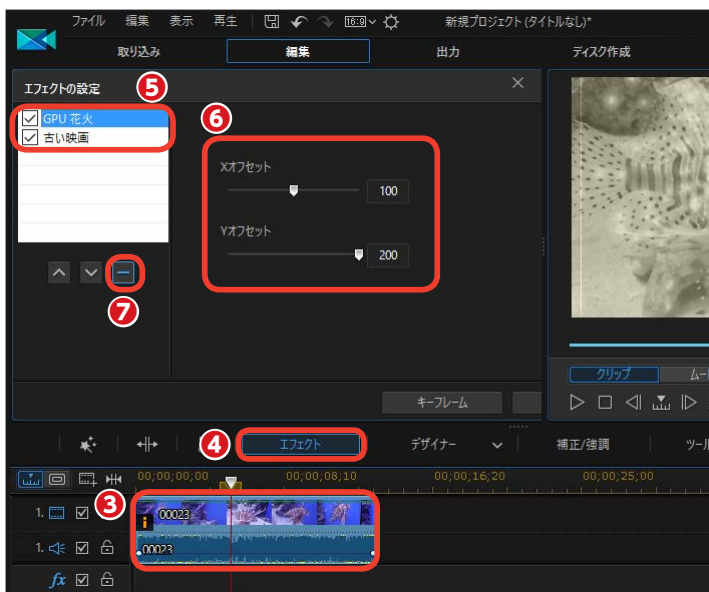
③ ビデオや画像クリップヘドラッグしたエフェクトの修正や削除は、クリップを選択します。

④ [エフェクト] をクリックします。

⑤ [エフェクトの設定] ウィンドウに、適用しているエフェクトの一覧が表示されます。

⑥ エフェクトを選択して、スライダーなどで修正を行います。

⑦ 設定したエフェクトを削除するには、エフェクトを選択して [−] をクリックします。



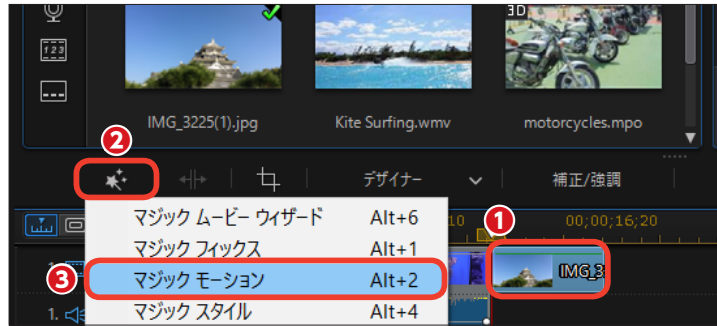
マジックモーション

画像クリップの一部が拡大したり、画像が右から左に移動したりする動きを設定できます。これらの動きは画像クリップにモーションスタイルを選択するだけで、適用されます。

① タイムラインに配置した画像クリップを選択します。

② [プロジェクトにマジックツールを使用する] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [マジックモーション] を選択します。



④ [マジックモーション] ウィンドウが表示されます。

⑤ [モーションスタイル] を選択します。

⑥ 画像クリップにモーションが適用されます。



注意

モーションスタイルをクリップにドラッグしても適用されません。

メモ

[すべてに適用]：選択したモーションを複数の画像クリップに適用します。また、異なるトラックに配置された画像クリップにも適用されます。なお、画像クリップが連続している場合はクリップ間にトランジション（クロスフェード）が自動的に設定されます。

メモ

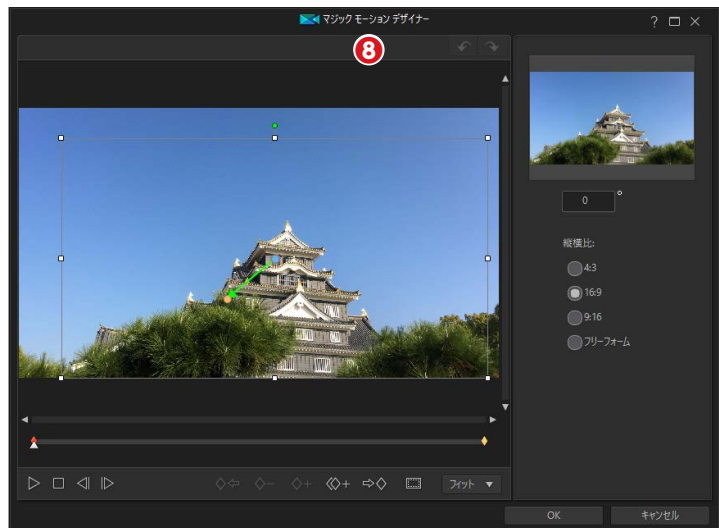
画像クリップに適用したマジックモーションを解除するには、[リセット] をクリックします。



7 適用したマジックモーションをカスタマイズするには、[モーションデザイナー] をクリックします。



8 [マジックモーションデザイナー] ウィンドウが表示されます。ここで、キーフレームを設定して、表示する画像のサイズや位置などを調整できます。



7

エフェクト

メモ

写真をズームインするには、[モーションスタイル] から [拡大] を、ズームバックするには [縮小] を選択します。

また、写真をパン (左右に移動) するには、[右に移動] か [左に移動] を選択します。



マジックスタイル

マジックスタイルはあらかじめデザインされた編集スタイルのテンプレートです。タイムラインにビデオや画像クリップを並べてマジックスタイルを適用するだけで編集が完了してビデオが仕上がります。

- 1 タイムラインにビデオや画像クリップを配置して、すべてのクリップを選択します。



メモ

タイムラインに並べる素材（ビデオや画像クリップ）は絵柄の異なるものが多いほど作品にメリハリがつかます。

注意

手ぶれが多い、ピントが合っていないビデオクリップは使用を控えるか、[補正/強調] 機能を使って修正しておきます。[補正/強調] 機能については113や131ページを参考にしてください。

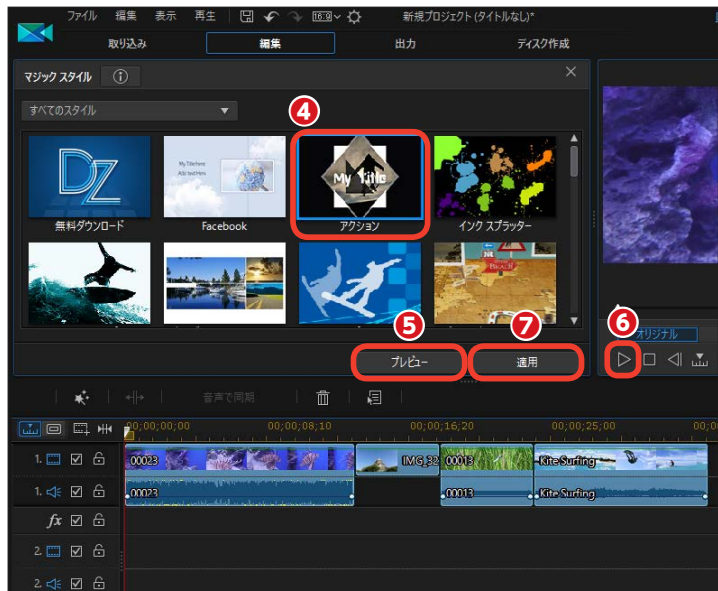
- 2 [プロジェクトにマジックツールを使用する] をクリックします。



- 3 表示されるメニューから [マジックスタイル] を選びます。

[マジックスタイル] ウィンドウが表示されます。編集するビデオのスタイルを選択します。各スタイルについては次ページの [メモ] をお読みください。

- 4 ここでは [アクション] を選択します。



- 5 [プレビュー] をクリックします。ビデオが分析されてビデオが作成されます。

- 6 [再生] をクリックして、ビデオを確認します。

- 7 よければ[適用]をクリックします。

メモ

マジックスタイルには、以下のようなテンプレートがあります。

A **【無料ダウンロード】**：DirectorZoneのWebサイトからスタイルのテンプレートを追加ダウンロードできます。

B **【Facebook】**：結婚式で上映される人物紹介などに適したテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

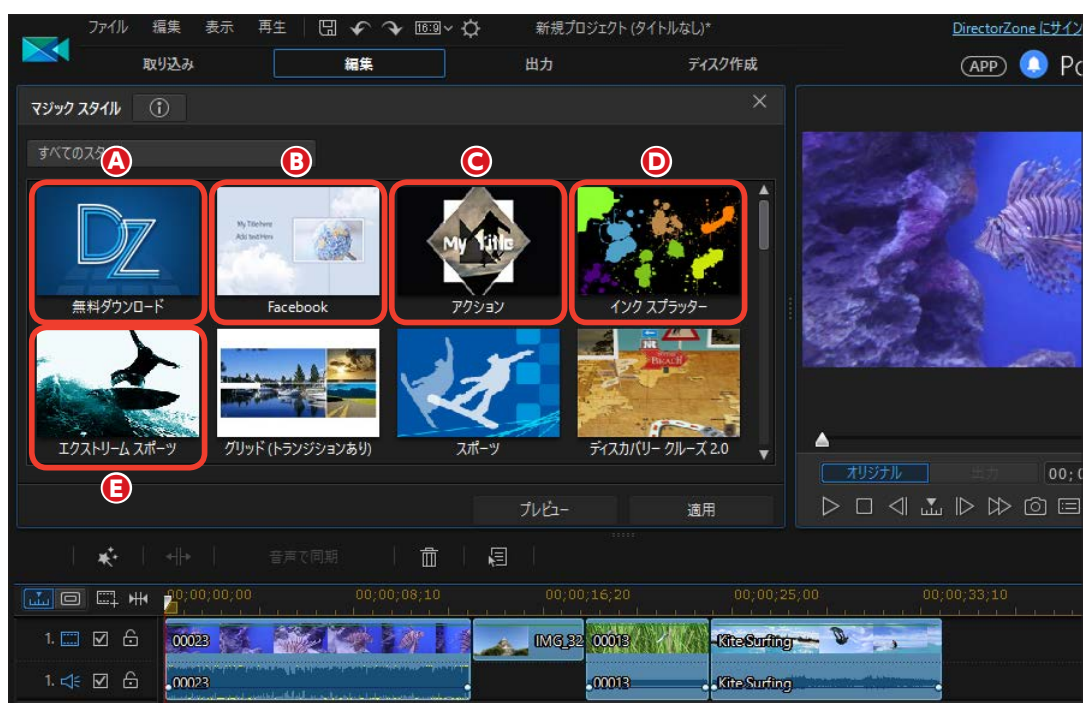
C **【アクション】**：イベントなどの作品に適した動きのあるテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

D **【インクスプラッター】**：映像の切り替わりにカラフ

ルなインクが飛び散って塗り替えられるイメージのテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

E **【エクストリームスポーツ】**：アクティブなスポーツの記録をまとめるのに適したテンプレートです。

適用したテンプレートでタイトル文字を変更したりビデオや画像クリップを再編集したりするには、ビデオトラックに作成されたビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから**【テーマデザイナーで編集】**をクリックし、表示される**【テーマデザイナー】**で行います。

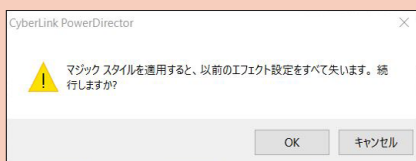


7

エフェクト

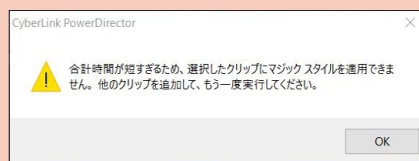
注意

クリップに他の効果を適用している場合、**【テーマデザイナー】**の起動時に警告メッセージが表示されることがありますが、**【はい】**をクリックして作業を進めます。



注意

ビデオや画像クリップの合計時間が短いとマジックスタイルのテンプレートを適用できない場合があります。警告メッセージが表示される場合は、クリップを追加して再生時間を長くします。



PiPエフェクト

テレビのバラエティ番組などでよく見る、画面の隅に映る動くイラストやロゴマーク、会話の吹き出しのイラストをビデオに加えられます。テンプレートとして64個以上のオブジェクトが用意されています。

- 1 PiPエフェクトを追加するには、タイムラインにビデオクリップを配置します。
- 2 [PiPオブジェクトルーム] をクリックします。
- 3 エフェクトを選択します。
- 4 合成したいビデオクリップの下にあるビデオトラックにドラッグします。

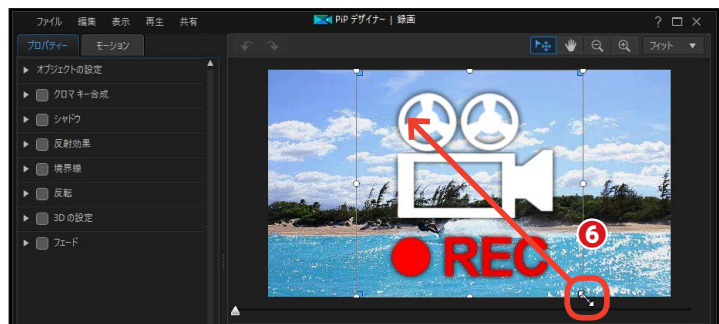
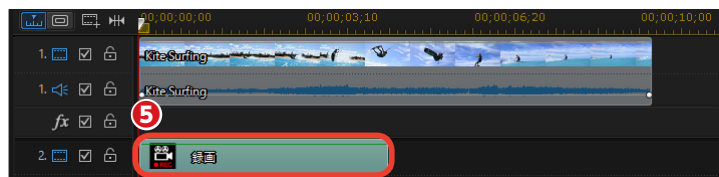
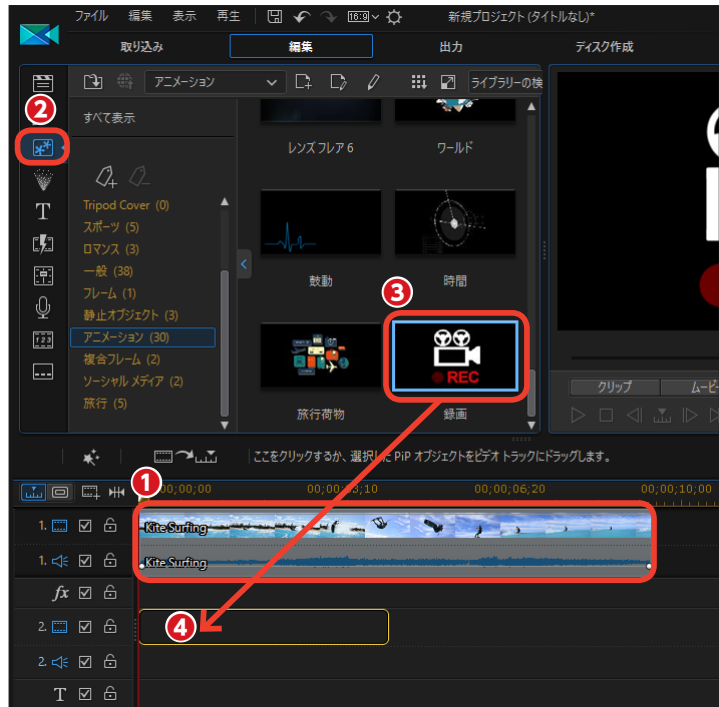
注意

オブジェクトは必ずビデオや画像クリップを配置しているビデオトラックより下のビデオトラックに配置します。ビデオや画像クリップより上のビデオトラックに配置すると、ビデオや画像クリップに隠れて見えなくなります。

- 5 タイムラインにエフェクトクリップが配置されます。エフェクトクリップをダブルクリックします。

[PiPデザイナー] ウィンドウが表示されます。

- 6 ポインタをオブジェクトの四隅にある白色のポイントに合わせ、ポインタが [←→] になったらドラッグします。



7 オブジェクトの真ん中にポインタを合わせ十字矢印にし、オブジェクトを画面右上にドラッグします。

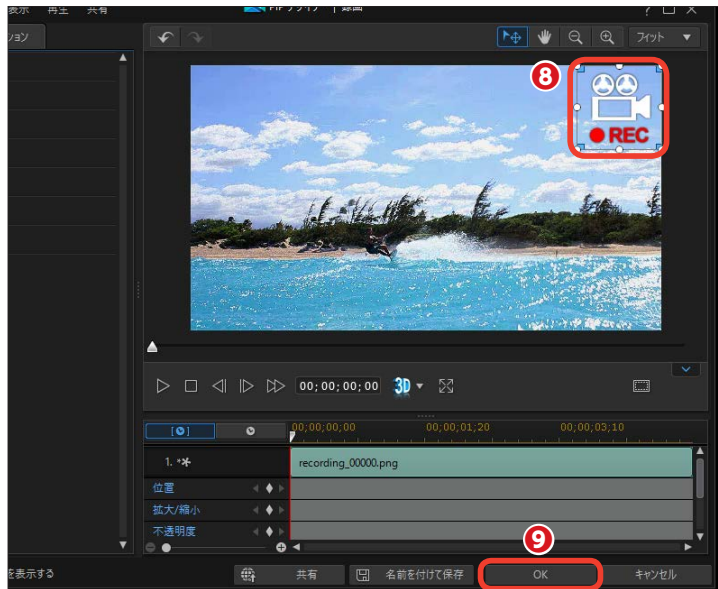
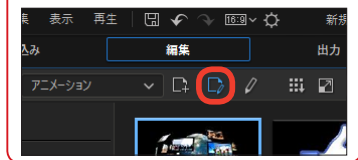


8 オブジェクトが移動します。

9 [OK] をクリックします。

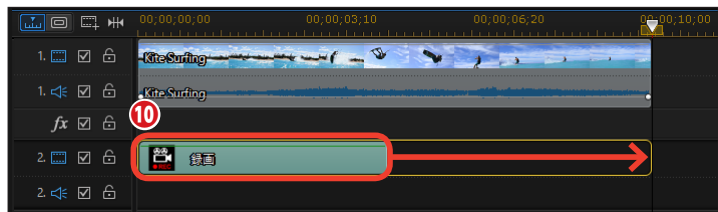
メモ

[選択したPiPオブジェクトの修正]で、ライブラリのオブジェクトをカスタマイズできます。修正したときは、[OK] をクリックするとオブジェクトが書き換えられるので、[名前を付けて保存] をクリックします。



7
エフェクト

10 タイムラインのエフェクトクリップをドラッグしてビデオや画像クリップと同じ長さに調整します。



ペイントデザイナー

ペイントデザイナーでは、描画を録画してアニメーションを作成できます。また、ビデオに効果としても適用できます。

1 ビデオクリップをビデオトラックに配置します。

2 タイムラインスライダーをアニメーションを挿入する位置にドラッグします。

3 [PIPオブジェクトルーム] をクリックします。

4 [ペイントデザイナーで新しい手描きのペイントアニメーションを作成する] をクリックします。



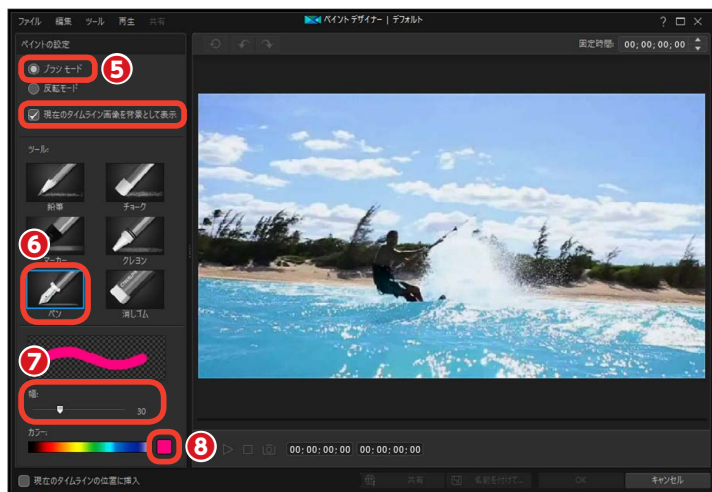
[ペイントデザイナー] ウィンドウが表示されます。

5 [ブラシモード] と [現在のタイムライン画像を背景として表示] にチェックが入っていることを確認します。

6 [ツール] から描画するツールを選びます。

7 [幅] のスライダーをドラッグして、描画ツールの太さを設定します。

8 [カラー] をクリックして、描画色を設定します (P.146へ続く)。



メモ

A 【ブラシモード】：画面に絵を描く際に選びます。

B 【反転モード】：画面が単色で塗りつぶされます。消しゴムツールでドラッグすると、ワイプで映像が現れるイメージが作成できます。

C 【現在のタイムライン画像を背景として表示】：チェックを入れると、タイムラインスライダーがある位置のクリップを背景として表示します。

D 【ツール】：鉛筆、チョーク、マーカー、クレヨン、ペン、消しゴムから選びます。

E 【幅】：ツールで描く（消す）線の太さをスライダーか数値をクリックして設定します。

F 【カラー】：【ブラシモード】では描く色、【反転モード】では塗りつぶしの色を指定します。

G 【ブラシの色を選択】：クリックして、表示される【色の設定】ウィンドウで色を選びます。

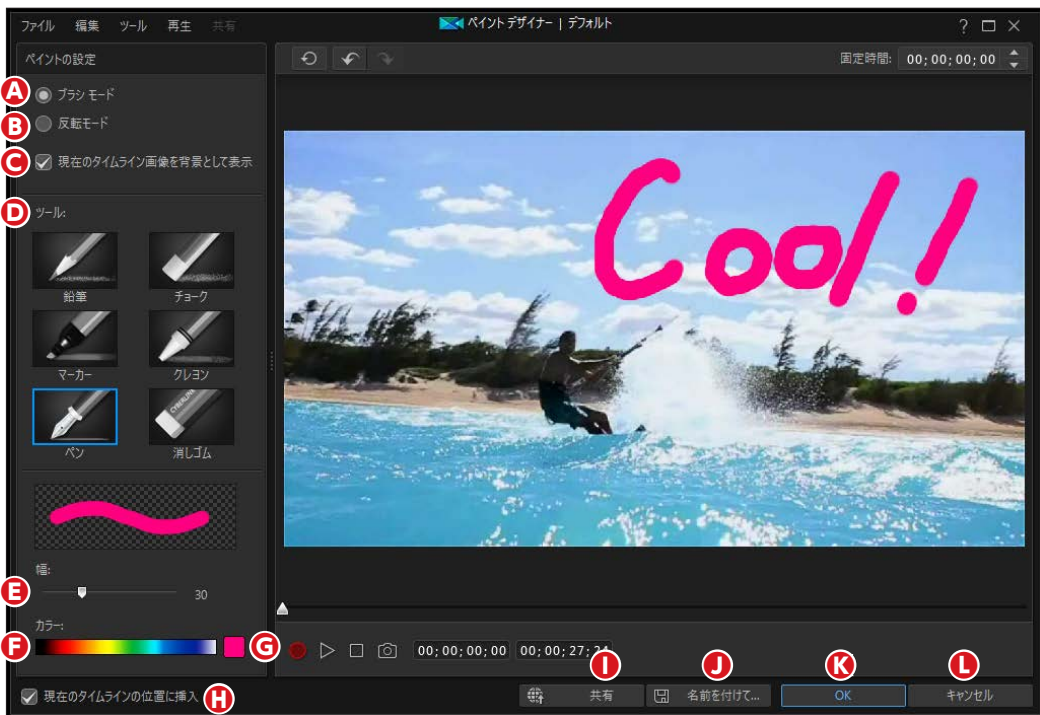
H 【現在のタイムラインに挿入】：チェックを入れると、選択したビデオトラックにペイントデザイナーで作成したテンプレートをタイムラインスライダーの位置に配置します。

I 【共有】（【DirectorZone/サイバーリンク クラウドにアップロード】）：作成したテンプレートに名前を付けてDirectorZone（サイバーリンククラウド）にアップロードします。

J 【名前を付けて保存】：作成したテンプレートに名前を付けて保存します。

K 【OK】：初めて作成したテンプレートには、名前を付けて保存します。2度目からは保存だけになります。編集画面に戻ります。

L 【キャンセル】：【ペイントデザイナー】ウィンドウを閉じます。



9 [現在のタイムラインの位置に挿入] にチェックを入れます。

10 [録画] をクリックします。

11 プレビューウィンドウにイラストや文字を描きます。



12 描き終わったら [停止] をクリックします。

13 スライダーをドラッグすると、アニメーションを確認できます。

14 [OK] をクリックします。

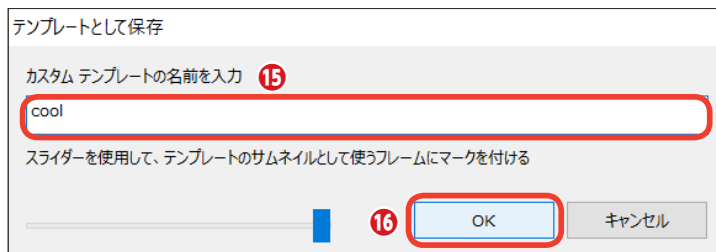
メモ

書き損じた場合は、[編集] メニューから [キャンパスを消去...] を選択してやり直します。



15 [テンプレートとして保存] ダイアログボックスが表示されます。名前を入力します。

16 [OK] をクリックします。

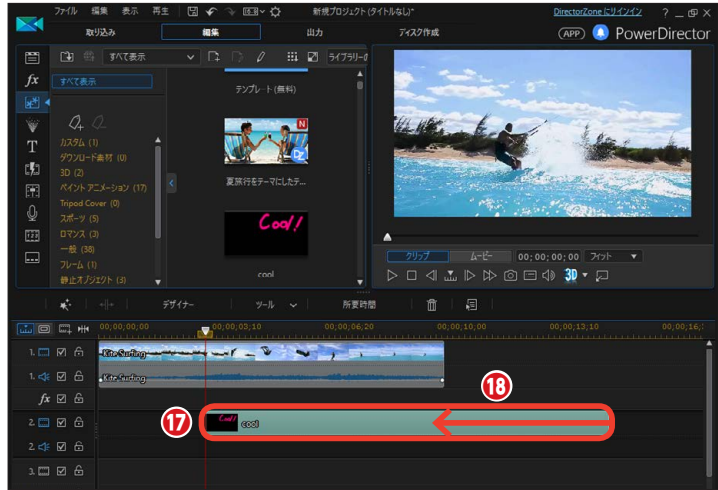


17 アニメーションがビデオトラックに配置されます。

18 アニメーションの再生時間がビデオクリップと同じになるようにドラッグします。

メモ

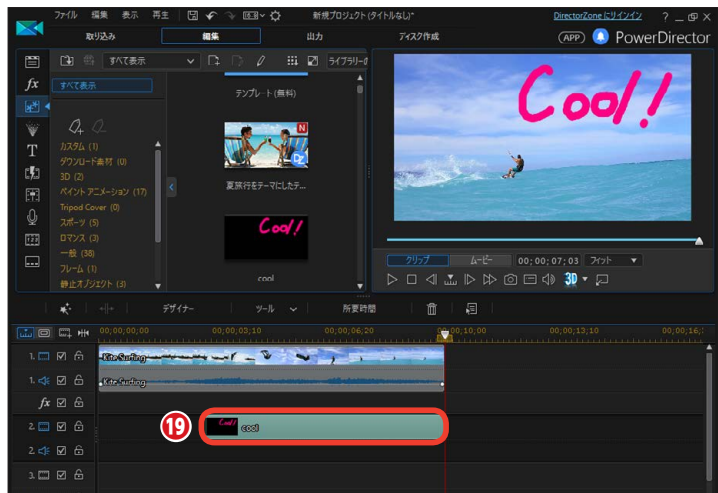
複雑なアニメーションを作成する場合は、作業を数回に分け、複数のカスタムテンプレートを作ると効率的です。



19 アニメーションの完成です。

メモ

トラックに配置したカスタムテンプレートは再生時間の伸縮ができます。短くすると、作成したアニメーションの再生速度が速くなり、長くすると再生速度が遅くなります。



7

エフェクト

■アニメーションの作例



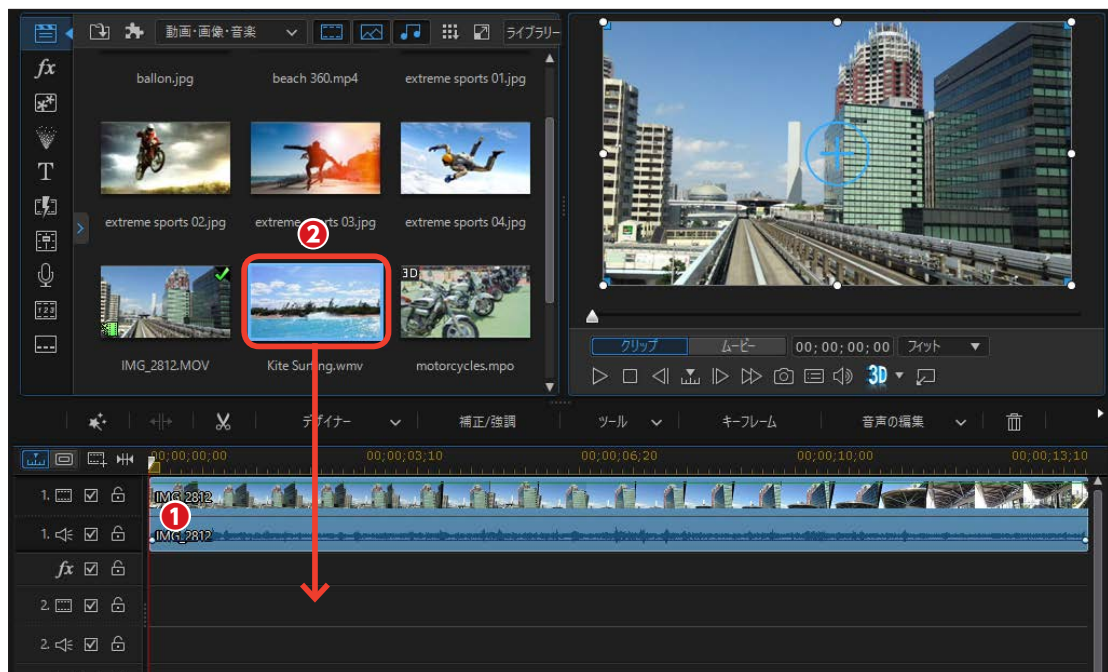
PIPデザイナー

ビデオや画像クリップ、PIPオブジェクトルームのオブジェクトにPIPデザイナーで合成や3Dの設定、モーション、マスクなどの効果を加えられます。

PIP（ピクチャーインピクチャー）

PowerDirectorでは、さまざまなビデオ合成が編集できます。[PIP（ピクチャーインピクチャー）]はテレビ番組などでよく見かける映像の中に人物だけを撮影した小さな映像を表示する機能です。

- 1 [ビデオトラック1] に、背景になるビデオクリップを配置します。
- 2 [ビデオトラック2] に、小さな映像にするビデオクリップをドラッグします。



3 プレビューウィンドウには [ビデオトラック2] の映像が表示されます。

4 右下の白いポイントを左上にドラッグします。



5 縦横比が維持されたまま、映像が縮小されます。

6 [ビデオトラック2] の映像を配置する場所にドラッグします。



7 [再生] をクリックします。[ビデオトラック1] の映像の上で [ビデオトラック2] の映像が再生されます。



7

エフェクト

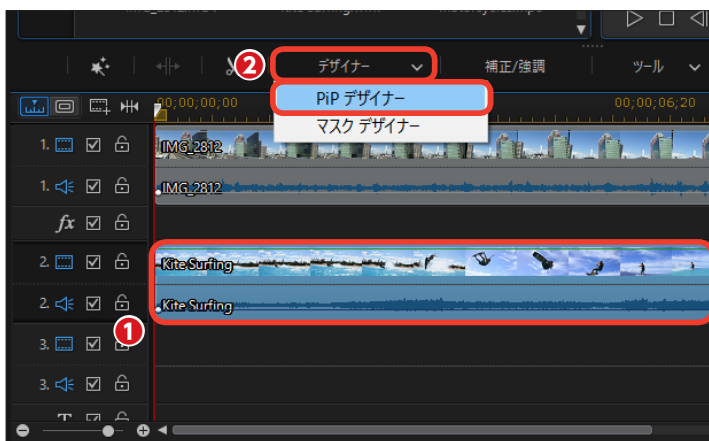
PiPデザイナー

1 [ビデオトラック2] のビデオクリップにさらに効果を加えるには、ビデオクリップを選択します。

2 [デザイナー] の [v] をクリックして、表示されるメニューから [PiPデザイナー] をクリックします。

メモ

クリップをダブルクリックしても、[PiPデザイナー] ウィンドウが表示されます。



3 [PIPデザイナー] ウィンドウが表示されます。[プロパティ] をクリックします。

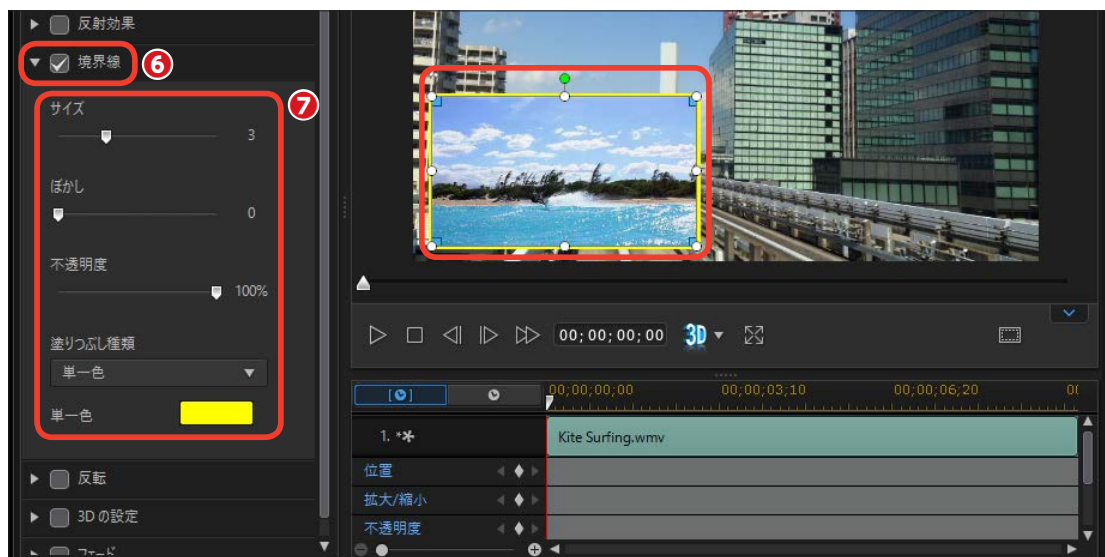
4 設定の一覧が表示されます。各設定の [▶] をクリックすると、設定項目が表示されます。[オブジェクトの設定] の [▶] をクリックします。

5 ここで映像の [位置] や [拡大/縮小]、[不透明度]、[回転] を変更できます。



6 重ね合わせた映像が見つからない場合は [境界線] にチェックを入れて、[▶] をクリックします。

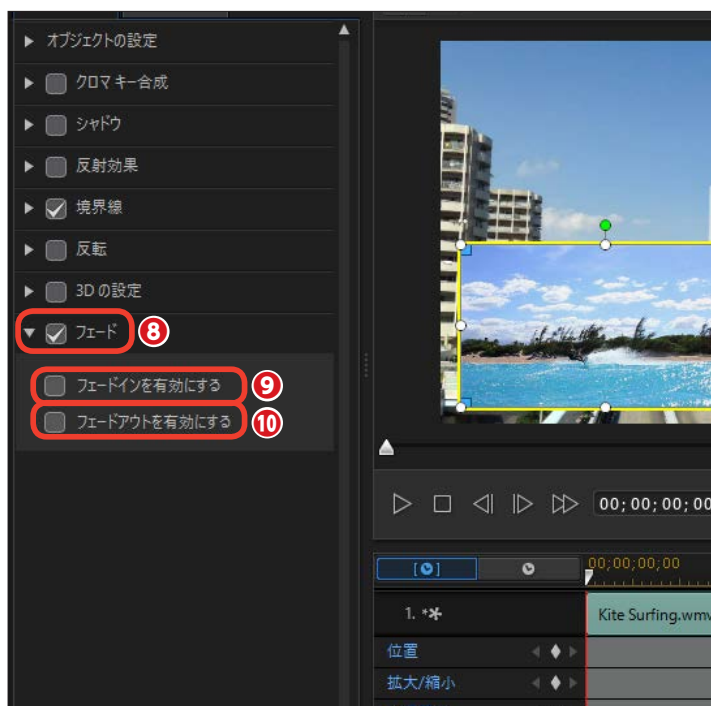
7 [サイズ] は境界線の幅を、[ぼかし] は境界線のぼけ具合を、[不透明度] は境界線の濃さを、[塗りつぶし種類] では境界線の色の数を、[色] は境界線の色を設定します。境界線を設定すると、映像と映像の境がはっきりして、重ね合わせた映像が見やすくなります。



8 [フェード]にチェックを入れると、重ねるビデオクリップの表示方法を設定できます。[▶] をクリックします。

9 [フェードインを有効にする] にチェックを入れると、[ビデオトラック1] の映像に [ビデオトラック2] の映像が徐々に表示されます。

10 [フェードアウトを有効にする] にチェックを入れると、[ビデオトラック2] の映像の終わりに徐々に消えて行き、[ビデオトラック1] の映像のみになります。



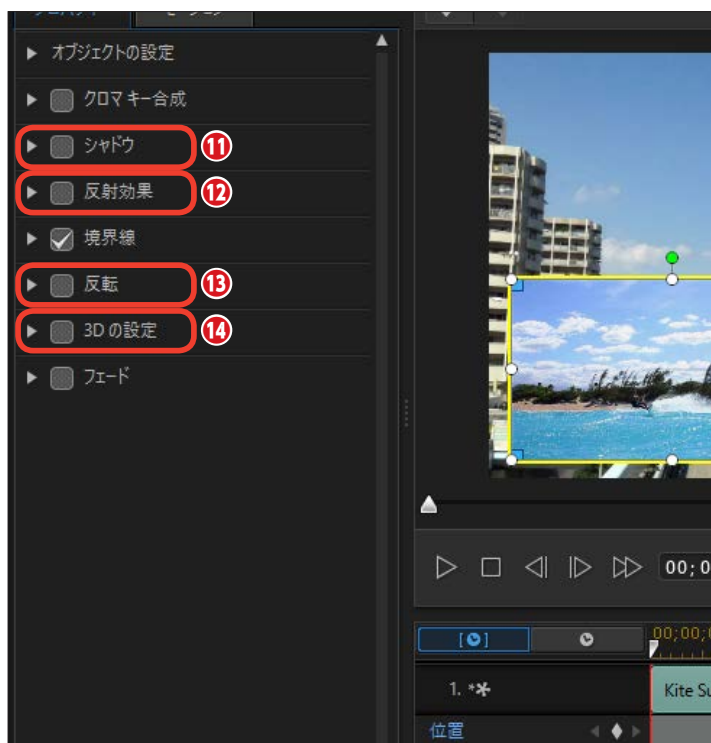
その他の設定は以下の通りです。

11 [シャドウ]：縮小したビデオクリップの縁やオブジェクトに影を付けます。

12 [反射効果]：映像サイズを縮小した際の画面の下や、オブジェクトの下にそれらが反射した効果を加えます。画面が水面に映ったような効果になります。

13 [反転]：映像を上下逆、または左右逆にします。

14 [3Dの設定]：3Dで出力する際に映像へ奥行き感を加えます。

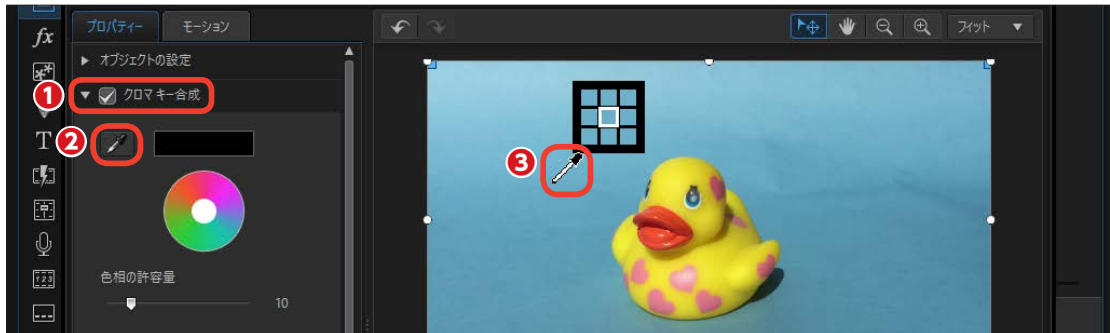


クロマキー合成

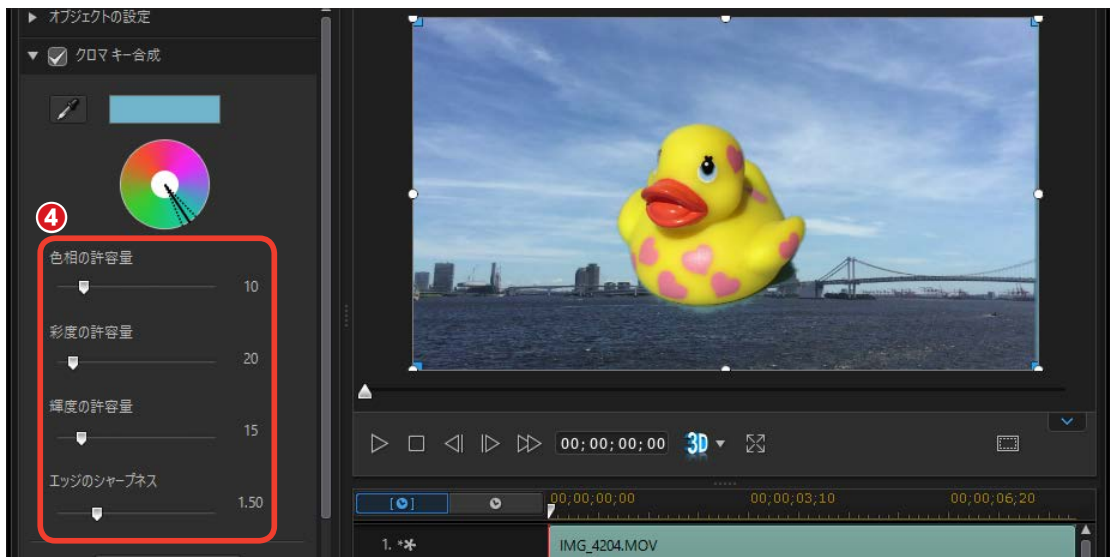
【クロマキー合成】は、重ねる映像から指定した色を抜いて、その抜いた色の部分に下の映像が映るようにする機能です。青いシートなどの前で人物を撮影して、その映像からシートの青色を抜くと人物だけが切り抜かれた映像になります。

【クロマキー合成】を編集するには、背景となるビデオクリップを【ビデオトラック1】に配置して、色を抜き取るビデオクリップを【ビデオトラック2】に配置します。【ビデオトラック2】に配置したビデオクリップを選択して【デザイナー】をクリックします。

- 1 【PIPデザイナー】ウィンドウで、【クロマキー合成】にチェックを入れて、【▶】をクリックします。
- 2 【スポイト】をクリックします。
- 3 プレビューウィンドウで抜きたい色の部分をクリックします。



4 選択した色が削除されて、【ビデオトラック1】の映像が見えます。【色相の許容量】や【彩度の許容量】、【輝度の許容量】、【エッジのシャープネス】のスライダーをドラッグして抜く色の範囲を調整すると、きれいに色が抜けます。



PIPモーショ

重ねるクリップに動きを加えることができます。[モーション] を使用すると、ビデオクリップが画面の左端から右端に移動しながら再生されたり、画面上を回転しながら再生されます。動きを設定した [パス] を使用すれば、ダイナミックな動きを加えることができます。

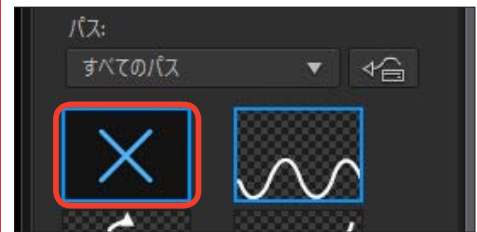
パス

[モーション] を設定するには、背景となるビデオクリップを [ビデオトラック1] に配置して、動きを加えるビデオクリップを [ビデオトラック2] に配置します。[ビデオトラック2] に配置したビデオクリップを選択して [デザイナー] の [V] をクリックして [PiPデザイナー] をクリックします。

- 1 [PiPデザイナー] ウィンドウで、[モーション] をクリックします。
- 2 [パス] の [▶] をクリックします。
- 3 一覧からパスを選択します。
- 4 プレビューウィンドウにパスの動きが表示されます。

メモ

パスの設定を取りやめるには、パスの一覧の左上にある [X] をクリックします。



7

エフェクト



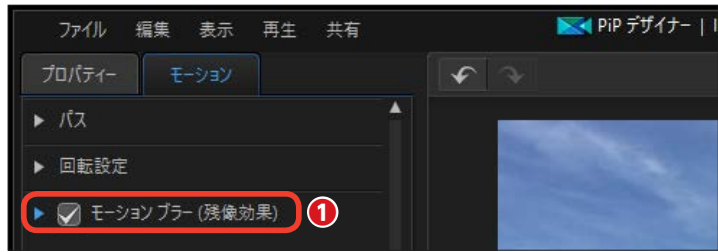
モーションブラー

① [パス] の [▼] をクリックしてパスの詳細設定を閉じ、[モーションブラー] にチェックを入れて、[▶] をクリックします。[モーションブラー] は動いているビデオクリップなどに残像効果を加えて、高速で移動している印象を与えます。

[パス] や [回転] を設定したビデオクリップに適用すると効果的です。

② [ブラーの長さ] で、残像が表示される長さを設定します。

③ [ブラーの濃度] で、残像の濃さを設定します。



回転

ピクチャーインピクチャーの映像を回転することができます。

① [回転設定] の [▶] をクリックします。

② [回転設定] のスライダーをドラッグして回転数を設定します。最大で9999度（27回転した後に279度の角度で止まります）まで回転できます。

③ [0度に設定] をクリックすると回転を解除できます。

④ 回転する方向にチェックを入れます。



マスクデザイナー

マスクデザイナーを使えばビデオや画像クリップ、PIPオブジェクトルームのオブジェクト（ペイントデザイナーで作成したオブジェクトを除く）にマスク合成を行えます。

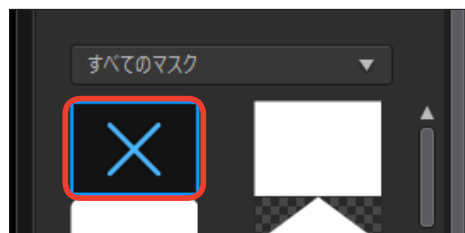
マスク合成

[マスク] を設定するには、背景となるビデオクリップを [ビデオトラック1] に配置して、マスクで切り抜くビデオクリップを [ビデオトラック2] に配置します。[ビデオトラック2] に配置したビデオクリップを選択して、[デザイナー] から [マスクデザイナー] をクリックします。

- 1 [マスクデザイナー] ウィンドウが表示されます。[マスク] をクリックします。
- 2 [マスクのプロパティ] の [▶] をクリックします。
- 3 マスクを選択します。
- 4 プレビューウィンドウにマスクで切り抜かれた映像が表示されます。

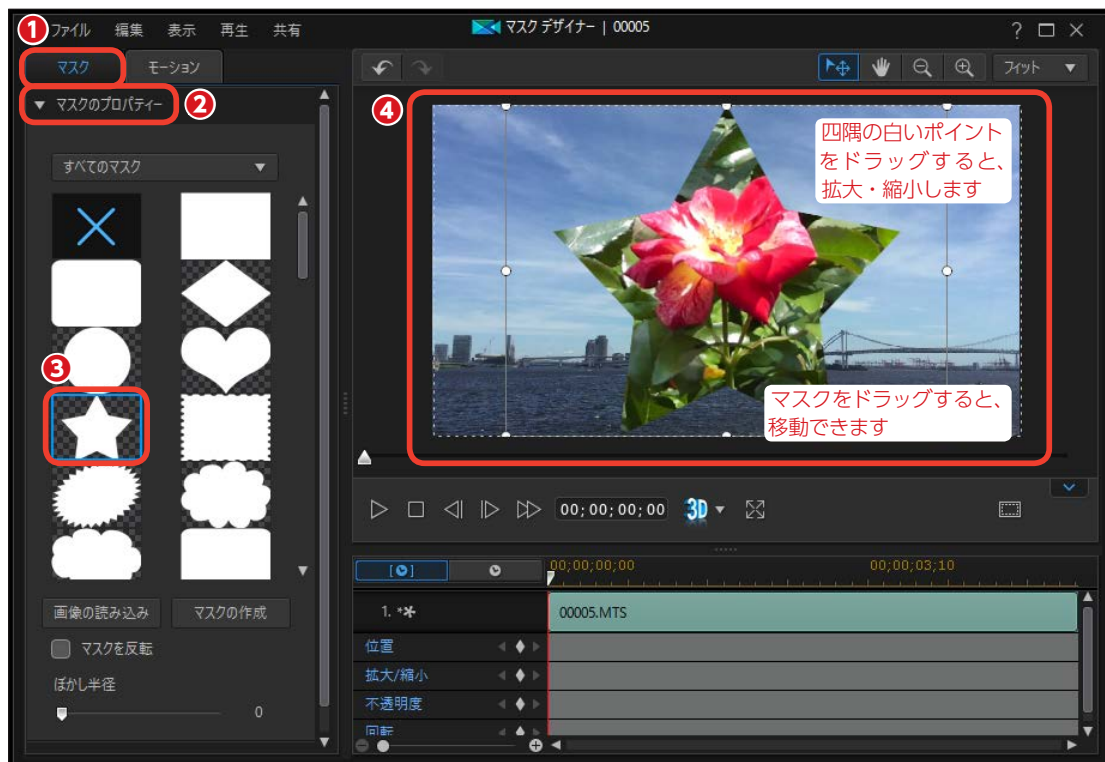
メモ

マスクの設定を取りやめるには、マスクの一覧の左上にある [×] をクリックします。



7

エフェクト



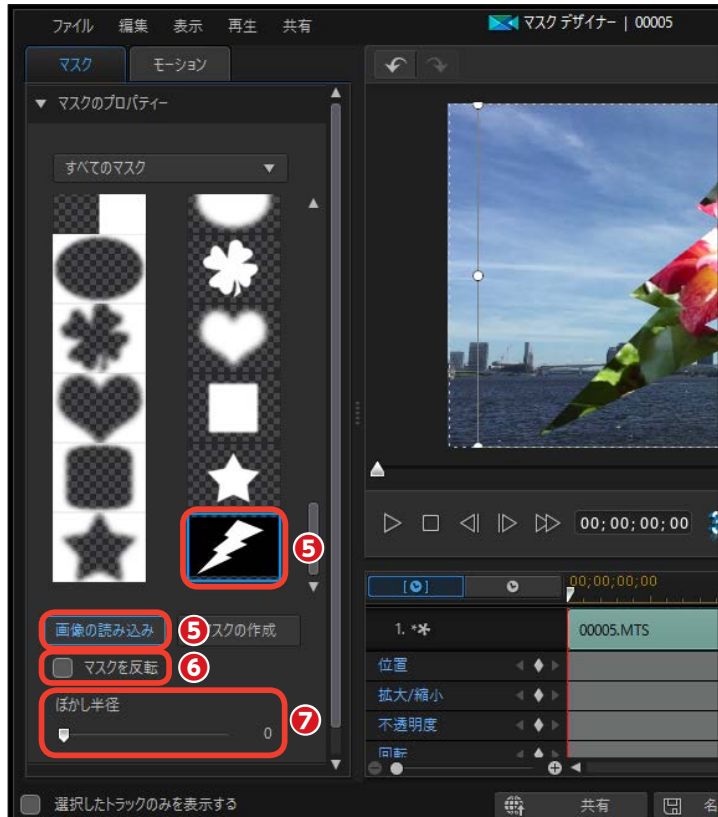
5 [画像の読み込み] では、オリジナルのマスクを使用できます。Windowsに付属の [ペイント] アプリを使ってイラストや図形を描いた画像を保存しておきます。[画像の読み込み] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスで作成したファイルを選択します。新規のマスクとして登録されます。

メモ

写真などの画像ファイルを読み込むと、モノトーンの画像に変換されたマスクが作成されます。

6 [マスクを反転] にチェックを入れると、テンプレートや作成したマスクが反転表示します。

7 [ぼかし半径] のスライダーをドラッグして、マスクの縁のぼかし具合を設定します。



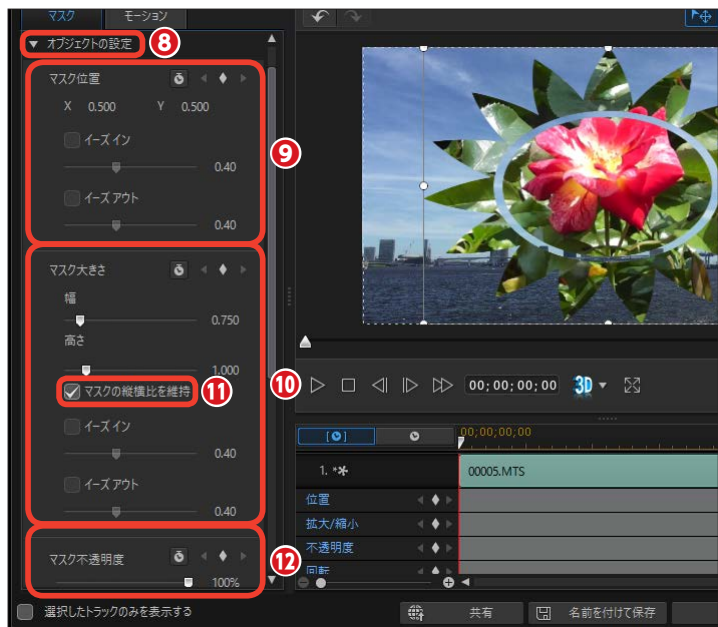
8 [オブジェクトの設定] の [▶] をクリックします。

9 [マスク位置] は、マスクの表示位置を変更します。

10 [マスク大きさ] は、マスクの大きさを変更します。

11 [マスクの縦横比を維持] のチェックをはずすと、マスクの縦横サイズを自由に変えられます。

12 [マスク不透明度] は、白色以外の部分の透明度を設定します。



文字で切り抜くマスクの作成

PowerDirector 15では、文字を使ったマスクの作成ができます。ビデオや画像を文字の形で切り抜きます。

① マスクをかけるクリップを選択して、[デザイナー] をクリックします。

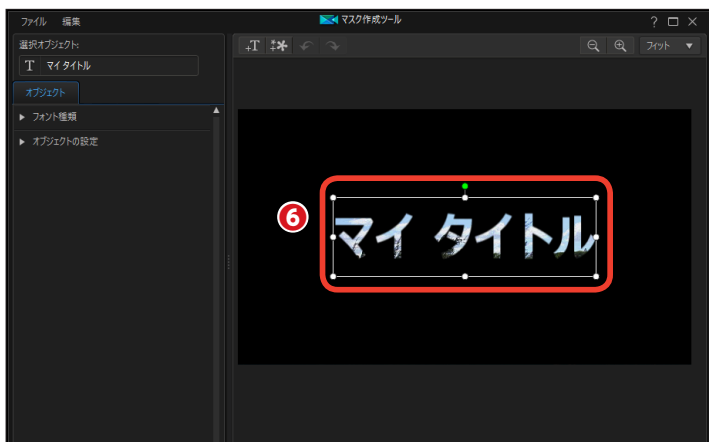
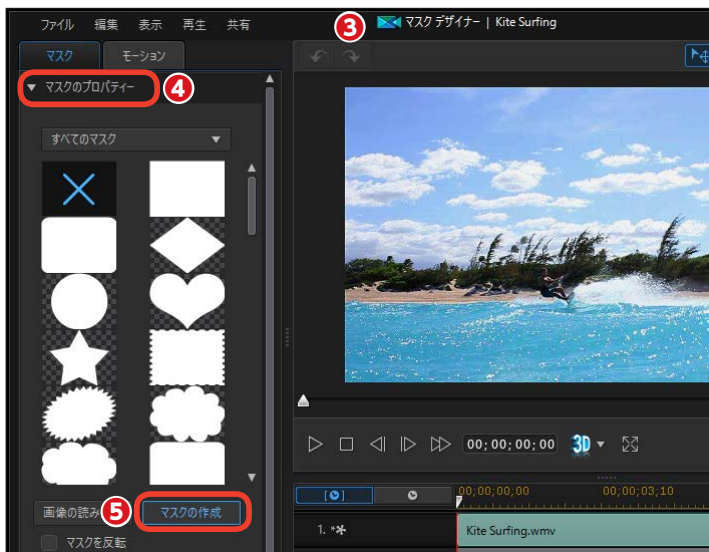
② [マスクデザイナー] をクリックします。

③ [マスクデザイナー] ウィンドウが表示されます。

④ [マスクのプロパティ] の [▶] をクリックします。

⑤ [マスクの作成] をクリックします。

⑥ [マスク作成] ウィンドウが表示されます。[マイタイトル] の文字をドラッグしてタイトルを入力します。

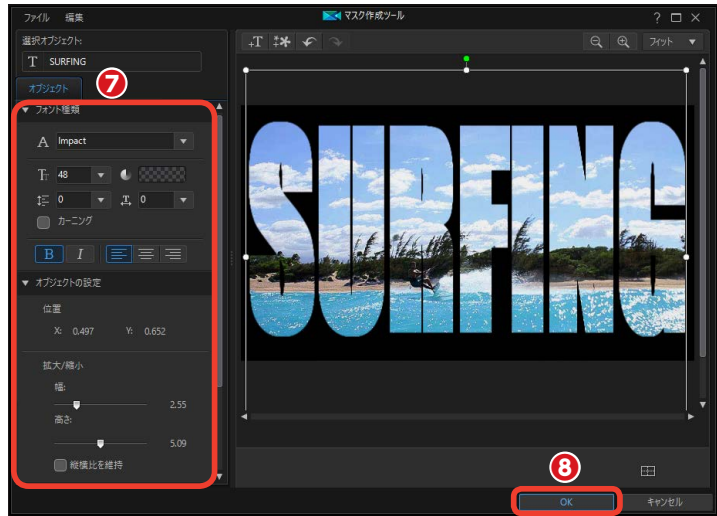


7

エフェクト

7 [フォント種類] や [オブジェクトの設定] で、タイトルをデザインします。ここでは [Impact] という線の太いフォントを [太字] にして、[拡大/縮小] の [高さ] だけを高くして縦長の文字にしています。

8 [OK] をクリックします。



9 マスクが作成されます。

10 [OK] をクリックします。



11 クリップにマスクが適用されます。

メモ

ここでは文字のマスク効果がわかりやすいように背景を黒にしていますが、[ビデオトラック1] に背景にするビデオや画像を配置し、[ビデオトラック2] のビデオや画像に文字のマスクを設定すると、背景に文字で切り抜かれたビデオが表示されます。



パーティクルエフェクト

パーティクルは花びらが散るような物理演算を用いた自然なエフェクトや、アニメーションを作成できます。本格的なサンプルも用意されています。

パーティクルテンプレート

1 [ビデオトラック1] にビデオクリップを配置します。[パーティクルルーム] をクリックします。

2 パーティクルのライブラリが表示されます。パーティクルを選択して、[ビデオトラック2] にドラッグします。

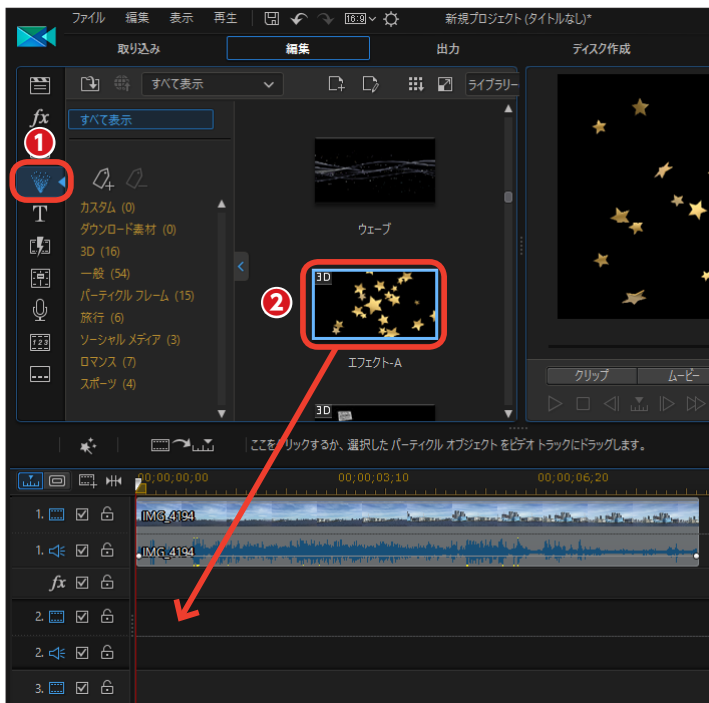
注意

パーティクルは、ビデオや画像クリップを配置したビデオトラックより下のビデオトラックにドラッグします。パーティクルは、ビデオや画像クリップを配置したビデオトラックの上に配置すると隠れてしまいます。

3 パーティクルエフェクトが [ビデオトラック2] に配置されます。プレビューウィンドウで [再生] をクリックして、パーティクルのかかり具合を確認します。

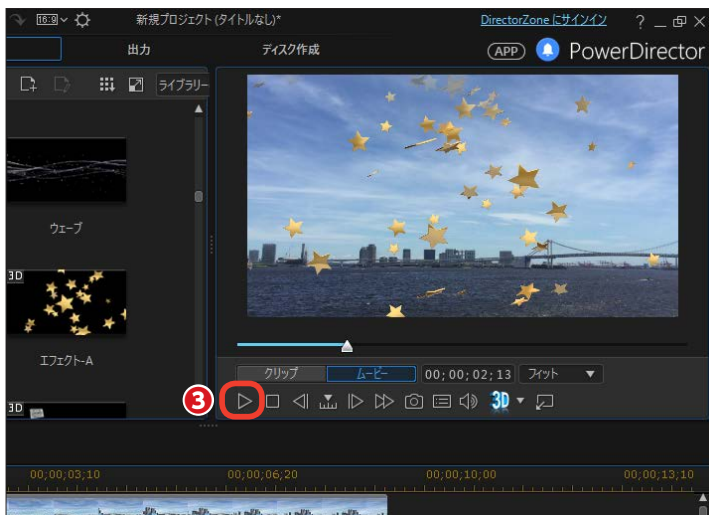
注意

パーティクルをカスタマイズするには、パーティクルエフェクトをダブルクリックして、表示される [パーティクルデザイナー] ウィンドウで行います。詳しくは次ページをお読みください。



7

エフェクト



パーティクルの作成

オリジナルのパーティクルを作成することができます。

① [パーティクルルーム] をクリックします。

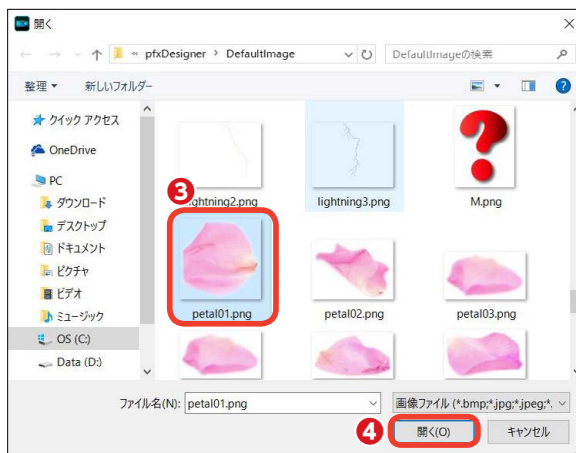
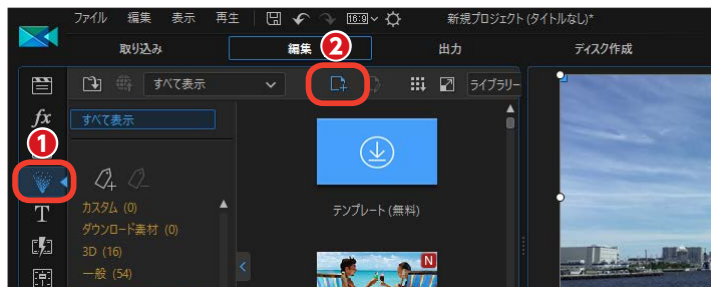
② [新規のパーティクルオブジェクトを作成] をクリックします。

③ [開く] ウィンドウが表示され、オブジェクトの素材一覧が表示されます。オブジェクトを選択します。

④ [開く] をクリックします。

メモ

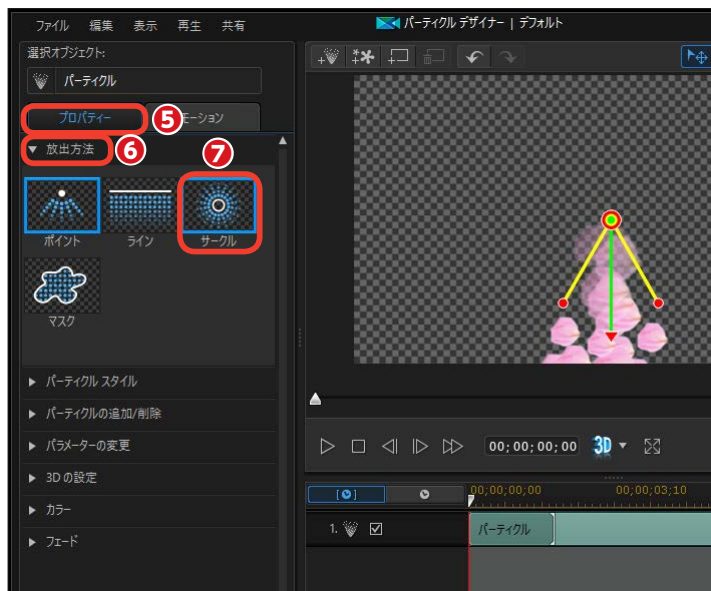
オリジナルのオブジェクトを使ってパーティクルを作成することもできます。



⑤ [パーティクルデザイナー] ウィンドウが表示されます。[プロパティ] をクリックします。

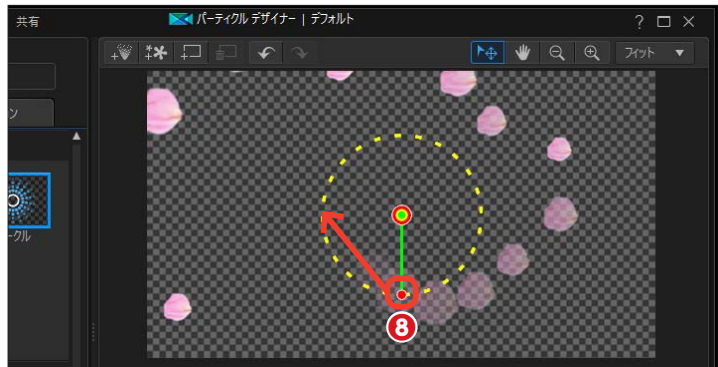
⑥ [放出方法] の▶をクリックします。

⑦ [放出方法] では、オブジェクトが移動する効果を設定します。[サークル] をクリックします。



[サークル] は、オブジェクトが円を描くように拡散するアニメーションになります。

8 赤いポイントが放出を開始する地点です。ここでは、赤いポイントを左にドラッグします。

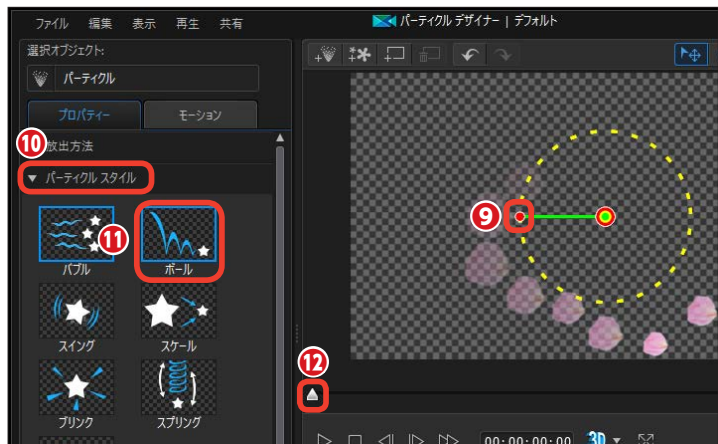


9 放出開始位置が左端になります。

10 [パーティクルスタイル] の [▶] をクリックします。

11 ここではオブジェクトの動きを設定します。[ボール] を選びます。

12 再生スライダーをドラッグすると、オブジェクトの動きを確認できます。



7

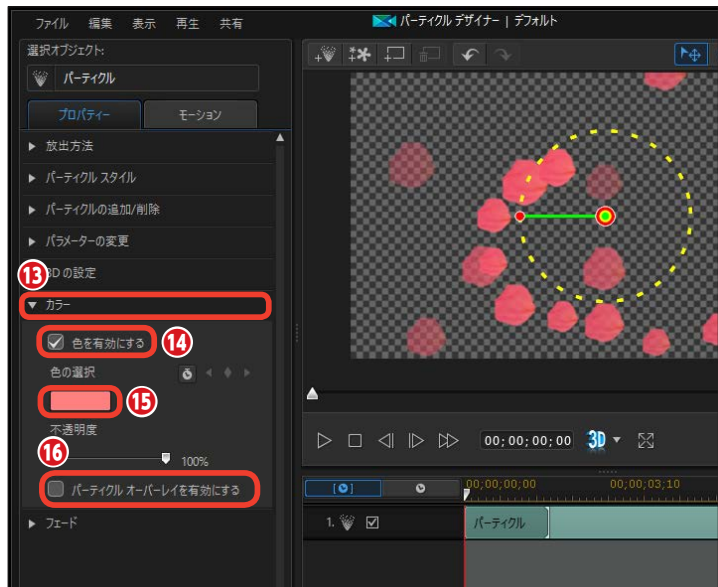
エフェクト

13 [カラー] の [▶] をクリックします。

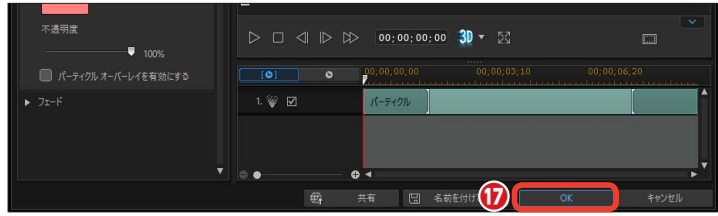
14 オブジェクトの色を変更するには、[色を有効にする] にチェックを入れます。

15 [色の選択] をクリックして、表示される [色の設定] ウィンドウから色を選択します。

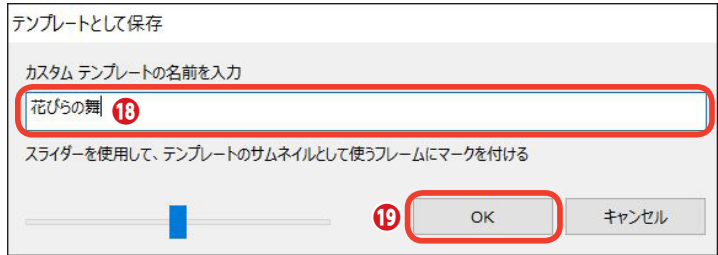
16 [パーティクルオーバーレイを有効にする] にチェックを入れると、パーティクルオブジェクトが透過され、背景の色とブレンドします。ここではチェックを入れません。



17 [OK] をクリックします。



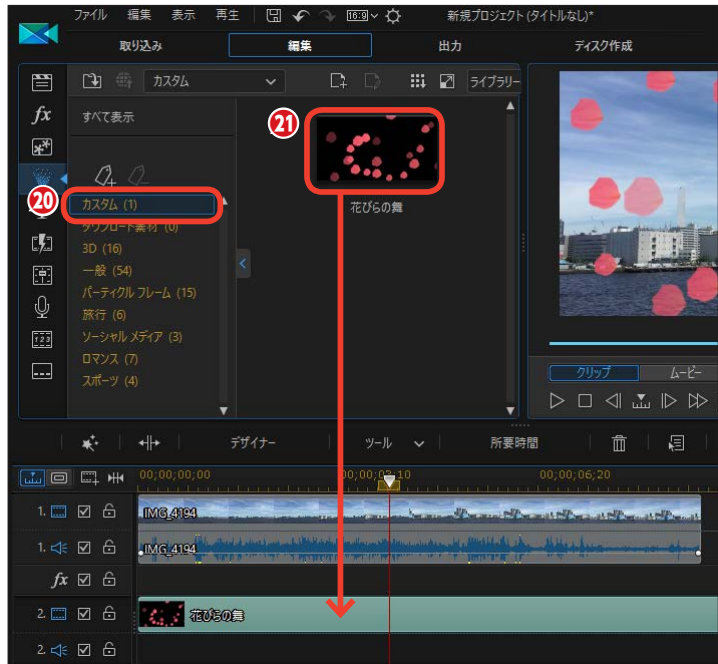
18 [テンプレートとして保存] ウィンドウが表示されます。パーティクル名を入力します。



19 [OK] をクリックします。

20 [パーティクルルーム] の [カスタム] ライブラリーに、作成したパーティクルエフェクトが表示されます。

21 作成したパーティクルエフェクトをタイムラインにドラッグして使用します。



■オリジナルパーティクルエフェクトの作例



The image features a solid green background. In the center, the text "Chapter 8" is written in a white, sans-serif font, with "タイトル" (Title) written below it in a similar white font. A white rectangular border is drawn around the text, with each of the four corners being a slightly larger, semi-transparent green square. At the top, bottom, left, and right center of the page, there are registration marks consisting of a small circle with a crosshair.

Chapter 8
タイトル

タイトル

ビデオにタイトルを表示しましょう。タイトルの作成は [タイトルルーム] のテンプレートを使ったり、[タイトルデザイナー] でフォントの種類やサイズ、色などを設定します。テキストに影を付けたりして見やすいタイトルを作成します。

タイトルの設定

① タイトルを入力するにはタイムラインにビデオクリップを配置して、タイムラインスライダーをタイトルを表示する位置にドラッグします。

② [タイトルルーム] をクリックします。

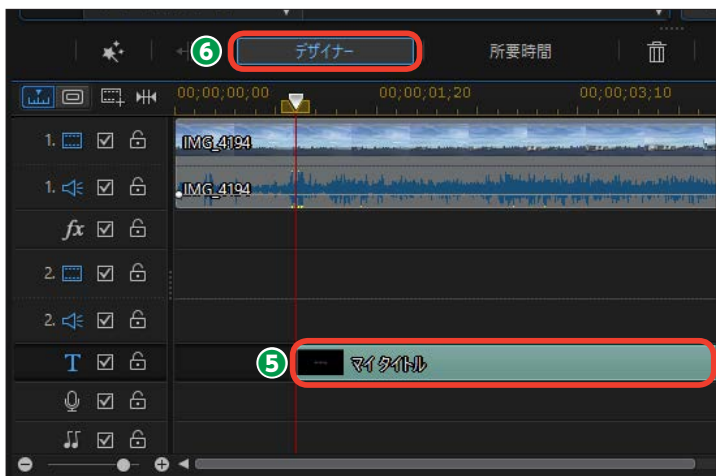
③ 標準のタイトルを作成してみましょう。[デフォルト] をクリックします。

④ [タイトルトラックに追加] をクリックします。

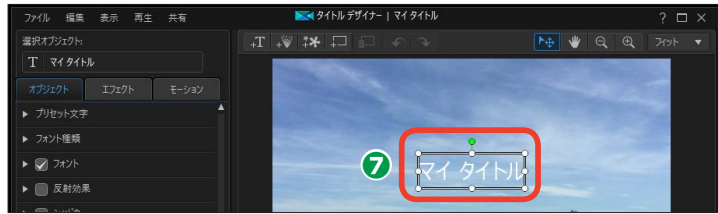


⑤ タイムラインにタイトルクリップが表示されます。

⑥ [デザイナー] をクリックします。



7 [タイトルデザイナー] ウィンドウが表示されます。[マイタイトル]の文字をドラッグして選択します。



8 タイトルにする文字を入力します。



9 タイトルが表示されます。タイトルにはいろいろなデザインを付けられます。タイトルをデザインするには文字をクリックして選択します。



8

タイトル

10 [フォント種類] の [▶] をクリックし、[フォント種類の選択] の [▼] をクリックして、表示されるメニューからフォントを選択します。

注意

[フォント名] の先頭に「@」が付いているフォントは、文字が横になるので使用できません。

11 [フォントサイズの選択] でフォントの大きさを設定します。

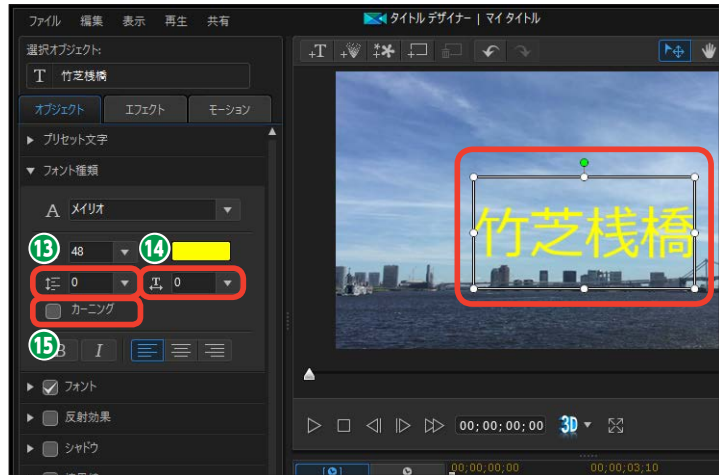
12 [フォント色の選択] をクリックして、表示される [色の設定] ダイアログボックスから使用する色を選択します。



13 [行間] では2行以上のタイトルの行と行の間隔を設定します。大きな数字にするほど、行間が開きます。

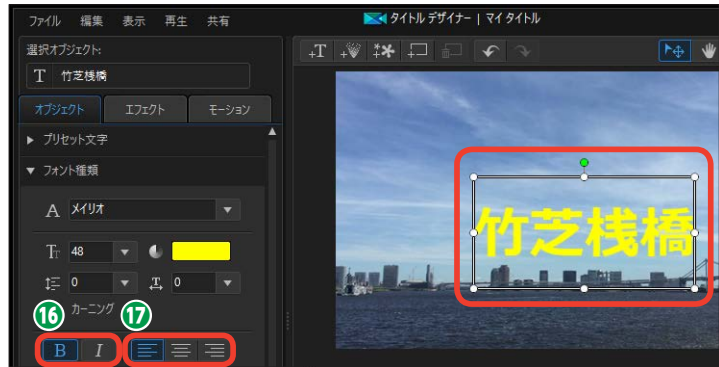
14 [文字間隔] では、タイトルの文字と文字の間を調整します。大きな数字にするほど、文字の間隔が開きます。

15 [カーニング] は英語フォントの字間を調整します。チェックを入れると、きれいな字づめになります。



16 [B] をクリックすると、文字が太字になります。[I] をクリックすると、文字が斜体になります。

17 ここでは文字揃えを設定できます。[左揃え]、[中央揃え]、[右揃え]があります。



プリセット文字

[プリセット文字] には、文字をデザインしたテンプレートが用意されています。

1 プリセット文字を使用するには、[プリセット文字] の [▶] をクリックします。

2 効果をかけたいプリセットをクリックすると、適用されます。

3 解除するには、[元に戻す] をクリックします。



反射効果

【反射効果】は、タイトルが鏡に映ったような、または水面に映ったような効果を加えます。

- 1 【反射効果】にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、【▶】をクリックします。
- 2 【距離】のスライダーをドラッグすると、タイトルとの間隔を設定できます。
- 3 【不透明度】のスライダーをドラッグすると、反射効果のタイトルの透明度を調整できます。



8

タイトル

シャドウ

【シャドウ】は、タイトルに影の効果を付けます。

- 1 【シャドウ】にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、【▶】をクリックします。
- 2 【距離】のスライダーをドラッグすると、タイトルと影の間隔を設定できます。【ぼかし】のスライダーをドラッグすると、影をぼかすことができます。【不透明度】のスライダーをドラッグすると、影の透明度を調整できます。
- 3 【シャドウ塗りつぶし】にチェックを入れると、テキストと影の間にきれいに塗りつぶされます。【シャドウカラーの選択】をクリックして、影の色を設定します。



- 4 【シャドウの方向】では、ボタンをドラッグすると、影を表示する位置を調整できます。

境界線

[境界線] は、タイトルの文字に縁取りをつけます。

① [境界線] にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、[▶] をクリックします。

② [サイズ] のスライダーをドラッグすると、境界線の太さを設定できます。[ぼかし] のスライダーをドラッグすると、境界線をぼかします。[不透明度] のスライダーをドラッグすると、境界線の透明度を調整できます。

③ [境界線の色を選択] をクリックして、境界線の色を設定します。

④ タイトルを適用するには、[OK] をクリックします。



タイトルのレイアウト

作成したタイトルの表示位置を調整しましょう。タイトルをドラッグすると画面の自由な位置に配置できます。また、キーフレームを使うと、タイトルが徐々に拡大する効果を加えることもできます。

タイトルは画面のどこにでも配置できます。

① タイトルの回転でタイトルを傾けることができます。緑のポイントを左右にドラッグします。

② 文字ボックスの白いポイントをドラッグすると、タイトルの拡大・縮小ができます。

[オブジェクトの設定] では、数値入力力でタイトルを調整します。

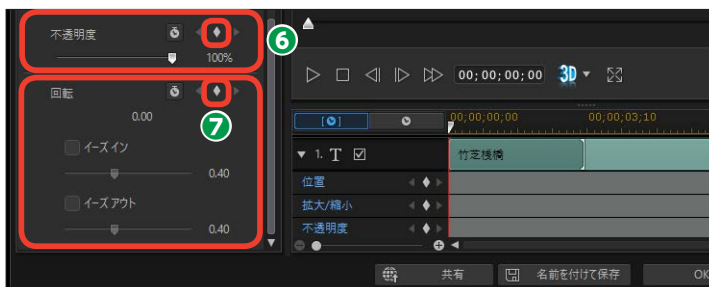
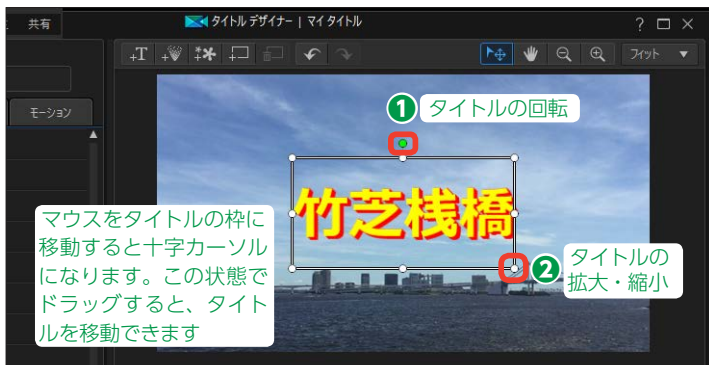
③ 詳細設定を表示するには、[オブジェクトの設定] [▶] をクリックします。

④ [位置] では、タイトルの表示場所を設定します。

⑤ [拡大/縮小] ではタイトルの大きさを設定できます。

⑥ [不透明度] ではタイトルを透明にできます。[回転] はタイトルの傾きを設定します。

⑦ 各項目のキーフレームボタンをクリックすると、キーフレームまでの設定ができ、変化のあるタイトルになります。キーフレームの設定方法は、116ページをお読みください。



8

タイトル

タイトルのアニメーション

タイトルの表示に演出を加えることができます。タイトルの文字が一文字ずつ飛んできて表示される効果やにじむようにして消えていくなど、タイトルにアニメーション効果を付けられます。タイトルのアニメーションは、[エフェクト] と [モーション] タブで設定します。

タイトルのエフェクト効果

[エフェクト] では、タイトルをアニメーションすることができます。

① タイトルにアニメーション効果を適用するには [エフェクト] をクリックします。

② タイトルを表示するときにアニメーション効果を適用するには [開始エフェクト] の [▶] をクリックします。

③ 表示されるメニューからエフェクトを選択します。プレビューウィンドウにエフェクトの効果が再生されます。

④ タイトルの再生終了時にアニメーション効果を適用するには、[終了エフェクト] の [▶] をクリックします。

⑤ 表示されるメニューからエフェクトを選択します。プレビューウィンドウにモーションの効果が再生されます。

メモ

[エフェクト] を使うと、映画のエンドロールが作成できます。[開始エフェクト] で [スクロール (上へ)] を選択して、[終了エフェクト] で [スクロール (上へ)] を選択します。テキストが画面の下から表示されて上へスクロールして消えます。



⑥ [モーションブラー] は、タイトルがぶれるような効果を加えます。モーションブラーを適用するには、[モーションブラー] にチェックを入れます。[▶] をクリックすると、詳細設定が表示されます。

⑦ [ブラーの長さ] では、ぶれる再生時間を調整できます。

⑧ [ブラーの濃度] では、ぶれるときのタイトルの色の濃さを調整できます。



■タイトルエフェクトの作例



8

タイトル

タイトルのモーション効果

[モーション] でも、タイトルにモーション効果をつけることができます。

① タイトルにモーション効果を適用するには [モーション] をクリックします。

② [パス] の [▶] をクリックします。

③ 表示されるメニューからモーションを選択します。



- 4 プレビューウィンドウにモーションの効果が表示されます。
- 5 [再生] をクリックして、モーション効果を確認します。
- 6 [OK] をクリックします。

メモ

モーションを取りやめるにはモーションの一覧から [X] をクリックします。



- 7 タイトルが適用されます。



プレビューウィンドウに配置された機能

[タイトルデザイナー] のプレビューウィンドウの上には、タイトルを飾る機能が用意されています。ここでは、ひとつの画面に複数のタイトルを表示する [タイトルの追加] とタイトル画面をきらびやかに飾る [パーティクル] について説明します。

タイトルの追加

1 タイトルを追加するには、[タイトルの挿入] をクリックします。

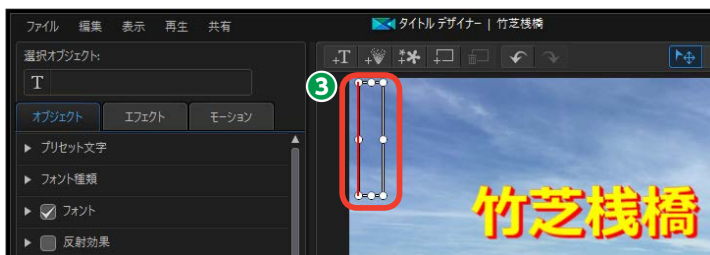
2 プレビューウィンドウをダブルクリックします。



3 文字を入力するボックスが表示されるので、タイトルを入力します。

メモ

追加したタイトルには、先に作成したタイトルのサイズや色、フォントの種類などが同じ設定になります。



4 追加したタイトルが表示されます。



5 [オブジェクト] タブの [フォント種類] や [フォント]、[シャドウ]などで、追加したタイトルをレイアウトします。



8

タイトル

パーティクル

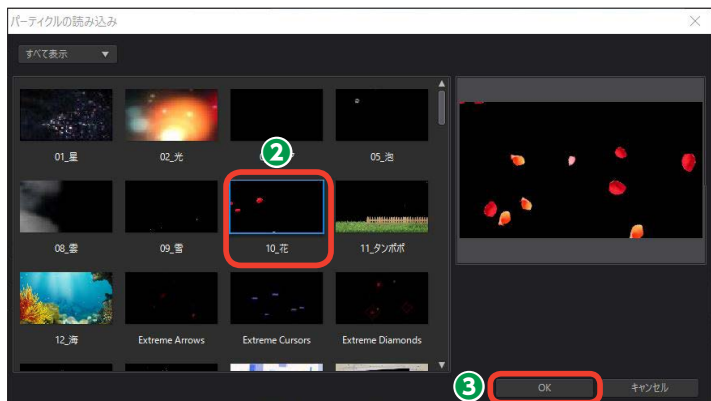
パーティクルは、映像にいろいろなオブジェクトが放出したり吹き出したりするアニメーション効果を加えます。

① [パーティクルの挿入] をクリックします。



② [パーティクルの読み込み] ダイアログボックスが表示されます。パーティクルを選択します。

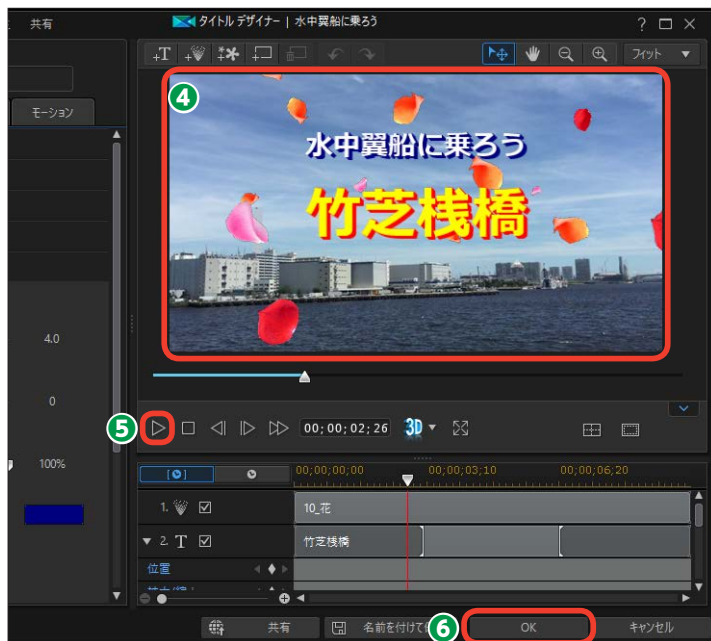
③ [OK] をクリックします。



④ パーティクル効果が適用されません。

⑤ [再生] をクリックして、パーティクル効果を確認します。

⑥ [OK] をクリックします。





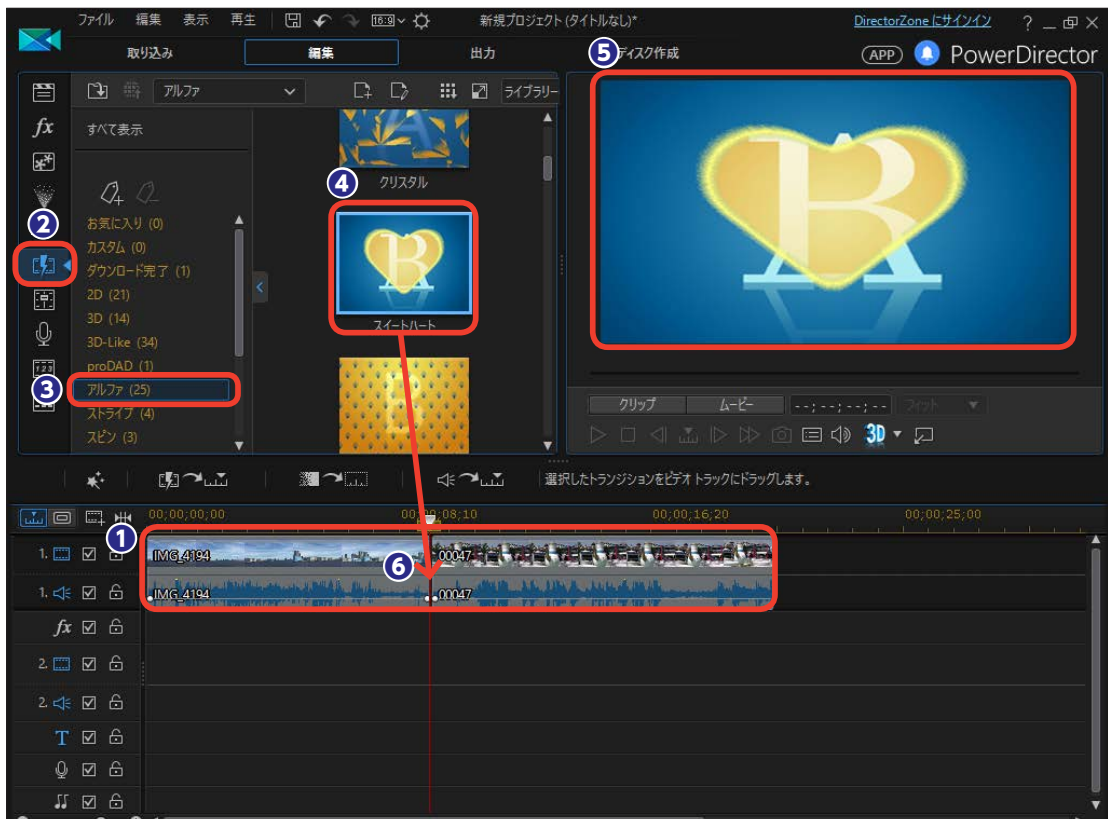
Chapter 9
トランジション

トランジション

【トランジション】は、ビデオとビデオの間に入れて、ビデオの切り替わるときに加える効果です。ページがめくられるように次のビデオが表示されたり、次に再生されるビデオが前に再生されていたビデオを画面の端に追いやったりと、時間の経過や場面が変わったことを表現します。

トランジションの設定

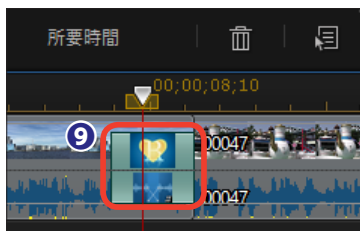
- 1 複数のビデオクリップをタイムラインに配置しておきます。
- 2 【トランジションルーム】 をクリックします。
- 3 トランジションのカテゴリをクリックします。
- 4 トランジションを選択します。
- 5 トランジションの効果は、プレビューウィンドウに表示されます。
- 6 トランジションをビデオクリップとビデオクリップの間にドラッグします。



7 トランジションが適用されます。
[再生] をクリックします。

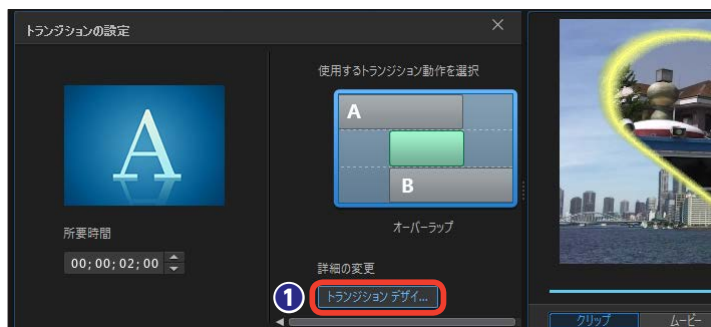
8 プレビューウィンドウで効果を確認
します。

9 トランジション効果をカスタマイ
ズする場合は、トランジションをダ
ブルクリックします。

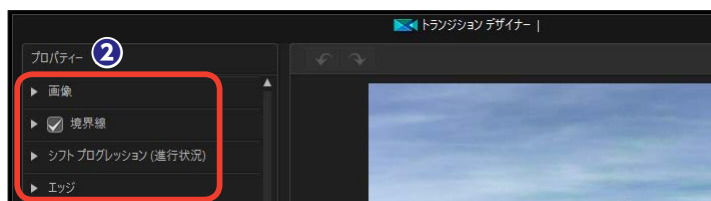


トランジションのカスタマイズ

1 [トランジションの設定] ウィ
ンドウが表示されます。トランジシ
ョンをカスタマイズするには、[トラン
ジションデザイナー] をクリックし
ます。



2 [トランジションデザイナー] ウィ
ンドウが表示されます。各設定は、[プ
ロパティー] の項目名の▶をクリック
して表示します。



メモ

オリジナルのトランジション効果を作成することができます。トランジションに使用する画像ファイルを用意しておきます。[トランジションルーム] のメニューにある [新規アルファトランジションの作成] ボタンをクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスから画像ファイルを選択します。表示される [トランジションデザイナー] で画像を調整して [OK] をクリックします。詳しい作成方法は、オンラインマニュアルをお読みください。

3 [画像] では、トランジションで使用する画像をカスタマイズできます。白いポイントをドラッグして、表示する範囲を調整します。

4 [上下反転] にチェックを入れると、画像が逆さに表示されます。

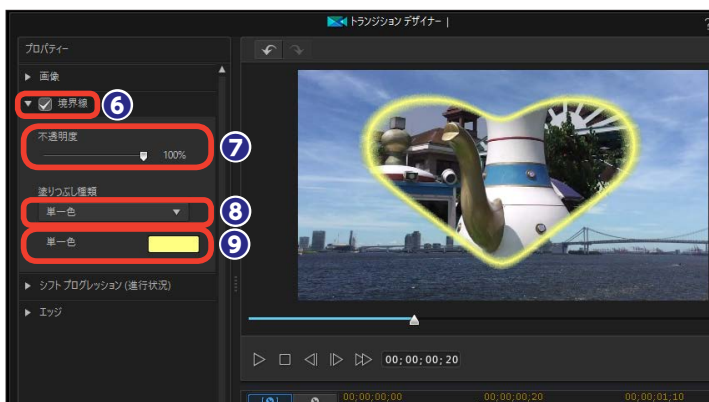
5 [左右反転] にチェックを入れると、画像の左右が逆になります。



6 [境界線] にチェックを入れると、映像の境に境界線が表示されます。

7 [不透明度] では、境界線の濃さを設定します。

8 [塗りつぶし種類] の [▼] をクリックして [単一色] を選択すると、単色の境界線になります。[2色グラデーション] を選択すると、境界線にグラデーションをかけられます。



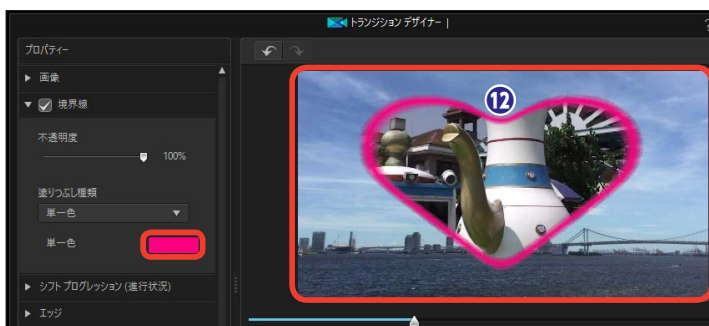
9 カラーボックスをクリックします。

10 表示される [色の設定] ウィンドウから色を選択します。

11 [OK] をクリックします。



12 境界線の色が変わります。



13 [シフトプログRESSION] では、キーフレームを使ってトランジションのアニメーションを調整できます。ここでは[スイートハート]を使って、大きくなったハートが途中から小さくなり、そこからまた大きくなるアニメーションに変更してみます。

14 ハートが小さくなる位置に再生スライダーをドラッグします。

15 [現在のキーフレームを追加/削除] をクリックします。

16 キーフレームが設定されます。

17 ハートが再び大きくなる位置に再生スライダーをドラッグして、[現在のキーフレームを追加/削除] をクリックします。

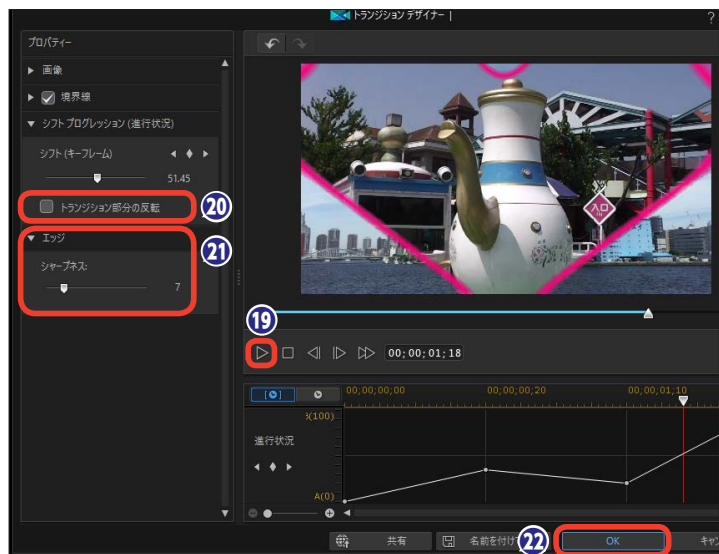
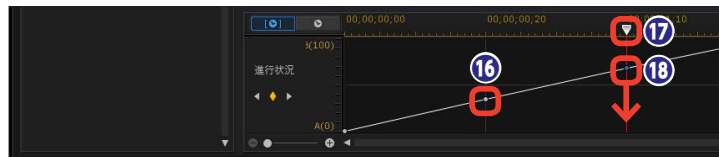
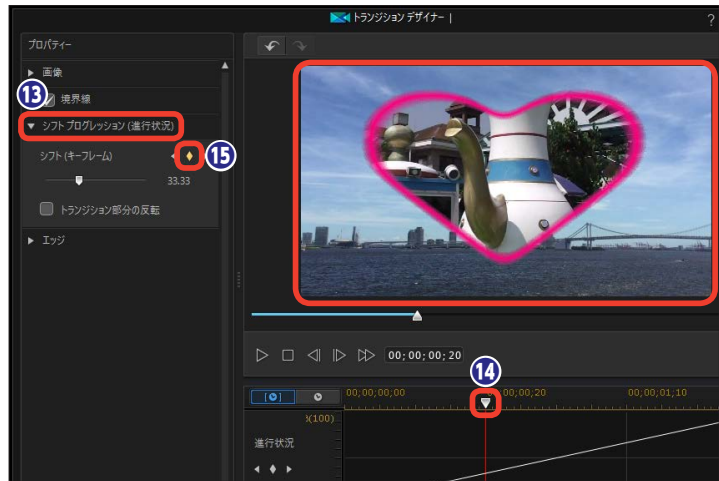
18 青いポイントを下にドラッグします。

19 [再生] をクリックすると、ハートが大きくなり、一度小さくなってからまた大きくなるトランジションが確認できます。

20 [トランジション部分の反転] にチェックを入れると、トランジションの効果が逆になります。

21 [エッジ] では、境界線にぼかしをかけます。[シャープネス]をドラッグして、境界線のぼけ具合を調整します。

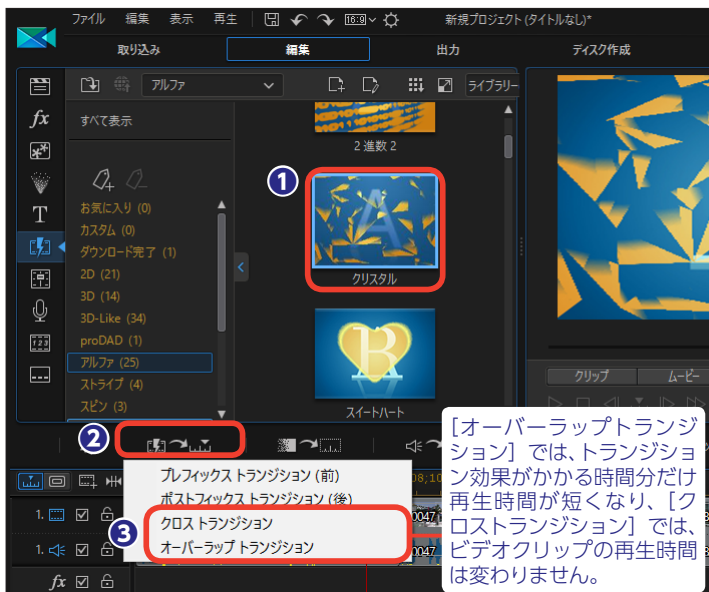
22 カスタマイズが終了したら、[OK] をクリックします。



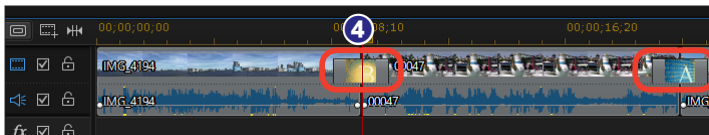
トランジションをすべてのビデオクリップ間に適用

タイムラインに配置したビデオクリップ間すべてにトランジションを適用することができます。

- 1 トランジションのどれかをクリックします。
- 2 [すべての動画にランダムトランジションエフェクトを適用] をクリックします。
- 3 表示されるメニューから [クロストランジション] か [オーバーラップトランジション] を選択します。

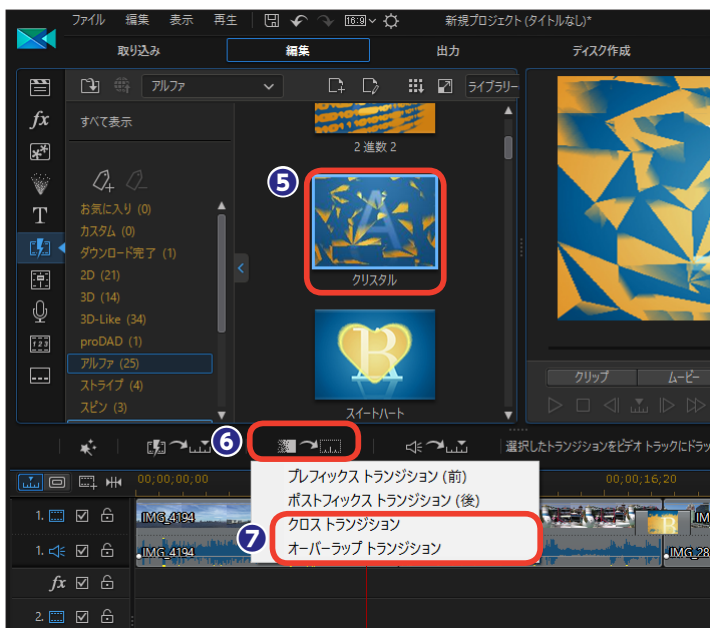


- 4 すべてのビデオクリップ間にトランジションが配置されます。トランジションはランダムに配置されます。



ビデオクリップ間すべてにビデオクリップが消えて行くフェードトランジションを適用することもできます。

- 5 トランジションのどれかをクリックします。
- 6 [すべての動画にフェードトランジションエフェクトを適用] をクリックします。
- 7 表示されるメニューから [クロストランジション] か [オーバーラップトランジション] を選択します。



The image features a solid red background. In the center, the text "Chapter 10" is written in a white, sans-serif font, with "オーディオ" (Audio) written below it in a similar white font. A white rectangular border is drawn around the text, with each of its four corners filled with a smaller, semi-transparent red square. The entire page is framed by a white border, which includes four registration marks (crosshairs) at the top, bottom, left, and right center points.

Chapter 10
オーディオ

音楽CDから曲を取り込む

音楽CDから曲を取り込んで、BGMに使用できます。ただし個人で楽しむビデオ作成の場合に限られます。音楽CDから取り込んだ曲を使ったビデオをYouTubeなどの動画サイトにアップロードすることはできません。

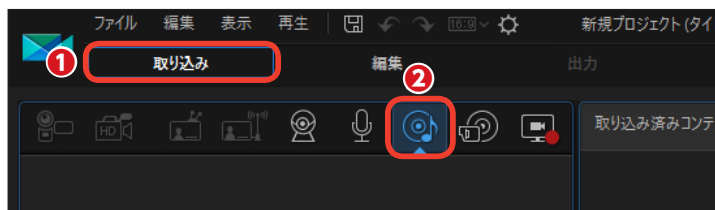
1 音楽CDから曲を取り込むには、DVDドライブなどに音楽CDをセットして [取り込み] をクリックします。

2 [CDから取り込み] をクリックします。

3 [トラック] の [▼] をクリックします。

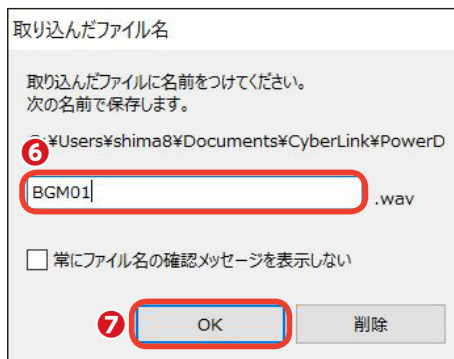
4 表示されるメニューから取り込む曲をクリックします。

5 [録画] をクリックします。曲の取り込みが開始されます。



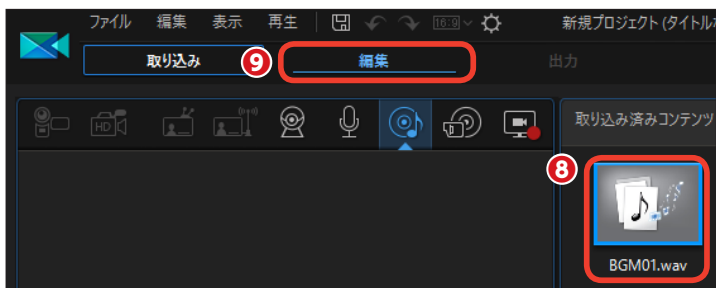
6 曲の取り込みが終了すると、[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されます。わかりやすいファイル名を入力します。

7 [OK] をクリックします。



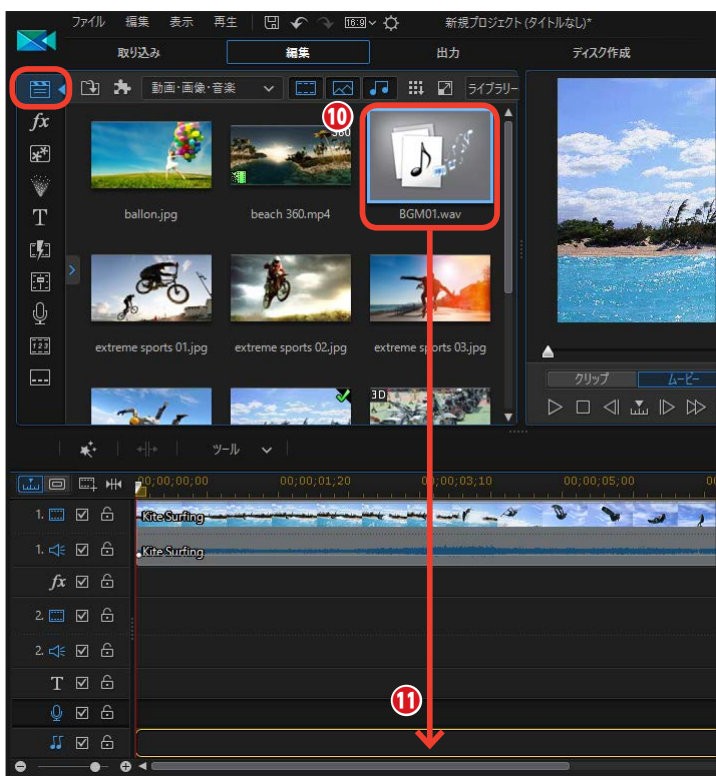
8 取り込まれた音楽CDの曲はミュージックファイルとして [取り込み済みコンテンツ] に表示されます。

9 [編集] をクリックします。



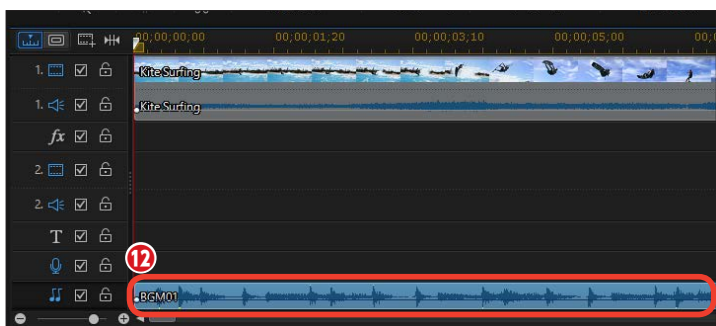
10 ミュージックファイルは [メディアルーム] にミュージッククリップとして表示されます。

11 ミュージッククリップをミュージックトラックの再生したい位置にドラッグします。



10
オーディオ

12 ミュージッククリップがタイムラインに配置されます。



ミュージックファイルを取り込む

パソコンに保存してあるミュージックファイルを取り込んで、BGMIに使用できます。ただし個人で楽しむビデオ作成の場合に限られます。ミュージックファイルを使ったビデオをYouTubeなどの動画サイトにアップロードすることはできません。

1 ミュージックファイルを取り込むには、[編集] 画面で [メディアの読み込み] をクリックします。

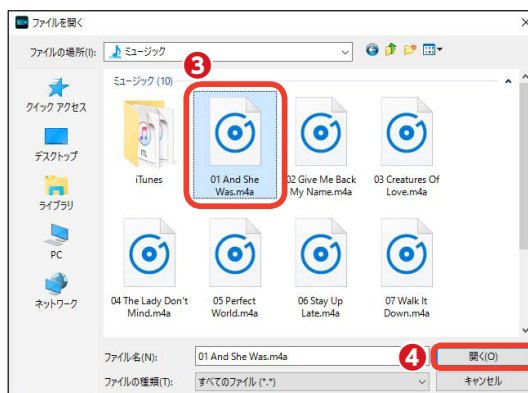
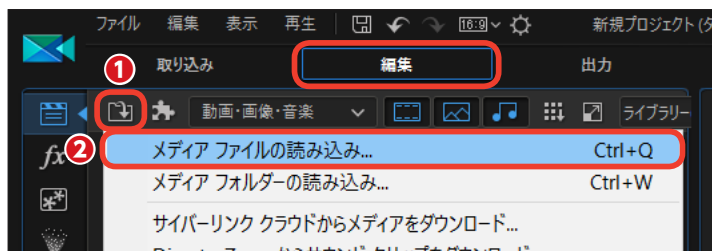
2 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

3 ミュージックファイルが収納されているフォルダーを表示して、ミュージックファイルを選択します。

4 [開く] をクリックします。

5 ミュージックファイルが、[メディアルーム] のライブラリにミュージッククリップとして取り込まれます。

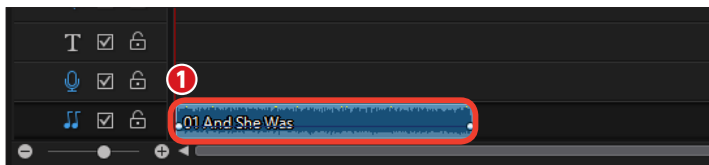
6 ミュージッククリップをミュージックトラックの再生したい位置にドラッグします。



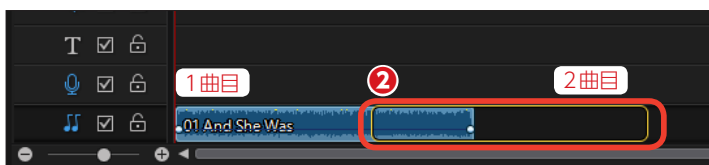
クロスフェード

ミュージッククリップとミュージッククリップをクロスフェードすることができます。1曲目と2曲目の重なった部分で1曲目の音量が徐々に下がって消えていき、2曲目の音量が徐々に大きくなります。PowerDirectorでは、ミュージッククリップを重ね合わせるだけでクロスフェードの設定ができます。

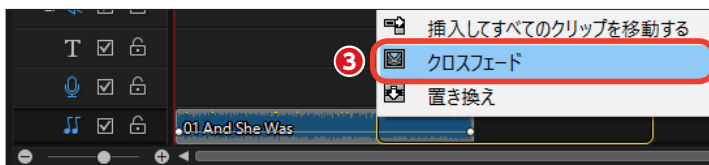
① 1曲目のミュージッククリップをミュージックトラックに配置します。



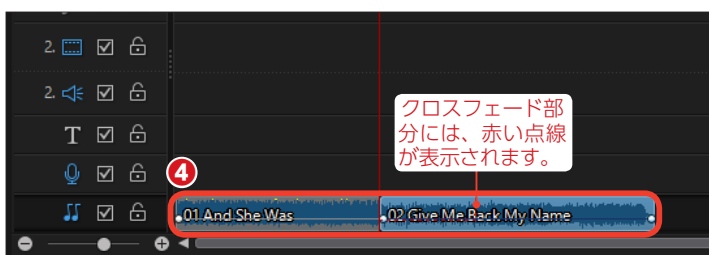
② 2曲目のミュージッククリップをメディアルームのライブラリから1曲目のミュージッククリップに重なるようにドラッグします。



③ 表示されるメニューから、[クロスフェード] をクリックします。



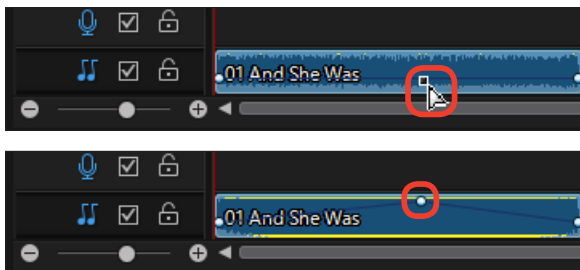
④ 2曲目のミュージッククリップが1曲目のミュージッククリップに重なって配置されます。曲の重なった部分で、1曲目のミュージッククリップの音量が徐々に小さくなって消え、2曲目のミュージッククリップの音量が徐々に大きくなります。



メモ

ミュージックトラックやボイストラックでは、タイムラインに配置したクリップで、音声の途中から音量を変更することができます。

クリップを選択してトラック音量のラインにマウスカーソルを合わせると、四角いポイントが表示されます。これを上にドラッグすると大きな音に、下にドラッグすると小さな音になります。



重なった音声の音量を調整する

ビデオクリップの音声とミュージッククリップの音声、ナレーションクリップの音声など、一度に複数の音声が生再生される場合、各音声を聴きやすいように調整できます。音声はクリップや音声ミキシングルームでも調整できますが、ここではキーフレームで調整する方法を説明します。

ミュージックトラックにBGMを配置して、その途中からナレーションクリップを配置し、ナレーションが再生されるときにBGMの音量が下がるように設定します。

1 BGMのミュージッククリップを選択して、タイムラインスライダーを音量を下げる位置にドラッグします。

2 [キーフレーム] をクリックします。

3 [音量] の ▶ をクリックします。

4 [現在のキーフレームを追加/削除] をクリックします。

5 キーフレームが設定されます。

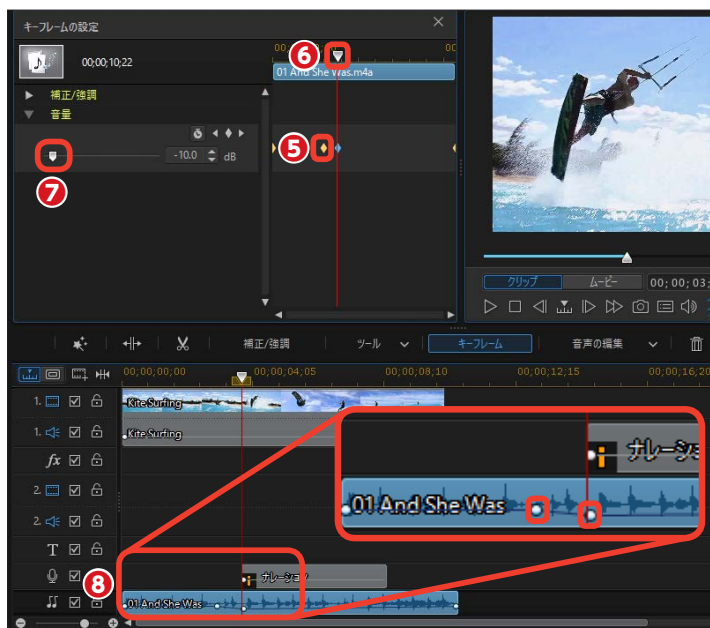
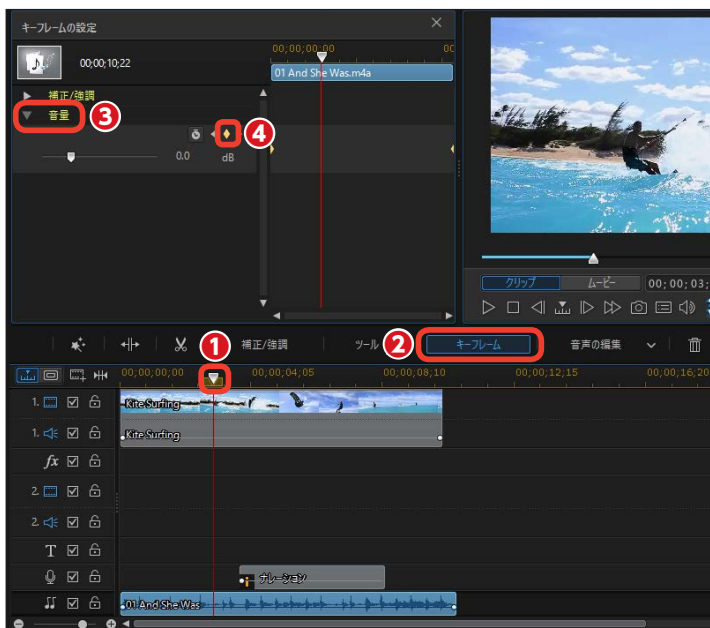
6 タイムラインスライダーを音量が一番小さくする位置にドラッグします。

メモ

タイムラインスライダーは、タイムラインにあるタイムラインスライダーと連動します。

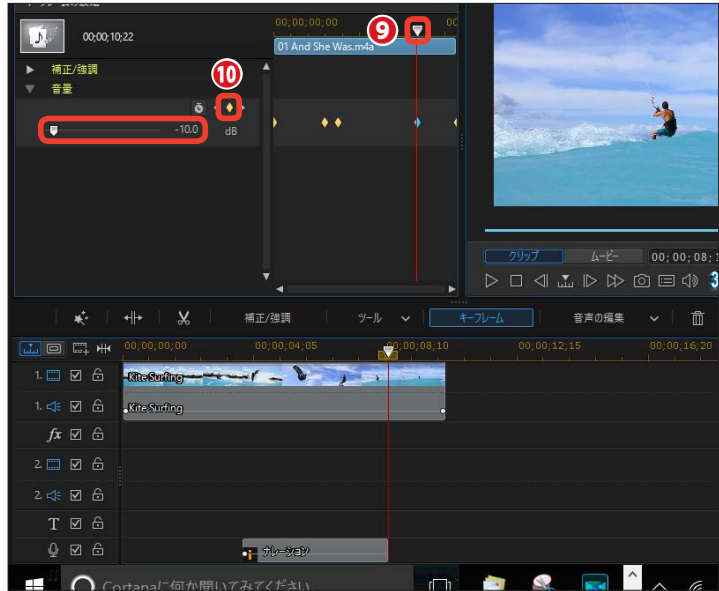
7 [音量] のスライダーを [-10.0] にドラッグします。

8 キーフレームが設定され、その位置の音量が下がります。



9 タイムラインスライダーを音量を上げ始める位置にドラッグします。

10 [現在のキーフレームを追加/削除] をクリックして、[音量] を [-10.0] に設定します。



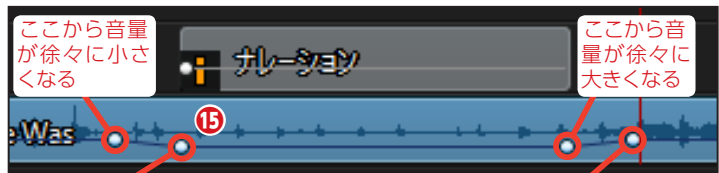
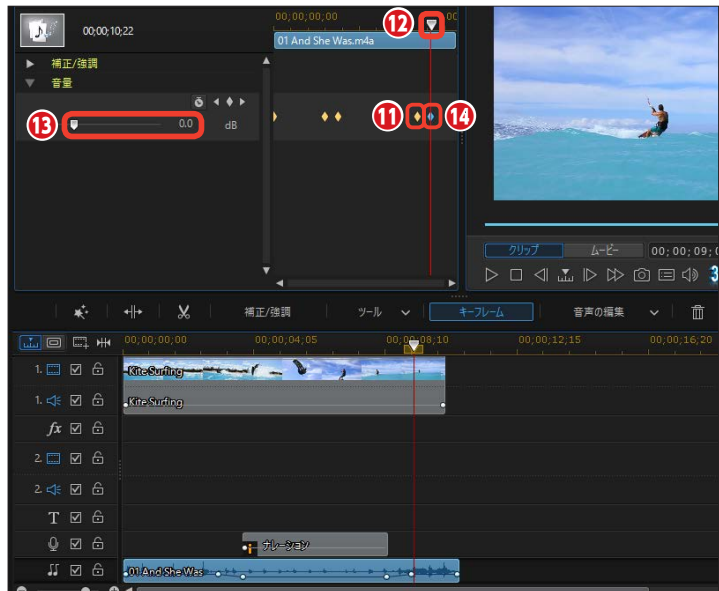
11 キーフレームが設定されます。

12 タイムラインスライダーを元の音量に戻す位置にドラッグします。

13 [音量] のスライダーを [0.0] にドラッグします。

14 キーフレームが設定され、その位置の音量が元の音量に戻ります。

15 以上の設定で、ナレーションが再生される少し前からBGMの音量が徐々に下がり、ナレーションのじやまをしないように小さな音で再生され、ナレーションが終われば、徐々に元の音量に戻って再生されるようになります。



ナレーションがよく聴こえる音量まで下がる

ここで元の音量に戻る

ナレーション

運動会のビデオなどで解説を入れるなど、ビデオにナレーションを加えることができます。パソコンにマイク機能があればマイクに向かって、ない場合は市販のマイクを用意してナレーションを吹き込みます。ビデオの映像に合わせてナレーションを吹き込みます。

① タイムラインスライダーをナレーションを配置する位置にドラッグします。

② [ナレーションルーム] をクリックします。

③ マイクに向かってしゃべると、インジケーターが上下に移動します。

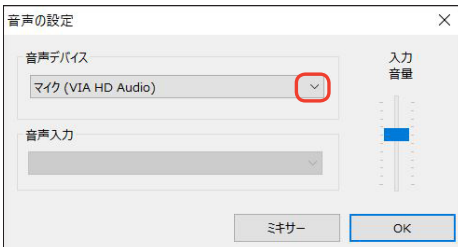
④ 一番大きな音が赤のラインにかからないようにスライダーをドラッグして調整します。

⑤ [録音中は全トラックをミュートする] にチェックを入れると、ナレーションの録音中にビデオクリップの音声が無音になります。



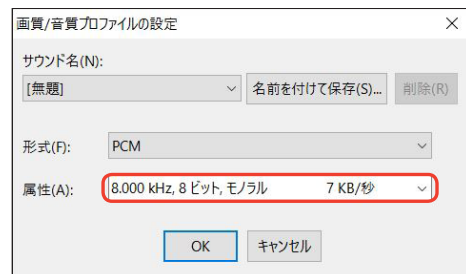
メモ

インジケーターがなにも振れない場合は [デバイス] をクリックして、表示される [音声の設定] ダイアログボックスで [音声デバイス] の [V] をクリックし、[マイク] が選択されているか確認してください。



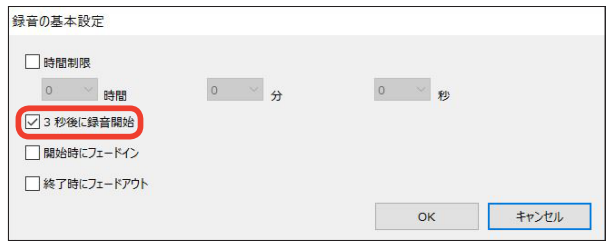
メモ

[プロフィール] をクリックすると、[画質/音質プロフィールの設定] ダイアログボックスが表示されます。[属性] の [V] をクリックして表示されるメニューから、音声のクオリティを設定できます。

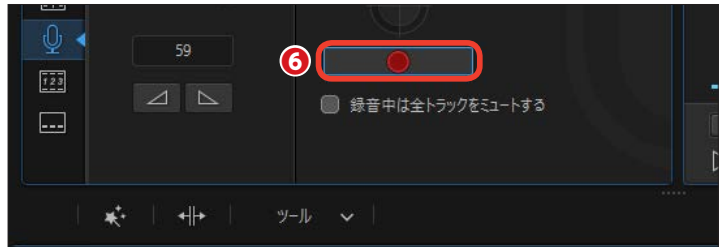


メモ

[基本設定] をクリックすると、[録音の基本設定] ダイアログボックスが表示されます。[3秒後に録音開始] にチェックを入れると、[録音] をクリックしてから3秒後に録音が始まります。[録音] をクリックしてから少し余裕があるので、慌てずにナレーションを吹き込みます。



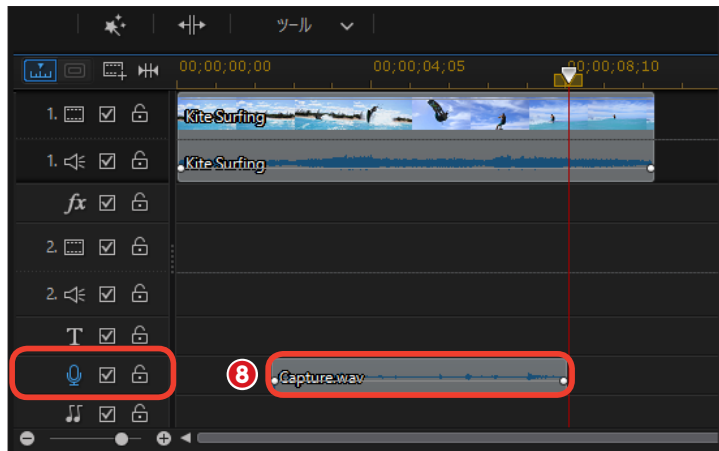
6 ナレーションを吹き込む準備が整ったら、[録音] をクリックします。プレビューウィンドウにビデオが再生されるので、映像に合わせてナレーションを吹き込みます。



7 ナレーションを吹き込み終わったら、[停止] をクリックします。



8 ナレーションがボイストラックにボイスクリップとして取り込まれます。



10

オーディオ

ミュージックビート

【ミュージックビート検出】は、ミュージッククリップを分析してミュージックから自動でビートを検出し、マーカーを打ちます。このマーカーに合わせてビデオや画像クリップを配置すると、曲のビートに合わせてビデオや画像が再生されます。

① ミュージッククリップをミュージックトラックに配置しておきます。ミュージッククリップを右クリックします。

② 表示されるメニューから【ミュージックビート自動検出を使う】をクリックします。

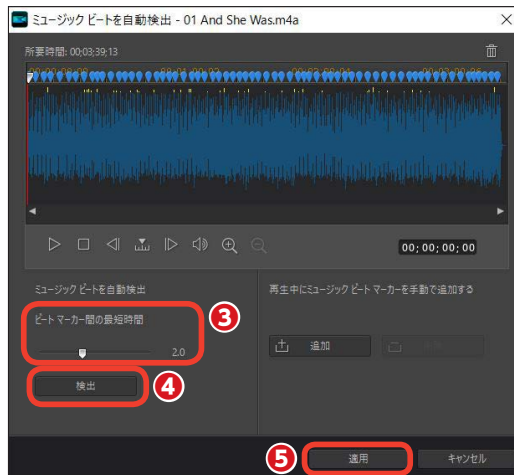
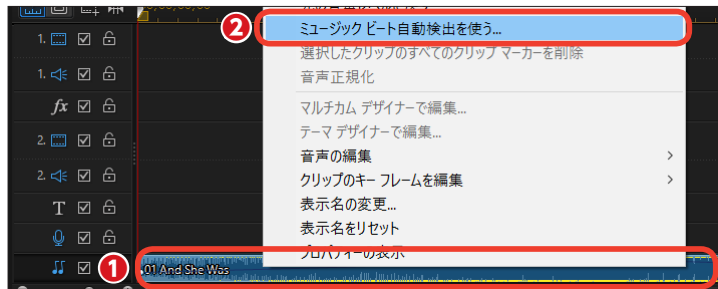
③ 【ミュージックビートを自動検出】ウィンドウが表示されます。
【ビートマーカー間の最短時間】で、スライダーをドラッグしてビートマーカーの間隔を設定します。たとえば、画像や動画を2秒ごとに切り替えるようにするには、2秒かそれより少し短い時間に設定します。

④ 【検出】をクリックします。

⑤ ミュージックビートが検出されます。【適用】をクリックします。

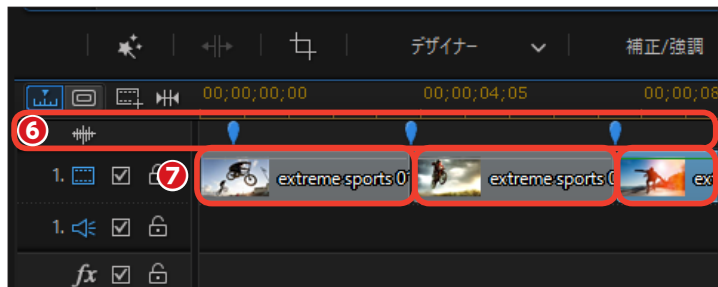
⑥ タイムラインにクリップマーカートラックが追加され、クリップマーカーが設定されます。

⑦ 画像クリップをビデオトラックに配置すると、マーカーにぴたりと合わせることができます。画像クリップを次のクリップマーカーまでトリミングして、次々に配置すると、ビートに合わせて画像が切り替わる映像になります。



メモ

複数の画像クリップをマーカーに合わせて配置すると、ビートに合わせて次々に画像が切り替わるビデオが作成できます。



注意

マジックミュージックで作成したミュージックトラックには、【ミュージックビート検出】は使用できません。



Chapter 11
便利な機能

字幕

ビデオに字幕を表示します。会話を文字で画面に表示したり、重要なことをしゃべっている場合、その台詞だけを字幕にして視覚にも訴えるなど、いろいろな活用があります。字幕を使ってよりわかりやすい映像にしましょう。

字幕を作成するには、字幕を入れるビデオクリップを再生しながら、字幕を入れる位置をチェックします。

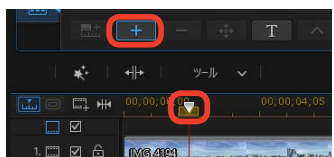
① タイムラインにビデオクリップを配置して、タイムラインスライダーをビデオクリップの先頭にドラッグします。

② [字幕ルーム] をクリックします。

③ [再生] をクリックします。

メモ

字幕を手動で設定するには、字幕を表示する位置にタイムラインスライダーを移動して、[現在の位置に字幕マーカーを追加] をクリックします。

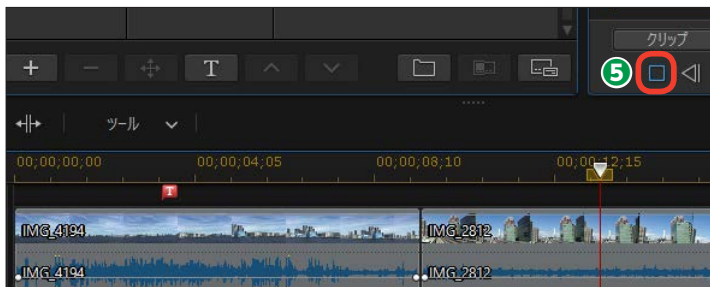
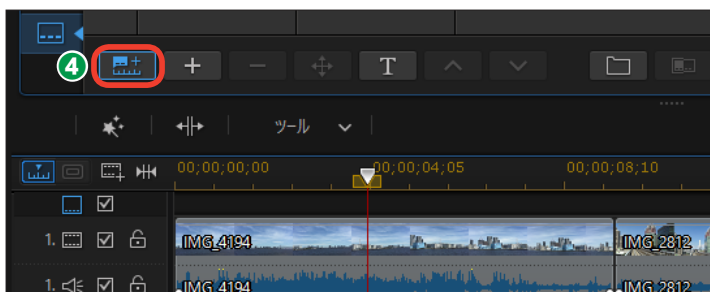


プレビューウィンドウにビデオが再生されます。

④ 字幕を入れる位置で [再生中に複数の字幕マーカーを追加] をクリックします。

同様にして次に字幕を入れたい位置で [再生中に複数の字幕マーカーを追加] をクリックします。

⑤ 字幕を入れたい位置のチェックが終われば、[停止] をクリックします。



6 [字幕ルーム] に字幕クリップが表示されます。各字幕クリップには番号が付き、[開始時間] と [終了時間] が表示されます。

7 字幕クリップの [字幕テキスト] 欄をダブルクリックします。

8 字幕にする文字を入力します。

9 文字を確定するには、字幕の入力欄以外をクリックします。

10 プレビューウィンドウに字幕が表示されます。

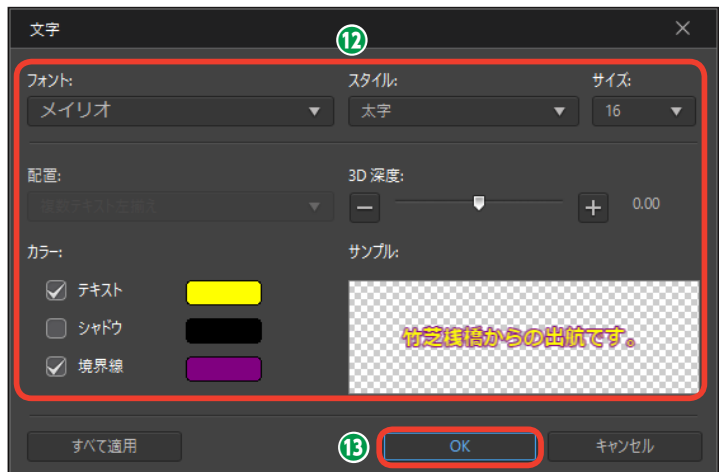
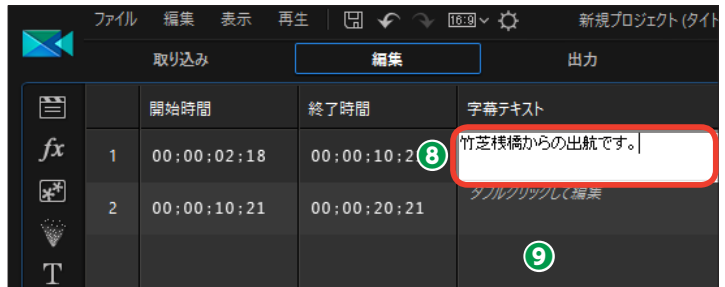
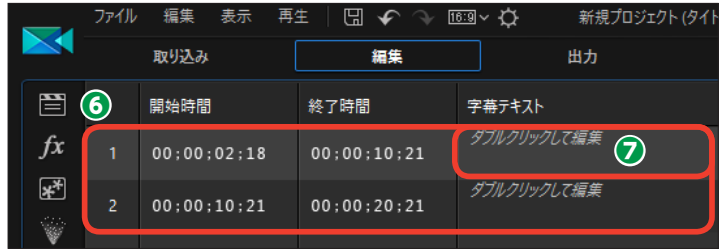
11 字幕の文字を編集するには、[字幕テキスト形式の変更] をクリックします。

12 [文字] ウィンドウが表示されます。[フォント] や [スタイル]、[サイズ]、テキストの色や影付きにしたりの設定を行います。

13 [OK] をクリックします。

メモ

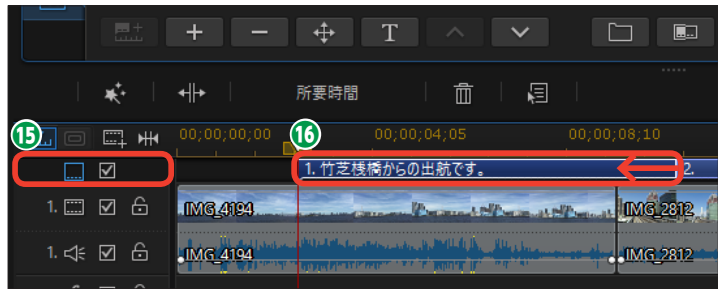
[すべて適用] をクリックすると、[文字] ウィンドウで設定した内容が他の字幕クリップにも反映されます。



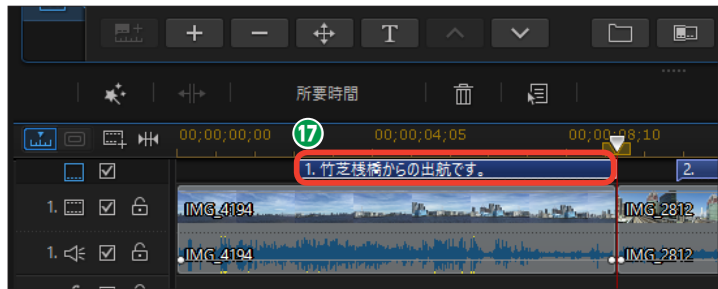
14 字幕に設定が適用されます。



15 タイムラインには、[字幕]トラックが表示され、各字幕クリップが配置されます。



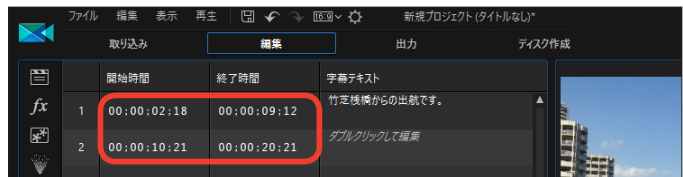
16 字幕クリップの表示時間を変更するには、字幕クリップの右端をドラッグします。



17 字幕の再生時間が変更されます。この例では次の映像の位置まで字幕が表示されるので、前の映像にのみ字幕が表示される設定になります。同様に、字幕クリップに文字を入力します。

メモ

字幕の表示時間は [字幕ルーム] の [開始時間] や [終了時間] の数字をクリックして、直接入力することもできます。



メモ

字幕をファイルに保存している場合は、[SRTまたはTXTファイルの字幕を読み込み] をクリックして、字幕にするテキストを読み込みます。また、MKVファイルから字幕を抽出することもできます。ファイルから取り込む方法の詳細は、オンラインマニュアルをお読みください。



チャプター

ディスクに書き込んだビデオを観るときに、リモコンなどを使って次のシーンにジャンプすることがあります。そのジャンプ先を設定する機能が「チャプター」です。チャプターは自動で設定したり、任意の位置に手動で設定することができます。

① タイムラインにビデオクリップを配置します。

② 「チャプタールーム」 をクリックします。

③ 自動でチャプターを設定する方法は3つあります。「最初のビデオトラックの各クリップの開始位置にチャプターを挿入」にチェックを入れると、各ビデオクリップの先頭にチャプターが設定されて、ビデオクリップごとに飛ばして観ることができます。

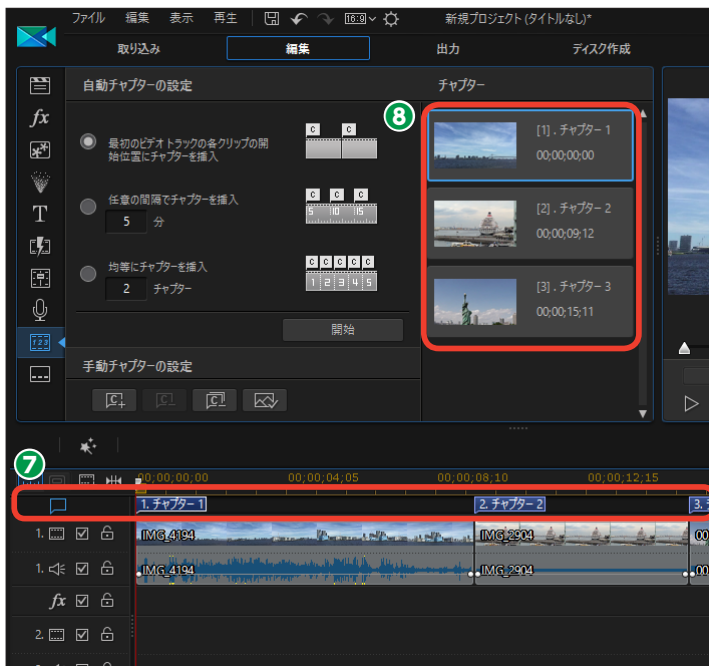
④ 「任意の間隔でチャプターを挿入」では、設定した時間後のチャプターポイントに飛ばして観ることができます。数値をクリックして設定する時間を入力します。

⑤ 「均等にチャプターを挿入」では、チャプターを設定する数を決めて、ビデオを均等割します。いくつチャプターを設定するか数値を入力します。

⑥ 「開始」 をクリックします（ここでは各クリップの開始位置を選択）。

⑦ タイムラインに「チャプタートラック」が表示され、自動で設定されたチャプターが配置されます。

⑧ 「チャプタールーム」には各チャプターの先頭の映像が表示されたチャプタークリップが並びます。



11

便利な機能

9 チャプターを右クリックするとメニューが表示されます。

10 [チャプター名の変更] をクリックすると、表示される [チャプター名の変更] ダイアログボックスでチャプター名を変更できます。

11 [チャプターの削除] をクリックすると、そのチャプターを削除できます。

12 [すべてのチャプターを削除] をクリックすると、チャプターの設定をすべて解除できます。

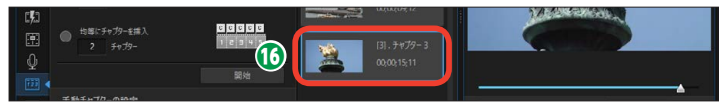


13 ディスクで鑑賞する場合、各チャプターの先頭の映像が表示されて、そこから再生することがあります。そのため、チャプターのサムネイルを、ビデオの内容がよくわかる映像に変更しておくを選びやすくなります。サムネイルの映像を変更するには、サムネイルをクリックします。

14 タイムラインスライダーを、使用したい映像の位置にドラッグします。



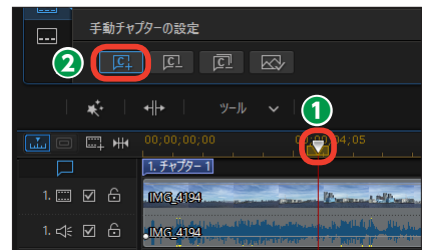
15 [現在のフレームをチャプターサムネイルとして設定する] をクリックします。



16 チャプターのサムネイル映像が変更されます。

メモ

手でチャプターを設定するには、1 タイムラインスライダーをチャプターを設定する位置にドラッグします。2 [現在の位置にチャプターを追加] をクリックします。





Chapter 12

出力とディスクの作成

編集したビデオの保存

ビデオの編集が終了したら、ビデオを保存しましょう。ビデオファイルとして保存したり、YouTubeなどのWebにアップロードするには、[出力] を選択します。作成したビデオをDVDやBlu-rayなどのディスクに保存するには、[ディスク作成] を選択します。

ビデオの編集ができれば、ビデオを保存します。

① ビデオファイルとして保存したり、YouTubeなどのWebにアップロードするには、[出力] をクリックします。

② 編集したビデオをDVDやBlu-rayディスクなどに書き込むには、[ディスク作成] をクリックします。

[ディスク作成] については、208ページをお読みください。



出力

[出力] 画面では、編集したビデオをビデオファイルとして保存したり、YouTubeやFacebookなどのWebにアップロードします。どの形式でビデオを保存するかを決めましょう。

[出力] 画面が表示されます。どの形式でビデオを完成させるかを選択します。

① [標準 2D] : 編集したビデオをビデオファイルとして保存します。

→P.199

② [3D] : 編集したビデオを3Dファイルとして保存します。 →P.202

③ [デバイス] : DVやHDVテープに書き戻したり、iPhoneやスマートフォンなどに保存します。 →P.203

④ [オンライン] : YouTubeやFacebookなどのWebにアップロードします。 →P.204

各保存方法については、それぞれのページをお読みください。



ビデオファイルとして保存

編集したビデオをビデオファイルとして保存しましょう。PowerDirectorではさまざまなビデオファイル形式で保存できるので、扱いやすいビデオファイル形式にして保存します。

- 1 [標準 2D] をクリックします。
- 2 [ファイル形式の選択] で、保存するビデオファイルの種類を選択します。各ファイル形式については下記の説明をお読みください。ここでは [MPEG-2] ファイルの作成で説明します。
- 3 ファイルの保存形式のプロファイルがある場合は、[プロファイル種類] の [▼] をクリックして、表示されるメニューからプロファイルを選択します。
- 4 [プロファイル名/画質] の [▼] をクリックして、画質を設定します。
- 5 [+] をクリックすると、新規プロファイルを作成できます。
- 6 [国/ビデオ規格] は、[日本 (NTSC)] に設定します。



メモ

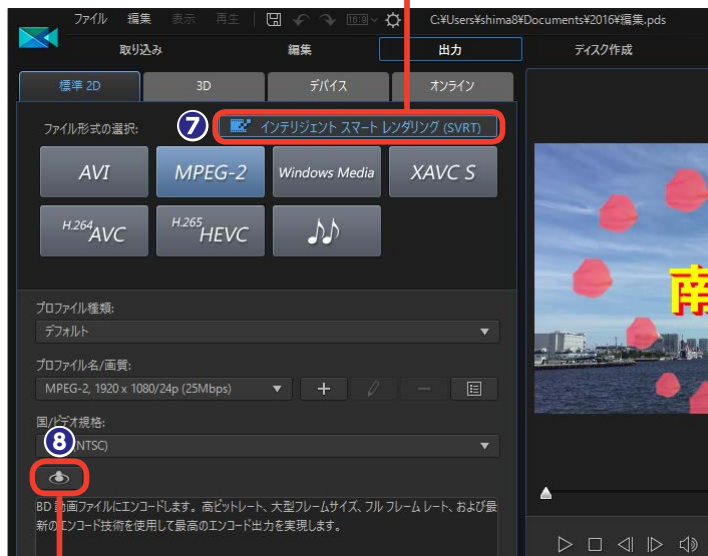
[AVI] : Windows用の動画・音声ファイルの形式です。
[MPEG-2] : 動画圧縮規格のひとつで、DVDソフトなどに使われています。
[Windows Media] : Windows用の動画・音声ファイルの形式です。スマートフォンでも再生できます。
[H.264 AVC] : MPEG-4を用いた動画圧縮規格です。メモリーカードに記録するビデオカメラで多く利用されています。

[H.265 HEVC] : H.264 AVCに続く新しい動画圧縮規格です。圧縮効率に優れながら、高解像度です。
[XAVC S] : ハイビジョンに対応するAVC規格を発展させた、4K動画に対応した規格です。
[音声ファイル] : Windows Media Audio、Wav、Mpeg 4 Audioの形式から選択して出力します。

7 [インテリジェントスマートレンダリング] をクリックすると、[インテリジェントスマートレンダリング] ダイアログボックスが表示されます。[適用] をクリックすると、高画質を保ちつつ出力時間が短縮されます。



8 [CyberLink TrueTheater Surround] をクリックすると、[CyberLink TrueTheater Surround] の設定ダイアログボックスが表示されます。ここでBGMの聞こえ方の調整ができます。



注意

[スマートレンダリング] と [True Theater Surround] はオプションです。必要な場合だけ設定してください。

9 [CyberLink TrueTheater Surroundを適用してBGMを強調する] にチェックを入れます。



10 [仮想環境] から環境を選択します。

11 [OK] をクリックします。

12 [高速ビデオレンダリング技術] にチェックを入れると、ビデオの出力作業が速くなります。

表示される [スマートレンダリング] や [Intel Quick Sync Video] にチェックを入れます。なお、ビデオチップドライバは最新のものを使用してください。

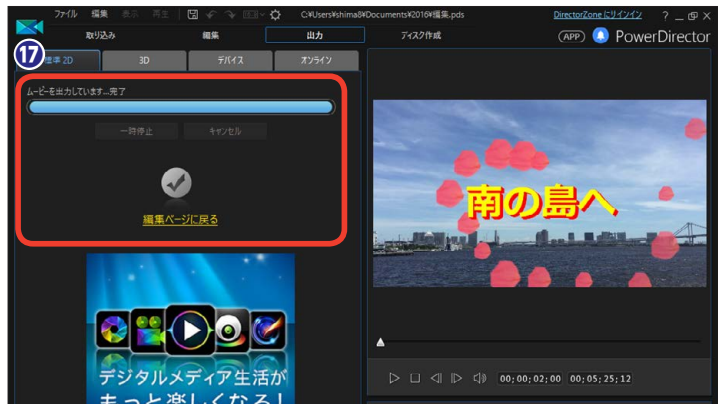
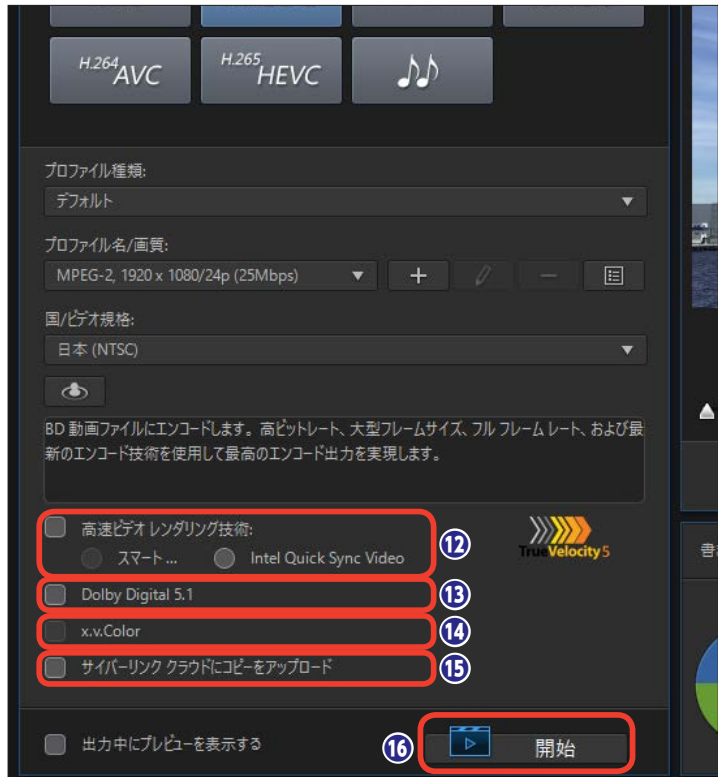
13 ビデオの音声にDolby Digital 5.1を含んでいる場合は、[Dolby Digital 5.1] にチェックを入れます。

14 [x.v.Color] は、普通より広い色範囲が表示できるカラーシステムです。x.v.colorに対応している再生環境がある場合にチェックを入れます。

15 [サイバーリンククラウドにコピーをアップロード] をチェックすると、サイバーリンククラウドにバックアップされます。

16 各設定が終われば、[開始] をクリックします。

17 ファイルが完成すると、[完了] 画面が表示されます。



12

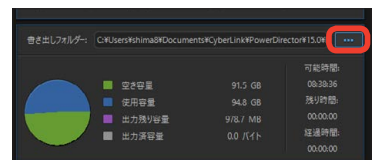
出力とディスクの作成

メモ

作成されたビデオファイルは、パソコンの [ドキュメント] フォルダ内の [Cyber Link] → [PowerDirector] → [15.0] フォルダに保存されます。

メモ

ビデオファイルの保存先を変更するには、[他の出力フォルダを選択] をクリックして、表示されるダイアログボックスでフォルダを指定します。



3Dビデオファイルとして保存

3D映像を編集したビデオは、3Dビデオファイルとして保存します。3D映像を視聴する環境に合わせて、3D出力形式を選択します。

① [3D] をクリックします。

② [ファイル形式の選択] で、保存するビデオファイルの種類を選択します。各ファイル形式については199ページの [メモ] をお読みください。ここでは [MPEG-2] ファイルの作成で説明します。

③ 各設定は199ページの [ビデオファイルとして保存] をお読みください。

④ [3D出力形式] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから3Dの出力形式を選択します。

[サイドバイサイド-half幅 (L/R)] 4:3またはHD以外のプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

[サイドバイサイドフル幅 (L/R)] HDのプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

[アナグリフ] 赤と青のメガネで観る形式です。

⑤ [開始] をクリックすると、ビデオファイルが作成されます。



DV、HDVテープやiPhone、スマートフォンに録画

編集したビデオは、DVやHDVテープに書き戻すことができます。テープで保管する場合に選択します。また、スマートフォンやiPhone、SonyやMicrosoft製品などに保存することもできます。DVやHDVテープに書き戻す場合は、ビデオカメラで録画するテープの頭出しをしておきます。

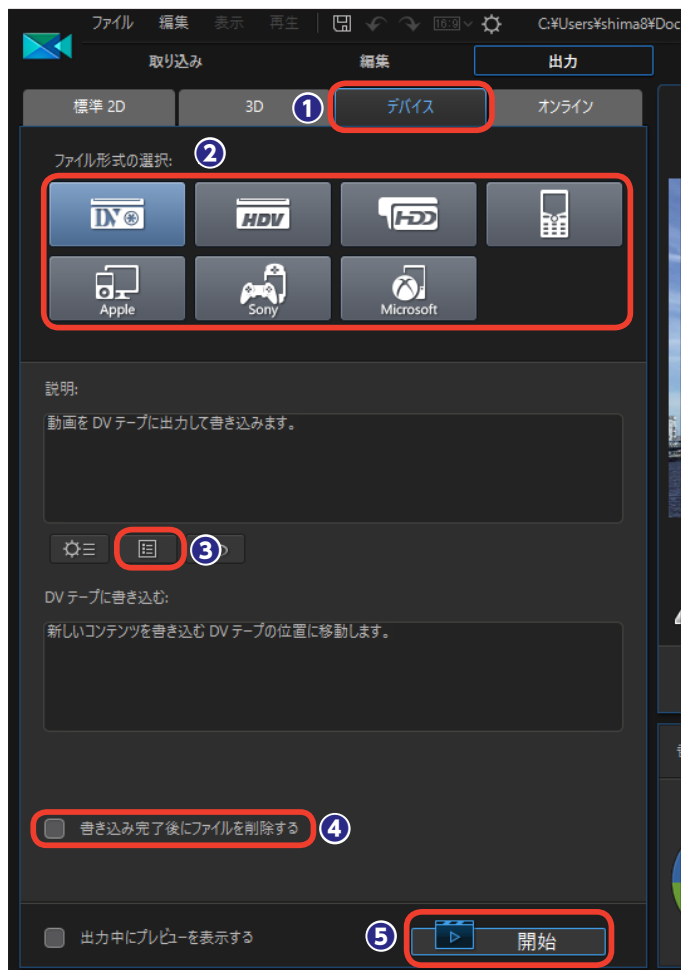
① [デバイス] をクリックします。ビデオカメラやデバイスをパソコンに接続します。

② [ファイル形式の選択] で、保存するビデオカメラかデバイスを選択します。各デバイスについては下記の[メモ]をお読みください。ここでは [DV] を選択して、DVカメラのテープに書き込む方法を説明します。

③ [詳細] をクリックすると、ビデオテープに書き込む設定が表示されます。

④ DVやHDVテープに書き込む場合にPower Directorは [出力フォルダー] にビデオファイルを作成します。テープに書き込むだけの場合は [書き込み完了後にファイルを削除する] にチェックを入れておくと、録画が終わると自動でビデオファイルが削除されます。

⑤ [開始] をクリックすると、ビデオファイルが作成され、テープに録画されたり、各デバイスに保存されます。



メモ

[DVテープ] DVカメラ（デジタルビデオカメラ）で使うビデオテープカセットに最適化します。

[HDVテープ] ハイビジョンカメラに対応したテープカセットに最適化します。

[HDD] Hard Disk Drive（ハードディスクドライブ）を搭載したビデオカメラに最適化します。

[Androidデバイス] 各社スマートフォンでの再生に適したファイルを作成します。

[Appleデバイス] iPadやiPhone、iPodでの再生に適したファイルを作成します。

[Sonyデバイス] ソニー製ポータブルゲーム機「PSP」での再生に適したファイルを作成します。

[Microsoftデバイス] マイクロソフト製ポータブルオーディオプレイヤーでの再生に適したファイルを作成します。

YouTubeにアップロード

ビデオを編集して、そのままYouTubeにアップロードすることができます。YouTubeに動画をアップロードする設定もPowerDirectorで行えます。YouTubeのアカウントを取得していない方は、操作の前にアカウント登録を済ませておくと、スムーズにアップロードできます。

① [オンライン] をクリックします。

② [オンラインサイトの選択] で、[YouTube] をクリックします。

③ [プロフィール種類] の [▼] をクリックして動画の画質を選択します。

④ 3Dビデオを編集した場合は、[3D動画として共有] にチェックを入れます。

⑤ [タイトル] に、作成したビデオのタイトルを入力します。

⑥ [説明] に、ビデオの内容紹介を入力します。

⑦ YouTubeで検索されるときにキーワードを [タグ] に入力します。

⑧ [動画のカテゴリ] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから投稿する動画のジャンルを選択します。

⑨ [公開] か [非公開] のどちらかにチェックを入れます。

⑩ [ハードウェアビデオエンコーダー] は、グラフィックカードを搭載したパソコンで選択できます。

⑪ [開始] をクリックします。

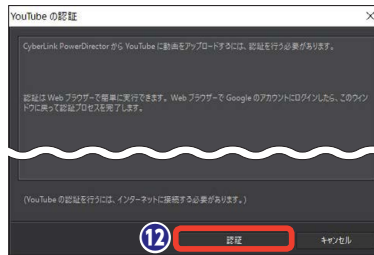


メモ

[出力中にプレビューを表示する] にチェックを入れると、出力作業の経過がプレビューウィンドウに表示されます。どの映像まで作業が進んだかがわかりますが、作業時間が増えます。

12 [YouTubeの認証] ウィンドウが表示されます。[認証] をクリックします。

Webブラウザが起動して、Googleのログイン画面が表示されます。



13 メールアドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

注意

YouTubeにアップロードするには、あらかじめYouTubeに登録してアカウントを用意しておきます。



14 表示されるページでパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

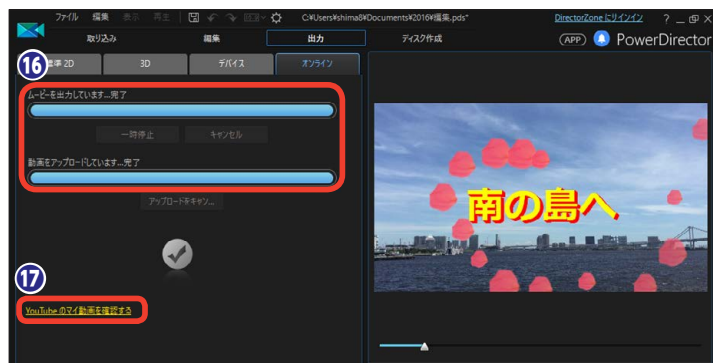


15 [YouTubeの認証] ページが表示されます。[許可] をクリックします。



16 ビデオの出力作業の後、YouTubeにアップロードされます。

17 [YouTubeのマイ動画を確認する] をクリックすると、Webブラウザが起動してYouTubeの [動画] ページが表示され、アップロードしたビデオを確認できます。



12

出力とディスクの作成

Facebookにアップロード

Facebookをお使いの方は、編集したビデオを自分のFacebookに動画コンテンツとしてアップロードすることができます。みんなに知らせたい映像があればPowerDirectorで編集して、すぐにFacebookにアップロードしましょう。

- 1 [オンライン] をクリックします。
- 2 [オンラインサイトの選択] で、[Facebook] をクリックします。
- 3 [プロフィール種類] の [▼] をクリックして、動画の画質を選択します。
- 4 [プライバシー] の [▼] をクリックして、動画を公開する人を選択します。
- 5 [タイトル] に、作成したビデオのタイトルを入力します。
- 6 [説明] に、ビデオの内容紹介を入力します。
- 7 [開始] をクリックします。

メモ

[出力中にプレビューを表示する] にチェックを入れると、出力作業の経過がプレビューウィンドウに表示されます。どの映像まで作業が進んだかがわかりますが、作業時間が増えます。

- 8 [Facebookの認証] ウィンドウが表示されます。[認証] をクリックします。



Webブラウザが起動して、Facebookのログイン画面が表示されません。

⑨ Facebookに登録した [メールアドレス] か [電話番号] を入力します。

⑩ [パスワード] を入力します。

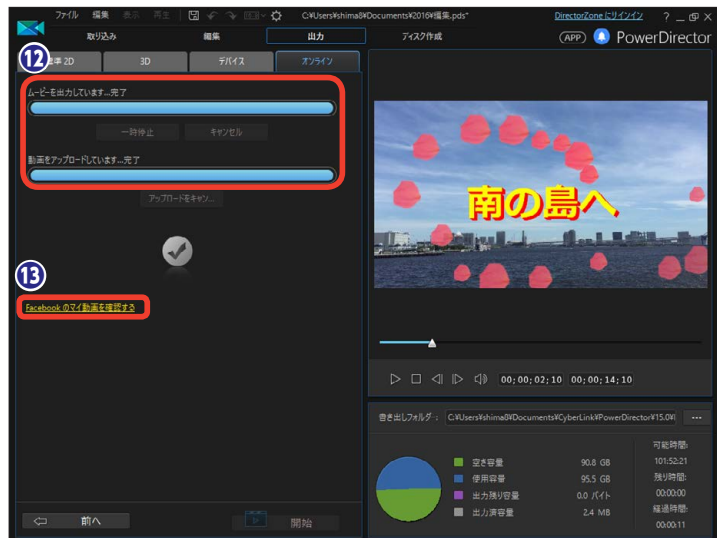
⑪ [ログイン] をクリックします。

⑫ ビデオの出力作業の後、Facebookにアップロードされます。

⑬ [Facebookのマイ動画を確認する] をクリックすると、Webブラウザが起動してFacebookのユーザーページが表示され、アップロードしたビデオを確認できます。

注意

Facebookに投稿するには、あらかじめFacebookに登録してアカウントを用意しておきます。Facebookのアカウントを取得していない場合は、⑪の画面の [ログイン] の下にある [Facebookに登録] をクリックして、登録してください。



12

出力とディスクの作成

ディスクの作成

編集したビデオをディスクに書き込みましょう。ディスクで保管しておけば、ハードディスクにもしものことがあっても安心ですし、大容量のビデオをディスクに書き込むことでみんなに配ったりして簡単に観てもらうこともできます。

【ディスク作成】画面

編集したビデオをDVDやBlu-rayディスクに書き込むには、[ディスク作成] をクリックします。

[ディスク作成]画面が表示されます。操作の流れは以下の通りです。

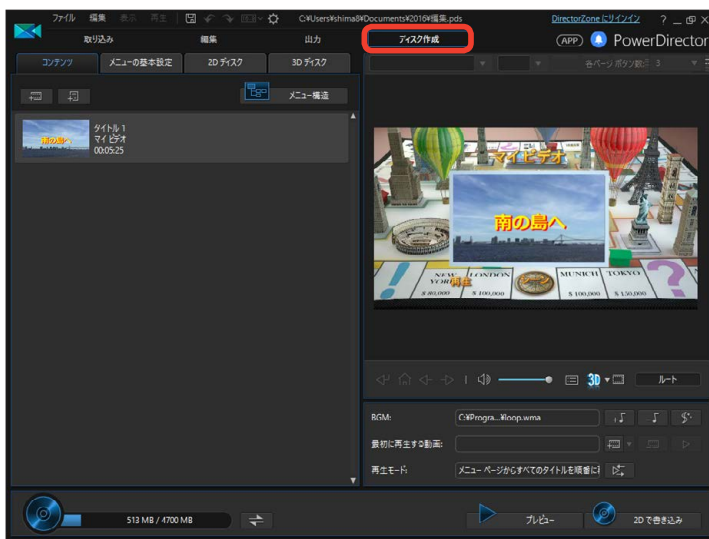
ディスクに書き込むビデオの準備



メニューの作成



ディスクへ書き込み

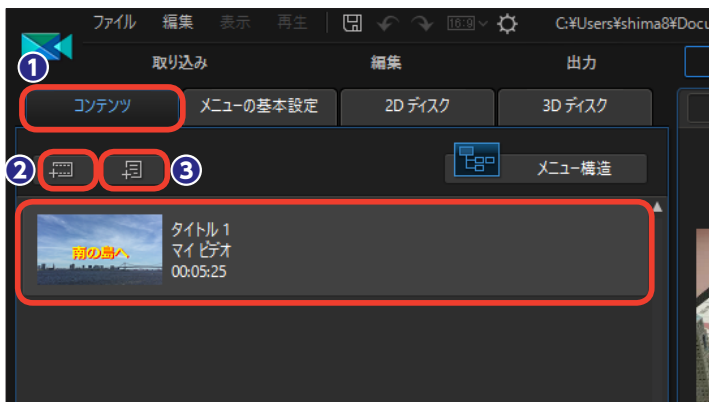


書き込むビデオの準備

① [コンテンツ] をクリックします。ここでは、ディスクに書き込むビデオを準備します。編集したビデオが表示されます。

② 他のビデオも書き込む場合は、[追加の動画を読み込み] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスからビデオファイルを選択します。

③ [PowerDirectorのプロジェクトを読み込み] をクリックすると、保存してあるプロジェクトファイルのビデオ編集内容を取り込むことができます。



メモ

[メニュー構造] をクリックすると、ディスクに書き込む内容がツリー形式で一覧表示されます。

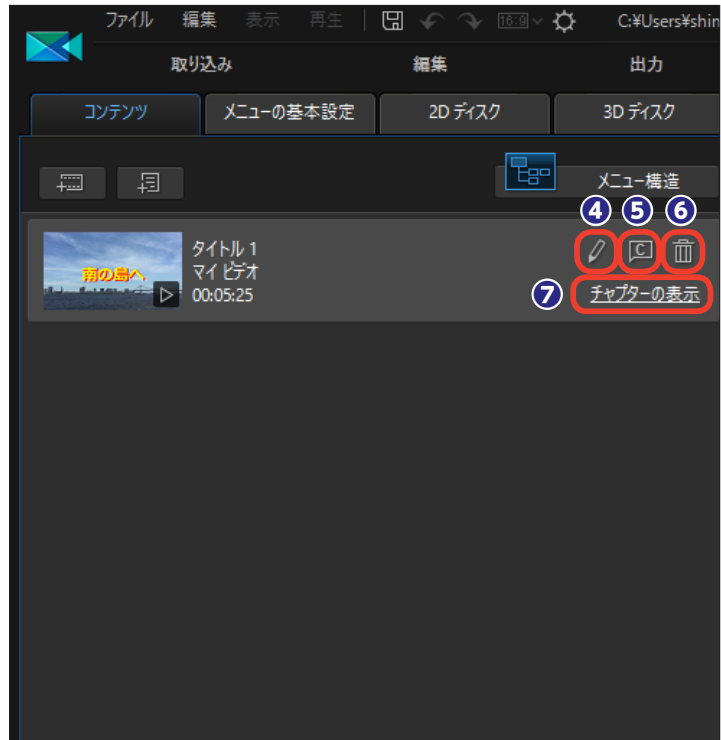
タイトルにマウスカーソルを移動すると、操作できる項目のアイコンが表示されます。

4 [このタイトルを編集する] ビデオを再編集できます。[編集] 画面が表示されます。戻るには [ディスク作成] をクリックします。

5 [チャプターの設定] ビデオにチャプターを設定します。

6 [タイトルをディスクから削除する] タイトルの書き込みを取りやめます。

7 [チャプターの表示] チャプターを設定している場合、どの位置にチャプターを設定したかがサムネイルで確認できます。



メニューの作成

1 ディスクに書き込む内容を決定したら、[メニューの基本設定] をクリックします。

2 詳細にメニューを作成するには [メニュー作成] をクリックします。

3 用意されているメニューのテンプレートをchooses.

4 テンプレートの内容が表示されます。[すべてのページに適用] をクリックします。

メモ

ディスクにメニューを作成しない場合は、[メニューなし] を選択します。



12

出力とディスクの作成

テキストの編集

① ディスクに書き込むメニューのイメージがプレビューウィンドウに表示されます。

② タイトルを変更するには、[マイビデオ] の文字をドラッグして、タイトルを入力します。



③ タイトルが変更されます。タイトルを選択した状態で、フォントやサイズ、飾りなどを編集できます。各設定は165ページをお読みください。

④ [再生] やチャプターを設定している場合に表示される [シーン] のテキストも同様に変更できます。

⑤ [シーン] などの文字をクリックして [入力] をクリックすると、作成したビデオをテレビで観る場合に、リモコンの決定ボタンを押すのと同じ操作を確認できます。



メニューのシミュレーション

メニューがどのように機能するかを確認するには、[メニューナビゲーションコントロール]を使用します。

- 1 [ホーム] をクリックすると、メニューのトップページに移動します。
- 2 このメニューのようにチャプターメニューが複数ページある場合は、[次のページ] をクリックして2ページ目を表示し、チャプターのタイトルなどを入力します。
- 3 戻るには [前のページ] をクリックします。

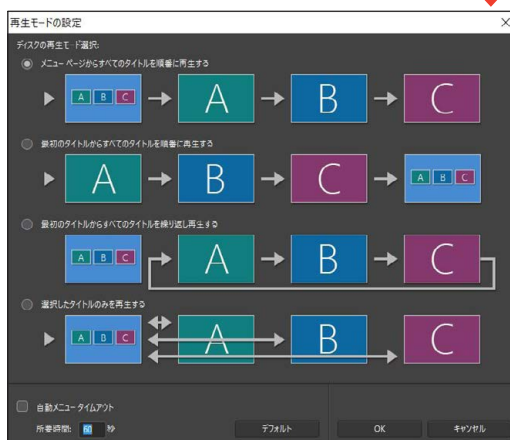
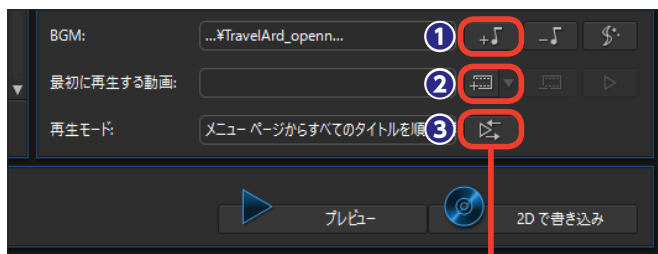


メニューの設定

1 テンプレートによっては、メニューが表示されているときにBGMが流れる設定になっています。BGMを変更するには [BGMの設定] をクリックして、表示される [メニュー BGMの選択] ウィンドウの [別の音声ファイルを選択する] をクリックして、ミュージックファイルを選択します。

2 作成したディスクをパソコンやDVDプレーヤーにセットしたときに、メニューが表示される前に動画を再生することができます。[最初に再生する動画の設定] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスからビデオファイルを選択します。

3 [再生モード] はメニューからどのように各ビデオを再生するかを設定できます。[ディスクの再生モードを設置する] をクリックして設定します。



12

出力とディスクの作成

メニューの編集

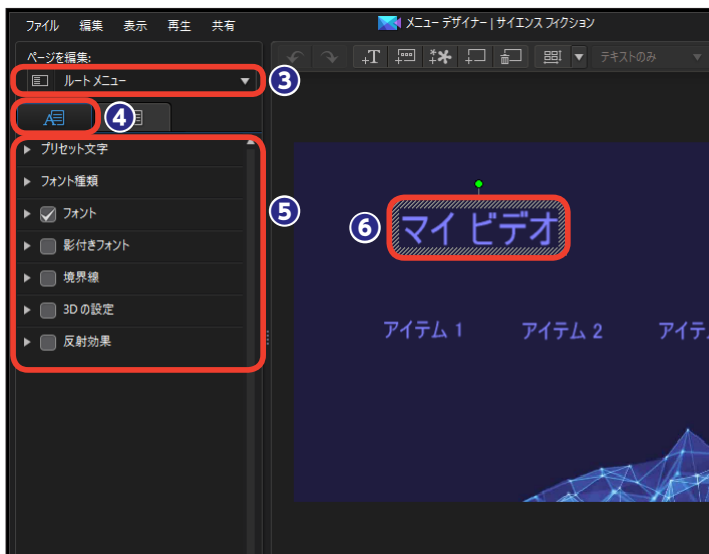
テンプレートによってはメニューをカスタマイズすることができます。

- 1 テンプレートを右クリックします。
- 2 表示されるメニューから、[修正]をクリックします。



[メニューデザイナー] ウィンドウが表示されます。

- 3 [ページを編集]の[▼]をクリックして、カスタマイズするページを選択します。
- 4 [テキストのプロパティを変更]をクリックします。
- 5 プレビューメニューで変更するテキストを選択します。[フォント種類]や[シャドウ]などを選択して、テキストを変更します。テキストの編集は165ページをお読みください。



- 6 メニューに配置されているテキストをクリックすると、テキストが選択されます。テキストボックスをドラッグして配置位置を調整したり、緑のポイントを左右にドラッグして傾きを付けることができます。

メモ

チャプターなどのテキストがいくつもある場合は、[メニューデザイナー] ウィンドウの右下にある [オブジェクトの整列] をクリックして、表示されるメニューから整列する項目を選択すると、一括で整えることができます。

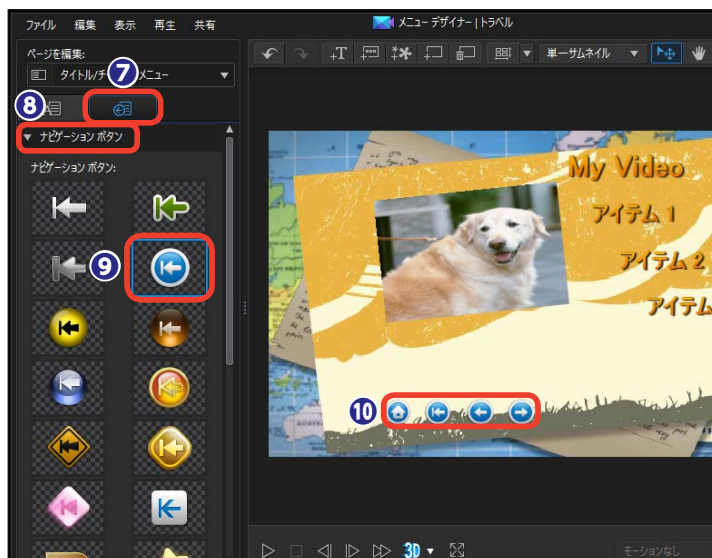


7 [再生] や [ホーム] などのボタンをカスタマイズすることができます。[ボタンのプロパティを設定] をクリックします。

8 [ナビゲーションボタン] の▶をクリックします。

9 ナビゲーションボタンを選択します。

10 ナビゲーションボタンが変更されます。



11 メニューをカスタマイズするときにプレビューウィンドウにグリッドを表示すると、テキストやボタンなどの配置がスムーズに行えます。[TVセーフゾーンとグリッド線の表示/非表示] をクリックします。

12 表示されるメニューから [グリッド線] をクリックします。

13 サブメニューからグリッド線数を選択します。

14 プレビューウィンドウにグリッド線が表示されます。

15 [OK] をクリックすると、[テンプレートとして保存] ダイアログボックスが表示されるので、テンプレート名を入力して [OK] をクリックします。



12

出力とディスクの作成

ディスクに書き込む

作成したビデオに合わせて書き込むディスクを用意しましょう。使用しているパソコンのディスクドライブを確認して、使用できるディスクを選択します。また、友達や家族に書き込んだディスクをプレゼントする場合などは、相手のディスク再生環境を考慮してディスクを選択します。

書き込みの設定

① [2Dディスク] をクリックします。

② 3D映像をディスクに書き込む場合は [3Dディスク] をクリックします。

3Dディスクの作成は次ページの [メモ] をお読みください。

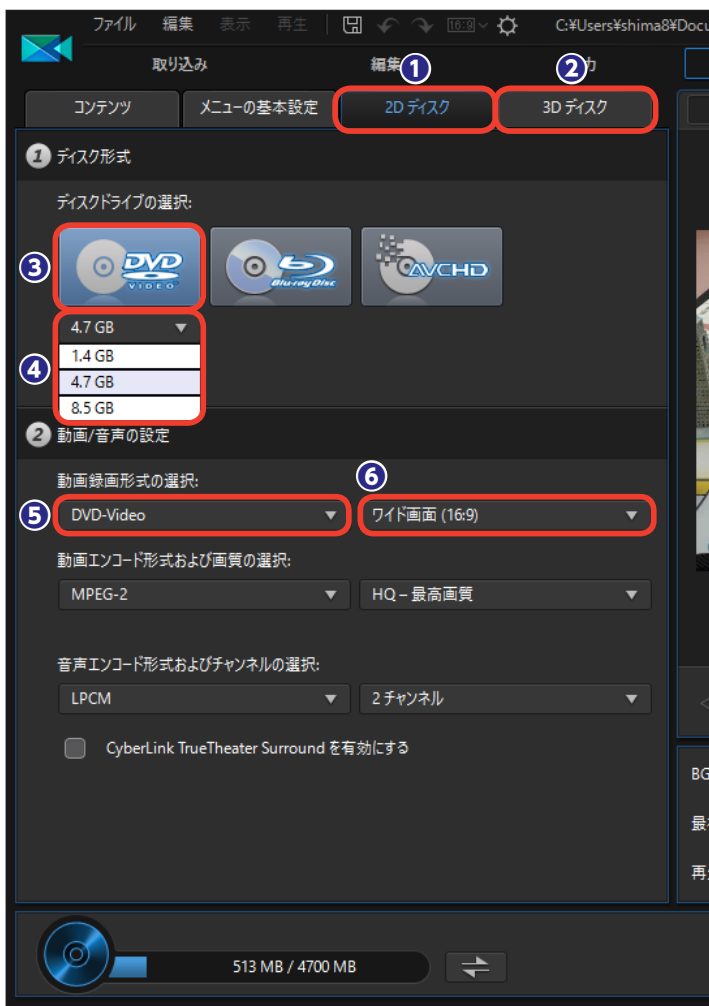
③ [ディスクドライブの選択] から書き込むディスクの種類を選択します。PowerDirectorで書き込みができるディスクは以下の通りです。

DVD	DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
VCD/SVCD	CD-R、CD-RW ※VCDは2Dディスクのみ
Blu-ray	BDXL、BD-RE、BD-R

④ ここではDVDディスクで説明します。各ディスクの下にある [▼] をクリックして、ディスク容量を選択します。

⑤ [動画録画形式の選択] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから録画形式を選択します。

⑥ 右にある [▼] をクリックして、表示されるメニューから画面の縦横比を選択します。



7 動画のエンコード形式を、[▼] をクリックして、表示されるメニューから選択します。

8 画質の [▼] をクリックして、表示されるメニューから画質を選択します。

メモ

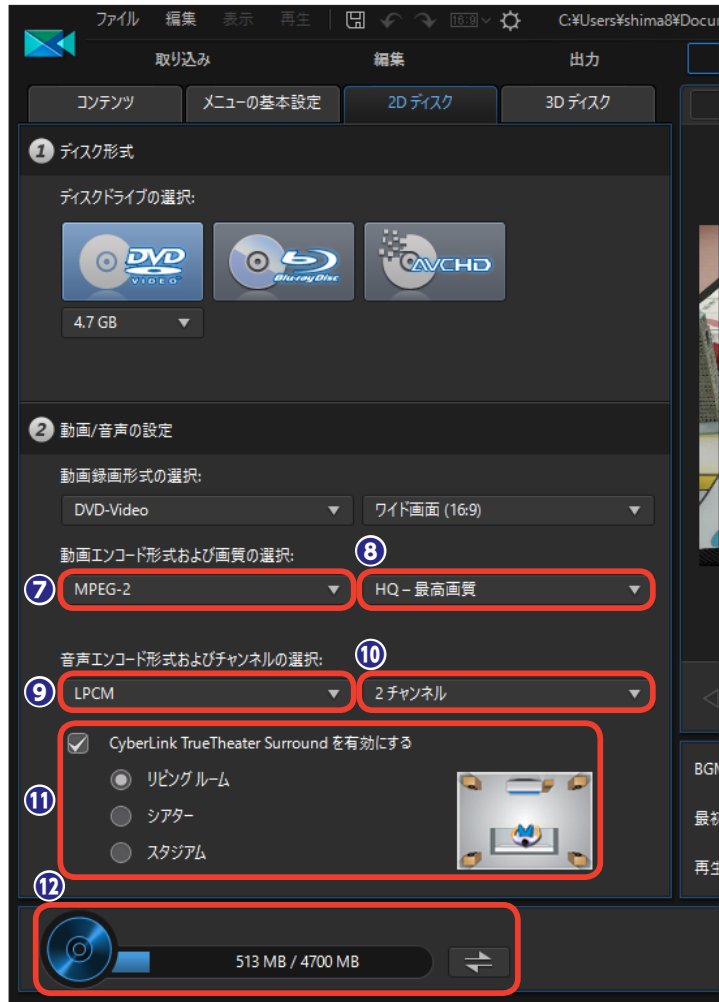
[画質] のメニューにある [スマートフィット] を選択すると、ディスク容量一杯まで使用するように自動的にビットレートを調整します。

9 [音声エンコード形式] を設定します。

10 出力チャンネルを設定します。

11 [CyberLink TrueTheater Surroundを有効にする] にチェックを入れると、[リビングルーム] と [シアター]、[スタジアム] のメニューが表示されます。ここにチェックを入れると、BGMの聴こえ方の調整ができます。

12 書き込むビデオの容量を確認します。



12

出力とディスクの作成

メモ

[3Dディスク] を選択した場合も、基本的な設定は [2D ディスク] の設定と同じですが、[3D出力形式] の設定項目が表示されます。

[3D出力形式] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから3Dの出力形式を選択します。

[サイドバイサイドハーフ幅 (L/R)] 4:3 またはHD以外のプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

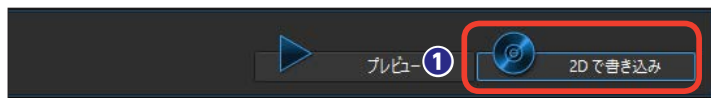
[サイドバイサイドフル幅 (L/R)] HDのプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

[アナグリフ] 赤と青のメガネで見る形式です。



最終出力の設定

① [2Dで書き込み] をクリックします。



② [最終出力] ウィンドウが表示されます。[ディスクボリュームラベル] に、ディスクのタイトルを入力します。



③ [ディスクへ書き込み] にチェックを入れて、作成するディスクの枚数を [コピー数] に入力します。

④ [ディスクイメージとして保存] にチェックを入れると、ディスクイメージファイルが同時に作成されます。あとから追加でディスクに書き込むときなどに便利です。

⑤ [フォルダの作成] にチェックを入れると、ディスクに書き込むすべての素材がフォルダーにまとめられます。

⑥ [書き込み開始] をクリックします。

⑦ [書き込み] ウィンドウが表示され、ディスクへの書き込みが開始されます。



⑧ ディスクへ書き込む時間が長時間におよぶ場合もあります。[書き込み完了後、PCをシャットダウンする] にチェックを入れると、ディスクへの書き込みが終わると自動でパソコンが終了できます。

メモ

[書き込み完了後、PCをシャットダウンする] にチェックを入れた場合、書き込み終了時にパソコンがシャットダウンします。プロジェクトファイルは、保存したところまでを記録しています。PCをシャットダウンする場合は、[ディスク作成] 画面で [2Dで書き込み] ボタンをクリックする前に保存しておきましょう。

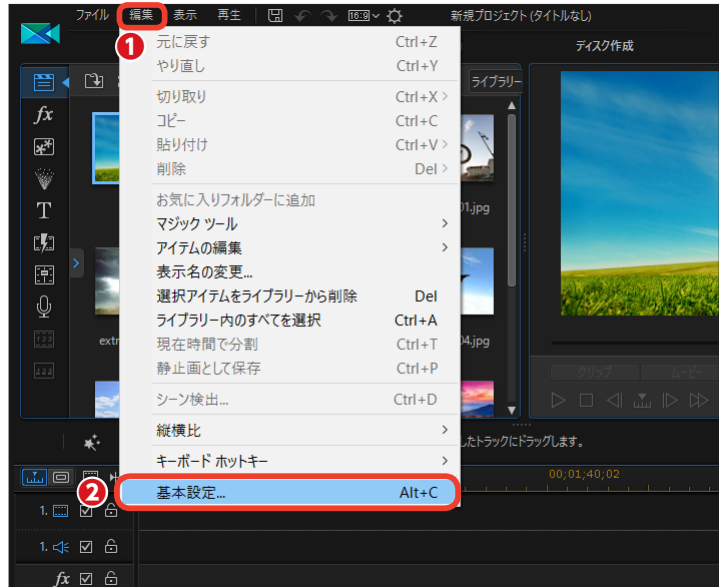


Chapter 13
その他の設定とサポート

基本設定

PowerDirectorの設定をカスタマイズするには、[基本設定] ウィンドウの項目で行います。ビデオの取り込み方法や編集時の設定、表示方法などをユーザーがよく使う設定に変更しておくことで、ビデオの編集作業がよりスムーズに行えます。

- 1 [編集] をクリックします。
- 2 [基本設定] をクリックします。



[基本設定] ウィンドウが表示されます。

- 3 各ジャンルをクリックします。
- 4 右側に詳細設定が表示されます。各項目を設定します。
- 5 設定が終われば、[OK] をクリックします。

各項目の詳しい解説は、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプの参照方法は、223ページをご覧ください。



ショートカットキー

PowerDirectorでは、よく使う機能をショートカットキーに割り当てています。ショートカットキーを使うと、PowerDirectorの操作を手早く行うことができます。ショートカットキーを覚えてPowerDirectorを快適に操作してください。また、ショートカットキーの設定もできます。

ショートカットキーとは、マウスで [ファイル] メニューをクリックして、表示されるメニューから [保存] をクリックする操作を、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押す操作で実行することです。キーボードから片手で操作できるので、マウスで操作するより素早く操作を行うことができ便利です。

●アプリのメニューバーのショートカットキー

ファイル	
Ctrl+N	新規のプロジェクトを作成
Ctrl+Shift+W	新しい作業領域
Ctrl+O	既存のプロジェクトを開く
Ctrl+S	プロジェクトの保存
Ctrl+Shift+S	プロジェクトに名前を付けて保存
Ctrl+Q	メディアファイルの読み込み
Ctrl+W	メディアフォルダーの読み込み
Ctrl+F9	[取り込み] モジュールに切り替え
Alt+F10	[編集] モジュールに切り替え
Alt+F11	[出力] モジュールに切り替え
Alt+F12	[ディスク作成 (EZProducer)] に切り替え
Alt+P	プロジェクトのプロパティを表示
Alt+F4	CyberLink PowerDirectorを終了
編集	
Ctrl+Z	元に戻す
Ctrl+Y	やり直し
Ctrl+X	切り取り
Shift+X	切り取って間隔はそのままにする
Ctrl+Alt+X	切り取って同じトラックのクリップを移動する
Alt+X	切り取って削除したクリップ以降のすべてのタイムラインクリップを移動する
Ctrl+C	コピー
Ctrl+V	貼り付け
Alt+←	タイムラインの選択オブジェクトを1フレーム左に移動
Alt+→	タイムラインの選択オブジェクトを1フレーム右に移動
Shift+←	前のマーカーに移動
Shift+→	次のマーカーに移動
Shift+M	現在のタイムラインの位置にマーカーを追加
Alt+1	マジックミックスを開く
Alt+2	マジックモーションを開く
Alt+3	マジックカットを開く
Alt+4	マジックスタイルを開く
Alt+5	マジックミュージックを開く

Alt + G	マジックムービーウィザードを開く
F2	修正 (PIP/パーティクル/タイトルランジションで選択したクリップ)
Ctrl + Alt + T	トリミングウィンドウを開く
Delete	選択したアイテムを削除
Shift + Delete	削除して間隔はそのままにする
Ctrl + Delete	削除して同じトラックのクリップを移動する
Alt + Delete	削除して削除したクリップ以降のすべてのタイムラインクリップを移動する
Ctrl + A	すべて選択
Ctrl + T	現在のタイムラインスライダーの位置でクリップを分割
Ctrl + P	プレビューウィンドウでコンテンツのスナップショットを取得
Ctrl + D	シーンの検出
Alt + H	キーボードホットキーのカスタマイズ
Alt + C	基本設定ウィンドウを開く
表示	
Tab	タイムライン/ストーリーボードビューの切り替え
F3	メディアルームに切り替え
F4	エフェクトルームに切り替え
F5	PIPルームに切り替え
F6	パーティクルルームに切り替え
F7	タイトルルームに切り替え
F8	ランジションルームに切り替え
F9	音声ミキシングルームに切り替え
F10	ナレーションルームに切り替え
F11	チャプタールームに切り替え
F12	字幕ルームに切り替え
+	タイムラインルーラーの拡大
-	タイムラインルーラーの縮小
Alt + S	スマートレンダリング (SVRT) 情報の表示
再生	
Page Up	クリップモードに切り替え
Page Down	ムービーモードに切り替え
space	再生/一時停止
Ctrl + /	停止
⏪	前のユニット (フレームや秒などで検索)
⏩	次のユニット (フレームや秒などで検索)
Home	クリップ/プロジェクトの開始位置に移動
End	クリップ/プロジェクトの終了位置に移動
Ctrl + ←	トラック (クリップモード) で前のクリップに移動
Ctrl + →	トラック (クリップモード) で次のクリップに移動
Alt + ↑	次の1秒
Alt + ↓	前の1秒
Ctrl + G	タイムコードに移動
Ctrl + F	早送り

Ctrl+U	システム音量の調整
Ctrl+Backspace	ミュートオン/ミュートオフ
F	フルスクリーン

●システムのショートカットキー

F1	ヘルプファイルを開く
Delete	選択したアイテムを削除
Shift+F12	ショートカットキーの一覧を表示
Alt+F4	CyberLink PowerDirectorを終了

●キャプチャーのショートカットキー

Alt+R	録画/録音開始/一時停止
space	DV再生/プレビューの一時停止
Ctrl+/	DVプレビュー停止
Ctrl+,	DV巻戻し
Ctrl+.	DV早送り
Alt+Y	取り込んだ動画にテキストキャプションを追加

●編集のショートカットキー

ライブラリー

Ctrl+A	すべて選択
Ctrl+Tab	メディアライブラリーのメディア種類をフィルター
Ctrl+D	シーンの検出
Ctrl+Q	メディアファイルの読み込み
Ctrl+W	メディアフォルダーの読み込み

作業領域

Ctrl+ドロップ	クリップを他のクリップにドロップ時に、コンテンツを上書き
Shift+ドロップ	クリップを他のクリップにドロップ時に、タイムラインのクリップをすべて右に移動
Alt+ドロップ	クリップを他のクリップにドロップ時に、既存クリップの上にクリップを置き、2つのクリップ間にトランジションを追加
[開始位置
]	終了位置
1	マルチカムデザイナーのカメラ1を選択
2	マルチカムデザイナーのカメラ2を選択
3	マルチカムデザイナーのカメラ3を選択
4	マルチカムデザイナーのカメラ4を選択

●デザイナーのショートカットキー

Ctrl+B	テキストを太字にする
Ctrl+I	テキストを斜体にする
Ctrl+L	テキストを左揃え
Ctrl+R	テキストを右揃え
Ctrl+E	テキストを中央揃え
↑	オブジェクトを上移動
↓	オブジェクトを下移動
←	オブジェクトを左移動
→	オブジェクトを右移動
Alt+D	DirectorZoneでテンプレートを共有

ショートカットキーのカスタマイズ

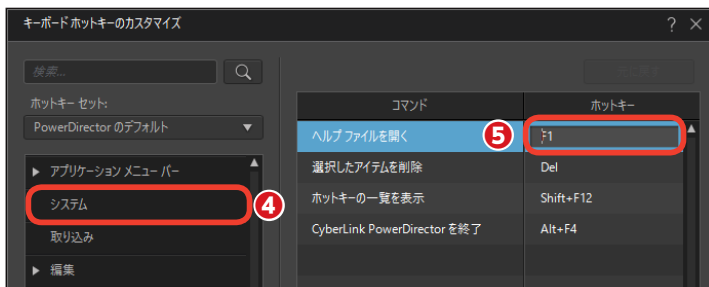
ショートカットキーは、カスタマイズできます。すでに割り当てられているショートカットキーをよく使う機能に変更したり、各機能にショートカットキーを割り当てたりできます。

- 1 [編集] をクリックします。
- 2 [キーボードホットキー] をクリックします。
- 3 [カスタマイズ] をクリックします。



- 4 [キーボードホットキーのカスタマイズ] ウィンドウが表示されます。ホットキーのジャンルをクリックします。

- 5 各機能のホットキーをクリックします。



- 6 変更したいキーを押すと、ホットキーが変更されます。

- 7 キーのカスタマイズを取り消すには、[元に戻す] をクリックします。

- 8 カスタマイズを適用するには、[OK] をクリックします。



サポート

弊社ではPowerDirectorの使い方わからないことがあった場合に、いろいろな形態でサポートしています。本ユーザーガイドやオンラインヘルプをお読みになり、Webサポートの【よくある質問】などをご覧ください。電話でのサポートも行っています。

オンラインヘルプ

① 画面右上にある [? (ヘルプ)] をクリックします。

② 表示されるメニューから [Power Directorヘルプ] をクリックします。



③ Power Directorのヘルプが表示されます。

まずは、このヘルプに掲載されている内容を確認してください。



13

その他の設定とサポート

Webサポート

サイバーリンクのWebサイトにサポートページを用意しています。Webブラウザから以下のURLを表示します。

<http://jp.cyberlink.com/support/>

サイバーリンクのサポートページが表示されます。

① [製品をお選びください] の [V] をクリックして、表示されるメニューから [PowerDirector] を選択します。

② [製品について] 画面が表示されます。[バージョン] の [V] をクリックして、表示されるメニューから [15] を選択します。

③ [検索] をクリックすると、よくある質問が表示されます。



電話サポート

オンラインヘルプや本ユーザーガイド、Webサポートでもわからないことがあれば、電話でお問い合わせください。

●カスタマーサポートセンター

電話番号：0570-080-110

IP電話などのナビダイヤルにかけられない回線の場合：

03-5205-7670

受付時間：10:00～13:00

14:00～17:00

※土・日・祝日、弊社休業日は除く

メモ

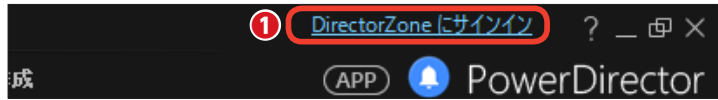
電話でお問い合わせいただくときは、以下のことを事前に調べておいてください。サポートがスムーズに受けられます。

- 登録済みのプロダクトキー（プロダクトキーは、ソフトウェアディスクケース、ボックスカバー、またはサイバーリンクストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています）。
- 製品名、バージョン、ビルド番号（通常、ユーザーインターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます）。
- お使いのWindows OSのバージョン。
- システムのハードウェアデバイス（ビデオキャプチャーカード、サウンドカード、VGAカード）およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容（メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください）。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

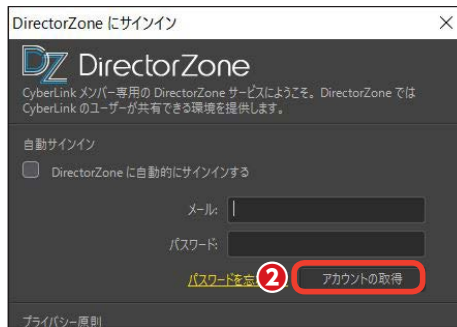
DirectorZone

DirectorZoneは、サイバーリンク製品を購入いただいたユーザーに各種サービスを行うWebサイトです。DirectorZoneに登録すると自動で製品登録が行われ、サポートを無料で受けられるようになったり、テンプレートを無料でダウンロードしたり、ユーザーフォーラムに参加できます。

1 PowerDirectorを起動して、画面の右上にある [DirectorZoneにサインイン] をクリックします。



2 [DirectorZoneにサインイン] ダイアログボックスが表示されます。[アカウントの取得] をクリックします。



3 Webブラウザが起動して、[DirectorZone] の [サインアップ] ページが表示されます。



4 メールアドレスを入力します。

5 DirectorZoneのユーザー交流などで表示される名前 (ニックネーム) を入力します。

6 他人に類推されないパスワードを入力します。下の欄に同じパスワードをもう一度入力します。

7 [V] をクリックして生年月日 (右端に生年) を入力します。

8 [V] をクリックして [日本] を選択します。

9 上に表示されている4桁のコードを入力します。

10 [私は〜] にチェックを入れます。

11 [次へ] をクリックします。

13

その他の設定とサポート

12 [自分のプロフィールを編集] ページが表示されたら、氏名などを入力して [送信] をクリックします。

13 サインインが完了して、[Director Zone] のページが表示されます。



サイバークラウド

[サイバークラウド] は、ユーザーがカスタマイズした基本設定や出力プロファイルをサイバークラウドが用意したWebにバックアップできます。パソコンを買い換えたり、他のパソコンでPowerDirectorを使用するときに復元すると、同じ環境でPowerDirectorを使用できます。

1 [基本設定] をクリックします。

2 [基本設定] ウィンドウが表示されます。[サイバークラウド] をクリックします。

3 バックアップをとる場合は、[サイバークラウド] にバックアップ] をクリックします。

メモ

サインインするダイアログボックスが表示された場合は、DirectorZoneで設定したメールアドレスとパスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。

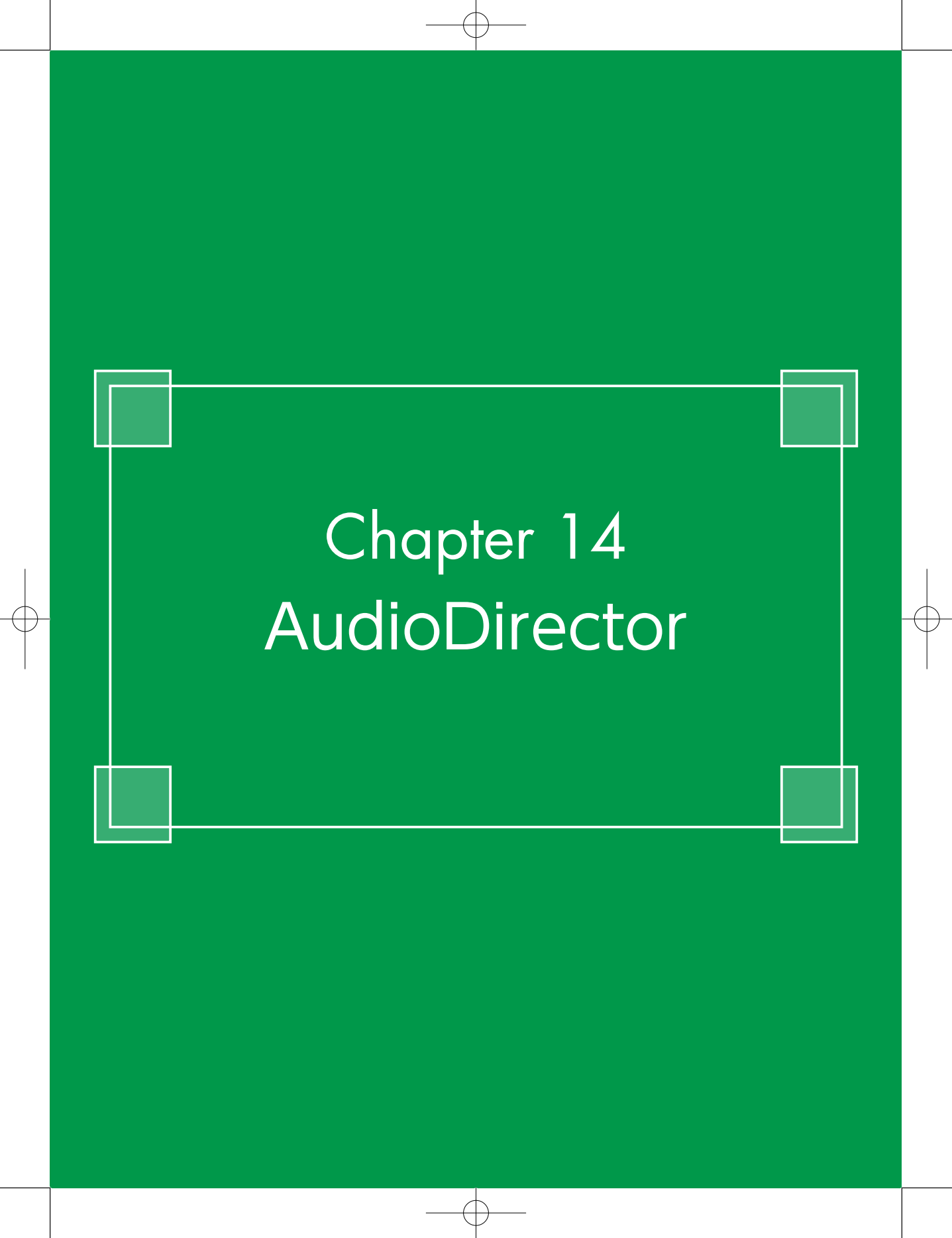
4 バックアップした設定を使用するには、[サイバークラウドから復元] をクリックします。



メモ

サイバークラウドはご利用開始から1年間、無償で利用いただけます。1年目以降は有料での延長契約をご用意しています。詳しくは弊社Webを参照ください。

http://jp.cyberlink.com/products/cyberlink-cloud/features_ja_JP.html

The image features a solid green background. In the center, the text "Chapter 14" is positioned above "AudioDirector", both in a white, sans-serif font. A white rectangular border with rounded corners is centered on the page, with each corner containing a smaller, semi-transparent green square. Four registration marks, consisting of a circle with a crosshair, are located at the top, bottom, left, and right edges of the page.

Chapter 14
AudioDirector

AudioDirector Director SuiteおよびUltimate Suite版のみ

PowerDirector 15と連携する製品版AudioDirectorは、ビデオやミュージッククリップの本格的なオーディオ編集を行えるほか、多彩なノイズ低減機能などを備えています。

PowerDirectorとの連携 音声の調整とエフェクトの適用

- 1 PowerDirectorのタイムラインにビデオやミュージッククリップを配置します。クリップを選択します。
- 2 [音声の編集] をクリックします。
- 3 表示されるメニューから [Audio Director] をクリックします。

注意

製品版のAudioDirectorをインストールしていない場合は、AudioDirector購入のウィンドウが表示されます。

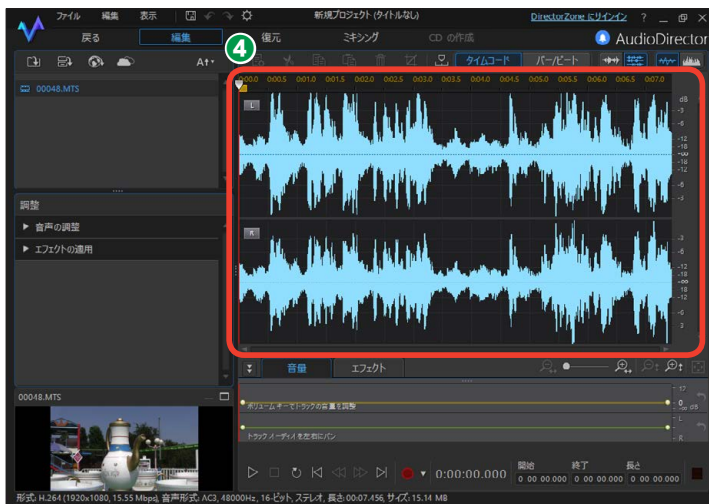
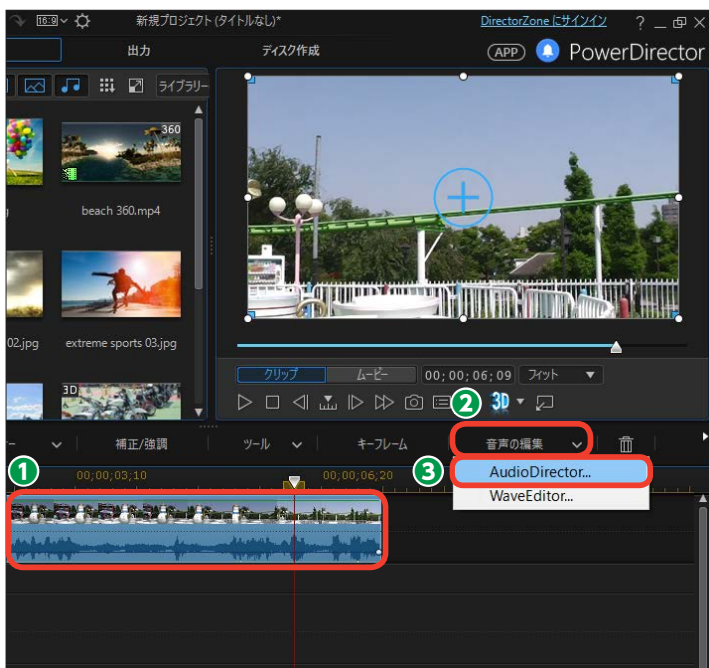
メモ

表示されるメニューにある [Wave Editor] は、PowerDirectorに標準で付属する音声編集ソフトです。AudioDirectorの機能の一部を持ち、音声の簡易編集が行えます。

- 4 [AudioDirector] が起動し、選択したクリップの音声が表示されます。

注意

AudioDirectorは、Director SuiteおよびUltimate Suite版にのみ付属します。また、Ultimate Suite版には別途AudioDirectorのマニュアルが付属しますので、詳しい使い方はそちらをお読みください。

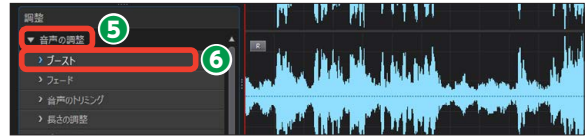


5 音声を調整するには [調整] にある [音声の調整] の [▶] をクリックします。

6 各項目の [>] をクリックします。

7 表示される設定項目で調整します。

8 効果を確定するには、[適用] ボタンをクリックします。



[プースト]: 音声ファイル全体、または選択した箇所の音量を最大12デシベルまで持ち上げます。

[フェード]: 徐々に音量を上げるフェードイン、徐々に下げるフェードアウトのポイントを設定します。

[音声のトリミング]: 選択した箇所を削除します。ビデオクリップの音声の場合、動画より音声の所要時間が短くなります。

[長さの調整]: 音声の速度を調整します。ストレッチ比率が高いほど速く、低いほど遅く再生されます。音声の長さも変化します。

[ピッチの調整]: 音声の長さを変えないで、速度を変更できます。

[無音の挿入]: 無音状態を挿入します。オーディオCDの作成などに利用します。

[ノイズの挿入]: ノイズを挿入します。ライブラリーから挿入するノイズを追加できます。

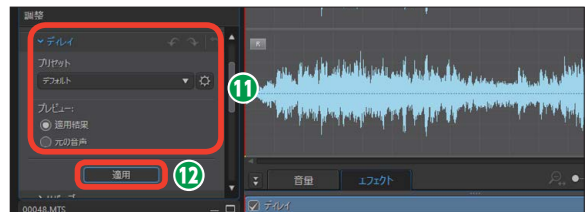
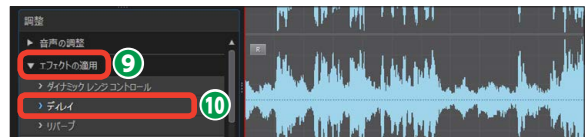
[逆再生]: 音声を逆再生します。ビデオクリップの音声に適用すると、音声だけが逆再生になります。

9 音声中にエフェクトを加えるには、[調整] にある [エフェクトの適用] の [▶] をクリックします。

10 各エフェクトの [>] をクリックします。クリックすると、すぐに効果が適用されます。

11 表示される設定項目で、効果を調整できます。

12 効果を確定するには、[適用] ボタンをクリックします。



[ダイナミックレンジコントロール]: 音声のダイナミクス形状を調整できます。

[ディレイ]: 音声の遅延、反響音を加えます。

[リバーブ]: 残響を加えます。

[フェイザー]: 音声を連続的に変化させ、うねるような音を発生させます。

[フランジャー]: 遅延を利用して音声を連続的に変化させ、うねるような音を発生させます。

[コーラス]: ひとつの音声を複数重ね合わせ、合唱しているような効果を加えます。

[エコー]: 音声中にエコーを加えます。

[ボーカル変換]: 主に人の声をロボットやアヒルなどの声に変化させます。

[イコライザー]: 各音楽ジャンル専用の補正を行うプリセットが用意されています。

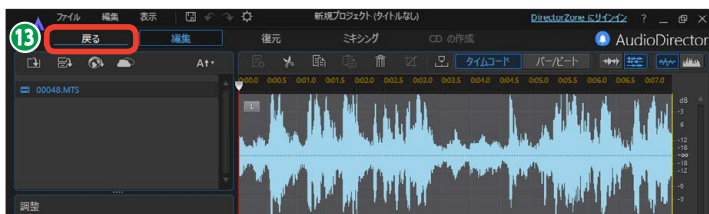
[ラジオ]: ラジオから聴こえるような効果を加えます。

[電話]: 電話の受話器から聞こえるような効果を加えます。

[ノイズゲート]: 指定するしきい値やデシベル値以下の音声をカットします。

[音楽からボーカルを除去]: 音楽からボーカル音を低減します。ステレオ音声ファイルにのみ適用できます。

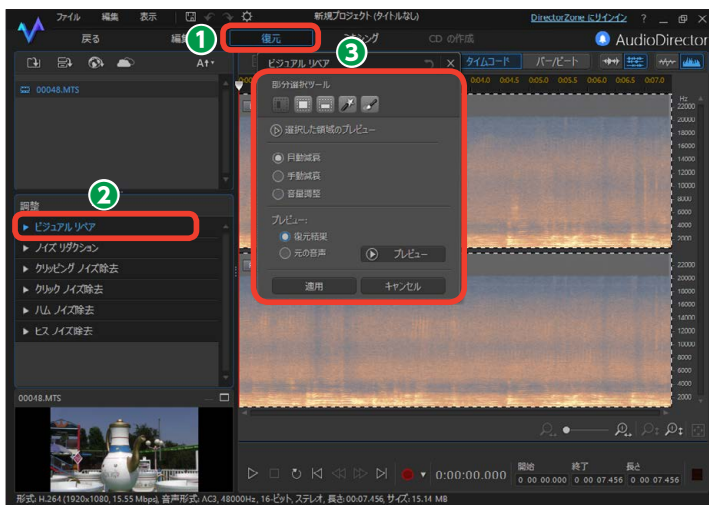
13 音声の調整を終えたら、[戻る] をクリックします。PowerDirectorの [フル機能エディター] 画面に戻ります。タイムラインのクリップにAudioDirectorでの調整が反映されます。



ノイズをまとめて低減

AudioDirectorは、強力なノイズ低減の機能を搭載しています。

- 1 [復元] をクリックします。
- 2 [調整] の [ビジュアルリペア] をクリックします。
- 3 [ビジュアルリペア] ウィンドウが表示され、波形ビューからスペクトル周波数ビューに変わります。



メモ

- [復元] の [調整] にはノイズ減衰に関する機能が集約されています。
- [ビジュアルリペア]：スペクトル周波数ビューで視覚的に目的の音を確認して低減します。
 - [ノイズリダクション]：屋外や車内などのビデオにある背景音の低減に効果があります。
 - [クリッピングノイズ除去]：「バリバリ」といった音割れのノイズを除去します。
 - [クリックノイズ除去]：瞬間的に入る「ブツッ」というノイズを除去します。
 - [ハムノイズ除去]：電源ケーブルなどの干渉で発生する低音のノイズを除去します。
 - [ヒスノイズ除去]：アナログ録音機器などの機器由来の高周波数ノイズを除去します。

メモ

- [ビジュアルリペア] ウィンドウの [部分選択ツール] には、以下の機能があります。
- [時間の選択]：再生時間に基づいたエリアを選択できます。
 - [時間周波数の選択]：矩形で領域を選択できます。
 - [周波数の選択]：周波数に基づいたエリアを選択できます。
 - [マジックワンドの選択]：突発的なノイズを検索し、選択して減衰できます。
 - [ブラシ選択]：突発的なノイズをお絵かきツールのように手で選択して減衰できます。

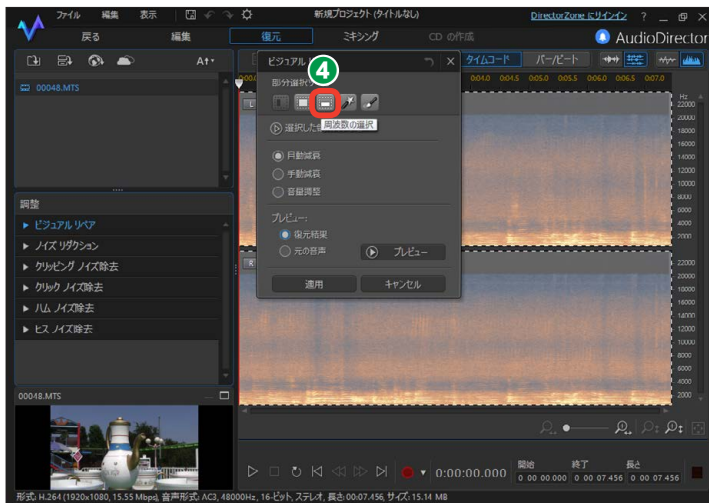
メモ

[自動減衰]：選択した音声レベルを自動で平準化し、周囲の音声と同じ属性に合わせます。

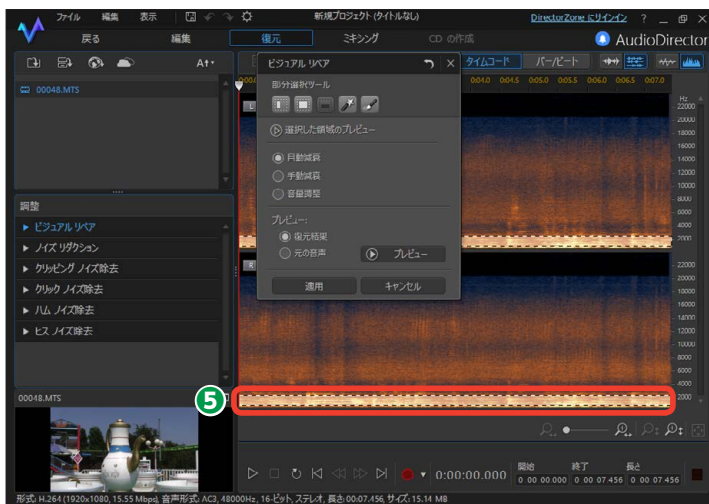
[手動減衰]：選択した音声レベルを手動で平準化します。

[音量調整]：選択した音量を手動で調整します。

④ ここでは、クリップ全体を通して続く風雑音とカメラ本体の接触音を低減します。[周波数の選択] をクリックします。

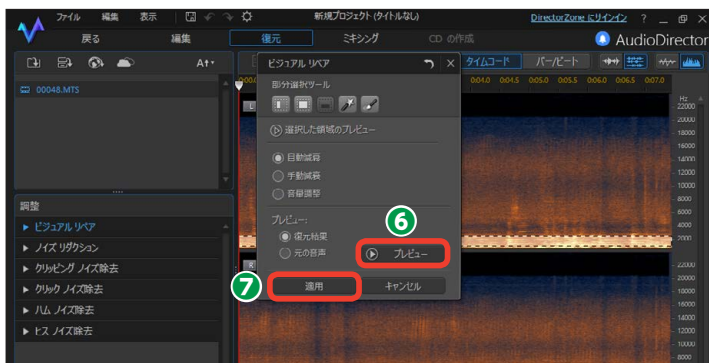


⑤ 雑音要素が多く含まれると思われるスペクトル周波数ビューの下部、3000Hz以下を上から下へドラッグします。ノイズが低減されます。



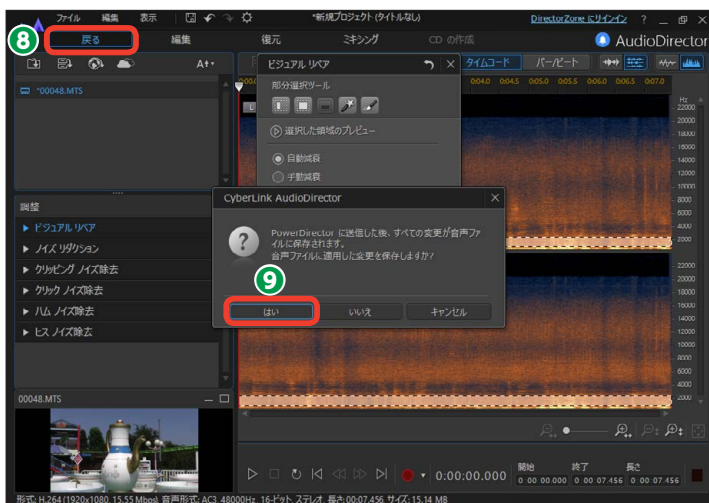
6 [プレビュー] をクリックして、修正結果を確認します。

7 [適用] をクリックします。



8 [戻る] をクリックします。

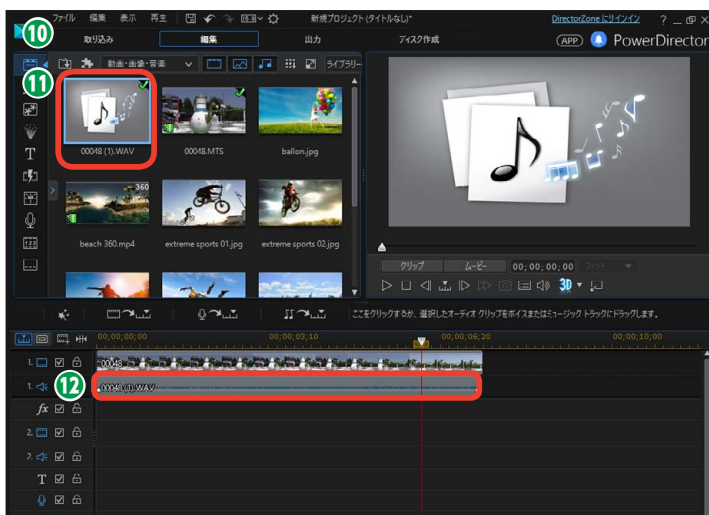
9 変更の保存を確認するダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。



10 PowerDirectorの [フル機能エディター] 画面に戻ります。

11 調整した音声部分は独立した音声ファイルとして保存されます。

12 ビデオクリップの音声部分が独立した音声クリップとして配置されます。





Chapter 15
ColorDirector

ColorDirector

Director SuiteおよびUltimate Suite版のみ

ColorDirectorは、本格的な色彩の補正作業などを行うアプリケーションです。PowerDirectorと連携してシームレスに行えます。PowerDirectorでビデオクリップを選択し、ColorDirectorを起動して色彩の編集を行うと、PowerDirectorに配置してあるビデオクリップに反映されます。

PowerDirectorとの連携

- 1 タイムラインに配置したビデオクリップをColorDirectorで編集するには、ビデオクリップを選択します。
- 2 [補正/強調] をクリックします。
- 3 [補正/強調] ウィンドウが表示されます。[ColorDirector] をクリックします。

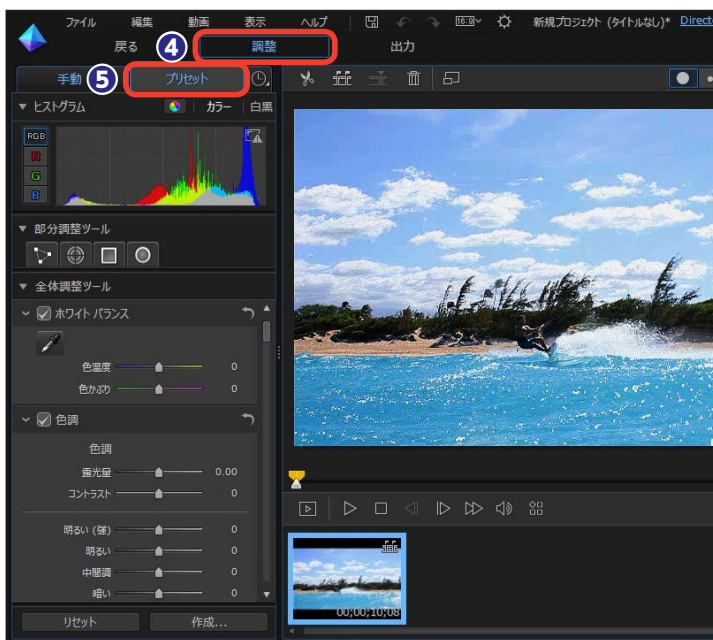
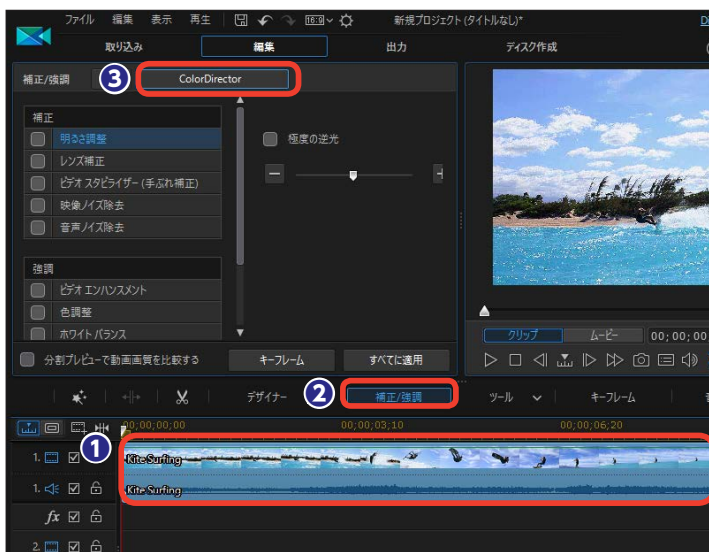
注意

製品版のColorDirectorをインストールしていない場合、ColorDirector購入の案内ウィンドウが表示されます。

- 4 [ColorDirector] が起動して、選択したビデオクリップが [調整] 画面に表示されます。
- 5 [プリセット] をクリックします。

注意

ColorDirectorは、Director SuiteおよびUltimate Suite版にのみ付属します。また、Ultimate Suite版には別途ColorDirectorのマニュアルが付属しますので、詳しい使い方はそちらをお読みください。



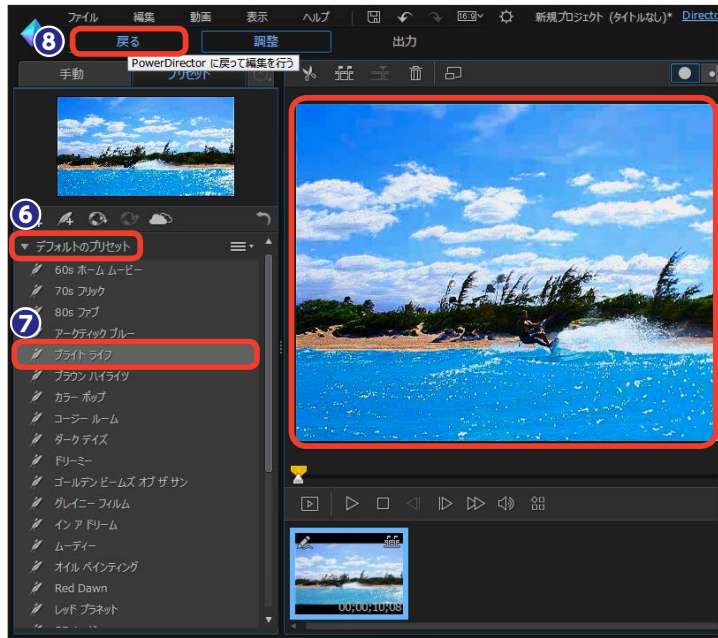
6 [デフォルトのプリセット]の[▶]をクリックします。

7 プリセットを選択すると、色調の効果が適用されて、プレビューウィンドウに表示されます。

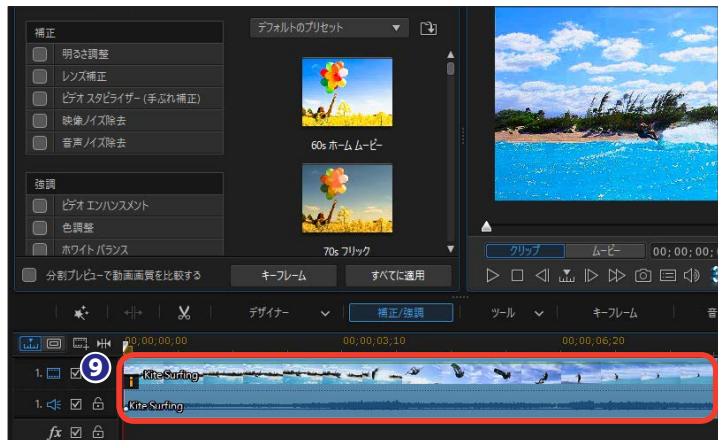
メモ

[デフォルトのプリセット]は、25種類用意されています。また、[DirectorZone]でプリセットの追加ダウンロードができます。

8 色彩の調整を終えたら、[戻る]ボタンをクリックします。

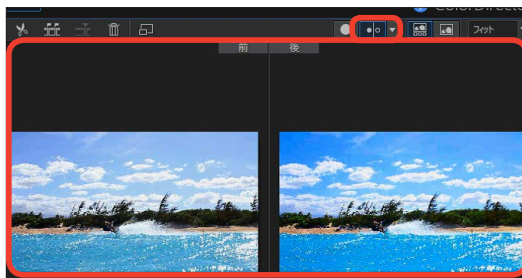


9 PowerDirectorの[フル機能エディター]画面に戻ります。タイムラインのビデオクリップに、Color Directorでの調整が反映されます。



メモ

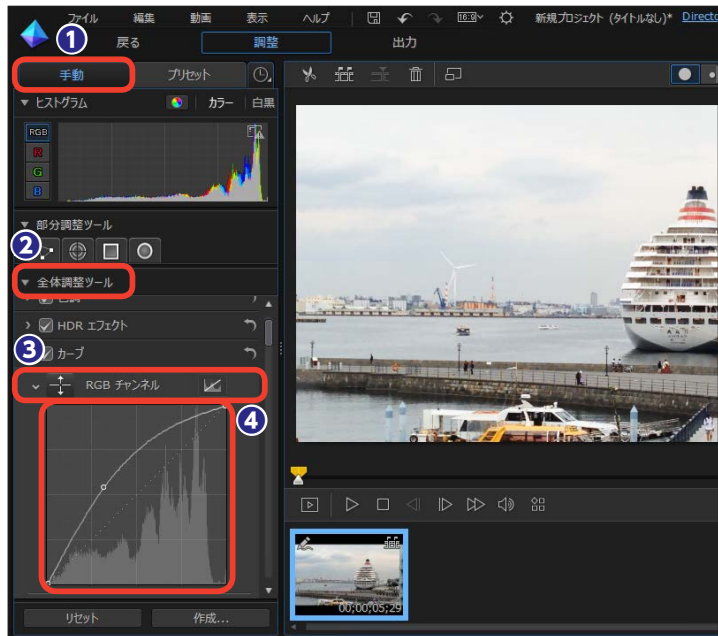
ビューアーの表示方法を「前後の比較」にすると、調整前と調整後の映像を比較しながら作業を行えます。



オリジナルカラープリセットの作成

ColorDirectorは、[デフォルトのプリセット] を利用する以外に、手動で色調などを設定して、自分だけのプリセットを作成できます。

- 1 [手動] をクリックします。
- 2 [全体調整ツール] の [▶] をクリックします。
- 3 [カーブ] にチェックを入れて、[>] をクリックします。
- 4 [RGBチャンネル] のトーンカーブを左上に膨らむ弓形のようにします。

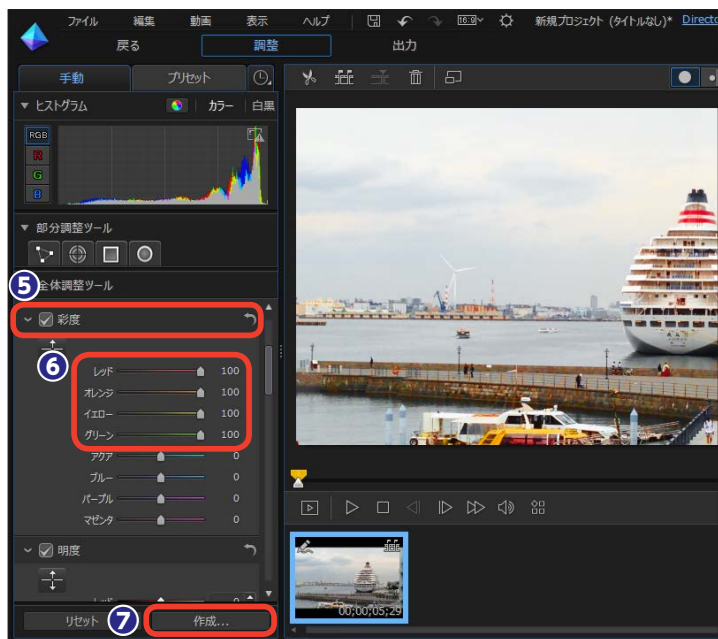


- 5 [彩度] にチェックを入れて、[>] をクリックします。
- 6 [レッド] [オレンジ] [イエロー] [グリーン] の値を、それぞれ [100] に設定します。
ここでは、船や車などが色鮮やかなイメージになります。

- 7 [作成] をクリックして、表示される [新規プリセットの作成] ダイアログボックスで [プリセット名] を入力し、[保存] をクリックします。

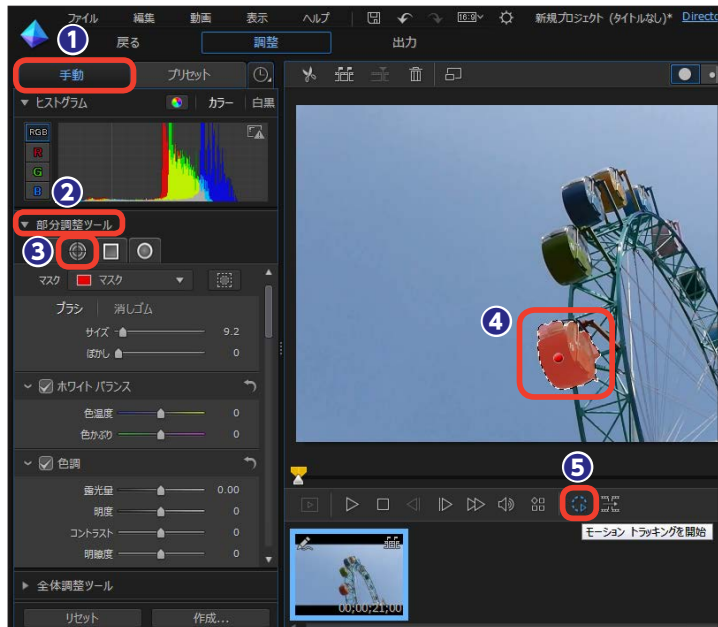
メモ

25種あるカラープリセットを選び、それを元に [手動] タブの各項目を変更して、オリジナルのプリセットを作成することもできます。

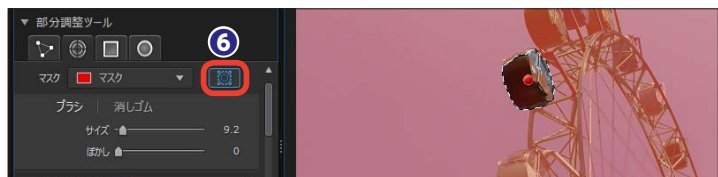


マスクを使ってビデオクリップの一部だけ色を残す

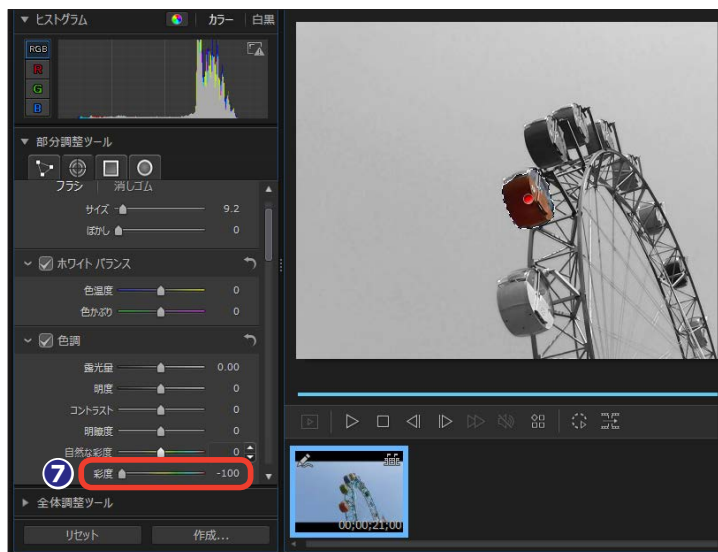
- 1 [手動] をクリックします。
- 2 [部分調整ツール] の [▶] をクリックします。
- 3 [モーショントラッキングマスク] をクリックします。
- 4 プレビューウィンドのビデオクリップの一部（ここでは観覧車）をマスクツールでクリックします。一度でマスクの範囲を選択できない場合は、[Shift] キーを押しながらクリックして、マスクの範囲を広げます。
- 5 [モーショントラッキングを開始] をクリックします。



- 6 自動的に選択した箇所のマスクがフレーム単位で作成されます。[マスクを反転] をクリックします。マスクした以外の映像が選択されます。



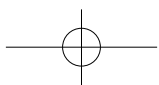
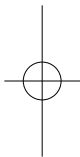
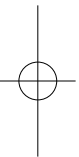
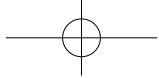
- 7 [色調] の [彩度] を [-100] にして、選択した箇所を白黒にします。



- 8 [戻る] をクリックしてPower Director画面が表示されると、色彩の調整をしたビデオになります。ここではモノクロの映像で観覧車の赤い部分だけが赤く回るビデオクリップになります。

メモ

[プリセット] タブの右にある [キーフレームの設定パネルを表示/非表示] タブでキーフレームを設定すれば、ビデオクリップの途中から徐々に色を変化させることもできます。



付録

トランジション一覧

PowerDirectorにはトランジションが111種類用意されています。おもなトランジションの効果が見えるように一覧にしました。トランジションによっては、効果をつける位置やサイズ、強弱、色設定などが調整できます。いろいろな効果を試してみてください。

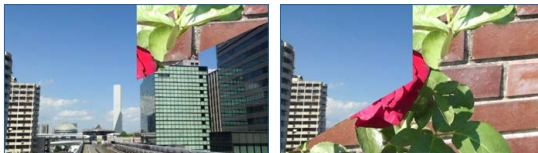
■ 2進数 1

ゼロと1の数字で切り抜かれた次の映像が徐々に表示されます。



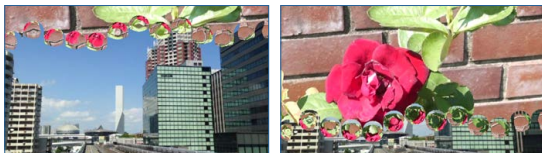
■ ワイプクロック

時間の経過を表すように時計の針にあわせて次の映像が表示されます。



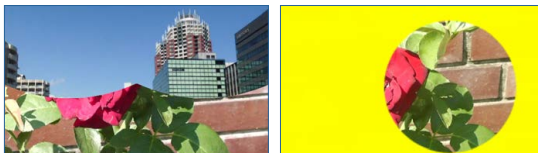
■ 雨滴

雨滴が垂れた部分に次の映像が表示されていきます。



■ 円 (カラー)

円のイラストが徐々に映像を覆い尽くし、そこから次の映像が現れます。



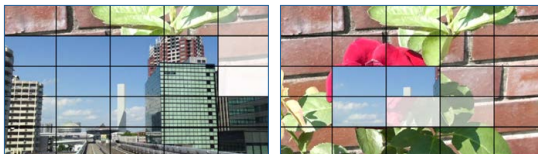
■ グランドオープニング

前の映像がドアが開くように左右に分かれて、次の映像が現れます。



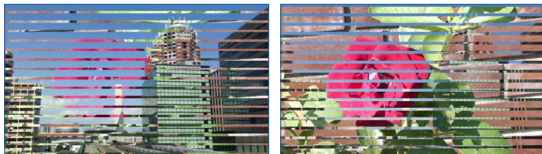
■ グリッド

分割されたパネルが1枚ごとに次の映像に変わっていきます。



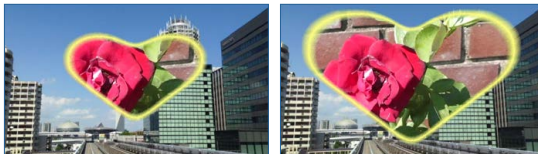
■ シャッター

ブラインドが開くと次の映像が現れるようなイメージで切り替わります。



■ スイートハート

次の映像がハート型に切り抜かれて表示されます。



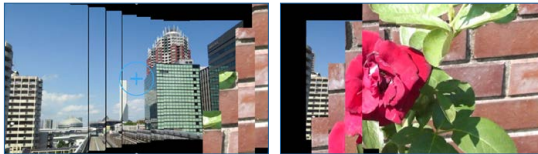
■ 火炎

映像が燃えはじめ、そこから次の映像が現れます。



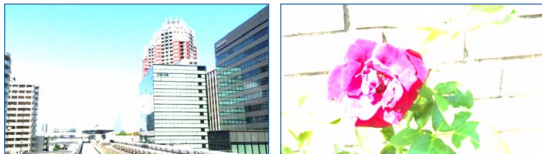
■ ストリップ右から左

映像が折りたたまれるようにして消えて行き、次の映像が広がります。



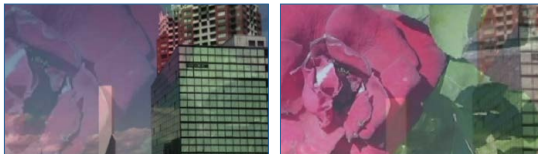
■ 輝き

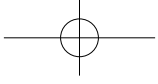
映像がフラッシュして、そこから次の映像が表示されます。



■ 交差

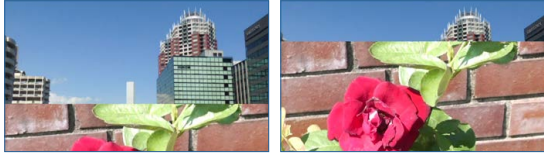
映像がズームアップしながら次の映像が徐々に現れ、ズームアウトします。





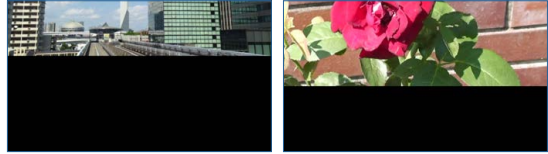
■スライド

紙芝居のように前の映像に次の映像がかぶります。



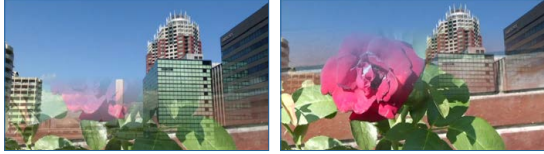
■スワップ

前の映像が上下どちらかに移動して、次の映像が現れます。



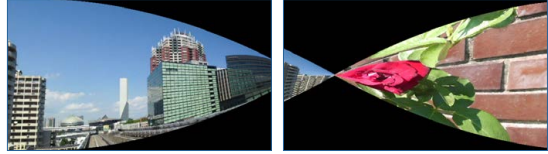
■ソフトワイプ

次の映像がゆるやかにぼけて現れ、次第にはっきりと表示されます。



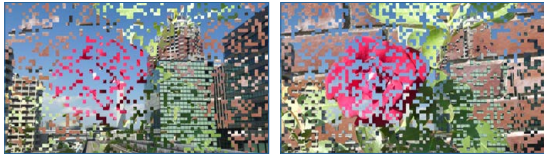
■ツイスト

映像がねじられるように変型し、次の映像が現れます。



■ディゾルブ

次の映像が細かいドットで表示され、次第に画面すべてを覆います。



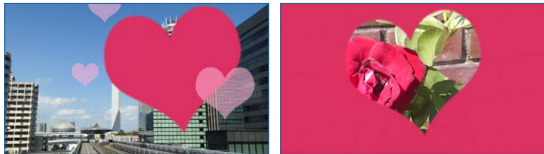
■デジタルトランジション破壊

映像がキューブ状に分割されて弾け飛び、次の映像のキューブが集まってきます。



■ハート (カラー)

ハートが映像を覆い隠し、そこにハート型に切り抜かれた次の映像が現れます。



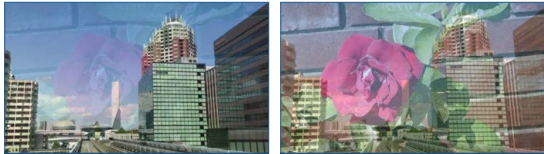
■フィルムクリップ

映像が映画のフィルムコマとなり、次のコマに次の映像が表示されます。



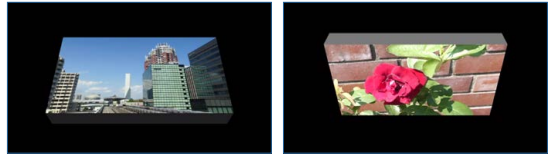
■フェード

次の映像が徐々に現れて画面が切り替わります。



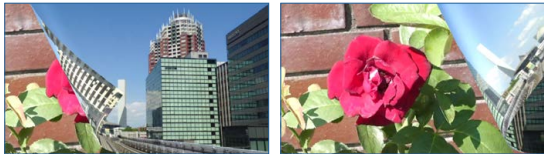
■フリップ

映像が画面奥に飛んで行き、回転して戻ってくると次の映像になります。



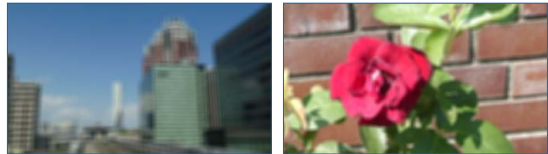
■ページカール

書籍のページのように前の映像をめくると次の映像が表示されます。



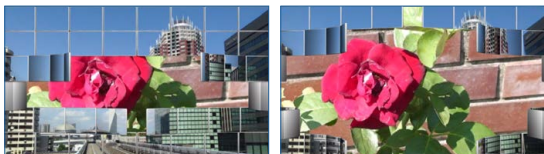
■ぼかし

前の映像がぼけてフェードアウトし、次のぼけた映像が徐々にクリアになります。



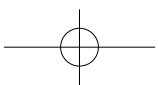
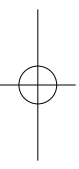
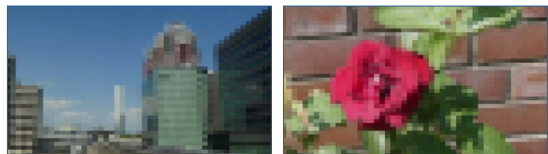
■マトリックス反転 (外へ)

タイルに分割された映像が外側に飛び散り、中から次の映像が現れます。



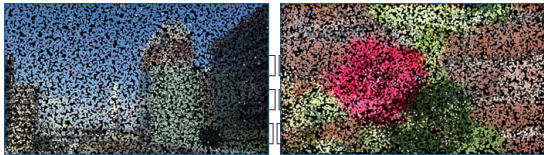
■モザイク

映像にモザイクがかかり、モザイクがクリアになると次の映像になります。



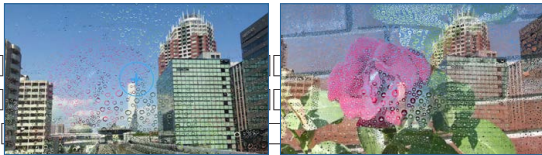
■吹雪

映像が小さな粒に分解され、その粒が再び次の映像として集まります。



■水滴

画面に水滴が付き、その水滴に次の映像が表示されます。



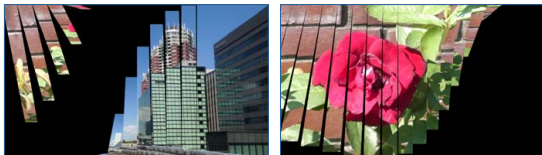
■星

次の映像が星型に切り抜かれて表示されます。映像には境界線を付けられます。



■接合

短冊状に分割された映像が倒れていき、新たに次の映像の短冊が現れます。



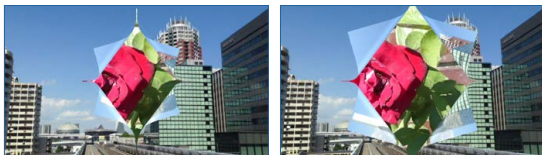
■台風

台風で映像のパネルが剥がされるように飛んで行き、次の映像が現れます。



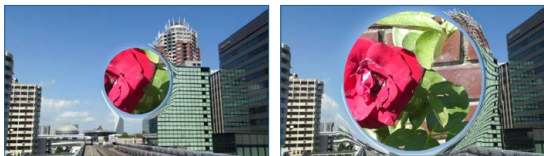
■中央

画面中央から四方に映像を破るように次の映像が表示されます。



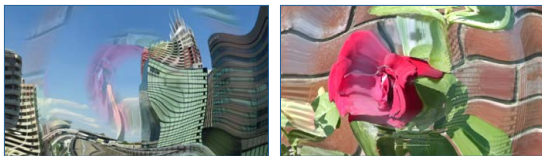
■虫食い穴

映像が虫に食べられたように穴が空き、そこから次の映像が現れます。



■波紋

映像に水滴が落ち、その波紋がゆれながら次の映像に切り替わります。



■飛行機

飛行機と船のアニメーションが表示され、それらの軌跡が次の映像になります。



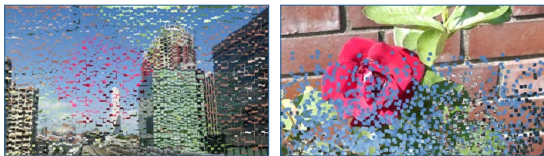
■風車

風車が回るようにして次の映像が表示されます。



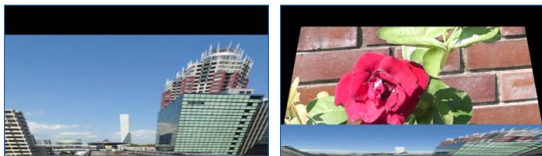
■崩壊

映像が粉々になって崩れ落ち、次の映像が現れます。



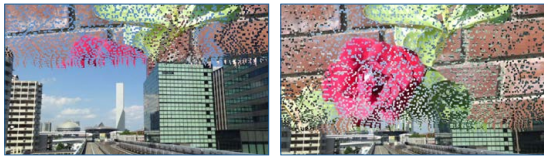
■落下

映像がパタンと前に倒れ、次の映像が表示されます。



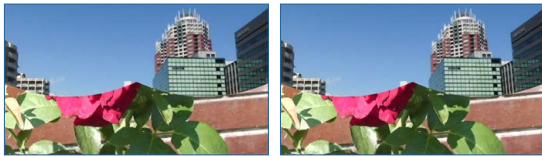
■粒子

次の映像が細かい粒子状で現れ、画面を埋めていきます。



■連鎖反応

短冊状に分割された映像が次々に倒れ、短冊状の次の映像が画面に現れます。



エフェクト一覧

PowerDirectorにはエフェクトが124種用意されています。おもなエフェクトの効果がわかるように一覧にしました。エフェクトによっては、効果をつける位置やサイズ、強弱、色設定などが調整できます。いろいろな効果を試してみてください。

■ガラス

磨りガラス越しに見たざらざらした感じの映像です。



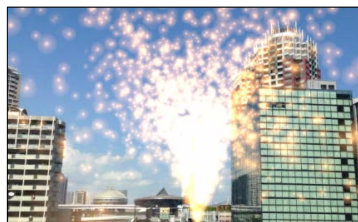
■GPU スター

星のような光の粒が迫ってくる効果加わります。



■GPU 花火

映像に打ち上げ花火の効果が追加されます。



■しずく

映像にしずくが落ちて広がる効果加えられます。



■グリッド

画面に格子を表示します。格子の数は調整できます。



■NewBlue ピクセレーター

映像の一部にモザイクをかけます。



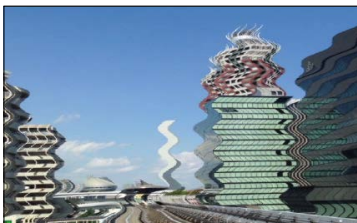
■TV ウォール

映像を分割表示します。表示数は調整できます。



■ウェーブ

波打つようにゆれる映像になります。



■ウォーターリフレクション

映像の一部が水没して、そこに映像が映り込みます。



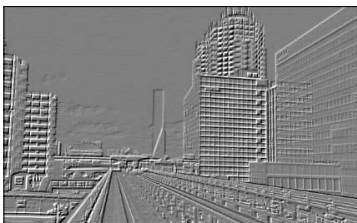
■オールドカメラ

トイカメラで撮影したような周りがボケます。



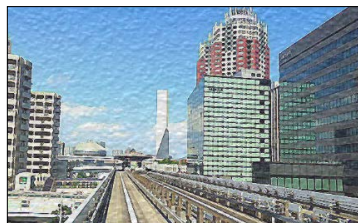
■エンボス

エンボス加工したように映像に凹凸ができます。



■カラークレヨン

布地に映像を映したような効果になります。



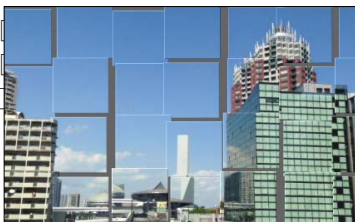
■タイムスタンプ

時間を表示します。かけっこの映像に最適です。



■タイル

映像がタイルに分かれて再生されます。



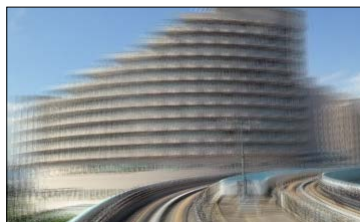
■たんぼぼ

画面下にたんぼぼが吹き乱れる映像になります。



■ディレイ

映像の一部をずらして再生します。



■ハーフトーン

ドット絵的な映像になります。カラー版もあります。



■パブル

映像が映り込んだシャボン玉が飛んでいる効果です。



■パンプマップ

建物などを立体的に見せる効果加わります。



■フォーカス

望遠鏡で覗いたような映像の一部だけを見せます。



■ぼかし

映像にぼかしをかけます。



■ポップアート

映像がポップアート調にほどこされて再生されます。



■マジックスター

星が王冠のようにキラキラと現れます。



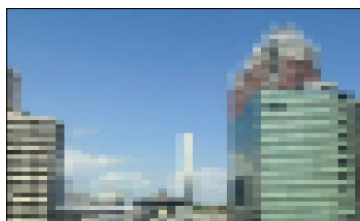
■ミラー

2分割された映像が鏡に映ったように表示されます。



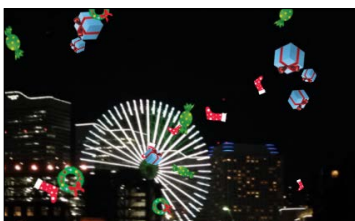
■モザイク

映像にモザイクをかけます。



■リースと靴下

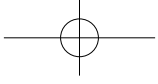
ブーツとリースが降ります。クリスマスの映像にぜひ。



■魚眼レンズ

魚眼レンズで撮影した雰囲気映像になります。





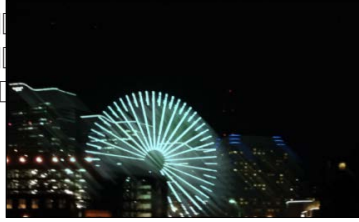
■白黒

映像をモノクロにします。「セピア」色もあります。



■月光

月明かりのようなやわらかい光が降り注ぎます。



■古い映画

キズの付いたフィルムを上映している効果です。



■中国風の絵 2

映像を水墨画風のイメージに変換します。



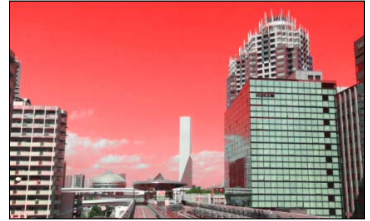
■色のフィルタ

指定した色（ここでは赤）だけ着色します。



■色の置換

指定色を別の色（ここでは青を赤）に置き換えます。



■稲妻

稲妻が光る効果を追加できます。



■雨

雨を降らせます。横殴りや土砂降りにしてみましょう。



■雪

雪を降らせます。風の吹く強さも調整できます。



■鉛筆スケッチ 2

鉛筆で描画したようなタッチの映像になります。



■横に伸ばす

映像の一部（ここでは足）を横に伸ばします。



■風

人物やものにラインが入り、疾走感を表現できます。



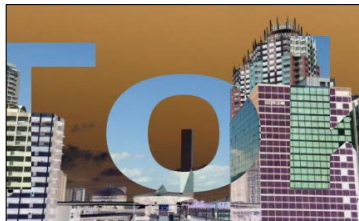
■拡大鏡

映像の一部分を虫眼鏡で見たように拡大表示します。



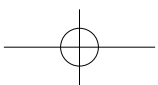
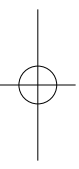
■文字（X線）

文字の部分だけクリアな映像が再生されます。



■万華鏡

万華鏡から映像を見ているような効果になります。



●PowerDirectorのWebサポートページ

<http://jp.cyberlink.com/support/>

●カスタマーサポートセンター

電話番号：0570-080-110

IP電話などのナビダイヤルにかけられない回線の場合：03-5205-7670

受付時間：10:00～13:00 14:00～17:00

※土・日・祝日、弊社休業日は除く

注意

本マニュアルはDirector Suite、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、14ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

CyberLink PowerDirector 15 ユーザーガイド

2016年9月 初版第1刷

サイバーリンク株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウイング4F



本書に記載の内容は製品の仕様変更などにより予告無く変更される場合があります。

Copyright 1999-2015 CyberLink Corp. All rights reserved.

CyberLink PowerDirector は CyberLink Corp.の登録商標です。その他の本書記載の各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

Made in Taiwan